

令和2年 金沢市教育委員会 第8回定例会議 次第

(第27号議案 令和3年度使用中学校教科用図書採択について)

日 時：令和2年8月6日(木)

14:00～19:00

場 所：第二本庁舎2201会議室

1 開会

2 報告

- ・令和3年度使用中学校教科用図書 採択の経緯 P 1
- ・令和2年度 金沢市教科書展示会の来会者数 P 2
- ・資料の概要 P 3

3 審議

4 閉会

【本日の配付資料】

- ・ 答申
- ・ 資料A 「教科用図書調査委員会 調査研究報告書(研究のまとめ)」
- ・ 資料B 「各中学校における教科用図書研究委員会 調査研究報告書」
- ・ 資料C 「教科書展示会に寄せられた市民の意見のまとめ
－常設展示場(金沢市教育プラザ富樫)－
－移動展示場(金沢市立中学校24校)－
－常設展示場(石川県教員総合研修センター及び石川県立図書館)－」
- ・ 資料D 「教科書採択に係る要望書等」
- ・ 石川県教科用図書選定資料
- ・ 教科書編修趣意書
- ・ 中学校学習指導要領解説

令和3年度使用中学校教科用図書 採択の経緯

1 選定委員会及び調査委員会等

第1回選定委員会	5月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査委員会委員の委嘱・承認 ・研究委員会の設置 ・調査研究項目の審議
第1回調査委員会	5月29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究項目の確認 ・調査研究の進め方の検討
各中学校における 研究委員会	6月10日(水) ～ 6月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究
第2回調査委員会	6月25日(木) 6月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究報告書の作成
第2回選定委員会 第3回選定委員会 第4回選定委員会 第5回選定委員会	7月15日(水) 7月21日(火) 7月22日(水) 7月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究の報告 ・答申案の作成
定例教育委員会議 臨時教育委員会議 臨時教育委員会議 臨時教育委員会議	8月 6日(木) 8月 7日(金) 8月17日(月) 8月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書の採択

2 教科書展示会

教科書展示会 (常設展示)	6月12日(金) ～ 6月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢市教育プラザ富樫での教科書展示 ・石川県教員総合研修センター及び 石川県立図書館での教科書展示
教科書展示会 (移動展示)	6月10日(水) ～ 6月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校における教科書の移動展示

令和2年度

金沢市教科書展示会の来会者数

	会 場	来会者数
常設展示場 展示期間 6月12日～ 6月25日 展示時間 平日：午前9時～ 午後9時 ※土日は、 午後7時まで	金沢市教育プラザ富樫 2号館3階 ティーチャーサポートセンターブース8	一般等 97名 教職員等 18名 計 115名 (意見書243枚)
移動展示場 展示期間 6月10日～ 6月25日 展示時間 午前9時30分 午後4時30分 (土日は除く)	中学校24会場 芝原、医王山、額、金石、緑、港、 犀生、森本、高尾台、大徳、西南部、 浅野川、城南、北鳴、内川、長田、 清泉、小将町、紫錦台、鳴和、野田、 高岡、泉、兼六	一般等 27名 教職員等 673名 計 700名 (意見書35枚)
合 計 815名 (一般等 124名、教職員等 691名) 意見書 278枚		

※常設・移動展示場での教職員等691名については、受付名簿に名前を記載した教員の数

資料の概要

1 資料A「教科用図書調査委員会 調査研究報告書」

- ・「調査研究報告書（共通）A-1」

金沢市の採択方針に基づき、9つの調査研究項目（「特別の教科 道徳」においては、7つの調査研究項目）において作成した報告書である。

- ・「調査研究報告書（教科）A-2」

各教科書の特徴がより明確になるよう、学習指導要領に示された内容等の取扱いやその記載内容、分量等が、教科書にどのように反映しているか、比較対照できるよう作成した報告書である。

2 資料B「各中学校における教科用図書研究委員会 調査研究報告書」

金沢市の採択方針に基づき、5項目の調査研究項目において、各学校に設置した教科用図書研究委員会が調査研究した報告書を各発行者の優れている点を中心にまとめたものである。

※別紙は、各発行者の優れた点以外の報告があったものをまとめたものである。

3 資料C「教科書展示会に寄せられた市民の意見のまとめ

—常設展示場（金沢市教育プラザ富樫）—

—移動展示場（金沢市立中学校24校）—

—常設展示場（石川県教員総合研修センター及び石川県立図書館）—

- ・常設展示 6月12日～6月25日

- ・移動展示 6月10日～6月25日

の展示期間に提出された意見をまとめたものである。

4 資料D「教科書採択に係る要望書等」

令和3年度使用中学校教科用図書の
採択に係る答申

金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

令和2年8月6日

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘 様

金沢市立義務教育諸学校
教科用図書選定委員会
委員長 松原 道男

令和3年度使用中学校教科用図書の採択について（答申）

令和2年5月28日付けで金沢市教育委員会より諮問のあった標記採択に係る意見について、金沢市立義務教育諸学校教科用図書採択取扱要綱第6条第1項に基づき、別紙のとおり答申します。

資料 A

教科用図書調査委員会 調査研究報告書

A - 1 (共通) ・ A - 2 (教科)

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	単元で付けたい力を「言葉の力」として教材の初め・終わり・巻頭に明記することで、基礎的・基本的な知識や技能の習得ができるよう工夫されている。	単元で付けたい力が巻頭の「領域別教材一覧」に掲載されており、教材末の「学びの道しるべ」で、身に付けたい知識や技能が定着するよう配慮されている。	単元で付けたい力が巻頭の「言葉の地図」にまとめられており、「学びナビ」に、身に付けたい知識や技能が定着するよう提示されている。	巻頭の「学習の見通しをもとう」で付けたい力が明確に示され、「目標」や「学習の窓」及び巻末の一覧表で学習内容が確実に定着するよう工夫されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	教材の冒頭に「問いかけ」を用いて課題意識を高めることで見通しをもたせ、単元末では課題解決できたことを振り返ることができるよう配慮されている。	「学びの道しるべ」で学習の見通しをもたせるとともに「学びを広げる」で発展的な自習活動を示すことで、身に付いた知識・技能が活用できるよう配慮されている。	「みちしるべ」に学習の進め方が明記され、見通しをもって学習できるようになっており、振り返りの視点が明確になるようチェック欄を設けるなど配慮されている。	「見通しをもつ」で学習活動が明確に示され、目的意識をもって活動できるとともに、「振り返り」で、学習した内容を確認できるよう工夫されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	案内役のキャラクターたちが登場して生徒を学びに導き、QRコードで音声や映像の資料が豊富に用意され、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。	「読書の広場」と古典教材でQRコードが用意され、図解した読み方の方略を示したり、補充教材として活用したりできるよう配慮されている。	QRコードで学びを広げるための資料や自分の力で取り組むための資料が準備され、生徒の自主的・自発的な学習が促されるよう示されている。	QRコードに動画資料や作家へのインタビューなどが教材ごとに収められ、生徒の興味・関心を高め、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	我が国で長く読み継がれてきた古典作品を、様々な写真資料とともに掲載することで、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮されている。	文学史年表を掲載したり、落語や歌舞伎などを紹介したりすることで、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うよう配慮されている。	「四季のたより」で、さまざまな古典教材が多くの写真資料とともに掲載されており、日常生活の中でも古典の世界や言語文化に触れられるよう示されている。	古典学習の導入で図解資料を掲載し、「季節のしおり」で名文等を紹介するなど、日本の伝統文化を身近に感じ、親しむことができるよう工夫されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	現代的な諸課題に関する題材を積極的に扱い、他教科の学習と関連している教材はマークで示すなど、身に付けた力が生活や他教科に生かせるよう配慮されている。	価値観が多様化するグローバル社会、共生社会の一員として求められる幅広い資質・能力を育成できるように題材が選定され、掲載されている。	持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえ、課題を考えるためのキーワードが各単元に位置付けられており、生徒が現代的な課題に対応できるよう工夫されている。	情報社会の中でよりよく生きるための情報収集や取捨選択、発信についてなどの情報を活用する力を、段階を踏んで育成しているよう全学年で配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	巻頭に前学年で学んだことと本学年で学ぶことが示され、巻末の「『言葉の力』一覧」では3年間の学習のつながりや深まりが確認できるよう工夫されている。	巻末に「『読み方を学ぼう』一覧」が示され、3年間で系統的・発展的に学ぶ全22の読み方がひと目で確認できるよう配慮されている。	「学びナビ」で小学校や前学年での学習を踏まえた解説を加えるなど、単元や教材が構成され、段階的に力を付けられるよう配慮されている。	学年が上がるごとに内容を深めながら、螺旋的に言葉の力を積み重ねていくことで、資質・能力の定着が図られるよう教材が選定され、掲載されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達の段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	全学年を通して、各教材のページの配色が3領域の学習ごとに統一されており、その単元の学習内容や付けたい力がひと目で分かるよう配慮されている。	挿絵・図版が適所に配置され、「読み方を学ぼう」や「思考の方法」では、分かりやすい図解を用いることで内容を視覚的に捉えらるよう工夫されている。	学習内容や重要度によって文字の大きさや色を変えたり、全体的に行間を広くとったりするなど視覚的に分かりやすくなるよう示されている。	正しい字形を意識させるため、手書き文字に近い書体を使用し、「学習の窓」では、文字の色を変えて学習のポイントが分かりやすいよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	「読書案内」では関連図書が紹介され、「読書活動」では学校図書館を利用した活動が掲載されるなど、読書生活が豊かになるよう配慮されている。	「読書の広場」では、教材に関連したテーマごとに図書が紹介され、また、様々なジャンルの文章が掲載される等、生徒を読書に誘うよう配慮されている。	「広がる本の世界」で、各単元のキーワードと関わる多種多様な図書を紹介します、生徒が読書の幅を広げ、読書に親しめるよう配慮されている。	読書単元を設けたり、教材ごとに同じテーマで複数の作品の一部を紹介したりするなど、読書の価値を実感し、生涯にわたる読書習慣が定着するよう工夫されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	ペア・グループで調べたり、まとめたものを発表したりする課題解決的な学習が多く設定され、対話を通して学びを深めることができるよう配慮されている。	「学びの道しるべ」で、最初に目標を提示し、課題解決的な学習過程を示すと同時に、思考と語彙に関する解説を設け、学習に取り組みやすいよう配慮されている。	読むことの単元において、課題解決の道筋に沿った学習過程が段階的に進められるよう「みちしるべ」で活動の過程が示されている。	具体的な学習活動が示され、話し合ったことを共有し、振り返ることで学びの深まりが実感でき、さらに日常生活にまで生かしているよう工夫されている。

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
1 言葉の特徴や使い方に関する事項	各教材末の「広がる言葉」と資料編の「言葉を広げよう」との関連が図られ、多くの語彙を示して、考えを深め表現の幅が広がるよう配慮されている。	各教材末の「語彙を豊かに」では教材に関連した語彙の充実を図り、理解できる語句と使える語句の量を増やし、語感が磨けるよう工夫されている。	各教材末の「この教材で学ぶ言葉」、巻末の「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」が、語彙を豊かにし、理解や表現に結び付けられるよう示されている。	語彙の系列「言葉を集めよう/比べよう/選ぼう」により、相手や目的に応じた適切な言葉とは何かという言葉に対する興味関心が深まるよう図られている。
2 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する事項	「学びを支える言葉の力」で情報の扱い方に関する事項を取り上げて、メディアリテラシー及び情報活用能力が育成されるよう配慮されている。	資料編「情報を活用する」で、情報収集と活用のヒントや情報機器の活用法を示し、社会生活において適切に情報を扱う力を高めるよう図られている。	各教材で、学習に関わる語彙や表現をまとめることで、思考と語彙の連携により、情報を適切に扱う能力が育成されるよう「この教材で学ぶ言葉」が掲載されている。	「情報整理のレッスン」や「思考のレッスン」でよくある困った場面を出発点にわかりやすく解説され、社会に必要な論理的思考力が育成されるよう工夫されている。
3 我が国の言語文化に関する事項	「単元の扉」に季節感のある詩歌を印象的な写真と共に掲載し、一年を通じて日本の豊かな風土に培われた言語文化に親しめるよう配慮されている。	様々な言語文化に興味・関心を持ち、社会生活の中で読書に親しみながら、自らを豊かにし言語文化の担い手となるよう活動的な教材が掲載されている。	日常生活の中でも言語文化を意識できるような教材の内容や配置が工夫され、言語文化を自らが次の世代に伝えていくような活動的な教材が掲載されている。	先人の遺産としての言語作品を貴重な図版等の資料とともに多く取り上げ、言語文化を楽しみ、豊かな教養を身に付けられるよう工夫されている。
4 話すこと・聞くことに関する事項	発達段階に応じて、日常生活や社会生活に関する具体的な話題が取り上げられ、言語活動を通して「言葉の力」が身に付くよう示されている。	発達段階に応じて、日常生活や社会生活に関する話題が取り上げられ、目標に照らして身に付いた力を振り返ることができるよう示されている。	発達段階に応じて、他教科の学習や日常の場面、社会生活へと話題が広げられ、国語科で学んだ内容や言語活動が生かせるよう「学びを生きそう」が掲載されている。	日常・社会生活、学校生活、学習場面など実際の場取材し、発達段階に即して「話す・聞く・話し合う」ことの意義が感じられるよう題材が工夫されている。
5 書くことに関する事項	取材から交流まで系統的に言語活動が設定され、思考と語彙に関する解説を設けながら、知識・技能の習得と豊かな活用ができるよう工夫されている。	日常生活や現代社会における課題を書く題材として取り上げ、学習の見通しがもてるよう言語活動の流れを図解するなど、生徒が活動しやすいよう配慮されている。	学年の発達段階に応じた興味深い言語活動が設定されており、確実に身に付けたい重点的な内容を「ここが大事」にまとめ、着実に身に付くよう工夫されている。	日常や社会生活の中から目的が明確な題材とイメージしやすい場を設定したり、表現過程を図示したりすることで、書く必然性や意欲を喚起するよう工夫されている。
6 読むことに関する事項	「言葉の力」に学習のポイントが示され、着実な習得を図りながら自分の考えを形成したり自分の言葉で表現したりできるよう工夫されている。	「読み方を学ぼう」で様々な文章を目的や意図に応じて読むための方略が示され、自分の考えを構築することができるよう配慮されている。	自分の考えを形成したり振り返ったりできるよう、様々な文章を目的や意図に応じて読むための学習過程が「みちしるべ」で示されている。	各教材の手引き「学習」で学習過程を明確にし、「学習の窓」で年間の系統を示し、自分の考えを形成して自分の言葉で表現できるよう工夫されている。

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。		楷書・行書を学ぶ基本単位では、「書写のかぎ」で文字を正しく整えて書く原理・原則を学び、インデックスで関連する既習事項を確認できるよう配慮されている。	「書き方を学ぶ」では、基礎的・基本的な技能の習得のため、具体的な字形例を挙げ、書き方のポイントとなる点分かるよう配慮されている。	基礎的・基本的な点面を示した上で、それぞれの文字について考えさせることを繰り返しながら、定着に向かわせる流れが提示されている。	「学習の進め方」や学習のポイントを「学習の窓」で明示し、別冊の「書写ブック」を活用し毛筆で学習したことが硬筆で繰り返し学習できるよう工夫されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。		「楷書と行書の使い分け」では、生徒に身近な場面の設定をすることで、書写学習と日常生活との関連が意識できるよう配慮されている。	「楷書と行書の使い分け」では、相手や目的・場面に応じて自ら書体を選択し、生徒が実際に書いて体感することで、日常生活に生かせるよう工夫されている。	「学習活動や日常生活に生かして書こう」では、日常生活の場面に応じて書体や筆記用具の使い分けを意識することができるよう配慮されている。	「文字を使い分け」では、様々な習語活動の場面を設定し、書写で培われた知識・技能を日常生活に生かすことができるよう工夫されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。		教科書の紙面には、QRコードが掲載され、様々なデジタルコンテンツを紹介することで、家庭学習や個に応じた指導に生かせるよう工夫されている。	「学習のはじめに」のページには、QRコードが掲載され、姿勢と構え方、筆の持ち方、用具の扱い方等を確かめることができるよう示されている。	教科書の紙面には、QRコードが掲載され、解説とともに運筆のリズムや字形の取り方を動画で確認することができるよう工夫されている。	教科書の紙面には、複数のQRコードが掲載され、毛筆教材の筆使いなどの様々な動画を視聴することで、生徒が自主的に学習できるよう工夫されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。		「文字の成り立ちと移り変わり」に加え、古代から現代につながる文字の役割についても触れながら、文字文化に対する理解が深まるよう配慮されている。	「文字の変遷」では、写真や矢印、イラストを用いることで、現代まで受け継がれてきた文字の歴史や文化について理解できるよう配慮されている。	「コラム」では、文字の変遷や芸術としての書道について、複数の鮮やかな写真を通して紹介し、文字文化への興味・関心が高まるよう工夫されている。	「コラム」では、文字の変遷や文字が伝える文化を全ての生徒に分かりやすいよう視覚的に提示し、文字文化に対する興味・関心が高まるよう工夫されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。		「職場訪問をしよう」や「仕事の中の手書き文字」では、様々な職種の人と文字との関わりが提示され、キャリア教育との関連の充実が図られている。	「身の回りの文字」では、文字に関わる仕事をする人の紹介を通して、手書き文字の魅力を伝えるとともに、職業観を養えるよう配慮されている。	「暮らしの文字を支える人々」では、活字デザイナーが文字を使って仕事をする場面が取り上げられ、職業および生活との関連が示されている。	「デザインと文字」では、デザイナーの文字の選び方を取り上げ、字体による受け取り方の違いに気づき、文字の効果を考えることができるよう工夫されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。		学年のはじめのページには、3年間の学びの系統性や各学年で学ぶことが明記され、書写の技能の積み上げが視覚的に分かるよう工夫されている。	学習の流れが各ページにタブで明示されており、単元の中における本時の位置付けや付けたい力を生徒自身が意識できるよう工夫されている。	学年のはじめのページには、学年の目標と学習内容の概要が記載されており、それぞれの学年で1年間の学習が見通せるよう示されている。	3年間の学びを、ねらいごとにまとまりのある章立てにし、それぞれの学年で、いつ学習し、どこまで学ぶのが分かるよう配慮されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。		キャラクターを用いることで、学習のヒントが視覚的に分かりやすくなっており、親しみをもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。	キャラクターや人物の吹き出しには注意点や課題、学習のヒントが書かれており、興味関心を高めながら、学習の理解につながるよう配慮されている。	実際の中学生の写真とイラストを組み合わせ、会話の中に学習のポイントを表記することで、生徒が見通しをもって学習できるよう配慮されている。	人物やキャラクターの吹き出しを通して、課題発見や解決のヒントを得ることができ、生徒が問題意識をもって書写に取り組めるよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。		「生活に広げよう」では、書写学習と生活との関連を重視し、礼状や本のポップ作りなどを通して、学んだことを生活に活用する機会の充実が図られている。	「やってみよう」「書いて身につけよう」では、多様な「書く」場面を取り上げ、学んだことを社会生活の中で生かせるよう配慮されている。	「学校生活に生かして書く」では、レポートの書き方や書体の活用例を紹介し、学んだことを日常生活に生かせるよう配慮されている。	「日常に役立つ書式」や「国語・学校生活」では、手紙の書き方や壁新聞の作り方等の活用例を紹介し、社会生活の中で生かせるよう工夫されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。		「振り返って話そう」では、自分で書いた文字を使い、分かったことや考えたことを説明する活動を通して、学びを振り返ることができるよう配慮されている。	「振り返ろう」では、学んだことが活用できているかを確認し、自分の言葉でまとめることで、学習を振り返ることができるよう配慮されている。	「振り返ろう」では、学習の目標と連動した観点に照らし合わせながら自己評価ができるようになっており、学びが積み上げられるよう配慮されている。	目標と連動した自己評価の観点が明示されるとともに、「考えよう」から「生かそう」までの流れが統一されており、見通しをもって学べるよう工夫されている。

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
1 文字の書き方に関する事項	情報の整理の仕方、横書きの書き方に触れ、余白の持ち方、書き出しのそろえ方など授業ノートの取り方にも活用できるよう配慮されている。	文字の大きさと配列に加え、活字と手書き文字の違いや、筆順の意義と原則に触れ、文字の書き方についての理解が深まるよう工夫されている。	漢字と仮名の調和について、なぞり書きから始めて自分で決めた言葉を書くところまで発展させながら、実際の生活に生かせるよう配慮されている。	別冊の「書写ブック」によって筆使いや字形、点画の変化、省略、筆順の変化等、毛筆で学習した内容を硬筆で定着させ、生活に生かせるよう工夫されている。
2 文字文化に関する事項	「思いを文字で表そう」では、「書き手の意図と表現」で学習したことを生かして、自分の思いを効果的に文字で表現することができるよう工夫されている。	「名言集を作ろう」では、これまでに学習したことを生かし、中学校生活の中で出会った大切な言葉を書くことで、文字文化への興味を高めるよう配慮されている。	「三年間の学習の成果を生かそう」では、身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができるよう工夫されている。	「私の好きな言葉」では、これまでの学習を生かし、座右の銘など自分の大切な言葉を書く活動を通して、多様な表現に触れることができるよう工夫されている。

調査研究項目	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	1 単位時間や単元ごとにある「チェック」や「基礎基本のまとめ」では、問いかけが具体的であり、内容が確実に定着するよう工夫されている。	1 単位時間ごとにある「確認」や、章や単元ごとにある「学習のまとめと表現」のコーナーでは、内容が定着するよう配慮されている。	1 単位時間ごとにある「確認しよう」や単元ごとにある「章の学習を確認しよう」では、問いかけが具体的であり、内容が確実に定着できるよう工夫されている。	章や単元ごとにある「学習のまとめ」では、既習の地名や用語などを答えさせる活動を通して、基礎基本が定着できるよう示されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	随所にある「見方・考え方」のコーナーと章末や単元末にある「みんなでチャレンジ」のコーナーが関連しており学びが深まるよう工夫されている。	「読み解こう」のコーナーが多く、単元に掲載され、多様な資料を読み取る活動において思考力・判断力・表現力が身に付くよう示されている。	地理的な見方・考え方を働かせて説明するコーナーは、節頭の「節の問い」に対応しており、多面的・多角的な考察ができるよう工夫されている。	節末にある「アクティビティ」や「チャレンジ」では、学習内容を踏まえて、自分の言葉で分かりやすく説明できるよう配慮されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	1 単位時間ごとの学習内容に対して、探究課題、探究のステップ、学習課題が設定されており、自主的・自発的に学習に取り組めるよう配慮されている。	章ごとに学習テーマが明示され、1 単位時間ごとに、テーマと「学習課題」が設けられており、より一層自主的な学習となるよう工夫されている。	章ごとに「節の問い」で学習テーマが明示され、1 単位時間ごとに「学習課題」が設けられていることで、自主的な学習となるよう配慮されている。	1 単位時間ごとの学習内容に対して「学習課題」が適切に設定されており、生徒が興味・関心を持って学習に取り組めるよう示されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	単元ごとにある「もっと地理」では、各地の生活の特色と課題や対策が多様な視点で捉えられ、その地域の文化などを知ることができるよう工夫されている。	日本の諸地域において、「現代日本の課題を考えよう」では、その地域に暮らす人々の様子が具体的に分かるよう資料が示されている。	随所に「地理プラス」のコーナーがあり、地域の人々の生活や産業の様子が具体的に紹介される等、写真や資料の充実が図られている。	随所に「声コーナー」があり、実際に暮らす人々の言葉を紹介することで、その地域の文化などを知ることができるよう配慮されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	巻頭で「持続可能な社会の実現に向けて」を示すとともに、世界の諸地域の学習において、始めと終わりにSDGsが意識できるよう工夫されている。	巻頭でSDGsについて示すとともに、世界の諸地域において章ごとに地球的課題を取り上げ、現代的諸課題が意識できるよう配慮されている。	巻頭で各国のSDGsの取組を写真付きで紹介するとともに、すべての章において、地球的課題を繰り返して示し、現代的諸課題への意識が高まるよう工夫されている。	世界の諸地域の学習では、各地域のはじめに地球的課題に関連するテーマを取り上げ、その要因や人々の生活への影響が理解できるよう示されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	各単元のはじめに小学校での学習を振り返る場面があり、歴史・公民と関連する内容については関連マークを随所に付け、系統的な学習が進むよう工夫されている。	巻頭に小学校の学習の振り返りがあり、さらに「中学校の社会科の学習を知ろう」で歴史・公民との関連を示すことで、系統的な学習となるよう配慮されている。	ページの下部に、小学校での学習や歴史・公民との関連がある学習内容を具体的に示すことで、系統的な学習となるよう配慮されている。	ページの下部に、小学校で学習した学年や具体的内容を示すとともに、歴史・公民との関連を示すことで、系統的な学習となるよう工夫されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	各州や地方の学習のはじめには、学習テーマと最も関連した内容の写真や図を大きく掲載し、学習内容に興味・関心が高まるよう配慮されている。	各州や地方の学習のはじめには、その単元で学ぶ内容に関連する写真を複数枚掲載し、学習内容に興味・関心が高まるよう配慮されている。	各州や地方の学習のはじめには、大きさが適切で、地域の特色が明確に捉えることができる写真などが掲載されており、資料の充実が図られている。	各州や地方の学習のはじめには、地域の景観の特色が明確に捉えることができるよう、パノラマ写真を掲載するなど資料の充実が図られている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	巻頭にQRコードが活用できる学習内容やページが示されており、クイズ形式の問題が掲載されるなど自主的な学習ができるよう配慮されている。	巻頭にあるQRコードには、関連するページへのリンクや地図、統計資料が閲覧することができ、自主的な学習ができるよう示されている。	随所にQRコードが掲載されており、学習内容を動画で示したり、問題が豊富に掲載されたりしており、自主的な学習が充実するよう工夫されている。	巻頭にあるQRコードには、関連するページへのリンクや地図、写真資料が閲覧することができ、自主的な学習ができるよう示されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	各節の終わりにある「まとめの活動」コーナーでは、多様な活動が掲載されており、他者との対話的・協働的な学習ができるよう工夫されている。	各節の終わりある「学習のまとめと表現」コーナーでは、表現活動や意見交流の例が繰り返して示され、話し合い活動が定着するよう配慮されている。	各節の終わりにある「地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう」コーナーでは、自分で考え、みんなで考える学習の進め方が身に付くよう配慮されている。	1 単位時間ごとに「深めよう」のコーナーが設定されており、自分の考えをグループで話し合えるようなテーマが随所に示されている。

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
1 地域構成に関する事項	地球儀と地図の違いの学習において、6大陸の色を変えることで、実際の大陸の大きさや形と様々な図法による地図の特色が明確になるよう工夫されている。	地球儀上で方位と距離を確かめる学習において、2本のテープを使った実際の測定場面を写真で掲載し、理解しやすいよう示している。	地球儀と地図の違いの学習において、最も大きな違いがある南アメリカ大陸の色を変えることで、様々な図法による地図の特色が明確になるよう配慮されている。	地球儀と地図の違いの学習において、大きな違いがあるアフリカ大陸の色を変えることで、様々な図法による地図と特色が明確になるよう配慮されている。
2 世界各地の人々の生活と環境に関する事項	世界各地の人々の生活と環境の学習において、各気候帯と東京との比較や特色つかみの後に文章でまとめさせるなど、知識の定着が図られるよう配慮されている。	世界各地の人々の生活と環境の学習において、世界地図で気候帯の分布を把握した後に気候帯ごとに雨温図が示され、関連付けて考えられるよう示されている。	世界各地の人々の生活と環境の学習において、すべての気候帯の雨温図を示した後で各気候帯と東京との雨温図を比較し、特色が明らかになるよう工夫されている。	世界各地の人々の生活と環境の学習において、世界地図で気候帯の分布を把握した後で各気候帯と東京と比較し、各気候帯の特色が明らかになるよう配慮されている。
3 世界の諸地域に関する事項	東南アジア諸国の学習において、帯グラフが掲載されており、国ごとの違いや主な国の輸出品の変化が明確に捉えられるよう工夫されている。	東南アジア諸国の学習において、1980年と現在との帯グラフが掲載され、主な国の輸出品の変化や違いが捉えられるよう配慮されている。	東南アジア諸国の学習において、進出した日本企業数の変化のグラフが掲載され、東南アジアの工業化が進んだことが理解できるよう配慮されている。	東南アジア諸国の学習において、円グラフが掲載され、主な国の輸出品の変化や国ごとの違いが明確に捉えられるよう配慮されている。
4 地域調査の手法に関する事項	「スキルアップ」コーナーでは、地理情報システムの活用や課題図の作成、統計資料を使ったグラフ作成等を例示し、問題解決的な学習ができるよう配慮されている。	現代の諸課題の1つである地域防災を取り上げ、聞き取り調査等の手順を詳細に説明するなど、問題解決的な学習ができるよう配慮されている。	「技能をみがく」では、調査方法が分かりやすく示され、まとめでは、イラストを用いて具体的に示されており、問題解決的な学習が展開できるよう工夫されている。	「スキルアップ」では、プレゼンテーションや新聞形式など様々な表現方法が例示され、問題解決的な学習が展開できるよう配慮されている。
5 日本の地域的特色と地域区分に関する事項	地形から見た日本の特色において、様々な角度からの写真、地形図やイラストを掲載し、扇状地や三角州など様々な地形の違いを考察できるよう工夫されている。	変化に富む日本列島の地形において、火山分布、河川や平野などを示す複数の日本地図を掲載し、文章での解説が丁寧で分かりやすく理解できるよう配慮されている。	日本の地域的特色において、グラフや写真、イラストを豊富に掲載し、扇状地や三角州など様々な地形の違いを考察できるよう工夫されている。	地形から見た日本の地域的特色と地域区分において、山脈、河川や平野などを示す複数の日本地図を掲載し、分かりやすく理解できるよう配慮されている。
6 日本の諸地域に関する事項	中部地方では、降雪量の主題図や北陸の農業生産額のグラフなどから農業の特色を読み取らせ、伝統産業が発達した理由も考えられるよう工夫されている。	中部地方では、この地域の主な果の農業生産額のグラフを取り上げることにより、北陸・東海・中央高地の産業の違いについて捉えられるよう工夫されている。	中部地方では、北陸と東海・中央高地との農業生産額の比較ができるグラフが示されるとともに「地理プラス」で金沢の伝統文化の学習ができるよう工夫されている。	中部地方では、全国と北陸の農業生産額のグラフの比較や、石川県の伝統産業の取組の提示で、北陸の産業の特色が捉えられるよう配慮されている。
7 地域の在り方に関する事項	既習事項とSDGsを関連させるとともに、地域の課題を他の地域の事例と比較させることで、問題解決について考えられるよう工夫されている。	既習事項を基に、農村・都市などの課題の解決がどのように図られたかを具体的に例示することで、調査や発信の仕方が身に付けられるよう工夫されている。	持続可能な社会を考え続けるという視点から、日本の諸地域で考えたことを基に、各自が自分の地域の課題を考えることができるよう工夫されている。	既習事項を基に、地域の課題を見出し、その解決に向けて障害者や高齢者など様々な立場で課題解決に向けて考え、発信できるよう工夫されている。
8 北方領土の記載に関する事項	地図や写真、本文で、北方領土の地形的特徴や自然環境等が説明されており、北方領土が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	写真や年表を掲載するとともに、本文で歴史的経緯が詳しく説明されており、北方領土が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	国境の移り変わりの資料や本文等で歴史的経緯が詳しく説明されており、北方領土が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	北方領土付近の国境の変化の資料や本文等で歴史的経緯が詳しく説明されており、北方領土が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。
9 竹島の記載に関する事項	地図や写真、本文で、竹島の位置や地形的特徴、自然環境等が説明されており、竹島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	南東を上にした日本海周辺地図が大きく掲載されるとともに本文で歴史的経緯が説明されており、竹島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	写真や地図、本文、「地理プラス」コーナーで、位置や歴史的経緯、産業が説明されており、竹島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	地図や写真、本文で、位置や歴史的経緯、産業等が説明されており、竹島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。
10 尖閣諸島の記載に関する事項	地図や写真、本文で、尖閣諸島の位置や地形的特徴、自然環境等が説明されており、尖閣諸島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	地図や写真、本文で、尖閣諸島の位置や歴史的経緯が説明されており、尖閣諸島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	地図や写真、本文で、尖閣諸島の位置や歴史的経緯が詳しく説明されており、尖閣諸島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	地図や写真、本文で、尖閣諸島の位置や歴史的経緯、産業が詳しく説明されており、尖閣諸島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。

調査研究項目	2 東叢	17 教出	46 帝国	81 山川
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	「チェック」では基礎事項を確認し、「トライ」では、要約や説明をさせるなど、2段階に分けて学習課題を解決し、学習内容が定着するよう工夫されている。	「確認」では基礎事項の確認をし、「表現」では、学んだことを説明させるなど、2段階に分けて知識や技能の確認・整理が行えるよう工夫されている。	「確認しよう」では基本的事項を本文から書き出し、「説明しよう」では学んだことを説明し、2段階に分けて基礎的な知識の確認が行えるよう工夫されている。	見開き2ページにおいて、学習課題と本文のあとの「ステップアップ」で振り返りを行うなど、基礎的な知識を身に付けることができるよう示されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	各章末の「まとめの活動」では、「思考ツール」を使い、学習内容を整理しながら、各時代を大観し、時代の特色をより深く思考・判断できるよう工夫されている。	章末の「学習のまとめと表現」で、授業で学んだ内容を整理し、各時代の特色を考えることで思考力・判断力を高めることができるよう配慮されている。	章末の「章の学習を振り返ろう」では、「歴史的な見方・考え方」を働かせて、各時代の特色を説明させ、思考力・判断力・表現力を高められるよう工夫されている。	章末のまとめでは、授業で学んだことを整理し、その後の歴史や現代の自分たちに、どのような影響があったのかを考えることができるよう配慮されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	各章の導入部の「探究課題」では、小学校の学習を振り返ることで、学習への興味・関心を高め、課題に自主的に取り組むことができるよう工夫されている。	導入の「学習を始めよう」の発問や充実した資料により、生徒の興味・関心を高め、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫されている。	各時代を概観する特設「タイムトラベル」では、資料を読み解く活動において、当時の社会への興味をふくらませ自発的な学習につながるよう工夫されている。	「歴史へのアプローチ」や「地域へのアプローチ」では、テーマを設定し、歴史的に深く掘り下げた解説によって、自発的な学習が促されるよう配慮されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	巻頭見開きのカラーページや「もっと歴史」では、日本の伝統文化を紹介し、伝統や文化を尊重する態度や、道徳心が育まれるよう配慮されている。	巻頭の「私たちにつながる歴史」や「歴史を探ろう」では、資料を掲載し、日本の伝統や文化を尊重する態度を育て、道徳性を養うことができるよう配慮されている。	巻頭の「伝統行事と祭り」や「歴史を探ろう」のコーナーで琉球とアイヌの人々の暮らしなどを掲載し、伝統や文化の尊重や、道徳性を養うよう工夫されている。	琉球やアイヌの歴史と文化について、史料の細部をクローズアップすることで、様々な角度から課題を追求できるように工夫されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	巻頭の5つのテーマや、巻末の「もっと歴史」、「アクセス」では、防災・環境などの取組を掲載し、現代的な諸課題への関連が理解できるよう工夫されている。	「歴史学習の終わりに」では、歴史の流れを踏まえて現代の諸課題を「持続可能な開発」の視点と関連付けて考えられるよう配慮されている。	巻末の「多面的・多角的に構想する」の「未来に向けて」では、「持続可能な開発」の視点から現代の社会的な課題を考えることができるよう配慮されている。	「地域からのアプローチ」では、広島を通して平和について考え、最後の授業の単元では、現在の日本の課題を掲載するなど、課題が追究できるよう配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	3分野や他教科が関連する内容や資料にはマークが付され、章の導入部で小学校での既習事項を明確にして、学習がスムーズにつながるよう工夫されている。	第1章では、「歴史すごろく」で小学校で学習した歴史の流れを振り返りながら、中学校第1学年への学習がスムーズにつながるよう配慮されている。	左ページ下には、小学校・地理・公民との関連が記載されており、節の冒頭の「タイムトラベル」で小学校で学んだ主な出来事を掲載するなど工夫されている。	「歴史の流れをつかむ」「歴史を考える」「世界史を知る」の3つの視点から構成され、高等学校につながる教科書として構成・叙述の流れ等の充実が図られている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	インターネットを活用した学習が効果的な部分には、Dマークが付しており、関連したコンテンツから情報を活用して学習ができるよう工夫されている。	各章の始めの「学びリンク」にQRコードが掲載されており、インターネットを活用した学習が効果的に進められるよう工夫されている。	各章の冒頭のQRコードから、学習内容に関連する動画を配信するサイトにとび、動画を通して理解を高めることができるよう工夫されている。	「くわしく見てみよう・聴いてみよう」では、QRコードから、博物館・資料館のホームページや動画をしたり、音声を聞いたりすることができるよう配慮されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベータ型カリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	章末の「探究のステップ」では、探究課題を解決するために知識や技能を活用し、3つのステップで迫ることができるよう工夫されている。	章末の「学習のまとめと表現」では、年表や図を使って時代をつらぬく課題を自分の言葉で説明することができるよう配慮されている。	章末の「章の学習を振り返ろう」では、3つのステップで歴史的な見方・考え方を働かせて時代の特色を考えることができるよう工夫されている。	章末の「まとめ」では、章全体の時期・因果関係等に着目させる発問を設定し、各時代の流れや特徴を振り返ることができるよう工夫されている。
9 「自分で みんなで考える金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	章末のまとめの活動「みんなでチャレンジ」では、対話的な学習の場面を作り、他者との協働を通じて時代の特色をまとめることができるよう工夫されている。	章末の「学習のまとめと表現」では、歴史的現象について説明したり話し合ったりする活動が示され、表現活動に取り組めるよう配慮されている。	「多面的・多角的に考えてみよう」では、当時の様々な課題を自分の意見を理由とともに説明したり、他者と話し合ったりすることができるよう工夫されている。	「歴史を考えよう」では、地図や史料を活用して、歴史的現象についての説明や話し合いなどの表現活動に取り組めるよう配慮されている。

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

調査研究項目	116 日文	227 育鷗社	229 学び舎
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	1単位時間の学習の「確認」において、学習課題に基づく基礎的・基本的な知識を定着させ説明することができるよう配慮されている。	各章の「学習のまとめ」では、学習した内容を年表や地図・資料に表し、学習課題に基づく基礎的・基本的な知識・技能が身に付くよう配慮されている。	「章をふりかえる」では、学習した重要用語を書き込む学習活動が掲載され、学習課題に基づく基本的な知識が習得できるよう示されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	各単元末の「深めよう」のコーナーでは「見方・考え方」を活用して課題解決をし、思考力・判断力・表現力を高められるよう工夫されている。	章末の学習のまとめでは、歴史的な見方・考え方を働かせ、自分の言葉や図を使って、時代の特色について示すことができるよう配慮されている。	「章をふりかえる」では、歴史的な事象を関連付けたり、意見を交換したりすることで、思考力・判断力・表現力を育むことができるよう配慮されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	導入ページでは、大判の紙面を活かしたビジュアルで多彩な図版を用いており、生徒の興味を引き出し自発的な学習が促されるよう配慮されている。	「鳥の目」の「歴史絵巻」で興味を引き出し、「虫の目」の「○○の世界へようこそ!」で詳しい説明があることで、自発的な学習が促されるよう工夫されている。	「章の扉」では、北極中心の世界地図に写真や絵を描くことで生徒の興味・関心を引き出し、「歴史を体験する」で自発的な学習を促すよう工夫されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	巻頭や「歴史を掘り下げる」「先人に学ぶ」では、神話を掲載したり、伝統文化の担い手を紹介して、伝統や文化を尊重する態度が育まれるよう工夫されている。	巻頭や「歴史ズームイン」「人物クロスアップ」では、神話や歴史を動かした人物を紹介し、伝統や文化を尊重する態度や道徳性を養えるよう工夫されている。	文化遺産や、平安文化・室町文化を生み出した人々の願いと、社会の状況、文化を継承していった人々の営みが具体的に掲載されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	「歴史との対話を未来に活かす」では、現代の諸課題についてその歴史を振り返り先人たちの知恵を学ぶことができるよう配慮されている。	「歴史ズームイン」や「歴史ビュー」では、震災・人口問題・オリンピックなど現代の諸課題との関連が図られるよう配慮されている。	「現代の学習のまとめ」では、国際社会の課題や公害・環境問題、戦争・平和の問題など現代の諸課題についての考えを掲載している。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	導入で小学校の学習の振り返りを行い、左ページ下に小学校で学習した人物との関わりや、地理・公民の分野との関連がわかるよう工夫されている。	序章の「小学校で学んだ人物とその似顔絵」では、小学校の既習事項の確認を行い、中学校での学習がスムーズにつながるよう配慮されている。	巻頭や巻末の「歴史地図」では、歴史的な史跡や出土地、おもな関係地を世界地図で示し、地理的分野の学習との関連付けて示している。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	巻頭のデジタルマークから、各章の学習に関連する動画やワークシート、博物館のホームページにリンクし、学習を深めることができるよう工夫されている。	本文の文字の大きさや書体が適切であり、図表や図解資料は判別しやすい色を使用し、写真や図中の文字も鮮明であるなど見やすくなるよう配慮されている。	A4版見開きページを使い、絵画資料・写真・文書・新聞・統計資料など多様な資料を大きな画像で掲載し、学習を深めることができるよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	章末の「アクティビティ」では、習得した知識や技能を関連させて、3つのステップで時代の特色に迫ることができるよう工夫されている。	「私の博物館」をデザインしてみようでは、歴史博物館の学芸員になったつもりで展示方法を考え、各時代の特色を深くとらえることができるよう工夫されている。	章末の「学習のまとめ」の前半部分では、学習した知識や技能をふまえて、時代の特色をまとめることができるような課題が示されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	「チャレンジ歴史」では、資料をもとに歴史について段階的に自分で考えたり、対話したりして学習を深めることができるよう工夫されている。	「歴史のターニングポイント」では、時代を代表する大きな出来事について、くわしく掘り下げて考え、他者と意見を交換して学習を深められるよう工夫されている。	各章の最後の「章をふりかえる」では、歴史的な事象を関連付けたり、意見を交換したりして、グループ活動を通して思考を深められるよう配慮されている。

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川
1 私たちと歴史に関する事項		「歴史へのとびら」では時代の区切りや西暦・元号などで具体的にとらえたり、年表に関する「スキルアップ」で技能習得ができるよう工夫されている。	「歴史のとらえ方・調べ方」では小学校での既習事項をゲーム形式で時代の分け方を確認するとともに、歴史の技で調べ学習の技能が高まるように配慮されている。	「歴史のとらえ方と調べ方」では年代や時代区分の表し方を年表と結びつけて表現したり、小学校での学習と関連付けながら理解できるよう工夫されている。	「歴史との対話」では、西暦と世紀や年号、干支などの年代の表し方や、考古学・政治・社会による時代区分を分かりやすく示している。
2 身近な地域の歴史に関する事項		身近な地域の歴史を調べる際の手順を丁寧に説明するとともに、収集した情報について年表などにまとめる技能を高めることができるよう工夫されている。	身近な地域の歴史の学習では、情報収集や調査方法などを具体的に紹介するとともに、優れたまとめや発表の方法が理解できるよう配慮されている。	身近な地域の歴史の学習では、調べ学習の手順を「技能をみがく」のコーナーで具体的にスキルを紹介し、分かりやすいまとめ・発表ができるよう工夫されている。	身近な地域の歴史の学習では、レポートの書き方や発表の仕方について示すとともに、分かりやすいまとめや発表ができるよう工夫されている。
3 古代までの日本に関する事項		「もつと歴史」では、古事記や日本書紀の神話やそれを取り入れた神楽を取り上げ、当時の人々の信仰や考え方に気付くことができるよう配慮されている。	「歴史を探ろう」では、古事記や日本書紀などに記された神話から当時の人々の信仰やものの見方について捉えられるよう工夫されている。	「歴史プラス」のミニコラムでは、古事記や日本書紀が伝える神話を取り上げ、古代の人々の考え方に気付くことができるよう配慮されている。	「コラム」では、古事記や日本書紀の神話が天皇家の神話と結び付いていること、各地域の人々の思想や文化を知ることができるよう配慮されている。
4 中世の日本に関する事項		「探究のステップ」で武士政権の成立と東アジアにおける交流と農業・商工業の発達を相互に関連付けて中世の社会の変化を捉えることができるよう工夫されている。	章末の「中世の時代の特色を考えよう」で中世の特色を武家政治・東アジアをはじめとした外国との関係・文化の観点でまとめることができるよう工夫されている。	章末の振り返りで、武家政権の成長や東アジアをはじめとした外国との関係を土台に中世の特色を大観して捉えることができるよう配慮されている。	中世の特色を武士・農民・守護・荘園領主などの立場で多面的・多角的に捉えるとともに、外国との結びつきについて考えることができるよう配慮されている。
5 近世の日本に関する事項		「探究のステップ」で交易の広がり、江戸幕府の政策の目的、産業・文化の発達を関連付け、近世の特色を捉えることができるよう工夫されている。	「近世の時代の特色を考えよう」で年表や図などを用いながら江戸幕府の政策などを理解し、時代の特色を大観できるよう配慮されている。	章末の振り返りで、章を貫く問いに対して、江戸幕府の安定した政権を成立させた理由や根拠を捉えることができるよう工夫されている。	章末の「まとめ」で近世の社会のしくみや世界とのつながり、商品の生産と流通、江戸幕府の政策についてまとめることができるよう配慮されている。
6 近代の日本と世界に関する事項		「探究のステップ」から近代化による社会の変化やどのようにして二つの大戦に突入していったのかを探究できるように工夫されている。	章末の「学習のまとめと表現」では、二つの大戦を比較するとともに、大戦期はどのような時代だったかを表現できるように配慮されている。	章末の「章の学習を振り返ろう」では、二つの大戦の流れを国民の世論の視点で考えて表現することができるような課題が工夫されている。	章末の「まとめ」で欧米の近代化や開国の背景と経緯、新政府の近代化の目的、二つの対戦等の比較などを通して、近代の特色が表現できるように配慮されている。
7 現代の日本と世界に関する事項		「歴史に学び、未来へ生かそう」では、これまで学習してきたことの中からテーマを選び、将来の時代の幸福を見据えた社会を考えることができるよう工夫されている。	歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、巻末で歴史を振り返って、未来を構想することができるよう配慮されている。	「未来に向けて」では、現在と未来の日本や世界の在り方について巻末2ページで考え、未来の中学生にメッセージを考えることができるよう配慮されている。	歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、巻末のまとめで解決すべき問題点に対する解決策を考察できるように配慮されている。
8 北方領土の記載に関する事項		「領土をめぐる問題の背景」では、北方領土の歴史的背景とその領有の経緯を取り上げ、問題の理解と解決に向けての意識が高められるよう工夫されている。	「隣国と向き合うために」において、北方領土について歴史的背景や経緯について取り上げ、問題解決に向けて意識が高まるよう工夫されている。	日本の領土固定と近隣諸国をテーマに、北方領土をめぐる領土問題発生にいたる経緯と政府の取り組みが国際法に則ったものであることが分かるよう工夫されている。	北方領土をめぐる領土問題の変遷をテーマに、歴史的経緯と課題について、地図や写真等を示し、政府の取り組みについて理解が図られるよう工夫されている。
9 竹島の記載に関する事項		「領土をめぐる問題の背景」では、竹島の歴史的背景とその領有の経緯を取り上げ、問題の理解と解決に向けての意識が高められるよう工夫されている。	「隣国と向き合うために」において、竹島について歴史的背景や経緯について取り上げ、問題解決に向けて意識が高まるよう工夫されている。	日本の領土固定と近隣諸国をテーマに、竹島をめぐる領土問題発生にいたる経緯と政府の取組が国際法に則ったものであることが分かるよう工夫されている。	竹島をめぐる領土問題の変遷をテーマに、歴史的経緯と課題について、地図や写真等を示し、政府の取組について理解が図られるよう工夫されている。
10 尖閣諸島の記載に関する事項		「領土をめぐる問題の背景」では、尖閣諸島の歴史的背景とその領有の経緯を取り上げ、問題の理解と解決に向けての意識が高められるよう工夫されている。	「隣国と向き合うために」において、尖閣諸島について歴史的背景や経緯について取り上げ、問題解決に向けて意識が高まるよう工夫されている。	日本の領土固定と近隣諸国をテーマに、尖閣諸島をめぐる領土問題発生にいたる経緯と政府の取り組みが国際法に則ったものであることが分かるよう工夫されている。	尖閣諸島をめぐる領土問題の変遷をテーマに歴史的経緯と課題について、地図や写真等を示し、政府の取り組みについて理解が図られるよう工夫されている。

調査研究項目	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
1 私たちと歴史に関する事項	「私たちと歴史」では小学校の学習の振り返りを行い、年代・時代区分の表し方を示し、時系列・推移・比較・つながりを歴史考察の手立てとして配慮されている。	「歴史の流れと先人の活躍」で小学校での学習を振り返りながら、年代や時代区分について身に付けることができるよう配慮されている。	「歴史への案内」で小学校での学習を振り返りながら、年代や時代区分が理解できるよう示され、また、地域学習の意味も示されている。
2 身近な地域の歴史に関する事項	各章の中に「出かけよう!地域調べ」のコーナーを設け、現地調査や地図・写真等を活用した調査などの方法を示し、調べ活動が上達するよう配慮されている。	身近な地域の歴史の学習では、大阪城と横浜を例として紹介するとともに、調査方法やまとめ方・発表の仕方が上達するよう配慮されている。	身近な地域の歴史の学習では、「地域の博物館で調べる」や「地域の歴史を歩く」といったテーマを通じた調べ方等が示されている。
3 古代までの日本に関する事項	「歴史を振り返る」では、現代に生きる私たちにとって、その時代の人々の信仰やものの見方を知る手がかりにつながるよう工夫されている。	神話に見る我が国誕生の物語では、国の成り立ちについての解釈や生活の様子、ものの考え方を調べるうえで貴重な手がかりとなるよう工夫されている。	「歴史と神話の本をまとめる」では、古事記が完成した成り立ちや目的、内容を分かりやすく掲載するとともに、常陸国風土記についても示している。
4 中世の日本に関する事項	章末の振り返りで、古代と中世を比較しながら、武家政権や東アジアをはじめとする外国との関わりを捉え、中世の特色が理解できるよう配慮されている。	章末の振り返りで年表や地図・資料を活用しながら、武家政権や東アジアをはじめとする外国との関わりを捉えることができるよう配慮されている。	章末のまとめで地図や年表・語句などを用いながら、武家政権や東アジアをはじめとする外国との関わりを捉えて、中世の特色が体感できるよう配慮されている。
5 近世の日本に関する事項	章末の振り返りで、近世の特色を江戸幕府の改革を通してつかみ、幕末にむけての社会の変化を経済面から考え、近世を大観することができるよう配慮されている。	章末の振り返りで年表や地図・資料を活用しながら、江戸幕府の政策などを理解し、近世の特色を大観することができるよう配慮されている。	章末のまとめで年表・写真資料などを用いながら、江戸幕府の政策をまとめ、どのような時代だったかを前の時代と比較しながら表現できるよう工夫されている。
6 近代の日本と世界に関する事項	近代を前後半に分けて捉え、章末の振り返りで、それぞれ明治政府の政策・戦争などをテーマに時代の特色を大観することができるよう配慮されている。	章末の振り返りで年表や地図・資料を活用しながら、二つの大戦を比較し、この時代はどのような時代だったかを表現できるよう配慮されている。	章末の「学習のまとめ」では、第一次世界大戦の反省を活かせず、再び大きな戦争が起きた理由を表現することができるよう課題が示されている。
7 現代の日本と世界に関する事項	歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、歴史との対話を未来に活かす課題例をあげ、自らまとめることができるよう配慮されている。	歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、「歴史新聞づくり」や「歴史を体感する」で、表現できるよう配慮されている。	歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、章末のまとめで戦争と平和の問題等について考えることができるよう工夫されている。
8 北方領土の記載に関する事項	冷戦直後の近隣諸国との関係をテーマに北方領土について、地図や写真などを示しながら歴史的背景などを表し、政府の取組が分かるよう工夫されている。	わが国の領土をめぐる問題の歴史をテーマに北方領土の歴史的背景と経緯を地図や資料を示しながら、政府の主張の正当性が分かるよう工夫されている。	近隣諸国と我が国の間で、領土をめぐる問題となっている北方領土については、該当するページの脚注などにおいて、簡潔に示されている。
9 竹島の記載に関する事項	冷戦直後の近隣諸国との関係をテーマに竹島について、地図や写真などを示しながら歴史的背景などを表し、政府の取組が分かるよう工夫されている。	わが国の領土をめぐる問題の歴史をテーマに竹島の歴史的背景と経緯を地図や資料を示しながら、政府の主張の正当性が分かるよう工夫されている。	近隣諸国と我が国の間で、領土をめぐる問題となっている竹島については、該当するページの脚注などにおいて、簡潔に示されている。
10 尖閣諸島の記載に関する事項	冷戦直後の近隣諸国との関係をテーマに尖閣諸島について、地図や写真などを示しながら歴史的背景などを表し、政府の取組が分かるよう工夫されている。	わが国の領土をめぐる問題の歴史をテーマに尖閣諸島の歴史的背景と経緯を地図や資料を示しながら、政府の主張の正当性が分かるよう工夫されている。	近隣諸国と我が国の間で、領土をめぐる問題となっている尖閣諸島については、該当するページの脚注などにおいて、簡潔に示されている。

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。		章を貫くテーマが明確で、豊富な情報やスキルアップの課題を効率よく配置し、単元末等の確認で基礎的・基本的な内容が習得できるよう工夫されている。	基礎的・基本的な内容が系統的に示され、本文や巻末での解説や単元末での基礎的・基本的な内容を確認する欄で学習内容が定着できるよう工夫されている。	章の構成が工夫されており、資料活用や思考ツール活用の場面が設定されるなど、基礎的・基本的な内容が身に付けられるよう工夫されている。	基礎的・基本的な内容が多様な資料とともに述べられており、単元末で思考ツールを用いて確認する欄があり、学習内容が定着できるよう配慮されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。		見方・考え方を養う思考課題が随所にあり、思考ツールを活用しながら探究のステップやまとめの活動によって問題解決能力を高めるよう工夫されている。	単元ごとに公民の見方・考え方を働かせて思考・判断・表現するような問いがあり、知識や技能を活用して課題を解決する記述の充実が図られている。	随所に探究型の課題が提示され、章末では見方・考え方を働かせて章全体を振り返るなど、知識・技能を生かして考えられるよう構成が工夫されている。	章末で、見方・考え方を働かせて思考・表現する活動や、思考ツールを活用して思考を明確にするコーナーがあり、学びを深めるよう配慮されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。		各章の導入イラストで興味・関心を喚起し、章を貫くテーマと探究のステップを示すことで、生徒が意欲を持ち自発的に学習に臨めるよう工夫されている。	興味・関心を高めるよう章や単元の冒頭で写真・資料やセリフを示し、資料をもとに考察する過程が示され、自主的に学習できるよう配慮されている。	章の冒頭で提示されるイラストが詳細で学習とともに深く読み取れる内容であり、生徒が興味・関心を持ち、学びの深化を振り返ることができるよう工夫されている。	学校をテーマとした漫画や写真を用い、興味・関心を高めるとともに、各単元に学習課題と見方・考え方が明示され、意欲を高めるよう配慮されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。		日本の伝統文化を、多様性とともに理解し、継承、発展していこうする態度を養うとともに、多文化共生を目指す資質が育成できるよう配慮されている。	文化の保存、継承や、外国文化の受容、新しい文化の創造の意義について述べることで、文化を尊重する態度が育成できるよう配慮されている。	「先輩たちの選択」コーナーで狂言師の野村萬斎さんを取り上げ、文化の継承や創造の大切さを理解し、尊重する態度が育成できるよう配慮されている。	日本の文化が外国との交流の中で形成されてきたことに触れ、我々も文化を創造する当事者であることに気付かせるよう配慮されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。		「公民にアクセス」では世界の水問題やエンシカル消費等の現代的課題を多数扱い、SDGsの視点から地球環境を考える学習が充実するよう工夫されている。	全体を通じてSDGsがテーマであり、各単元の随所で関連が示され、生徒が学習を生かし社会の一員としてあるべき姿を思考、提言できるよう工夫されている。	巻末に防災・減災等の社会参画について扱うとともに、SDGsの学習後にレポートを作成するなど、現代的な諸課題について学習できるよう工夫されている。	巻頭や本文中にもSDGsに関連する記述があり「チャレンジ公民」では地球温暖化対策を考えるなど、現代的な諸課題の学習が充実するよう工夫されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。		地理・歴史との関わりが示され、思考する場面が設定されているとともに、内容は系統的に構成・配列され、効率よく学習できるよう配慮されている。	小学校や地理・歴史の学習内容との関連が示されるとともに、学習したことを意識的に振り返り、系統性のある構成となるよう工夫されている。	小学校や地理・歴史との関連が示されるとともに、系統的・発展的に構成され、各単元で学習内容を確認し、章末で発展的な内容に取り組めるよう工夫されている。	学習内容に関わる地理・歴史や公民の既習の学習内容を想起させる問いが設けられ、学年相互間の関連や公民的分野の学習の系統性が配慮されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適切であり、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。		生徒の発達段階に応じて、適切な大きさの図版や写真が掲載されており、本文と資料が関連付けられ、学習が進めやすいよう工夫されている。	挿絵、写真、図版の大きさや色調は適切であり、文字の書体、大きさともに明瞭で、本文と資料が関連付けられ、理解しやすいよう工夫されている。	生徒の発達段階が考慮され、抽象的な事項を理解しやすいよう挿絵や図版が掲載され、本文と資料が関連付けられるよう工夫されている。	点字を体験できるページがあるなど、本文と特集記事を組み合わせる学習内容を適切に身に付けられるよう学習活動が充実するよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。		巻頭のQRコードからは、選挙シミュレーションや映像資料の視聴、関連リンクへの接続など、生徒が自ら学習を発展させられるよう工夫されている。	巻頭のQRコードからは、各省の学習に関連するサイトを閲覧することができるようになっており、自主的な学習が充実するよう工夫されている。	巻頭のQRコードからは、関連資料や思考ツールの説明動画を閲覧したり、基礎的・基本的な内容の確認を解答を確認しながら進めたりできるよう工夫されている。	巻頭のQRコードからは、ワークシートや動画、関連リンク集を表示することができ、生徒が自ら調べ、学習を進められるよう工夫されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。		「みんなでチャレンジ」コーナーで探究型の課題や他者と協働して思考を深め、解決へと向かう学習の流れが例示され、構成が工夫されている。	「公民の技」コーナーやジグゾー法に取り組むコーナーで、グループでの学習を生かして自分自身の考えを深められるよう構成が工夫されている。	「アクティブ公民」コーナーで、自分で、みんなで考える課題が示され、自分事として捉え、深め、納得できるよう内容や構成が工夫されている。	「アクティビティ」のコーナーで学習を深める問いが示され、単元の内容に関連して思考を深め、技能を身に付けることができるよう配慮されている。

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

調査研究項目	発行者番号・略称 225 自由社	227 育鵬社		
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	本文と同ページの欄外に語句の説明や解説が示されるとともに、単元ごとに要点が述べられており、基礎的・基本的な内容が定着するよう配慮されている。	KJ法やランキングなどのコーナーが設けられているとともに、資料や語句の解説を参考に、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるよう配慮されている。		
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	各章に「アクティブに深めよう」のページがあり、それぞれの章で身に付けた知識や技能を活用して課題を解決する学習ができるよう配慮されている。	各単元に示されている鉛筆マークの課題に取り組むことにより、知識や技能を活用して思考力・判断力・表現力が育成されるよう配慮されている。		
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	「ここがポイント」で自発的に学習できるよう要点が示され、「もっと知りたい」のコーナーで生徒が今日的課題に触れ関心を持てるよう配慮されている。	金沢市の旧町名復活の推進に関する条例が主計町の茶屋街の写真とともに掲載されており、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。		
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	日本の伝統と文化や芸術・科学・宗教について、本文や「もっと知りたい」のコーナー、巻末の資料等で大きく扱い、学習の充実が図られている。	伝統と文化の学習では、日本の文化の歴史や継承について、本文と巻末の特集で多面的に紹介し、多様な事例をもとに理解を深められるよう工夫されている。		
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	日本人の拉致事件問題や近隣諸国の人権問題を取り上げることで、国際的に普遍的な価値を持つ人権問題について理解できるよう工夫されている。	本文だけでなく巻頭や巻末にSDGsについて教材を掲載し、現代の日本や世界の諸課題の解決に向けた取組について考えられるよう配慮されている。		
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	「もっと知りたい」のコーナーで歴史的な内容を取り上げ、学習した内容との関連付けが図られるなど、系統的な学習ができるよう示されている。	地理・歴史・公民の概念図を大きな図版で示し、歴史・地理と関連している単元には関連マークが明記されるなど、既習と関連付けて考えられるよう配慮されている。		
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達の段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	活字が大きく重要語句は太字になっており、写真や図の印刷も明瞭で、それぞれに題名や解説が表示されるなど、生徒が読みやすいよう配慮されている。	挿絵や図などが生徒の発達段階に応じて見やすいよう作成・配置されており、本文と資料が関連付けられ、生徒が理解しやすいよう工夫されている。		
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	魅力あるまちづくりを考える探究型の課題が設定され、身近な地域についてグループ活動を行い、社会の一員としての資質を育むよう配慮されている。	自分の住むまちの課題を解決する問いが設定され、取組の重要度をランキング付けする活動など、発展的な課題を解決する力が育成できるよう配慮されている。		
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	「やってみよう」のコーナーや終章のディベート・レポート作成を通して、思考・表現しながら課題を解決することで学習が深まるよう配慮されている。	章末で言語活動やポスターツアーが設定され、課題について他者の意見を取り入れながら自らの思考を深め、表現することができるよう工夫されている。		

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
1 私たちと現代社会に関する事項		現代社会の特色について理解するとともに、身近な例を用いた課題について、対立から合意に導く適切な方法を、他者と協議しながら構築できるよう工夫されている。	地域のルールを考える学習活動を通して、効率と公正について配慮しながら対立を合意に導く方法を考察し、適切に表現することができるよう工夫されている。	現代社会の特色を近年の変化とともに多面的に理解し、社会生活の中で起こる対立を合意に導くためにはどうすればよいか事例を基に考察できるよう工夫されている。	身近な例をもとに対立と合意、効率と公正の視点を示すとともに、統計情報の読み取りや活用を行う特設ページを設け、現代社会を理解できるよう配慮されている。
2 私たちと経済に関する事項		経済のしくみや基本的な考え方を分かりやすく述べ、シミュレーション活動等を通じて生徒が主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。	「公民の技」や「起業にチャレンジ」のコーナーで、生徒が多様な資料や学習で身に付けた知識・技能を生かして思考・判断・表現できるよう配慮されている。	経済活動の疑似体験や企業の企画書を作成させる活動によって、経済の基本的な考え方や、企業の社会的役割と責任を理解できるよう工夫されている。	経済のしくみを分かりやすく述べるとともに、社会保障のあり方を考える特設ページを設けており、財政の役割や租税の意義を理解できるよう工夫されている。
3 私たちと政治に関する事項		政治のしくみや課題について、模擬裁判や市長の選出等の活動を通して考え、将来の主権者として主体的に政治参加する視点を身に付けられるよう工夫されている。	政治のしくみや政治参加について、国民の司法参加やクリティカルシンキングについて学ぶことで、公民的な資質・能力を身に付けられるよう配慮されている。	政治のしくみや課題について分かりやすく述べており、まちづくりや模擬裁判等主権者として主体的に考える場面を設定するなど、理解が深まるよう工夫されている。	模擬裁判の学習など、人権や政治を身近なものとして考えられるよう構成されているとともに、新聞紙面を例示し学習内容が俯瞰できるよう配慮されている。
4 私たちと国際社会の諸課題に関する事項		SDGsの視点で考える「はちみつの争い」など、持続可能な社会の実現に向けて、一人一人が自分事として国際社会について考えられるよう工夫されている。	持続可能性を妨げる国際社会のいくつかの課題に優先順位を付け、どれから解決すべきかを考えることで、自分の考えをまとめられるよう配慮されている。	現代の国際社会における諸課題を理解するとともに、発展途上の教育に関するレポート作成を例に、世界的な視野や視点に立って探究できるよう配慮されている。	SDGsの実現に向けて、課題に優先順位をつけて考察することで、持続可能な社会の実現に向けてどのような取組が必要かを考察できるよう配慮されている。
5 北方領土の記載に関する事項		北方領土の歴史的経緯や現状が複数の写真を用いて述べられており、我が国が平和的に問題解決するために努力していることが理解できるよう配慮されている。	北方領土に関わる地図や写真を複数掲載して説明されており、問題の解決を目指して交渉が継続中であることが理解できるよう配慮されている。	北方領土に関する歴史的な事項を地図や資料を交えて解説し、我が国がロシアと平和的に解決するために努力していることが理解できるよう配慮されている。	北方領土について、本文と特集記事で歴史や現在の状況が述べられ、我が国がロシアと平和的に解決するために努力していることが理解できるよう工夫されている。
6 竹島の記載に関する事項		竹島について、韓国が不法に占拠していることや我が国が国際司法裁判所の判断に委ね、平和的に解決する提案を行っていることが理解できるよう配慮されている。	竹島について、韓国が不法に占拠し、問題が未解決であることや、我が国が平和的解決に向けて努力していることが理解できるよう配慮されている。	竹島について、歴史的経緯を述べるとともに、韓国が不法に占拠しており、日本が問題の平和的解決を図って努力していることが理解できるよう配慮されている。	竹島について、歴史や現在の状況について本文や特集記事で大きく扱い、日本が平和的解決に向けて努力していることが理解できるよう工夫されている。
7 尖閣諸島の記載に関する事項		尖閣諸島について、日本が実効的に支配し、日本固有の領土であることは広く認められており、領土問題は存在しないことが理解できるよう配慮されている。	尖閣諸島について、地図や資料を掲載し、我が国には解決すべき領有権の問題は存在しないということが理解できるよう配慮されている。	尖閣諸島について、資料を交えて述べられており、中国との間に解決すべき領有権の問題は存在しないことが理解できるよう配慮されている。	尖閣諸島について、本文および特集記事で述べられており、中国との間に解決すべき領土問題は存在しないことが理解できるよう工夫されている。

調査研究項目	発行者番号・略称 225 自由社	227 育鷗社		
1 私たちと現代社会に関する事項	グローバル化による我々の生活の変化について整理するコーナーが設けられており、現代社会の特色を捉えることができるよう配慮されている。	身近な例をもとに、対立と合意、効率と公正という視点に気づき、現代社会を捉える見方や考え方の基礎を身に付けられるよう配慮されている。		
2 私たちと経済に関する事項	経済のしくみについて分かりやすく述べ、「もっと知りたい」のコーナーで、市場経済の基本的な考え方や企業の社会的責任等を理解できるよう配慮されている。	「人生をデザインしよう」「経済のこれから」等、活用力や思考力を高め、望ましい経済活動のあり方を思考できるよう学習活動が工夫されている。		
3 私たちと政治に関する事項	日本の政治について、歴史的背景や他国との比較を踏まえて理解できるよう構成され、将来の主権者として主体的に考える態度が育成できるよう配慮されている。	ディベートや裁判員裁判のシミュレーションを取り上げ、他者と交流しながら、政治について主体的に思考できるよう配慮されている。		
4 私たちと国際社会の諸課題に関する事項	国際平和をどう作り上げるかというテーマで、国際社会における我が国の役割について自分の考えを深め、まとめることができるよう配慮されている。	SDGsについて調べ、自分の考えをまとめるとともに、今日の国際社会の諸課題への日本の関わりや今後の展望も交えて理解しやすいよう配慮されている。		
5 北方領土の記載に関する事項	北方領土について、「もっと知りたい」コーナーで、歴史的経緯を詳細に説明し、我が国が平和的解決に向け努力していることが理解できるよう工夫されている。	北方領土について資料を効果的に掲載し、日本とロシア双方の主張を明示し、我が国が平和的解決に向けて努力していることが理解できるよう工夫されている。		
6 竹島の記載に関する事項	竹島について、歴史的背景を踏まえ、現在は韓国に占拠されていることや、我が国が平和的解決に向けて努力していることが理解できるよう工夫されている。	竹島について、歴史や現状について地図や資料を示しながら解説するとともに、我が国が平和的解決に向けて努力していることが理解できるよう工夫されている。		
7 尖閣諸島の記載に関する事項	尖閣諸島について、本文と特設ページで大きく扱っており、日本固有の領土であることは明確で、領土問題は存在しないことが理解できるよう工夫されている。	尖閣諸島について、図表や多数の写真の効果的に掲載し、日本固有の領土であることや解決すべき領有権の問題は存在しないことが理解できるよう工夫されている。		

調査研究項目	2 東書	46 帝国		
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	各ページの一般図に「注目したい記号」が示されており、地図から基礎的・基本的な情報を読みとることができるよう配慮されている。	各ページに「地図活用」という問いかけが示されており、一般図だけでなく各種資料から基礎的・基本的な情報を読み取る活動の充実が図られている。		
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	「テーマ資料」のページには、世界及び日本の諸地域の探究課題を解決するために必要な資料を掲載し、教科書と関連付けて考えることができるよう工夫されている。	「地図活用」のコーナーでは、一般図や資料から読み取った情報を比較・関連付けて考察させ、知識の整理や説明させる活動の充実が図られている。		
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	「鳥瞰図」の採用によって、世界の諸地域では地形の様子、日本の諸地域では各地の特産物と地形の様子に関心をもてるよう配慮されている。	世界の諸地域の地図や日本のテーマ別資料図に「鳥瞰図」が採用されており、効果的なイラストによって地域全体の特色に関心を持たせるよう工夫されている。		
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	「都道府県の産品と名所・お国自慢」や「日本の方言分布とご当地キャラクター」が紹介されており、郷土の伝統と文化に関心をもてるよう配慮されている。	「日本の伝統的な町並み」や「特色ある祭り・行事」が紹介されており、各地域の特色及び、伝統と文化に関心をもてるよう配慮されている。		
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	世界の現代的な課題を解決するための目標である「SDGs」について紹介されており、17の視点から地理的事象を理解できるよう配慮されている。	日本の諸地域のページに、現代社会の課題である「防災」と「環境」をテーマにした資料が随所に紹介されており、各地域の課題が理解できるよう配慮されている。		
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	歴史や公民の学習に役立つ資料には「歴」「公」、地理の関連資料には「ジャンプ」のマークが示され、各分野を系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。	歴史地図や年表、絵図、「防災」「環境」のマークを掲載することで、歴史分野や公民的分野と関連付けて理解できるよう配慮されている。		
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達の段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	一般図や資料において明るい色使いがなされており、地図上の文字の可読性が高く、写真が適切に掲載されており地図や資料の理解を助けるよう配慮されている。	文字の可読性がかなり高く、サイズを縦に長くすることで情報量を増やすとともに、各地域の資料の項目を描えるなど見やすい資料の充実が図られている。		
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	巻頭にQRコードが掲載されており、世界の州別や日本の地方別の白地図をダウンロードでき、日本については国土地理院の地図を閲覧できるよう示されている。	随所にQRコードがあり、「地図活用」コーナーの解答を確認できるとともに、多面的・多角的な資料等で単元の学習を深められるよう配慮されている。		
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	一般図の「注目したい記号」や資料図の「キャラクターの吹き出し」で学習課題や作業が示され、個人やグループで学習が進められるよう配慮されている。	「地図活用」のコーナーの問いかけが明確で、他者への発表を意識した表現になっており、グループやペアでの学習が進めやすくなるよう工夫されている。		

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

発行番号・略称 調査研究項目	2 東書	46 帝国		
1 地図の活用に関する事項	「キャラクターの吹き出し」で地図を読み取るヒントを示し、「注目したい記号」や「資料さくいん」で読図への関心を高めるよう配慮されている。	「地図活用」コーナーで、一般図や主題図の読み取り方を繰り返し身に付けることができるよう工夫されており、主題図の構成配列の充実が図られている。		

発行番号・略称 調査研究項目	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	側注のヒントが分かりやすく、ヒントに合わせた途中計算が丁寧に示されており、また誤答例を取り上げることで、陥りやすいミスを焦点化しよう工夫されている。	つまずきやすいところのヒントが既習事項として脚注に示されていることや、巻末の補充問題の数を多くすることで基礎の定着が図られている。	思考のヒントとなる言葉や式、図を示したり、誤答例を基に考えたりすることで、理解の定着を図るよう工夫されているとともに、確認問題も充実が図られている。	章に入る前の既習確認や側注の「もどって確認」、各章の学習のまとめなど、繰り返し学習することで、基本的な知識・技能の習得ができるよう図られている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	思考力・判断力・表現力の育成を図るため、巻末の「深い学びをふり返ろう」では、問題解決の過程を意図した活動や記述式問題の充実が図られている。	充実したレポートの提示や巻末の「課題学習」や単元末の「力をのばそう」では、活用する力を問う問題があり、思考力・判断力・表現力の育成が図られている。	各章末にある「活用」で発展的な課題について考えさせた後、さらに条件を変えて、思考が深まる問題提示やさらに学んでみたいことを考えるよう工夫されている。	各章末の「数学の広場」で既習内容を活用する課題や自分の考え方を説明したり話し合ったりする課題があり、思考力・判断力・表現力の育成が図られている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	単元や節の導入では、学習のつながりを意識した題材を取り入れ、新たな学習への意欲を高めるとともに、次時からの学習に主体的に取り組めるよう工夫されている。	章の導入では、生徒の興味・関心を喚起し、学習意欲を向上させるような題材が提示され、図や写真も、生徒の思考の流れに沿うよう配慮されている。	導入では、問題解決の過程で生徒が疑問を持つような課題を設定し、それを次時への課題へとつなげ、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。	「Let's Try」や節の導入では、キャラクターを活用して考える視点を提示し、分かりやすく図を示すなど、学習意欲を高めるよう配慮されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	文化と数学を結びつけるよう、日本の伝統模様や将棋の先手の決め方、伝統的な楽器の鼓をイメージした建物、江戸時代の測量技術などが掲載されている。	和算や和歌、さっさ立てや伝統的な行事を題材とした問題を取り上げるなど、日本の伝統文化を尊重する態度を育成できるよう配慮されている。	江戸時代の測量技術など日本の数学の歴史に触れているとともに、世界における数学の歴史的な背景も取り上げており、興味を持たせるよう配慮されている。	日本の伝統模様や江戸時代の「薬師算」「和算」「算額」を取り上げたりするなど、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮している。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	活用問題や「数学の自由研究」において、時差や地震、入射角などについて取り上げ、他教科との関連を随所に意識できるよう配慮されている。	「発見！仕事のなかの数学」では、多くの活躍する方のインタビューを紹介することで、数学が仕事現場で活用されることが実感できるよう充実が図られている。	SDGsと数学の関わりについて取り上げ、生徒が自主的に調べたり、既習内容から自分たちにできることがないかを考えたりする態度を養うよう工夫されている。	「数学の広場」では、数学から環境問題を捉えており、数学に関わる仕事をしている人のインタビューから社会との関連を意識できるよう配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	新たな内容を学習する際に、既習内容に関連する内容や小学校とつながりの深い章のはじめに、学年相互の関連を振り返りやすいよう配慮されている。	巻末の「小学校算数のふりかえり」では、小学校での既習事項の確認を設けてあり、算数の学習を思い出しながら学習できるように掲載されている。	各領域ごとに「ふりかえり」のページが挿入され、小学校でどのようなことを学んできたかを振り返り、次の学習ができるよう配慮されている。	各章の前に既習事項の復習のページが用意され、巻末の「学びのマップ」で適宜学年相互の振り返りができるように工夫されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達の段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	直接記入しやすい図表やグラフに加え、折り目の作図では、実際に折り込むことができる図がバランスよく配置され、生徒が取り組みやすいよう工夫されている。	図表や写真が大きく鮮明で、文字もフォントや太さを変えることで見やすく、また、作図スペースも広く設けられており作業もしやすいよう配慮されている。	折込ページを使い、グラフをかいたための図表、見本となるグラフやその特徴、身近に見られる例の写真など生徒にとって理解しやすくなるよう配慮されている。	図表や資料が多く配置されており、導入の「Let's Try」では、生徒が十分に書き込むことができるスペースが掲載されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	星形多角形について、いろいろな見方で角を求めると学習をふまえて、補助線を書き加えることにより、複数の解法を発見できるよう配慮されている。	星形多角形について、多角形の性質を生かしたり、補助線を書き加えたりすることにより、複数の解法を発見できるよう配慮されている。	星形多角形について、五角形の外角を使用したり、点の位置をずらしたりすることから、複数の解法を発見できるよう配慮されている。	星形多角形について、補助線を書き加えたり、角の係りに着目させたりすることにより、複数の解法を発見できるよう配慮されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	各単元の利用では、大切な見方や考え方が明確に示され、更に、巻末の「深い学びを振り返ろう」に取り組むことで、理解を一層深められるよう工夫されている。	発展的課題として身近な問題を扱い、学習の流れを生徒に示すとともに、「学びにプラス」では学び合い活動につなげることができるよう配慮されている。	学習内容の確認や振り返り、次時への課題を明示し、「発展的課題」では、課題解決への道筋を示すなど、生徒の学びを一層深められるよう工夫されている。	「活用の問題」では、身近に起こりうる事象を一般化し、発展的課題として取り上げ、手立てや道筋を示すことで、学び合い活動ができるよう配慮されている。

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

調査研究項目	発行者番号・略称	61 啓林館	104 数研	116 日文
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。		側注には考え方のポイントが簡潔に示されており、「学びを確かめよう」や巻末の「力をつけよう」を活用することで、基礎基本が身に付くよう図られている。	学習する際にポイントとなる考えやヒントが掲載されており、生徒に分かりやすい言葉で提示され、「ふりかえり」では、既習内容の該当ページが示されている。	つまずきが多いと予想される内容について、適切な手立てとなるヒントを効果的に示し、巻末の補充問題を活用することで基礎基本が定着するよう図られている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。		裏表紙から始まる「自分から学ぼう編」では、思考力、判断力、表現力などを育むことができる問題が充実しており、学びが深まるよう工夫されている。	数学のよさを感じられるように、学んだ内容を活用する課題が設けられ、多様な考えを出し合いながら、解決を目指す活動ができるよう配慮されている。	式や図、グラフ、言葉などを関連付けて考え表現する活動が取り入れられているとともに、方法や理由などを数学的に説明する記述式の問題が掲載されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。		導入では、身近に起こりうる事象について考え、自分の考えを持った上で話し合わせる活動に取り組ませることにより、主体的な学習を促すよう図られている。	導入時の図や写真で生徒の興味を引き、その後「TRY」に取り組むことで、生徒が学習の見通しをもち意欲的に取り組めるよう示されている。	導入部分では、単元の学習内容を紹介したり、見やすい図やイラスト、キャラクターを活用したりして、意欲的に取り組めるよう示されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。		日本の伝統模様や大工道具の曲尺の他に、問題設定に福祉に関することを取り上げることで、伝統と文化を尊重する態度や道徳性が養われるよう工夫されている。	探究ノートに九章算術や日本の伝統的な文様や和算などが紹介されており、数学の歴史と文化を尊重する態度が養われるよう配慮されている。	「和算の歴史」や「富嶽三十六景」と数学との関連などが示されており、伝統と文化を尊重する態度を養われるよう配慮されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。		「学びをいかそう」では、環境や少子化などの現代的諸課題に加え、学びが深まるようプログラミングと数学を関連付ける問題等の充実が図られている。	桜の開花日の変化から地球温暖化問題について考えたり、大気汚染物質の大きさについて考えたりすることで、環境問題について考えられるよう示されている。	「データの活用」や「数学を仕事に生かす」では、数学を気温や風力などの暮らしやデータ分析などの仕事と関連付けて学ぶことが意識できるよう配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。		巻末の「算数をふりかえろう」では、「割合」「早さ・道のり・時間」など小学校の苦手な分野を重点的に復習できるよう配慮されている。	各章の前に、「ふりかえり」のページが充実しており、新しく学習する内容に関連した既習事項の問題を取り入れ、学年相互の関連が図れるよう工夫されている。	各章の前に、「〇章を学ぶ前に」で小学校、中学校の復習問題を取り入れ、既習を振り返ることで学年相互の関連が図られるよう工夫されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。		図表やグラフ、写真、学習の要点が見やすく、直接記入しやすい配置に加え、QRコードを効果的に配置するなど生徒の主体的な学びにつながるよう工夫されている。	生徒が書き込みやすいよう、作図スペースを確保したり、グラフの大きさや補助目盛、表の配置、拡大図をコンパクトにまとめるなど配慮されている。	書き込みが必要な図や表は適切な大きさとバランス良く配置され、文字や網掛けの色の使い方で重要なポイントがわかりやすくなるよう掲載されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。		星形多角形について、「学びを生かそう」で学びを深めた内角や外角の性質や三角形の内角の和を用いて解くことができるよう配慮されている。	星形多角形について、星形五角形と星形七角形の角の和を求める問題を巻末に掲載し、いろいろな見方で角の和を求められるよう配慮されている。	星形多角形については、基本的な角度を求める方法を示すとともに、生徒の確かな理解につなげるための解法の手順が掲載されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。		身のまわりの問題を解決する際の疑問を発展的課題として取り上げ、説明や学び合い活動の視点を明示することにより、一層深い学びにつながるよう工夫されている。	別冊「探究ノート」では、発展的課題を取り上げ、キャラクターのつぶやきを考えのヒントとし、見直しを持って課題解決に向かえるよう配慮されている。	巻末の「対話シート」には、自分の考えや話し合いの内容、振り返りを書くスペースが十分に確保されており、学び合い活動ができるよう配慮されている。

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出
1 数と式に関する事項		数量の関係を捉えるために、解法の一般的な手順を見やすい注釈で示し、多様な解法を見いだせる問題を取り扱うことで、深い学びの充実が図られている。	計算方法や考え方などには、複数の考え方を比べながら、よりよい手順について考えさせ、数と式についての基礎基本の定着ができるよう配慮されている。	計算方法や考え方などには、丁寧な説明や注釈が添えられており、また、「計算力を高めよう」に取り組ませることで、基礎基本が定着できるよう配慮されている。	誤答例について考える問題を通して計算方法や考え方について理解しやすくし、数と式に関する基礎基本の定着ができるよう配慮されている。
2 図形に関する事項		課題意識を持たせた後、証明の学習につなげるとともに、図形の性質を見やすくまとめたり、証明例を示したりして、書き方を習得できるよう配慮されている。	三角形の合同を説明することから証明の学習につなげるとともに、穴うめの証明なども用いて、証明の書き方を習得できるよう配慮されている。	三角形の合同から証明の必要性を導き、証明の穴うめ問題や読み取り問題などを通して、証明の手順や書き方を確実に理解できるよう工夫されている。	証明の手順が丁寧に示されている他に、誤答例があることで正しい証明の仕組みの理解につながり、見直しをもって証明をすすめられるよう工夫されている。
3 関数に関する事項		身の回りの関数の題材として制動距離や物の落下などについて、効果的なイラストや図を取り入れながら扱い、理解が深まるよう工夫されている。	自動車の制動距離などの身の回りの事象との関連を意識して問題を取り上げ、表やグラフを使って課題解決しやすいよう配慮されている。	バトンパスやランドルト環などの身の回りの事象を取り上げ、表や式、グラフを利用して考察することで、関数についての理解を深められるよう工夫されている。	折り紙の枚数と重さの関係や道のりと速さの問題など、比例・反比例に関係する身のまわりの問題が多く取り上げられ、関数について深く学べるよう配慮されている。
4 データの活用に関する事項		資料が6ページ見開きになっており、比較しやすいよう提示されているとともに、データ化する必要性や箱ひげ図の有用性を実感できるよう工夫されている。	箱ひげ図の読み取りやヒストグラムとの特徴の比較について、図などを用いて丁寧に示されていることに加え、図を書き入れやすいよう工夫されている。	身近な話題の導入により、データ化の必要性が実感でき、度数折れ線と箱ひげ図の比較により、さらに実生活に即して考えられるよう工夫されている。	身近なことについて、ヒストグラムや度数折れ線と箱ひげ図を比較しながら、データを読み取り、データの活用のよさが実感できるよう配慮されている。

調査研究項目	発行者番号・略称 61 啓林館	104 数研	116 日文	
1 数と式に関する事項	計算方法の一般的な手順や誤答の原因を明確に示すとともに、ヒントを基に考えさせ、気付かせることで理解できるよう配慮されている。	計算方法や考え方などには、モデルステップで丁寧な説明や注釈が添えられており、数量の関係が確実に理解できるよう工夫されている。	四則計算や方程式の解き方の手順が言葉や図で丁寧に示されており、数と式に関する基礎的・基本的な事項が定着するよう配慮されている。	
2 図形に関する事項	導入では、作図することで図形の性質を証明する必要感を持たせるとともに、証明の手順や図形の性質が効果的に示されるなど見通しをもてるよう工夫されている。	証明の仕組みや手順など、見通しが丁寧に示されているとともに、証明例なども示されており、証明の書き方を習得できるよう配慮されている。	証明の方針や手順が、図や穴うめ問題、正誤の判断例などを活用して丁寧に示されており、証明の書き方を習得できるよう配慮されている。	
3 関数に関する事項	グラフの学習につながる線香の燃えた時間と長さの関係や、身近な題材である紙パックのリサイクルの問題を扱う等、生徒の意欲を高める内容が示されている。	変域を図で示したり、間違えたグラフを示したりすることにより正しいグラフのかき方を強調したりすることで、基本となる学習内容が丁寧に提示されている。	ポスターの文字の大きさや自動車の制動距離などの身近な事柄を取り上げ、話し合い活動に取り組ませることで関数との関わりを考察するよう図られている。	
4 データの活用に関する事項	身近な話題の導入で、既習事項の他にどのようなデータが必要か考えさせるとともに、箱ひげ図とヒストグラムの比較により、考えを深められるよう工夫されている。	身近なことについて、ヒストグラムと箱ひげ図を比較しながら、データを読み取り、データの活用によさが実感できるよう配慮されている。	箱ひげ図をかく手順や読み取りが丁寧に示されているとともに、複数のデータを比較することにより、箱ひげ図の特徴がつかめるよう工夫されている。	

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館
1	基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を随所に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	知識・技能でつまずきやすい箇所において「例題・考え方・練習・確認」というスモールステップ構成で随所に定着できるよう工夫されている。	基本的な知識の定着に役立つように、「例題・演習・章末問題・単元のまとめ、単元末問題」で段階的に知識が定着できるよう配慮されている。	理解を深めるためページを分かりやすく簡潔にまとめるとともに、「学びをいかす」では学力の定着が図れるように基本的な問題が示されている。	節末や章末には、「要点チェック」を配置し、節または章の要点を端的にまとめ、基礎・基本の定着を自ら確認できるよう配慮されている。	つまずきやすい計算場面では「例題」で考え方を丁寧に解説しており、「学習のまとめ」では視覚的に理科用語や学習内容が定着できるよう工夫されている。
2	思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	「課題に対する自分の考えは？」など探究の過程に直結した言語活動が配置され、主体的に探究的な学習が取り組めるように工夫されている。	問題発見から観察・実験、考察・推論といった、探究の過程が分かりやすく掲載されており、さらに「探究活動」で学びが深くなるように配慮されている。	探究を進める過程で生じる他者との話し合いの仕方、レポートの書き方を示すことで表現力が身に付くよう分かりやすく配慮されている。	探究を進める上での手段として、論理的な考察からそれを表現できるような「私のレポート」を数多く掲載し、表現力が身に付くよう配慮されている。	「探Q実験」では1年「疑問・課題・仮説」、2年「計画・考察」、3年「探究の振り返り」と重点を変えながら探究活動ができるよう工夫されている。
3	生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	「レッズ スタート!」で学習意欲を向上させ、「学びをいかして考えよう」で学習内容を活用することで、主体的に学習が進められるよう配慮されている。	導入のページでは、興味・関心を高められる写真や図を取り上げ、親しみやすいキャラクターを用いることで自主的に学習を進められるよう示されている。	「問題発見」や「学び続ける理科マスター!」が疑問に対する対話例として掲載されており、生徒の主体性を促し、学習が進められるよう示されている。	各単元の導入では、身近な事物・現象や不思議な現象をダイナミックな写真やイラストを基に、「学習前の私」で学習への期待が持てるよう示されている。	単元の導入でダイナミックな写真を基に興味・関心を高め、単元末の「みんなで探Qクラブ」で主体的に探究の課題を解決していくよう工夫されている。
4	伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	単元末コラム「世界につながる科学」などのコラムで、日本人研究者・技術者の話題を取り上げ、日本の伝統・文化を尊重する態度を育てよう工夫されている。	「Science Press」や「科学のあしあと」では、科学者の業績などを紹介し、科学の発展に対して敬意を持って接する態度を育めるよう示されている。	章の原絵や「サイエンスカフェ」で、日本の伝統的な工業や文化を示すことにより、日本の郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。	「ハローサイエンス」では、日本人科学者や日本古来の知恵などを取り上げ、日本の伝統・文化を尊重する態度を養う場面が示されている。	「深めるラボ」で、日本の最先端の科学者を取り上げたり、先人が見つけた知恵などが紹介され、日本の伝統・文化を尊重する態度を育めるよう配慮されている。
5	現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	「つながる科学 働く人と科学」で様々な職業に就いている人の仕事の内容を学習内容と関連付けて紹介することで、キャリア教育の一助となるよう工夫されている。	原絵や「Professional」では、理科に関連する職業や仕事などの資料を掲載することで、生徒が将来を考えるヒントとなるよう示されている。	「理科のトリセツ」では生活が科学の知識・考え方や様々な職業に就く人々によって成り立っていることを取り上げ、キャリア教育の一助となるよう工夫されている。	「科学者列伝」などでは日本人科学者を取り上げ、研究者の努力や粘り強く研究を続けることの必要性を掲載し、キャリア教育の一助となるよう示されている。	「お仕事ラボ」では職業と理科の学習との関連を紹介することで、科学を学ぶ有用性を理解させキャリア教育の一助となるよう配慮されている。
6	教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	「これまでに学んだこと」では既習事項を確認し、「発展」では上位学年や高等学校につながる内容を扱い、系統的に学習できるよう工夫されている。	「これまでに学習したこと」で既習事項を確認し、「つながる×Science Press」では単元での学習内容が他分野や他教科へとつながるよう工夫されている。	単元原に「ふり返ろう・つなげよう」で既習事項を確認し、「発展」では高等学校へのつながりを記載することで、系統的に学習できるように示されている。	これまでに獲得した知識や技能を発揮できるような原、本文中に配置された「思い出そう」を通して既習事項を振り返らせ、理解を促すよう配慮されている。	巻末「理科でよく使う算数・数学」や本文中の「算数・数学と関連」のコーナーを設け、基礎的な計算から理解を促すよう工夫されている。
7	本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	見やすい書体で1年生の文字を拡大して紙面をA4スリム版にし、探究の流れに関わる生徒の活動や資質・能力の育成活動が紙面に収まるよう配慮されている。	「これから学習すること」のページに単元に関するすし印刷を入れたり、背見出しに章ごとに写真やイラストを掲載したりして、紙面が分かりやすく示されている。	見やすい書体を用い、カラーユニバーサルデザインを含め、教科書全体の文字や図などの色合いやレイアウトなどを考慮し、見やすくなるよう配慮されている。	見やすい書体で1年生の文字を拡大し、重要語句は明るい色の太文字で強調し、資料性の高い写真・図版は裏写りしないよう工夫されている。	見やすい書体で1年生の文字サイズを大きくし、大きな図や写真を配置して広い見開きになるよう、ゆったりとしたレイアウトで読みやすくなるよう工夫されている。
8	金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	デジタルコンテンツでは、意欲を高める映像や家庭でも学習できる基礎から発展まで数多くの教材が掲載され、ICT機器の活用ができるよう工夫されている。	QRコードからさらに学びが深められるよう、実験器具の使い方など学習に活用できるウェブコンテンツが用意され、家庭でも学習できるよう配慮されている。	デジタルコンテンツ「Can Do List」では、章の始めの目標設定と章の終わりの振り返りができるように、本文中にQRコードが示されている。	教科書に掲載しきれない文例やレポート例などは、「まなびリンク」としてQRコードから学習に役立つ情報が閲覧できるよう配慮されている。	巻頭や本文中にQRコードが多数あり、デジタル教材にリンクすることで学習を深めたり、家庭で主体的に学習したりできるよう工夫されている。
9	「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	各学年の巻頭の「考えが異なったら、考えを言葉にして議論しよう」を設定し、本文中にも話し合い場を設定するなど言語活動の充実について工夫されている。	1年の巻末に「探究の進め方」を設定し、「話し合いのしかた」「発表のしかた」が示されている。言語活動の充実について配慮されている。	各学年の巻頭に「主体的・対話的に、深く学ぶ」を設定し、「どうやったら対話的になるの」かを示し、言語活動の充実について配慮されている。	課題や仮説の設定、観察・実験の処理、考察の場面で「話し合おう」というキーワードを用いて話し合い活動が充実できるよう示されている。	1・2年の巻末に、「サイエンス資料」を設定し、「理科における話し合いと発表」を示すことで、言語活動が充実するよう工夫されている。

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

発行番号・略称	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館
1 身近な物理現象に関する事項	光・音・力について身の回りの現象の写実に関心を高め、自ら探究的な学習ができるよう実験方法を考える場面などで考察するよう工夫されている。	光・音・力に関して、身近な現象と学習内容が関連付けられながら提示されており、その原理や法則を探る探究的な学習の流れが分かるよう配慮されている。	光・音・力に関する身近な現象について写実を効果的に配置して紹介することで、生徒の学習への興味・関心が高められるように示されている。	光・音・力の学習を通して、職業やスポーツなどの身近な例と関連付けることで、幅広い知識を身に付けることができるように教材が示されている。	光・音・力に関する学習内容が、身近な現象と関連付けられながら提示されており、原理や法則へと探究的に導き出せるよう工夫されている。
2 身の回りの物質に関する事項	実験操作を分かりやすく示すとともに、場面ごとに基本操作、レポートの書き方を明確に示されており、技能が着実に身に付くよう工夫されている。	物質の性質を調べる実験で、方法の説明の後に、器具の操作、レポートの書き方などの説明があり、基本的な技能が身に付くように示されている。	物質の性質を調べる実験で、実験方法の説明に続けて、器具の操作、レポートの書き方を要すことで、技能が身に付くように示されている。	物質の性質を調べる実験で、実験方法だけでなくレポートの書き方の説明があり、巻末では器具の操作の基本的な技能が身に付くように掲載されている。	「わたしのレポート」としてレポートの書き方が明確に示されており、「探Qシート」で実験の流れに基づいてレポート作成ができるよう工夫されている。
3 電流とその利用に関する事項	写実を用いることで実験操作が分かりやすく、さらに日常の物を使うことで探究活動や自発的に実験する態度が育成できるよう配慮されている。	図や写実が分かりやすく、実験の流れが明確であるばかりではなく、課題意識を持って、探究的な学習に取り組めるような構成で示されている。	家庭配線の仕組みと電流や電圧の関連を示し、日常生活につなげて、電流についての科学的な見方と考え方が身に付くよう配慮されている。	日常生活における現象と、電流回路の実験を関連付けることで身近なものとして、電流についての見方と考え方が身に付くよう配慮されている。	日常現象と電流の正体である電子を関連させ、電流を粒子的な見方で捉えることで、電子の流れという考え方が身に付くよう工夫されている。
4 化学変化と原子・分子に関する事項	化学反応式とモデル図を関連付け、微視的に考えさせることや、アイコンを多用することで安全な実験ができるよう工夫されている。	化学反応式の学習において、生徒がつまづきやすい点で細かく解説されており、安全面においても細かく注意喚起をするよう配慮されている。	粒子的な見方が一貫されていることで、化学反応式と粒子モデルから理解を深めさせたり、安全面においても細かく注意喚起をするよう配慮されている。	粒子のモデルを多用して理解を深め、化学反応式でも微視的な考えをさせることや、アイコンを用いて安全の確保ができるよう配慮されている。	化学反応式やモデル図の配置が効果的で微視的なイメージや考え方ができるようになったり、アイコンを用い安全の確保ができるようになったりと配慮されている。
5 運動とエネルギーに関する事項	日常生活と関連した実験を行い、結果を詳細なグラフに表現することで理解を深め、運動とエネルギーの考え方が身に付くよう配慮されている。	浮力や水圧の学習では、いくつものパターンを写実や図を使って表すことで、実験内容や実験結果を分かりやすく理解できるよう示されている。	日常生活と関連した実験を行い、結果をグラフで説明し、探究の流れを示すことで運動とエネルギーの考え方が身に付くよう工夫されている。	日常生活と関連した実験結果や生徒役の多様な考えを基に思考が展開されており、運動とエネルギーの考え方が身に付くよう示されている。	日常生活と関連した実験の結果例のグラフやストロボ写真を多く取り扱っており、運動とエネルギーの考え方が身に付くよう工夫されている。
6 化学変化とイオンに関する事項	電池のしくみについて、別法での実験やイオンモデルを用いた図で分かりやすく掲載することで、微視的な考え方が身に付くよう工夫されている。	酸性・アルカリ性の正体を調べる実験を行い、イオン式とイオンモデルとを関連させ、微視的な見方・考え方が身に付くよう工夫されている。	酸性・アルカリ性の正体を調べる実験を行い、イオンモデルを用いた図でわかりやすく掲載し、微視的な考え方に近づくよう示されている。	酸性・アルカリ性の正体を調べる実験を行い、イオンモデルを用いた図と関連付けることで、微視的な考え方が身に付くよう示されている。	金属のイオンへのなりやすさを実験だけでなく、「探Qラボ」でモデルを用いた図で微視的な考え方が定着するよう工夫されている。
7 科学技術と人間に関する事項	様々な物質とその利用では、身近なものが新しい科学の進歩によって著しく便利になっていることを実習から実感できるよう工夫されている。	挿絵や図、写実が効果的に配置され、エネルギー資源については特に分かりやすく示されており、生徒が興味を持てるよう配慮されている。	新素材の紹介が詳しく掲載されていたり、多くの挿絵・図・写実を効果的に配置したりすることで生徒が興味を持てるよう配慮されている。	金属やプラスチックなど、これまでの学習を踏まえ、科学技術と関連付けたり、挿絵・図・写実を充実させたり、科学的に考察できるよう工夫されている。	挿絵・図・写実の数が多く、特に多くの写実が新素材の多様性を示すために有効に働いており、科学技術への興味を深まるよう工夫されている。
8 いろいろな生物とその共通点に関する事項	植物や動物のからだのつくりについて、細部にわたり、分かりやすい挿絵や写実を多数用いることで比較しながらその共通点を理解できるよう配慮されている。	植物や動物のからだのつくりについて、細部にわたり、分かりやすい挿絵や写実を掲載することで、比較しながらその共通点を理解できるよう示されている。	植物や動物のからだのつくりについて、いくつかの生物を扱い、分かりやすい挿絵や写実を用いることで比較しながらその共通点を理解できるよう示されている。	植物や動物のからだのつくりについて、分かりやすい図や写実を用い、詳しく文章でまとめることで生物の分類を理解できるよう示されている。	植物や動物のからだのつくりについて、細部にわたり、分かりやすい挿絵や大きな写実を用いることで興味・関心が持てるよう工夫されている。
9 大地の成り立ちと変化に関する事項	地震のゆれの発生と伝わり方を実習やモデル実験を通して分かりやすく説明し、地震の発生メカニズムが理解できるよう配慮されている。	地震のゆれの発生と伝わり方の実習やモデル実験を提示することを通して、地震計の記録から地震のゆれの規則性を見いだすことができるよう配慮されている。	地震のゆれの発生と伝わりかたの2つの実習を通して、揺れの規則性を見いだすとともに、P波とS波の伝わり方を分かりやすい挿絵で示している。	地震のゆれの発生と伝わり方の実習やモデル実験を提示することを通して、地震計の記録から地震のゆれの規則性を見いだすことができるよう工夫されている。	グラフを作成することで初期微動継続時間が震源からの距離に比例することを見だし、緊急地震速報の仕組みについて理解できるよう配慮されている。

発行番号・略称	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館
10 生物の体のつくりと働きに関する事項	対照実験の必要性について考え、だ液の働きを調べる実験を計画し、実験結果から考察し、結論付けることができるよう構成が工夫されている。	だ液の働きを調べる実験では、どのような対照実験が必要かを考えさせ、実験を計画して結果から考察し、結論付けられるよう示されている。	だ液の働きを調べる実験を考えさせ、対照実験について必要性を見だし、計画して結果から考察し、結論付けることができるよう配慮されている。	対照実験について対話例から必要性を見だし、だ液の働きを調べる実験を計画し、結果から考察し、結論付けることができるよう配慮されている。	だ液の働きを調べる実験を行う際、既習事項を確認することで仮説を立てやすくし、「探Qシート」で計画の立案ができるよう工夫されている。
11 気象とその変化に関する事項	露点を求める際に、温度と水蒸気量の関係を飽和水蒸気曲線やモデルを用いて分かりやすく説明することで、温度の計算が定着できるよう工夫されている。	露点を求める際に、温度と水蒸気量の関係を実験時の写真や飽和水蒸気曲線、モデルを用いて説明していることで、学習内容が理解できるよう配慮されている。	露点を求める際に、温度と水蒸気量との関係について理解できるように、実際の写真や飽和水蒸気曲線を用いて、分かりやすく示されている。	露点を求める際に、温度と水蒸気量の関係を飽和水蒸気曲線やモデルを用いて説明し、日常生活との関わりから理解できるよう配慮されている。	露点を求める際に、温度と水蒸気量の関係を実際の写真や飽和水蒸気曲線、モデルを用いて分かりやすく説明することで、理解につながるよう工夫されている。
12 生命の連続性に関する事項	形質の遺伝に関わる遺伝子のモデル実習を基に、子から孫に伝わる遺伝の割合について理解を深め、結果から考察に結びつけるよう工夫されている。	形質の遺伝に関わる遺伝子のモデル実習を基にして、子から孫に伝わる遺伝の規則性について、結果を活用して考察できるよう示されている。	形質の遺伝に関わる遺伝子のモデル実習を基にして、子から孫に伝わる遺伝の規則性について、結果を活用して考察できるよう示されている。	形質の遺伝に関わる遺伝子のモデル実習を基に、子から孫に伝わる遺伝の割合について理解を深め、結果から考察に結びつけるよう工夫されている。	形質の遺伝に関わる遺伝子のモデル実習を基に、子から孫に伝わる遺伝の割合について理解を深め、結果から考察に結びつけるよう工夫されている。
13 地球と宇宙に関する事項	月や金星の満ち欠けを理解させるためにモデル実習を設定し、視覚的にイメージさせてから考察を行うことで、より理解が深まるよう工夫されている。	月や金星の満ち欠けを理解させるために写真や図を基に、視覚的にイメージさせてから考察を行うことで、理解できるよう資料が示されている。	月や金星の満ち欠けを理解させるために写真を基に、視覚的にイメージさせてから考察を行うことで、理解できるように資料が示されている。	月や金星の満ち欠けを理解させるために写真を基に、視覚的にイメージさせてから考察を行うことで、理解できるように資料が示されている。	月や金星の満ち欠けを理解させるためにモデル実習を設定し、視覚的にイメージさせてから考察を行うことで、より実感を持って学習できるよう工夫されている。
14 自然と人間に関する事項	自然環境の保全について、身近な自然環境の調査として具体的な調査例や、私のレポートを示すことで、意欲・関心が高まるよう工夫されている。	自然環境の保全について、様々な課題と理科の課題を関連させて取り上げることで、環境教育への関心高め、環境の保全につながるよう示されている。	自然環境の保全について、様々な観測結果や写真を掲載することで興味・関心を持ち、自己の探究につなげられるよう示されている。	自然環境の保全について、人が自然に対して影響をもたらす場面や場所などを、ダイナミックなイラストで示すことで興味を深めるための充実が図られている。	自然環境の保全について、数多くの挿絵・図・写真を交え、多くの事例を紹介することで、環境教育に意欲・関心が高まるよう配慮されている。

調査研究項目	発行者番号・略称	17 教出	27 教芸		
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。		指導のねらいに即した具体的な学習目標や音楽用語・記号が提示されており、音楽活動を通して、理解しやすいような記述が図られている。	学習目標を1つに絞って提示したり、「音楽を形づくっている要素」を学習内容に即して示したりして、学ぶべきポイントが明確になるよう充実が図られている。		
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。		「ACTIVE!」では、気付いたことや考えをまとめるよう図られ、「Let's Sing」や「Let's Try」では技能を活用し、表現が工夫できるよう配慮されている。	「深めよう!音楽」では、課題意識をもち対話しながら学習することを通して、吹き出しをヒントに意見交換し、思考を深めることができるよう工夫されている。		
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。		「音のスケッチ」では、身近な素材や自作の短い歌詞を用いて全体の構成を考えながら創作活動が進められるとともに、作品の演奏を交流できるよう配慮されている。	「My Melody」や「Let's Create!」では、活動の手順や既習を確認し、課題に沿って進め、意見交換したことを参考に再思考し創造性が培えるよう工夫されている。		
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。		我が国の伝統的な楽器や民謡については、特徴を捉えやすいように他国との関連を図り、実際に体験することで、関心を高め、継承する心を育むよう工夫されている。	我が国の伝統的な音楽文化や郷土の音楽、諸外国の伝統的な音楽について幅広い情報が掲載され、明確な視点のもとに学習できるよう充実が図られている。		
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。		「音ってなあに」では、理科の学習内容との関連が図られ、音楽著作権については、身近な話題を用いてQ&Aで具体的に考えることができるよう配慮されている。	音楽著作権について調べたことを交流する学習やSDGsの考え方を通して、生活や社会に音楽がどのように役立っているかについて実感できるよう配慮されている。		
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。		「発展」では、音の三要素等について取り上げ、各学年で系統的・発展的に学習できるよう示され、拍子や指揮の例では指揮の図形で分かりやすく提示されている。	学習目標や教材の配列が適切で、「指揮をしてみよう!」では、各学年の段階に応じた系統的・発展的な学習ができるよう充実が図られている。		
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。		「日本の歌 みんなの歌」や鑑賞教材では、曲のイメージをふくらませるために、歌詞の内容を表す情景や楽器の写真が見開きで見やすくなるよう工夫されている。	「心の歌」や鑑賞教材では、曲のイメージをつかませるために情景を表す写真が大きく効果的に掲載され、各教材名や歌詞が見やすくなるよう工夫されている。		
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。		「能」では、舞台や楽器等の写真や図を用いて分かりやすく掲載され、郷土のさまざまな民謡では、体験を取り入れ、表現と鑑賞の関連の充実が図られている。	「能」や「日本の民謡」では、絵巻や演奏者からのアドバイスにより、節回しや声の出し方の特徴を示すことで、表現と鑑賞の関連の充実が図られている。		
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。		表現及び鑑賞教材の「話し合おう」では、書き込み欄が設定されており、自分の考えをもち、対話的な活動が展開できるような構成が図られている。	学習の流れを番号で示し、思考・判断を行うための指針となる問いかけを、吹き出しの形で示し、学習のねらいが明確となるよう工夫されている。		

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

発行者番号・略称 調査研究項目	17 教出	27 教芸		
1 歌唱に関する事項	「Let's Sing」や「Let's Try」では、チェック項目や写真、イラスト、図を使って、表現するために必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。	発達の段階を考慮した教材を取り上げ、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫するための手だてが明確で、対話的で深い学びを引き出すよう工夫が図られている。		
2 創作に関する事項	「音のスケッチ」では、手順を示してスムーズに創作活動が進むよう配慮され、言葉のリズムや調子の特徴を生かした表現の工夫ができるよう配慮されている。	学習課題が具体的に明確に提示され、吹き出しを用いたヒントやアドバイスにより、創作活動が段階的にスムーズに進むよう工夫が図られている。		
3 鑑賞に関する事項	「比べてみよう」では、多様な音楽について共通性や固有性を考えるための書き込み欄や話し合う場の設定により、特徴を理解し学びが深まるよう配慮されている。	曲想と音楽の構造との関わりを理解して聴くことができるように、視覚的に分かりやすい楽譜を示し、音楽に対する価値観や視野が広がるよう配慮されている。		
4 共通事項	「学びのユニット」や「どんな特徴があるかな？」では、窓口となる音楽を形づくっている要素を示し見方・考え方を働かせた深い学びにつながるよう配慮されている。	巻頭の学習内容のまとめや各教材と関連した音楽を形づくっている要素、用語や記号の提示及びQRコードの活用を通して、学習できるよう工夫されている。		

調査研究項目	発行者番号・略称	17 教出	27 教芸		
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。		各楽器の奏法及び姿勢、演奏動作における丁寧な説明や資料が表示されており、身に付けたい基礎的・基本的な技能を習得しやすいよう工夫されている。	学習内容と教材との関連度が一覧で表示されており、学習の手引きやヒントを基に身に付けたい技能を段階的に習得しやすいよう工夫されている。		
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。		学習段階ごとの目標が明確に設定され、見直しをもって学習ができ、楽器を比較して特徴を考えることで理解が深まるよう配慮されている。	教材ごとに音楽を形づくっている要素の中で何を学習するのか見直しをもたせ、鑑賞や創作との関連を図りながら学習できるよう工夫されている。		
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。		幅広い曲種の教材を取り扱い、楽曲ごとに身に付けたい奏法が紹介されており、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。	幅広く親しみやすい楽曲や内容が充実しており、表現の工夫につながるアドバイスが紹介され、興味・関心を生かした自主的な活動が促されるよう工夫されている。		
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。		伝統と文化を尊重するための内容が充実しており、箏と篠笛の演奏家からの心に響くメッセージが示され、道徳心を育むよう工夫されている。	伝統と文化を尊重するための内容が充実しており、演奏家や伝統を受け継いでいこうとする中学生の資料を示し、道徳心を育むよう工夫されている。		
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。		我が国以外の諸外国の楽器を比較できるよう図られており、楽器の背景にある文化や伝統を知ること、国際理解への対応ができるよう配慮されている。	我が国以外の諸外国の民族楽器を取り上げ、比較できるよう図られており、諸外国の音楽文化に対する理解が進むよう配慮されている。		
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。		各楽器ごとに、学習項目を分かりやすく配置し、楽器を理解して一つずつ奏法が身に付くよう、教材や内容の構成・配列が配慮されている。	リコーダーでは、演奏に必要な奏法がスムーズに習得できるよう、学習内容が精選され、発達段階に応じた系統的な教材や構成・配列の充実が図られている。		
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。		奏法やポジションが分かりやすく大きく紹介されており、学習意欲が喚起されるよう色づかいやレイアウトを工夫し、学びやすい紙面になるよう配慮されている。	写真はすべてカラーを用い、全体的に落ち着いた色づかいに統一されており、楽譜や楽器の奏法の説明が見やすくなるよう配慮されている。		
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。		箏、三味線などの楽器の学習内容が教材として取り扱われており、能やお囃子の楽器の一部も生徒が興味を持てるよう写真で提示されている。	箏、三味線などの楽器の学習内容が教材として取り扱われており、能の楽器や他の伝統音楽も、写真を用いて表で分かりやすくなるよう配慮されている。		
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。		アンサンブルの教材を多く取り上げており、それぞれの曲での演奏のポイントを紹介し、グループ活動で思考を深めながら音楽表現できるように配慮されている。	「アンサンブルセミナー」を設け、自分の気付きから考えを深め、グループで協働しながら音楽表現できるように学習内容の充実が図られている。		

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

発行番号・略称 調査研究項目	17 教出	27 教芸		
1 器楽の活動に関する事項	創意工夫を生かした器楽表現が身に付くよう充実が図られており、日本の伝統的な楽器の習得法である唱歌を分かりやすく説明するよう工夫されている。	創意工夫を生かした器楽表現が身に付くよう充実が図られており、日本の伝統的な楽器の習得法である唱歌を用いて学習ができるよう工夫されている。		
2 器楽教材の選択に関する事項	歌唱共通教材や鑑賞教材を器楽教材として取り扱った楽曲が多く使われており、習得した知識や技能を活用して学ぶことができるよう配慮されている。	親しみやすい楽曲や内容がふんだんに盛り込まれており、生徒の興味・関心・意欲を高め、音楽が身近なものであることを実感できるよう工夫されている。		
3 器楽の指導で用いる楽器の扱いに関する事項	管・弦・打楽器を種類別に配列し、「まなびリンク」を活用することで、参考音源を通してそれぞれの楽器に親しむことができるよう配慮されている。	取り扱いやすい楽器順に教材を配列し、QRコードを活用することで、楽器や演奏家への理解を深め音楽に親しむことができるよう配慮されている。		

調査研究項目	発行者番号・略称	9 開隆堂	38 光村	116 日文
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。		学びの資料として、基礎的な表現技法を視覚的に掲載しており、美術用語の解説なども明示され多様な題材の学習に対応できるよう配慮されている。	学習を支える資料が充実しており、関連する題材のページとリンクして制作の手順が適宜記載され、生徒が技能を習得・活用しやすいよう工夫されている。	題材ごとに学習のねらいを明示し、巻末に学びの資料を掲載することにより、生徒の制作や鑑賞において発展的な学習になるよう配慮されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。		作者の言葉を随所に挿入し、具体的な資料の充実が図られており、学習の進め方をヒントにして課題の制作に取り組めるよう工夫されている。	作者の制作過程における思考の流れを具体例を挙げて紹介するとともに、生徒の発想・構想の助けになるような資料や記述の充実が図られている。	発想や構想の手立てを示したページがあり、アーティストの活動を紹介して生徒の制作活動のヒントにつながるよう配慮されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。		幅広い表現方法や多種多様な材料・用具を掲載したことで、生徒の個性や思いに沿った多様な表現に対応できるよう配慮されている。	各題材の学びの流れを明確にし、生徒が主体的に学習に取り組めるように巻末資料を充実させ、材料と用具に関わる内容を詳しく示すなど充実が図られている。	実際の授業を撮影した情景作品が多く用いられ、生徒が親近感を持ちながら自分自身の活動を振り返り意欲や興味・関心が持続できるよう示されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。		優れた美術作品の比較鑑賞や優れた日本の美術作品の鑑賞を通して、伝統と文化を尊重する態度を育めるような資料の充実が図られている。	巻末に日本各地の伝統工芸を掲載し、日本の美術文化により深い造詣がもてるような作品や資料を紹介するなど、自国の文化を愛する心を育めるよう工夫されている。	日本の風土に適した材料や伝統文化を学び、日本美術の造形的な美しさや日本文化が世界に及ぼした影響などが感じ取れるよう配慮されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。		他教科との関連や内容を各ページの下に分かりやすいマークで示しており、横断的な学習の広がりや深まりへの手立てになるよう工夫されている。	他教科と関連する題材には「〇〇科とのつながり」というコーナーを設けてあり、他教科との横断的な学びを意識できるよう配慮されている。	他教科での学習を生かしたり、関連付けた題材や事例が掲載されたりしており、特に道徳と深く関連するページには「道徳マーク」で示すよう配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。		3年間の美術の学習について全体構成を示すページがあり、また題材ページの入り口には各分野の学習活動の意味や目的を考慮することができるよう工夫されている。	美術科の学習を明るくスタートできるように「美術って何だろう？」「美術で学ぶこと」という導入ページを設け、3年間の学びが見通せるよう配慮されている。	3冊構成となっており、各教科書の巻頭にはその教科書で学ぶテーマが示されていて、系統的・発展的に学ぶことができるよう配慮されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。		教科書のサイズが幅広くっており、その分写真や図が分かりやすく掲載されていて、文字やレイアウトもカラーユニバーサルデザインを意識して掲載されている。	風合いある用紙を使用したり、図版の上から書き込めるトレーシングペーパーを綴じ込むなど、鑑賞の活動がより深まるよう工夫されている。	色にこだわった美しい図版を取り入れており、全ての生徒が等しく学べるように、文字の背景色や配色はカラーユニバーサルデザインを意識するよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。		QRコードで教科書以外の作品を見ることができ、美術館や所蔵先とリンクすることで、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。	題材に関連する技法の動画や掲載作品の音声ガイドなどのウェブコンテンツが用意され、QRコードを示すことで生徒の自発的な学習を支援できるよう工夫されている。	全教材を通じて、適宜QRコードを設定し、作品を360度鑑賞できるなど、生徒の興味・関心を高め、自ら学ぼうとする意欲を引き出すよう工夫されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。		各単元のページに学習を深めるための「学習のポイント」が示されており、生徒が「つかみ 考え 深める」活動ができるよう配慮されている。	題材ごとに鑑賞作品が提示され、それとあわせて「鑑賞のマーク」も示されており、学習のねらいが生徒に明確に伝わるよう配慮されている。	各題材ページには「造形的な視点」として中心となる発問が掲載されており、生徒が主体的に学ぶことができるよう発問の充実が図られている。

調査研究項目	発行者番号・略称 9 開隆堂	38 光村	116 日文
1 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想に関する事項	各題材の「学習の目標」に「発想や構想に関する目標」を示すとともに、学習を深めるための「学習のポイント」や発想・構想の方法などがマークで示されている。	表現中心の題材では、生徒の写真やアイディアスケッチなどを掲載し、具体的にどのように発想を広げ構想を練っていくのかが分かるよう工夫されている。	作者の言葉や情景写真を掲載することで、生徒がその思いに触れながら、より自分の発想や構想を広げることができるように配慮されている。
2 目的や機能などを考えた発想や構想に関する事項	「作者の言葉」や「アイディアスケッチ」などを取り上げることによって、作品がどのような発想・構想のもとに生まれたのか学ぶことができるよう工夫されている。	「みんなの工夫」と題し、2名の中学生が発想・構想し、試行錯誤する過程を知ることで自分の表現に生かすことができるよう工夫されている。	美術1の巻末資料では、具体的にアーティストの鈴木麻広さんの活動を紹介し、生徒の活動のヒントとなるように発想や構想の手立の充実が図られている。
3 技能に関する事項	各題材の「学習の目標」に「知識や技能に関する目標」を示すとともに、必要に応じて美術で扱う専門用語が「美術の用語」として提示されている。	材料や用具、技法など、さまざまな技法を巻末にまとめ、取り組みやすい具体例を示しながら必要なときに参考にできるよう配慮されている。	技能の基礎を支え、生徒が自分の思いを基に活動を充実させることができるように、材料や用具の取り扱いについて「学びを支える資料」として掲載されている。
4 美術作品などに関する鑑賞に関する事項	作品鑑賞の手立が具体的で、生徒が自主的に作者の意図を感じ取り自分の見方や考え方を深める学習活動につながるよう、鑑賞活動の流れが提示されている。	鑑賞の題材では他者と対話する、作品を比較する、美術文化について知識・理解を深めるなど、多様な切り口の鑑賞活動がバランスよくできるよう配慮されている。	実際に折り、立てて鑑賞できる観音開きの造本にすることで、色や奥行きや見え方の違いを実感し、より作者の思いを考え鑑賞活動が深まるよう工夫されている。
5 美術の働きや美術文化に関する鑑賞に関する事項	ワイド判の紙面を用いることで、生活や社会の中の美術に関わる内容が幅広く取り上げられ、生徒自身の生活と関連付けて鑑賞できるよう配慮されている。	美術文化の多様性を感じることができるよう、さまざまな国や地域、時代の作品を選ぶとともに、題材の中で適宜伝統工芸が掲載されるよう配慮されている。	家庭や地域社会に結び付いた、地域の作品を作る事例などを多数掲載し、地域文化や郷土のことを考えながら活動することができるよう工夫されている。
6 形や色彩などの性質や感情にもたらす効果の理解に関する事項	基礎基本の幅広い知識と技能を身に付けるために、形や色彩などの造形要素、表現技法や材料・用具の知識などを整理し、「学びの資料」として充実が図られている。	巻末に掲載されている色相環は観音開きを利用して、いつでも引き出して参照できるように、すべてのページに対応できるよう配慮されている。	生徒が自分の感じ方で形や色彩を捉え、造形的な視点を豊かにするために生きて働く知識として実感を伴った理解をして身に付けていけるよう示されている。
7 全体のイメージや作風などで捉えることの理解に関する事項	迫力ある作品の図版を大きく扱い、作品の造形的な良さや美しさ、表現の意図、表し方などについて自分の見方や感じ方を深められるよう配慮されている。	より本物に近い感覚で見ることができるよう、図版の見せ方や紙質に工夫を凝らし、トレーシングペーパーを綴じ込み、かき込むことができるよう工夫されている。	A4判正寸よりも横に2cm広いA4ワイド判で作品や写真を見やすく、インパクトを持たせて掲載し、生徒の興味関心を引き出すよう工夫されている。

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。		「見つける」から「広げる」まで段階的に学習の流れが配置され、学習のまとめりごとの発問で課題を明確にし「学習のまとめ」で定着を図るよう工夫されている。	各章末の「学習のまとめ」では、基礎的・基本的知識の定着を図るために、振り返りの学習として重要な言葉が一覧にまとめて掲載されている。	各章末の「章のまとめ」では、確認問題を知識・技能と思考・判断・表現に分けて記載し、基礎的・基本的な知識の定着が図られるよう配慮されている。	基本的な語句の説明が欄外に示され、「章のまとめ」では実生活へつなげる記述欄やキーワードをまとめて示すなど、反復的に学習できるよう配慮されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。		「活用する」「広げる」では、習得した知識・技能を活用して、身近な生活に結び付けて、より深く考える活動が行えるよう工夫されている。	「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」において探究学習が示され、具体的に考えたり調べたりできるよう配慮されている。	「学習のまとめ」では、学習した内容を生かして、話し合ったり、表現したりする活動が設けられ、自らの生活と結び付けて考えることができるよう工夫されている。	「まとめる・深める」では、対話的な言語活動が促進されるとともに、「冒頭」等の多様なマークを付け、問題解決的な学習を行うことができるよう工夫されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。		「広げる」で調べるテーマを示したり、「Dマーク」でデジタルコンテンツ50種類を一覧表で示したりして、自主的・自発的な学習の充実が図られている。	マークを付けて家や地域でできる活動を示し、デジタルコンテンツにまとめの問題や資料を掲載して、自主的に学習できるよう配慮されている。	学習内容に関連した「コラム」や「事例」を多数掲載したり、欄外にWebマークを付けたりして、自主的にインターネットで調べ学習ができるよう工夫されている。	欄外に「探究マーク」や「リンクマーク」を示し、章末の「探究しようよ」やWebでは、さらに探究心をもって自主的な学習が促されるよう工夫されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。		各章の扉に道徳科の内容項目を示したり、スポーツや医療などの発展に貢献した偉人を紹介したりして、伝統と文化を尊重する態度が身に付くよう配慮されている。	口絵や資料では、オリンピック・パラリンピック大会の歴史や活躍した人物を紹介し、文化としてのスポーツの意義について理解できる内容が掲載されている。	口絵の「共に生きる」で、様々な人々のメッセージが掲載され、コラムではがん体験者の体験談を取り上げるなど、道徳性を養うことができるよう配慮されている。	各章の扉の「ひと」において、偉人だけでなく、学習内容と関連の深い専門家からのメッセージが掲載されるなど、道徳性を養うことができるよう配慮されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。		「章末資料」でネットトラブルの例を挙げたり、依存に対する調査表を掲載したりするなど、「情報モラル教育」への意識を高めることができるよう工夫されている。	「口絵」にスマートフォン、資料に情報モラルやネットトラブルに関する学習内容を掲載し、情報活用能力を高めることができるよう配慮されている。	「特集資料」や「クローズアップ」でネットトラブルやSNSの危険性、健康被害について取り上げ、情報と健康教育との関連が掲載されている。	情報活用能力について、「探求しようよ」等でネットトラブルや健康被害について取り上げ、依存チェック表を掲載して健康への意識を高めるよう配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。		リンクマークで他学年の学習内容との関連を示すとともに、「読み物」や「巻末資料」で発展的な学習内容につながるよう工夫されている。	リンクマークで他学年の学習内容との関連をまとめて示し、「学びを活かそう」では習得した知識や技能を活用して、発展的に学習に取り組めるよう配慮されている。	「関連マーク」で他学年の学習内容との関連を示し、学習が進めやすくなるよう発展的な学習内容である「クローズアップ」が項の間に掲載されている。	「関連マーク」で他学年の学習内容との関連を示すとともに、章末の「探究しようよ！」では、より発展的な学習を行うことができるよう工夫されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適切であり、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。		本文に関連した図や挿絵が適切に配置され、「ポイント」で大事な事項について説明されるなど、学習への理解を深めることができるよう工夫されている。	学習内容を理解しやすくするために、左頁に本文、右頁に図やグラフを掲載するとともに、1年時の本文の文末は、区切りのよい箇所で行改行するなど配慮されている。	資料や図が適切に配置されており、「読み取る」の欄で読み取ってほしいポイントが示され、学習への理解を深めることができるよう工夫されている。	本文に関連した図や挿絵が適切に配置され、それぞれに理解しやすいよう説明文が付くなど、学習への理解を深めることができるよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。		本市生徒の健康課題に関連する資料である「食事」や「睡眠の大切さ」が掲載されるなど、生活習慣と健康の関連を理解することができるよう配慮されている。	本市生徒の健康課題に関連する資料である「食事」を掲載するなど、食育と健康について理解することができるよう配慮されている。	本市生徒の健康課題に関連する資料である「健康診断の検査項目」や、がん体験者のことばを掲載し、健康に関する意識を高めることができるよう工夫されている。	本市生徒の健康課題に関連する運動、食事、休養についての「生活チェック表」を掲載するなど、健康に関する意識を高めることができるよう工夫されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。		「発問」や「活用する」では、他者に説明したり、グループで話し合ったりする活動が設けられているなど、対話的に学習が進められるよう工夫されている。	「話し合ってみよう」や「学びを活かそう」では、自分の考えを記入し、グループ学習において他者と話し合う中で思考を深めることができるよう工夫されている。	「学習のまとめ」ではグループ学習の場が設定され、「特集資料」等では自分の考えを記入することができるなど、課題解決型の学習となるよう配慮されている。	「考える・調べる」「まとめる・深める」「探究しようよ！」等を通して、グループ学習の充実と問題解決的な学習を進めることができるよう工夫されている。

（注）QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研
1 運動やスポーツの多様性に関する事項		章末に、様々な立場の人からのメッセージを掲載するとともに、スポーツライフの表を作成し、自己に適した多様な楽しみ方を見付けられるよう工夫されている。	章末に、運動やスポーツの変遷と中学生で学ぶ運動領域とを分けて掲載し、スポーツがどのように発展してきたか理解できるよう配慮されている。	「特集資料」では、運動が苦手な人や高齢者、障害者も楽しめるスポーツについて掲載し、スポーツの楽しみ方が多様であることを実感できるよう配慮されている。	「口絵」で様々な分野で活躍する人たちのメッセージを掲載し、「まとめる・深める」で身近な例を取り上げ、学習に取り組むことができるよう配慮されている。
2 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方に関する事項		章末に、運動中の事故やけがを防ぐ方法を振り返るチェックシートや運動の合理的な学び方を図で示すなど、考えながら安全に運動が行えるよう工夫されている。	運動やスポーツの学び方を、中学生で学ぶ運動領域ごとに分けて掲載するなど、効果的に上達するための工夫について理解できるよう配慮されている。	「クローズアップ」では、体力の高め方について取り上げ、自己の体力向上のための計画作りや、体づくり運動と関連付けて学ぶことができるよう配慮されている。	「探究しようよ」では、体力の必要性と災害を結び付けるなど、スポーツに限らず、体力を高めることの重要性について理解できるよう配慮されている。
3 文化としてのスポーツの意義に関する事項		オリンピック・パラリンピック大会で活躍した選手のメッセージを通じ、国際的なスポーツ大会の役割を生徒が実感をもって理解できるよう配慮されている。	オリンピック・パラリンピック大会が、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしてきたことや、その歴史や変遷について掲載されている。	「コラム」等で、オリンピック・パラリンピック大会の歴史や意義を掲載し、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしてきたことが理解できるよう配慮されている。	オリンピック・パラリンピック大会の文化的意義についてQ&A形式で掲載し、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしてきたことが理解できるよう配慮されている。
4 健康な生活と疾病の予防に関する事項		章末資料の内容が充実しており、アレルギーやインターネット依存症、感染症について発展的に学習内容が深められるよう工夫されている。	章末の「学びを活かそう」では、学んだことを身近な生活の中で生かすことができるような課題を設定するなど、学習内容をより深く理解できるよう配慮されている。	章末の「特集資料」では、がんや食物アレルギー、感染症についての資料が掲載され、予防に関する学習内容を理解することができるよう配慮されている。	章末の「探究しようよ!」の内容が充実しており、アレルギーやがん、感染症に関して、より発展的に学習内容が深められるよう工夫されている。
5 心身の機能の発達と心の健康に関する事項		「活用する」では、日常生活で起こるような事例を取り上げるとともに、ストレス対処自己チェック表を掲載し、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	ストレスや欲求への対処について具体的な資料が掲載され、「学びを活かそう」では、身近な課題として向き合うことができるよう配慮されている。	ストレスの対処法について、実習としてリラクゼーションの方法を資料とともに取り上げるなど、技能の向上が図られるよう工夫されている。	「カウンセリングルーム」で中学生が持ちやすい悩みを取り上げたりストレス自己チェック表を掲載したりして、心の健康を身近に感じられるよう配慮されている。
6 傷害の防止に関する事項		心肺蘇生法の実習の振り返りとして、手順とポイントの表を掲載し、応急手当の意義やAEDの重要性について理解できるよう配慮されている。	「心肺蘇生法」や「AEDの使い方」について、見開きにすることで全体の手順を確認しながら実習を進めることができるよう工夫されている。	応急手当の学習によって救命できた事例やASURAモデルの「コラム」を取り上げて、応急手当の意義やAEDの重要性について理解できるよう工夫されている。	「心臓蘇生法」では、実習を行いやすいようにチェックシートが示され、動画でも確認できるようになっており、学習内容が理解できるよう配慮されている。
7 健康と環境に関する事項		発展的な学習内容として、「熱中症の予防と手当」と「放射線と健康」が掲載され、より正しい知識が身に付けられるよう工夫されている。	「学びを活かそう」で使い捨てプラスチック問題を示し、身近な環境問題として捉え、その対策を生活と結び付けて考えられるよう配慮されている。	環境に関わる資料を写真で理解しやすいように示しており、「コラム」では、今と昔を比較して環境問題への意識が高まるよう配慮されている。	「探究しようよ!」では、「熱中症とその予防」「放射線と健康」を取り上げ、学習内容についてより深く学び、安全な生活が送ることができるよう工夫されている。

調査研究項目	発行番号・略称	2 東書	6 教図	9 開隆堂
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。		各内容のはじめには技術の見方・考え方と原理・法則について習得できる視点が示されており、身に付ける知識や技能が明確になるよう工夫されている。	「見つける」「学ぶ」「振り返る」という学習の流れで原理・法則について習得できるよう示されており、身に付ける知識や技能が明確になるよう配慮されている。	各内容のはじめには原理・法則について習得できるような具体的な視点が示されており、身に付ける知識や技能が明確になるよう工夫されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。		随所にレポート形式で思考力・判断力・表現力等を育む具体的な学習活動例が示され、まとめでは知識・技能を活用して思考を深める内容になるよう工夫されている。	「やってみよう」という形式で、思考力・判断力・表現力等を育む学習活動例が示され、まとめで知識・技能を活用して思考する内容になるよう配慮されている。	思考力・判断力・表現力等を育む手掛かりが示され、まとめでは読んで自分の考えを整理し学びを深められるようコラムが提示されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。		興味・関心を高める科学的根拠に基づく資料がまとめられており、実践的・体験的な学習活動が状況に応じて選ぶことができる内容になるよう配慮されている。	自主的、自発的な学習が促されるように作業手順が丁寧に記載されており、経験を生かした設計・計画ができるよう内容の充実が図られている。	各内容の最初に、興味・関心が高まるような先端技術の写真が見開きで掲載されており、生徒が主体的に取り組めるよう配慮されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。		社会で活躍する技術に携わる人を「技術の匠」で紹介し、伝統的なものづくりの技法に工夫を加え現代に生かすなど、道徳性や職業観が養われるよう工夫されている。	「ソゴ技」や「技ビト」では伝統技術や生活との関連、様々な分野で活躍する職人からのメッセージが掲載され、勤労観や職業観が養われるよう工夫されている。	伝統的な技術を改良し発展させた例や伝統的な技・材料・工芸MAPが掲載され、日本の伝統と文化の素晴らしさが理解できるよう配慮されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。		Society5.0やSDGsだけでなく技術イノベーションについても取り上げられ、新たな価値のつながりについての理解が深まるよう工夫されている。	Society5.0やSDGsについて取り上げられ、学習した技術がこの先どのように社会で生かすことができるか考えられるよう配慮されている。	環境を保全する技術が重視されており、加えて医療や福祉に関する技術も取り上げられ、これからの社会の在り方について考えられるよう示されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。		ビジュアル型のプログラミング言語を使用したプログラムによる問題解決に取り組める例が掲載されており、小学校での学習が生かせるよう配慮されている。	ビジュアル型のプログラミング言語や日本語入力型のプログラミング言語を使用した題材例が掲載され、系統的・発展的な学習ができるよう工夫されている。	小学校で学んだプログラミング的思考を活用して問題解決ができるよう、KJ法やアクティビティ図などの思考ツールが随所に掲載されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。		図や写真、イラストの数が多く、思考に合わせて図の向きや種類が変えられており、加えてQRコードによる音声での解説や資料提示の充実が図られている。	挿絵と写真が視覚に訴えられ、図表に統一性があり、見やすく掲載されていることに加え、文字が大きく重要語句に色がついており、読みやすいよう配慮されている。	生徒の作業目線に立ったイラストや写真が系統立てて示されており、矢印や囲いが多く、作業のポイントや意図が伝わりやすくなるよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。		義足や音のなる信号機の設計などのインクルーシブ教育やコンピュータを活用した防災に関する取組について理解が深まるよう工夫されている。	義手や歩行を支援するロボットスーツの設計などのインクルーシブ教育や品種改良時における知的財産権の保護について理解が深まるよう工夫されている。	使いやすくする工夫や見やすくするための工夫といった障害がある人たちなどとの共生について、ユニバーサルデザインの視点で配慮されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。		問題の発見・課題の設定から、製作を経て、評価、改善までの流れが会話形式で記述されており、対話的に設計要素が検討できるよう工夫されている。	冒頭の項目「見つける」や「やってみよう」では、ペアによる会話形式で課題が提示されており、言語活動が充実するよう配慮されている。	知識の羅列にとどまらず、様々な学習内容を考慮して構成されているので、グループ活動で学びを広げ、今後の生活に生かせるよう工夫されている。

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

発行番号・略称 調査研究項目	2 東書	6 教図	9 開隆堂	
1 材料と加工の技術に関する事項	熊本城の耐震性や利便性の向上、飲み物を入れる容器の変化などが説明されており、技術による社会の変化について理解できるよう示されている。	生分解性プラスチックや海洋ごみ問題、森林のサイクルが写真やイラストで説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう工夫されている。	アルミニウム缶の開発や植物でできた自動車について紹介されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう配慮されている。	
2 生物育成の技術に関する事項	材木を育てる技術やこれからの農業、林業、水産業の多面的機能がイラストで説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう工夫されている。	ドローンによる害虫駆除や持続可能な社会のための畜産の技術がイラストで説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう工夫されている。	アラル海の変化やAIとビックデータの活用による作業を効率化する技術が説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう示されている。	
3 エネルギー変換の技術に関する事項	持続可能な発電技術だけでなく、持続可能な都市の実現に向けた技術が図で説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう工夫されている。	CO ₂ の排出量やエネルギー変換の技術のプラス面とマイナス面がグラフや表で説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう示されている。	既存の技術を改善した垂直型風力発電や小水力発電、バイオマス資源が図で説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう配慮されている。	
4 情報の技術に関する事項	自動運転技術や人工知能を活用した作業効率向上の技術の例が紹介され、技術による社会の変化や環境について理解できるよう配慮されている。	情報の技術の利用例が多岐にわたり紹介され、自動かん水装置やAIの活用なども説明されており、技術による社会の変化について理解できるよう工夫されている。	情報の技術の利用例が多岐にわたり紹介され、植物工場やドローンの活用なども説明されており、技術による社会の変化について理解できるよう工夫されている。	

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	6 教図	9 開隆堂
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。		小題材ごとに「目標」「キーワード」「学習のまとめ」が構成されていることや、基礎的な技能が写真や図で分かりやすく示されているなど充実が図られている。	小題材ごとに「めあて」「キーワード」「学習のふり返し」が構成されていることや、基礎的な技能が写真で示されるなど充実が図られている。	小題材ごとに「学習の目標」「ふり返し」が構成されていることや、「学習のまとめ」で基礎的な学習内容を確認できるよう配慮されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。		ガイダンスで「問題を解決する道筋と見方・考え方」を示し、見通しをもたせることや、「生活の課題と実践」で実践例が多く示されるなど充実が図られている。	既習事項を生かした課題について取り組むページがあり、「生活の課題と実践」で発展的に扱うことで、家庭や地域での実践が深まるよう工夫されている。	「生活にいかそう」などでは、様々な対話や意見交換ができる学習活動が取り入れられており、自分の考えを広げたり深めたりできるよう配慮されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。		キャラクターとともに学習を進めることや、資料としてかぶら寿司や加賀野菜、石川の住まいを掲載し、興味を持って学べるよう工夫されている。	学びを人生や社会に生かす「センパイに聞こう」のコラムや、加賀たきゅうりや治部煮、輪島塗、九谷焼を掲載し、興味を持って学べるよう工夫されている。	各分野で活躍している方のコラム「先輩からのエール」や豆知識の掲載、治部煮や加賀野菜が取り上げられており、興味を持って学べるよう配慮されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。		地域の食材や和食、伝統的な住まい方などの記載や、「プロに聞く」のコラムにおいて衣食住に関する伝統文化に触れ、理解が深まるよう充実が図られている。	巻頭資料での「年中行事と私たちの暮らし」や、だしを使った調理や浴衣の着付けなどを写真やイラストで示し、理解できるよう配慮されている。	和食のよさや行事食、伝統的な住まい方などの記載や、巻末における衣食住に関する伝統文化の資料が一覧になっており、理解が深まるよう充実が図られている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。		環境、消費者、防災に加え、情報モラルについてマークで分かりやすく示していることや、巻末に防災・減災手帳を付けるなど生活に活用できるよう工夫されている。	環境、消費者、防災についてマークで分かりやすく示していることや、消費生活の導入としてSDGsについて考えることができるよう配慮されている。	環境、防災についてマークで分かりやすく示していることや、巻末に防災に関する資料を掲載することで「いのちと生活」について理解が深まるよう配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。		小学校家庭科や他領域、他教科との関連をリンクで表記することを通して、小中高の系統性や発達段階を踏まえた構成になるよう配慮されている。	内容ごとの導入において、小学校家庭科とのつながりを確認し、「自立度チェック」を通して見通しをもって学習ができるよう配慮されている。	生活の見方・考え方、主体的・対話的で深い学びについての確認など、ガイダンスのページが充実しており、学習の見通しをもつことができるよう工夫されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達の段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。		「資料」では実物大の写真を多く用い、調理の手順や布を用いた製作などの実習が分かりやすく表示され、視覚的に理解が深まるよう工夫されている。	幼児の発達や遊び、調理や布を用いた製作などについて、写真やイラスト、図を用いて効果的に示し、理解が深まるよう充実が図られている。	1日の食品摂取量の目安、幼児の手形などの実物大写真や布を用いた製作物の活用写真など、実生活での活用がイメージできるよう図られている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。		基礎基本の定着や発展的な学習において、写真などを用いた学習だけでなく、動画やWEBページへのリンクなどデジタルコンテンツの充実が図られている。	教科書の写真や資料だけでなく、実習のページにQRコードを掲載し、デジタルコンテンツを用いて動画や資料で学習内容が理解できるよう配慮されている。	教科書の写真や資料だけでなく、多くのページにQRコードを掲載し、デジタルコンテンツを用いて基礎基本を中心に学習内容が理解できるよう配慮されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。		「活動」では、体験やロールプレイングなどを通して、考えたり話し合ったりすることで、主体的・対話的に取り組むことができるよう配慮されている。	「考えてみよう」などを随所に掲載し、興味・関心や意欲を高める内容をはじめ、多様な活動を紹介し、主体的・対話的に取り組むことができるよう工夫されている。	「考えてみよう」「話し合ってみよう」「発表しよう」では、ロールプレイングなどの活動を通して、主体的・対話的に取り組むことができるよう配慮されている。

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	6 教図	9 開隆堂
1 自分の成長と家族・家庭の生活に関する事項		家族に関する絵本の紹介や、「活動」を通して自分の幼い頃を振り返りながら、家族との関わり方を考えることができるよう配慮されている。	様々な家族の形態として、アニメの家族を紹介したり、家庭生活を支える施設などを図で示したりして、学習内容をイメージしやすいよう配慮されている。	家族の気持ちを考えるロールプレイングや具体的なデータなどの資料により、家族関係や家族のあり方についての理解が深まるよう工夫されている。
2 幼児の生活と家族に関する事項		幼児が使用する物の実物大写真や幼児との触れ合いの実習例、子どもの視界体験眼鏡など、幼児の発達への理解が深まるよう充実が図られている。	幼児の体や心の発達、生活や遊びなどについて写真やイラストを交えた具体例が多く掲載され、幼児の特徴への理解が深まるよう工夫されている。	幼児と中学生との比較写真で発達の違いを分かりやすく示したり、幼児との関わり例やレポート例を掲載したりして学習内容をイメージしやすいよう配慮されている。
3 家族・家庭や地域との関わりに関する事項		高齢者との関わり方についてイラストで詳しく示されていることや、介護福祉士の言葉などを掲載し、関わり方を考えることができるよう工夫されている。	高齢者の疑似体験や関わる時のマナー、介助の注意点など、具体的な例を挙げ、高齢者との関わり方を理解することができるよう工夫されている。	高齢者や障害者、LGBTなど、多様な人々が暮らしている様子が分かる資料や写真が掲載されており、学習内容をイメージしやすいよう配慮されている。
4 食事の役割と中学生の栄養の特徴に関する事項		健康によい食習慣などについて、資料や写真を比較したり、管理栄養士のコメントにしたりして、自分の食生活を振り返りながら学べるよう配慮されている。	欠食等のよくない食習慣や朝食をおいしく食べる工夫など、今日的な課題について記載されており、自分の食生活を振り返りながら楽しく学べるよう工夫されている。	健康によい食習慣や朝食の大切さについてデータで示したり、人体のイラストで栄養素のゆくえを示したりして、学習内容が理解できるよう配慮されている。
5 中学生に必要な栄養を満たす食事に関する事項		食品の概量が分かる実物大写真や、手ばかり・目ばかりの写真が掲載され、中学生が一日に必要な食品の概量を視覚的に把握できるよう配慮されている。	五大栄養素に関する小学校との関連を図で取り上げたり、6群全ての食品の原寸大の写真が掲載されたりして、理解が深まるよう工夫されている。	中学生が一日に必要な6群すべての食品の原寸大写真の掲載や、五大栄養素の種類と働きが分かりやすく図で示され、理解が深まるよう工夫されている。
6 日常食の調理と地域の食文化に関する事項		基礎技能や調理手順を写真を用いて分かりやすく示したり、オリジナル調理などを掲載したりして、授業や家庭で実践することができるよう充実が図られている。	食材の切り方や調理手順に写真を多く掲載し、実習例について思考課題やアレンジ例、失敗例が示されていることで技能が定着するよう配慮されている。	実習例について調理手順を写真を用いて分かりやすく示したり、組み合わせ例やQ&Aを掲載したりして、実践につなげられるよう配慮されている。
7 衣服の選択と手入れに関する事項		和服の特徴をイラストを用いて理解できるようにするとともに、小学校家庭科で学んだ基礎技能等を写真で記載し、技能が定着するよう充実が図られている。	和服の特徴や着用手順をイラストを用いて理解しやすいようにするとともに、基礎技能を写真を用いることで補修等の技能が定着するよう配慮されている。	和服への関心が高まるように写真やイラストを掲載し、手縫いの基礎技能やアイロンがけの写真を用いて、技能が定着するよう配慮されている。
8 生活を豊かにするための布を用いた製作に関する事項		簡単で実用的な製作例が多く、工夫を広げるリメイクなどのアレンジ例や、資源や環境に配慮した製作を掲載するなど充実が図られている。	実習例について、作りたい大きさの考え方やアレンジ例を掲載するなど、自分や家族の生活に役立つものの製作につなげられるよう配慮されている。	項目ごとに製作の基礎基本についての写真や図を用いてまとめたたり、製作例の実際の活用について写真を示したりして、イメージしやすいよう配慮されている。
9 住居の機能と安全な住まい方に関する事項		家庭内の事故を年齢別で比較したり、ユニバーサルデザインや災害対策等の写真や資料を多く取り入れたりして、理解が深まるよう充実が図られている。	具体的なイラストや過去の自然災害の写真により、住まいの中で起こる事故や自然災害への備えについて、理解することができるよう配慮されている。	幼児や高齢者などの家族の行動や身体の特徴に応じた安全対策や配慮、災害時の想定として避難所の準備などを考える資料が提示されている。

調査研究項目	発行番号・略称 2 東書	6 教図	9 開隆堂	
10 衣食住の生活についての課題と実践に関する事項	イメージマップやダイヤモンドランキングなどの思考ツールや、複数の領域を関連させた課題と実践を紹介し、学習が円滑に進むよう工夫されている。	「学びをいかそう」で課題設定のヒントや課題例を示し、各題材や複数の領域を関連させた課題と実践例について取り組みやすいものを掲載するなど配慮されている。	他の学習内容との関連を図った課題と実践例が複数提示され、主体的に家庭や地域で実践的・体験的な活動を行うことができるよう配慮されている。	
11 金銭の管理と購入に関する事項	商品購入のシミュレーションにおけるよりよい商品の選択と購入、多くの消費者トラブルの事例を通して、実践的に学習できるよう配慮されている。	買い物の意思決定のプロセスや、多様化するキャッシュレス決済、クレジットカードの仕組みについて豊富な情報を掲載し、実践的に学習できるよう工夫されている。	暮らしの中のマーク一覧の掲載や、キャッシュレス化、中学生の消費者被害とその対応の仕方を取り上げ、実践的に学習ができるよう工夫されている。	
12 消費者の権利と責任に関する事項	消費者の権利と責任について、漫画を用いて考える活動を取り入れたり、日常の行動と関連付けて理解したりすることができるよう図られている。	消費行動が社会に与える影響について、お客様サービスセンターへのインタビューや身近なエシカル消費の実践例を挙げて、理解できるよう配慮されている。	消費者の権利と責任について、事例を通して自分たちの買い物ができるように社会に影響するのかわかりやすいイラストで理解しやすいよう工夫されている。	
13 消費生活・環境についての課題と実践に関する事項	持続可能な消費生活としてエシカル消費に関する資料を多く取り入れ、今日的な課題として自分たちの消費生活を考えることができるよう配慮されている。	SDGsやエシカル消費、環境問題の具体例を多く掲載し、課題設定のヒントなどを示しながら、今日的な課題として捉えることができるよう工夫されている。	SDGsやフェアトレード、18歳成人に向けての専門家のコラムなどの今日的な課題について、自分自身のこととして考えることができるよう配慮されている。	

調査研究項目	2 東書	9 開隆堂	15 三省堂	17 教出
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	各単元において、基本本文が自然なコミュニケーションの中で紹介されており、場面設定に応じた表現を学ぶことができるよう工夫されている。	各単元において、基本本文が漫画形式で自然な流れの中で紹介されており、どのような場面や状況で使用されるのか理解しやすいよう配慮されている。	各単元の基本本文については、キャラクターの発問を通して、既習の英文と対比しながら、文法事項や文構造を整理、理解することができるよう工夫されている。	各単元において基本本文の簡潔な説明の後、使い慣れているために「Tool Kit」が設けられ、語句を入れ替えて基本本文を繰り返して練習できるように示されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	「Stage Activity」が各学年で3つ設定され、英語を使用する目的・場面・状況を意識して領域を統合した言語活動に取り組むことができるよう工夫されている。	「Our Project」では、思考判断しながら表現できるよう、自分の考えを整理し、ペア・グループで学び合い、考えを再構成する学習過程が示されている。	「Project」では、目的や場面、状況に合わせた様々な題材を、開いたり読んだりしながら思考判断し、自分の考えや気持ちを伝えられるよう工夫されている。	「Project」では、積み上げた知識や技能を総合的・統合的に活用し、生徒の思考・判断を加えながら、課題が達成できるように示されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	「学び方コーナー」では学習のポイントが系統的に取り上げられ、「Word Room」では語彙が豊富に準備されており、主体的な学習が進められるよう工夫されている。	学習の見通しをもつことができるように、巻末資料の「英語で『できるようになったこと』リスト」では、4技能5領域別に到達目標が示されている。	「For Self Study」では、辞書の活用や、授業以外での英語の勉強の仕方など、英語学習の参考になる情報を提供し、自律的な学習の支援が図られている。	「Tips」では英語に関わるルールなどを、「How to Study」では、自律的な学習を支援するために、自学自習のコツなどが示されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	日本の食文化や俳句を取り上げて日本のよさに気付かせたり、平和や国際理解について考えさせる読み物教材を掲載して道徳性を養ったりするよう配慮されている。	日本のポップカルチャーや花見などを取り上げて文化を発信したり、国際理解や環境問題、福祉について考えさせたりするよう配慮されている。	日本の落語や漫画、アニメを取り上げて日本文化について考えたり、海外の報道写真や文学作品を掲載し、道徳性を養ったりする題材の充実が図られている。	夏祭りや落語などを取り上げて日本文化のよさに気付かせたり、ユニセフや広島についての読み物教材を掲載して道徳性を養ったりする題材の充実が図られている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	防災や安全、国際協力、AI、エネルギー問題等について考えたり、国際科、家庭科、理科、社会科の内容を英語でも学んだりすることができるよう配慮されている。	環境問題やAI、手話等をテーマとする単元や理科、技術科、生活習慣とも結び付けて指導することができる題材が取り上げられ、内容の充実が図られている。	共生や環境問題、パラスポーツ等のテーマが3学年を通して複数取り上げられ、理科や社会、国語、技術、音楽等、多くの他教科と関連するよう工夫されている。	環境問題をテーマとする単元は3学年を通して系統的に扱われ、介助犬やオリンピック、子供の貧困など多岐に渡って取り上げられ、内容の充実が図られている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	1年生のUnit 1～5には、「Enjoy Communication」が設定され、小学校で慣れ親しんだ表現を使って話す活動を行うことで円滑な接続となるよう工夫されている。	1年生の「Get Ready」では、インタビューや発表など、小学校で慣れ親しんだ表現活動を設定することで、小学校からの円滑な接続となるよう配慮されている。	1年生の「Hello Everyone」や「Starter」では、小学校で慣れ親しんだ場面や身近な話題の会話を聞き、学びを振り返ることができるよう配慮されている。	1年生の「Spring Board」の「Sugoroku」では、小学校での学びを振り返ることができるよう、小学校での既習表現を使って質問に答える活動が示されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	1年生の教科書では、ほとんどの単元の本文で手書きに近い書体で使用されており、書くことに対して自然に文字に触れられるよう工夫されている。	文字、写真と絵がバランスよく取り入れられ、色調も柔らかい紙面で、手書きに近い書体も使用されるなど、全体的に見やすい構成となるよう配慮されている。	オリジナルの手書きフォント、ユニバーサルデザインフォントやオリジナルゴシックフォントが使われ、生徒の発達段階に応じて学びやすく示されている。	表紙裏の写真や、各単元の写真が非常に美しく、また各単元の内容で絵のタッチが異なり、生徒の興味関心を引くよう紙面の充実が図られている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	2、3年生の「Read and Think」では、概要から詳細への3段階読みの過程を通して、得られた情報や知識を活用し、自分の考えを表現できるよう工夫されている。	「Think」では、題材に興味を持って主体的に読み進めることができるようなコラムが掲載されているとともに、深い思考につながるような発問の充実が図られている。	「USE Read」では、目的や場面、状況を明確にした読む活動が設定され、まとまりのある英文の要点や概要を読み取る力を付けられるよう配慮されている。	各単元の「Think & Try」では案内役のキャラクターの発問を通して、課題を解決するためのヒントや思考を促すようなアドバイスが掲載されている。
9 「自分で みんなで考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	「Stage Activity」では、個人、ペア、グループで関わり合いながら、様々な活動を系統的に積み上げていくことで、確実に表現する力が付くよう配慮されている。	「Steps」で技能を確認した後、「Our Project」では、グループで意見を交換する場面が設定され、みんなで考えて発信できるよう配慮されている。	「USE Write」では、自分の考えを整理して書いた後、「Work in Class」でグループ活動を通して学び、最後は自分で課題解決に取り組めるよう工夫されている。	「Project」では、ペア・グループで協働しながら、生徒自身が伝える内容を整理し、課題を解決することができる技能統合型の活動が示されている。

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

発行番号・略称 調査研究項目	38 光村	61 啓林館		
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	各単元では、基本本文を聞く、話す、書く活動で繰り返し使うことにより、使用場面や意味・文構造を理解しながら、習得できるよう配慮されている。	各単元において基本本文の簡潔な説明の後、使い慣れていくために「Practice」が設けられ、語句を入れ替えて基本本文を繰り返し練習できるよう示されている。		
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	各単元末の「Goal」と年3回の「You Can Do It!」では、目的や場面、状況に応じて、伝える内容を考え、表現する力を身に付けられるよう配慮されている。	「Project」では、各単元での学びを生かし、4技能5領域を統合的に活用することで、思考力・判断力・表現力が身に付くよう示されている。		
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	「Your Coach」では、まとまりのある英文を書くポイントなど、英語学習に役立つ領域別のコツを示し、自律的学習を育成できるように配慮されている。	「More Information」では、題材への興味関心を高め、自発的な学習を促すことができるよう、学習するテーマや内容に関する情報が示されている。		
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	日本の正月や絵文字などを取り上げて文化に気付かせたり、世界の学校や環境問題などについて考えさせたりする題材を扱い、道徳性を養うよう配慮されている。	日本の漫画や祭りを取り上げて日本の良さに気付かせたり、自然や動物との共存や生命の尊さについて考えさせたりする題材の充実が図られている。		
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	防災訓練やプラスチックごみを題材とした教材を扱い、防災へ備える意識や環境問題について考えることができるよう配慮されている。	動物との共存についての活動などを通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全について考えることができる題材が示されている。		
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	1年生の「Let's Be Friends!」の「英語の音とつづりをたしかめよう」では、繰り返し発音とつづりのルールを学ぶことができるよう示されている。	1年生の「Let's Start」では、小学校で学習した「アルファベットの書き方」を丁寧に復習できるように、アルファベットを書くコーナーが掲載されている。		
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達の段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	学校生活を中心とした話が展開されており、キャラクターの成長を楽しみながら英語を聞いたり、音読したりできるよう工夫されている。	1年生で扱う文字は、全てユニバーサルデザインフォントで統一し、活字体は2学年から提示され、文字指導で混乱が生じないように配慮されている。		
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	「You Can Do It!」では技能統合型の活動が年に3回設定され、生徒が主体的に伝える内容を考え、表現することができるよう配慮されている。	「Use」「Express Yourself」では、自ら伝えたい内容を考え、何が適切かを判断しそれを英語でわかりやすく表現する力を養う活動が掲載されている。		
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	「You Can Do It!」では、グループ内で協力しながらやり取りをしたり、発表したりする活動が紹介され、主体的に学習内容が確かめられるよう配慮されている。	「Use」「Project」では、ペアやグループの活動を設定し、意見や考えを伝え合い、理解し合うことで学習内容を確かめられる活動が掲載されている。		

発行番号・略称 調査研究項目	2 東巻	9 開隆堂	15 三省堂	17 教出
1 英語の特徴や決まりに関する事項	「Grammar for Communication」では、見開きで図解を豊富に取り入れて文法の解説をまとめ、併せて確認問題で実際に使用させて定着するよう配慮されている。	各単元末の「英語のしくみ」では、文法事項がまとめられ、品詞によって色分けされており、要点が端的に分かるよう示されている。	「基本文のまとめ」や「いろいろな単語」など、文法事項や語彙を分かりやすく整理した付録が充実しており、学習内容が定着するよう工夫されている。	「Grammar」では、見開きで表現や文の構造を確認するページが掲載され、各単元の学習活動を振り返ることができるような項目も併せて示されている。
2 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項	「Let's Listen」では、ラジオの災害情報を聞き、必要な情報、指示の内容、詳細な情報など、目的に応じた聞き取る力の育成が図られるよう工夫されている。	「Retell」では、イラストやキーワードを基に、内容を自分の言葉で再現する活動が設定され、思考・判断しながら、表現する力を育成できるよう工夫されている。	「Take Action! Listen」では、学習過程で培った聞き取る力を、別の場面で試すことで、思考判断しながら聞く力を身に付けられるよう配慮されている。	「Task」では、本文とは異なる場面の英語を聞き、内容についてメモやキーワードで要点を伝える活動が設定されており、表現力が育成されるよう工夫されている。
3 言語活動に関する事項	「Let's Talk」では、実生活に即したコミュニケーション活動や即興でのやり取りができる活動が示されており、会話を続けられるよう配慮されている。	各単元に「Try」が数か所ずつ配置され、日常的な話題でのやり取りを通して語彙の定着を図り、「Our Project」で発展的な学習ができるよう配慮されている。	「GET Plus」では、日常的な話題について表現と言語の働きを整理し、ペアでの対話を通して活用する力を身に付けることができるよう工夫されている。	「Review」「Think & Try」で4技能の力を付けながら、「Grammar」で文法、文構造をまとめた上で、日常的な話題について会話する活動が掲載されている。
4 言語の働きに関する事項	「Let's Talk」の「お願い」では、1年生では身近な人、2年生では場面や相手など、場面や状況に応じた表現が系統的に学べるよう工夫されている。	「Power Up」では、レストランでの食事や道案内、電車の乗り換えなどの場面で使われる表現を扱い、ペアで対話するなどして定着が図られるよう配慮されている。	「Take Action」では、道順を尋ねたり、承諾したりするときの表現の使用場面を具体的に設定し、即興でやり取りする力を付けることができるよう配慮されている。	「Useful Expressions」では、話し手の意向を捉えることや、校舎案内、飲食店での注文の仕方など、特有の表現が使われる場面が掲載されている。

発行番号・略称 調査研究項目	38 光村	61 啓林館		
1 英語の特徴や決まりに関する事項	巻末付録の「英語のしくみ」には、文法事項のポイントが整理され、「Active Words」と併せて生徒が自ら表現する際の一助となるよう示されている。	「Targetのまとめ」では、各単元で学んだ文法を振り返ることができるよう新出の文法をまとめ、学習した文法を使ってやり取りができるよう活動が示されている。		
2 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項	「Story Retelling」では、各単元の会話文の内容を写真やキーワードを基に想起し、自分の言葉で再構築して表現する力を育むことができるよう工夫されている。	「Read & Think」では、まず概要をつかみ、次に詳細を読み取り、最後に読み取った内容に関する自分の考えを述べるができるように発信活動が掲載されている。		
3 言語活動に関する事項	「Let's Talk」では、自分自身や身近な話題に関するテーマで、3年間継続的に話すことにより、発信に必要な知識や技能が定着するよう配慮されている。	「Read & Think」では、本文の内容理解を行った後、内容に関連して自分の意見や考えを述べる活動が毎回設定され、技能の統合に配慮されている。		
4 言語の働きに関する事項	「Daily Life」では、持ち主を探したり、お店でのやり取りの場面を提示したりし、日常生活の場面で英語を使用する力を伸ばすことができるよう配慮されている。	「Let's Talk」では、レストランでの注文や待ち合わせ、体調を伝えるなど、特有の表現がよく使われる場面を扱う題材が数多く示され、充実が図られている。		

教科用図書調査委員会 調査研究報告書 令和3年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）A-1 NO. 1 教科（特別の教科 道徳）種目（道徳）

発行番号・略称 調査研究項目	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文
1 考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動の充実が図られるよう配慮されていること。	「話し合いの手引き」で話し合いの手順を示し、「ACTION!」では議論を促すなど、自分の考えを基に討論できるよう言語活動の充実が図られている。	各教材の「学びの道しるべ」では、学びを深める過程が示され、議論を促す発問が設定されるなど、言語活動が行われるよう工夫されている。	教材の「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」では、新たな視点を加えながら考えを深める過程があり、言語活動が充実するよう工夫されている。	「道徳科での学び方」では、教材において話し合いを取り入れた学び方が示され、「道徳ノート」には自他の意見が書くことができるよう工夫されている。
2 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の充実が図られるよう配慮されていること。	すべての教材の冒頭にテーマが示され、課題意識をもって学習を進めることができ、「ACTION!」では役割演技などの体験的な学習の充実が図られている。	教材の冒頭には、導入の文章を設けて学習のねらいを明確にし、「やってみよう」では、役割演技を行うなど、問題解決的・体験的な学習の充実が図られている。	「考えよう」や「深めたいむ」では、役割演技や想像する活動を通して、教材で学んだ道徳的価値が確かめられるよう配慮されている。	教材の冒頭に主題が提示され、課題意識を高めることができ、「学習の進め方」では問題解決的な学習や役割演技などの体験的な学習の充実が図られている。
3 主体的に学習に取り組み、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう配慮されていること。	巻末の自己評価用紙やホワイトボード、心情円を活用し、主体的に学習に取り組み、自身の姿勢を知ることや、振り返りができるよう配慮されている。	巻末の「道徳の学びを記録しよう」では、各教材での自己評価ができ、「道徳の学びを振り返ろう」では学期ごとの振り返りができるよう配慮されている。	発達段階に応じたテーマで3シーンに分けた学習を通じ、自己の考えの姿勢や成長を感じることができる振り返りとなるよう配慮されている。	「道徳ノート」では、「自分に+1」や「自分への振り返り」を通して自分を客観的に見ることで、自分の成長が実感することができるよう工夫されている。
4 金沢市や生徒の実情に即し、生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材の充実が図られていること。	いじめ問題や日本の伝統文化と食育文化、防災教育、オリンピックに触れるなど、現代的な課題を取り扱った多様な教材となるよう配慮されている。	いじめ問題や巻末の「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」の掲載など、教材について視野を広めることができるよう配慮されている。	巻末では、工芸、世界遺産、先駆者など郷土教材の掲載や、現代的な課題と教材との関連を明記し、多様な題材となるよう配慮されている。	「『いじめ』と向き合う」などで、いじめ問題を重点的に扱い、情報モラルとも関連させながら多面的・多角的に考えることができるよう充実が図られている。
5 各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連に配慮が見られること。	他教科等との関連を明らかにするためのマークが示され、年間指導計画の構築等、カリキュラム・マネジメントへの取組が容易になるよう工夫されている。	巻頭に教科書で学んでいくテーマが提示され、巻末の「補充教材」によって、郷土の伝統や文化、総合的な学習の時間との関連を意識できるよう配慮されている。	「つなげよう」では、内容に関わる書籍が紹介され、図書館活用の推進が図られ、また巻末では各教科等との関連が明記されるなど、充実が図られている。	「プラットフォーム」では、総合的な学習の時間や特別活動との関連を明確にし、多面的・多角的に学習することができるよう工夫されている。
6 教材や内容は、学年相互の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	内容項目の4つの視点で分類した目次が提示されており、いじめに関する教材を複数扱い、系統的に学習することができるよう充実が図られている。	1年は生活リズム、2年は真の友情、3年は社会参画など、生徒の発達段階や取り巻く周囲の状況に応じた教材を扱うなど、系統性に配慮されている。	「道徳の授業を始めよう!」では、学年が上がるに伴い内容が追加され、発達段階に応じて学習を進めることができるよう工夫されている。	1年は自己理解、2年は社会参画、3年は公共の精神など、学年ごとにテーマを設定し、生徒の発達段階に応じた教材を扱うなど、系統性に配慮されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いや、書体、文字の大きさ及び図版等の印刷が生徒の発達の段階に適切していること。	教科書掲載のQRコードやアドレスから、教材と関連する映像や、関連する他教科の教科書紙面などを見ることができるよう充実が図られている。	「まなびリンク」でWeb教材や関連する外部サイトの情報を活用することができる、知識を深めたり、視野を広げたりすることができるよう工夫されている。	教材の冒頭にQRコードが掲載されることでアクセスが容易であり、朗読や動画などのWeb教材が用意され、生徒の考えを広げることができるよう配慮されている。	パソコンマークのある教材では、授業の導入や展開で提示できる参考動画や関連画像などのWeb教材が用意され、必要に応じて生徒が活用できるよう配慮されている。

(注) QRコードや二次元コード等の表記については各発行者で表記が異なるため、本報告書はすべて「QRコード」に統一している

教科用図書調査委員会 調査研究報告書 令和3年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）A-1 NO. 2 教科（特別の教科 道徳） 種目（道徳）

発行番号・略称 調査研究項目	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
1 考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動の充実が図られるよう配慮されていること。	「深めよう」では、多様な視点を基に議論を行いながら自らの考えを深める過程が示され、多様な表現方法を用いた具体的な言語活動を促すよう工夫されている。	教材の「考える・話し合う」では、考えを深めながら言語活動を行い、「中学生の道徳ノート」では、自分の考えを書く活動が確保されるよう配慮されている。	「考え、話し合ってみよう そして深めよう」では、自分の考えを書いたり話したりする具体的な言語活動ができるよう配慮されている。
2 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の充実が図られるよう配慮されていること。	「深めよう」では、自ら課題を発見し、教材を基に自分の考えを深め、役割演技などを行うことで、問題解決的、体験的な学習が進められるよう工夫されている。	教材にある「学習のてがかり」で、学習のねらいを明確にすることができ、道徳的な問題を把握し、問題解決的な学習が進められるよう配慮されている。	生徒の日常生活における身近な話題の教材を設定することで、道徳的な問題を自分事として捉え、考えを深めることができるよう配慮されている。
3 主体的に学習に取り組み、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう配慮されていること。	「考えよう②」では自分事として考える発問があり、「学びの記録」では、学期ごとに自己の変容を振り返ることができるよう工夫されている。	「中学生の道徳ノート」によって、年度途中や年度末での振り返りが容易になり、自己の変容を捉え、成長が感じ取れるよう配慮されている。	巻末には、学年に応じて様々な視点で1年間の成長を振り返り、自己の変容や成長を感じることができるような記録用紙が示されている。
4 金沢市や生徒の実情に即し、生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材の充実が図られていること。	情報モラルといじめに関わる教材や食育と生命の尊厳を考える教材など、現代的な課題をテーマに扱うなど多様な題材となるよう配慮されている。	各教材では、その道徳的価値に関わる先人の格言・名言を掲載し、いじめ問題では、4つの視点で扱い、生徒の実情に即した指導ができるよう配慮されている。	生命の尊厳に関わる教材や身近な先人の伝記や作品を教材として扱うなど、金沢市や生徒の実情に即した指導ができるよう工夫されている。
5 各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連に配慮が見られること。	巻頭に「よりよく生きるための22の鍵」やテーマ別の教材紹介が示され、総合的な学習の時間、特別活動などと関連付けて学習が進められるよう配慮されている。	巻末に他教科等との関連を明らかにした一覧表が示され、年間指導計画の構築等、カリキュラム・マネジメントへの取組が容易になるよう配慮されている。	巻頭の「教科書の使い方」では、他教科との関連や地域との連携を通して、道徳的な価値を学び、心の成長を目指していくことができるよう配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	1年は友情、2年は社会参画、3年は国際理解など、学年ごとにテーマを設定し、生徒の発達段階に応じた教材を扱うなど、系統性に配慮されている。	同一登場人物による教材では、3年間の成長に伴い、発達段階や学年行事等に応じたストーリーが展開され、系統的に学習できるよう充実が図られている。	同一登場人物による3年間の成長に伴ったシリーズがあり、キャリア教育の観点では、3年間を通して発達段階の連続性と系統性の充実が図られている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いや、書体、文字の大きさ及び図版等の印刷が生徒の発達段階に適切していること。	教材に関連する写真や音声などの補助教材があり、容易にアクセスできるようなQRコードが掲載され、必要に応じて生徒が活用できるよう配慮されている。	「インターネット」マークでWeb教材や関連外部サイトの情報が活用でき、調べ学習などの発展的な学習を促し、情報活用能力の育成が図られるよう工夫されている。	4つの視点ごとの色分けと、教材と内容項目の関連がわかりやすく示され、生徒の理解を助ける教材に適した挿絵・写真が掲載されている。

教科用図書調査委員会 調査研究報告書 令和3年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）A-2 NO. 1 教科（特別の教科 道徳） 種目（道徳）

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文
1 石川県、金沢市に関する事項	全国の郷土の偉人の紹介や日本海での汚染についての話題を扱い、身近な海で起こった事故から自然愛護について考えることができるよう提示されている。	巻末の「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」では、金沢市にゆかりのある詩人が紹介され、生徒が身近に感じることができる資料が掲載されている。	「日本の先駆者たち」では、金沢市にゆかりのある科学者とその発見が紹介され、生徒が身近に感じることができる資料が掲載されている。	金沢市の中学生にゆかりのある伝統文化である能楽を題材とした教材を取り扱い、生徒が身近に感じることができる内容が示されている。
2 主として自分自身に関する事項	身近な話題を取り上げ、自己を肯定的に見つめる題材や、目標の達成を目指し着実にやり遂げる心構えについて考えることができる題材などの充実が図られている。	SNSとのよいつきあい方を話し合う活動や役割演技を通して、自己を見つめ、自主的に考え、判断し自律の精神について学びを広めることができるよう配慮されている。	友だちと互いのよさを見つけ合う活動が取り上げられており、自分の良さを見つめ、自己肯定感を高め、さらに伸ばすことができるよう工夫されている。	自分のよさを見つめ、自己を肯定し、個性の伸長を図りながらよりよく生きることができる教材が各学年で段階的に設けられており、充実が図られている。
3 主として人との関わりに関する事項	言葉の大切さについて考える教材や、なぜいじめをなくすことは難しいのかを話し合う活動を取り上げ、人間愛の精神を深めることができるよう工夫されている。	いじめの問題について、複数の教材やコラムをまとめてユニット化し、多様な教材を通して多面的に捉え、考えを深めることができるよう工夫されている。	立場の違う人と関わるときに大切なことは何かを考え、相互に理解し、自らを高められるよう、年間を3つに分け、同じテーマを継続的に扱うよう配慮されている。	互いに違いを認め合うために大切にすべきことは何かについて考えを深めることができる教材を通して寛容の精神を育むことができるよう工夫されている。
4 主として集団や社会との関わりに関する事項	よりよい社会について考える題材での役割演技や、世界平和について話し合う活動など多様な活動を通して学びを深めることができるよう工夫されている。	郷土の伝統を守っていくことはなぜ大切なのか考える活動や自我関与を促す発問で、多様な視点から社会との関わりについて考えることができるよう配慮されている。	いじめをなくすために大切なことは何かを話し合う活動など、共に学び合う中で、身近に起こりうる題材を自分事として捉えながら学べるよう配慮されている。	いじめについて複数の題材を取り上げ、人はなぜ異なる考えを排除するのか、いじめのない集団にするには何が大切かを多面的に考えられるよう工夫されている。
5 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事項	生命の尊厳について複数の教材をユニットでまとめて扱い、自らの生命の大切さを深く自覚させるとともに、他の生命を尊重する態度を養うよう工夫されている。	生命尊重の教材をユニット化し、人間のみならず身近な生物の生命の大切さに気付かせ、互いに支え合い生きていることに感謝の念がもてるよう配慮されている。	複数の教材を取り上げ、命の尊さについてその連続性や有限性などを含めて理解を深め、かけがえのない生命を尊重することができるよう配慮されている。	命の連続性や有限性等を含めて生命の尊さについて深く考えることができる教材や自然愛護、自然への畏敬の念など多様な教材の充実が図られている。

教科用図書調査委員会 調査研究報告書 令和3年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）A-2 NO. 2 教科（特別の教科 道徳） 種目（道徳）

発行者番号・略称 調査研究項目	224 学研	232 廣あかつき	233 日科	
1 石川県、金沢市に関する事項	石川県ゆかりのスポーツ選手が取り上げられ、その生き方から自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に行動する大切さを学ぶことができるよう配慮されている。	石川県ゆかりのスポーツ選手が取り上げられ、その生き方から向上心を持って日々生活し、自らを高めることの大切さを考えることができるよう配慮されている。	石川県出身の偉人やスポーツ選手、作詞者や祭りなど石川県や金沢市にゆかりのある人物や写真等により、生徒が身近に感じることができるよう工夫されている。	
2 主として自分自身に関する事項	「クローズアップ」で教材の内容に関連した新たな視点で、多様な学びへと発展させ、自己を見つめ伸ばすことや自己肯定感を高めるよう工夫されている。	「考える・話し合う」では、自己を見つめ、伸ばすために、目標を設定し、着実にやり遂げるために、問いで考えたり深めたりすることができるよう配慮されている。	合唱コンクール等の学校行事や生徒の日常に近い話題や教材を取り上げ、生徒が問題意識をもって主体的に学習できるように配慮されている。	
3 主として人との関わりに関する事項	「深めよう」では、立場を変えて考える発問や役割演技、話し合い活動、自分事として考える問いがあり、人と支え合い関わっているよう工夫されている。	情報社会を生きていく上で、必要な情報モラルや心がけについて思考を広げ、深める問いで人との関わりについて考えることができるよう配慮されている。	友情、信頼に関する教材が多く掲載され、いじめや情報モラルに関する問題を取り上げ、互いに励まし合い、高めあうことができるよう提示されている。	
4 主として集団や社会との関わりに関する事項	いじめに関する教材を多く取り上げ、他者と共によりよく生きていけるよう深く考えることができる問いで学びが充実するよう工夫されている。	各学年で「いじめを許さない私たちの心」のページが巻末にあり、自己を振り返り、公平で公正な社会の実現に向け、自己と向き合うよう配慮されている。	教材の後の「もっと知りたい」では、学びを深めるための資料が掲載され、集団や社会との関わりについて多様な学びになるよう教材が提示されている。	
5 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事項	命について多面的に考えることができるよう命の偶然性や有限性、連続性について、動物の命を含めた複数の教材で、生命尊重の理解が深まるよう工夫されている。	自分自身を見つめ、自らの弱さを克服し、よりよく生きる喜びについて考えたり、考えを深めたりすることができるよう発問が吟味され、工夫されている。	臓器移植や命のつながりなど「生命の尊さ」や「よりよく生きる喜び」についての教材が複数取り上げられ、多様な話題となるよう配慮されている。	

資料 A

教科用図書調査委員会 調査研究報告書

A - 1 (共通) ・ A - 2 (教科)

調査研究項目	発行番号・略称 2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	単元で付けたい力を「言葉の力」として教材の初め・終わり・巻頭に明記することで、基礎的・基本的な知識や技能の習得ができるよう工夫されている。	単元で付けたい力が巻頭の「領域別教材一覧」に掲載されており、教材末の「学びの道しるべ」で、身に付けたい知識や技能が定着するよう配慮されている。	単元で付けたい力が巻頭の「言葉の地図」にまとめられており、「学びナビ」に、身に付けたい知識や技能が定着するよう提示されている。	巻頭の「学習の見通しをもとう」で付けたい力が明確に示され、「目標」や「学習の窓」及び巻末の一覧表で学習内容が確実に定着するよう工夫されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	教材の冒頭に「問いかけ」を用いて課題意識を高めることで見通しをもたせ、単元末では課題解決できたことを振り返ることができるよう配慮されている。	「学びの道しるべ」で学習の見通しをもたせるとともに「学びを広げる」で発展的な言語活動を示すことで、身に付いた知識・技能が活用できるよう配慮されている。	「みちしるべ」に学習の進め方が明記され、見通しをもって学習できるようになっており、振り返りの視点が明確になるようチェック欄を設けるなど配慮されている。	「見通しをもつ」で学習活動が明確に示され、目的意識をもって活動できるとともに、「振り返る」で、学習した内容を確認できるよう工夫されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	案内役のキャラクターたちが登場して生徒を学びに導き、QRコードで音声や映像の資料が豊富に用意され、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。	「読書の広場」と古典教材でQRコードが用意され、図解した読み方の方略を示したり、補充教材として活用したりできるよう配慮されている。	QRコードで学びを広げるための資料や自分の力で取り組むための資料が準備され、生徒の自主的・自発的な学習が促されるよう示されている。	QRコードに動画資料や作家へのインタビューなどが教材ごとに収められ、生徒の興味・関心を高め、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	我が国で長く読み継がれてきた古典作品を、様々な写真資料とともに掲載することで、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮されている。	文学史年表を掲載したり、落語や歌舞伎などを紹介したりすることで、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うよう配慮されている。	「四季のたより」で、さまざまな古典教材が多くの写真資料とともに掲載されており、日常生活の中でも古典の世界や言語文化に触れられるよう示されている。	古典学習の導入で図解資料を掲載し、「季節のしおり」で名文等を紹介するなど、日本の伝統文化を身近に感じ、親しむことができるよう工夫されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	現代的な諸課題に関する題材を積極的に扱い、他教科の学習と関連している教材はマークで示すなど、身に付けたい力が生活や他教科に生かせるよう配慮されている。	価値観が多様化するグローバル社会、共生社会の一員として求められる幅広い資質・能力を育成できるよう題材が選定され、掲載されている。	持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえ、課題を考えるためのキーワードが各単元に位置付けられており、生徒が現代的な課題に対応できるよう工夫されている。	情報社会の中でよりよく生きるための情報収集や取捨選択、発信についてなどの情報を活用する力を、段階を踏んで育成しているよう全学年で配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	巻頭に前学年で学んだことと本学年で学ぶことが示され、巻末の「『言葉の力』一覧」では3年間の学習のつながりや深まりが確認できるよう工夫されている。	巻末に「『読み方を学ぼう』一覧」が示され、3年間で系統的・発展的に学ぶ全22の読み方の方略がひと目で確認できるよう配慮されている。	「学びナビ」で小学校や前学年での学習を踏まえた解説を加えるなど、単元や教材が構成され、段階的に力を付けられるよう配慮されている。	学年が上がるごとに内容を深めながら、螺旋的に言葉の力を積み重ねていくことで、資質・能力の定着が図られるよう教材が選定され、掲載されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適切であり、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	全学年を通して、各教材のページの配色が3領域の学習ごとに統一されており、その単元の学習内容や付けたい力がひと目で分かるよう配慮されている。	挿絵・図版が適所に配置され、「読み方を学ぼう」や「思考の方法」では、分かりやすい図解を用いることで内容を視覚的に捉えられるよう工夫されている。	学習内容や重要度によって文字の大きさや色を変えたり、全体的に行間を広くとったりするなど視覚的に分かりやすくなるよう示されている。	正しい字形を意識させるため、手書き文字に近い書体を使用し、「学習の窓」では、文字の色を変えて学習のポイントが分かりやすいよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	「読書案内」では関連図書が紹介され、「読書活動」では学校図書館を利用した活動が掲載されるなど、読書生活が豊かになるよう配慮されている。	「読書の広場」では、教材に関連したテーマごとに図書が紹介され、また、様々なジャンルの文章が掲載される等、生徒を読書に誘うよう配慮されている。	「広がる本の世界」で、各単元のキーワードと関わる多種多様な図書を紹介し、生徒が読書の幅を広げ、読書に親しめるよう配慮されている。	読書単元を設けたり、教材ごとに同じテーマで複数の作品の一部を紹介したりするなど、読書の価値を実感し、生涯にわたる読書習慣が定着するよう工夫されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	ペア・グループで調べたり、まとめたものを発表したりする課題解決的な学習が多く設定され、対話を通して学びを深めることができるよう配慮されている。	「学びの道しるべ」で、最初に目標を提示し、課題解決的な学習過程を示すとともに、思考と語彙に関する解説を設け、学習に取り組みやすいよう配慮されている。	読むことの単元において、課題解決の道筋に沿った学習過程が段階的に進められるよう「みちしるべ」で活動の過程が示されている。	具体的な学習活動が示され、話し合ったことを共有し、振り返ることで学びの深まりが実感でき、さらに日常生活にまで生かしているよう工夫されている。

調査研究項目	発行者番号・略称 2 東書	15 三省堂	17 敬出	38 光村
1 言葉の特徴や使い方に関する事項	各教材末の「広がる言葉」と資料編の「言葉を広げよう」との関連が図られ、多くの語彙を示して、考えを深め表現の幅が広がるよう配慮されている。	各教材末の「語彙を豊かに」では教材に関連した語彙の充実を図り、理解できる語句と使える語句の量を増やし、語感が磨けるよう工夫されている。	各教材末の「この教材で学ぶ言葉」、巻末の「理解に役立つ言葉」、「表現に役立つ言葉」が、語彙を豊かにし、理解や表現に結び付けられるよう示されている。	語彙の系列「言葉を集めよう／比べよう／選ぼう」により、相手や目的に応じた適切な言葉とは何かという言葉に対する興味関心が深まるよう図られている。
2 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する事項	「学びを支える言葉の力」で情報の扱い方に関する事項を取り上げて、メディアリテラシー及び情報活用能力が育成されるよう配慮されている。	資料編「情報を活用する」で、情報収集と活用のヒントや情報機器の活用法を示し、社会生活において適切に情報を扱う力を高めるよう図られている。	各教材で、学習に関わる語彙や表現をまとめることで、思考と語彙の連携により、情報を適切に扱う能力が育成されるよう「この教材で学ぶ言葉」が掲載されている。	「情報整理のレッスン」や「思考のレッスン」でよくある困った場面を出発点にわかりやすく解説され、社会に必要な論理的思考力が育成されるよう工夫されている。
3 我が国の言語文化に関する事項	「単元の扉」に季節感のある詩歌を印象的な写真と共に掲載し、一年を通じて日本の豊かな風土に培われた言語文化に親しめるよう配慮されている。	様々な言語文化に興味・関心を持ち、社会生活の中で読書に親しみながら、自らを豊かにし言語文化の担い手となるよう活動的な教材が掲載されている。	日常生活の中でも言語文化を意識できるような教材の内容や配置が工夫され、言語文化を自らが次の世代に伝えていくよう活動的な教材が掲載されている。	先人の遺産としての言語作品を貴重な図版等の資料とともに多く取り上げ、言語文化を楽しみ、豊かな教養を身に付けられるよう工夫されている。
4 話すこと・聞くことに関する事項	発達段階に応じて、日常生活や社会生活に関する具体的な話題が取り上げられ、言語活動を通して「言葉の力」が身に付くよう示されている。	発達段階に応じて、日常生活や社会生活に関する話題が取り上げられ、目標に照らして身に付いた力を振り返ることができるよう示されている。	発達段階に応じて、他教科の学習や日常の場面、社会生活へと話題が広げられ、国語科で学んだ内容や言語活動が生かせるよう「学びを生かそう」が掲載されている。	日常・社会生活、学校生活、学習場面など実際の場取材し、発達段階に即して「話す・聞く・話し合う」ことの意義が感じられるよう題材が工夫されている。
5 書くことに関する事項	取材から交流まで系統的に言語活動が設定され、思考と語彙に関する解説を設けながら、知識・技能の習得と豊かな活用ができるよう工夫されている。	日常生活や現代社会における課題を書く題材として取り上げ、学習の見通しをもてるよう言語活動の流れを図解するなど、生徒が活動しやすいよう配慮されている。	学年の発達段階に応じた興味深い言語活動が設定されており、確実身に付けたい重点的な内容を「ここが大事」にまとめ、着実に身に付くよう工夫されている。	日常や社会生活の中から目的が明確な題材とイメージしやすい場を設定したり、表現過程を図示したりすることで、書く必然性や意欲を喚起するよう工夫されている。
6 読むことに関する事項	「言葉の力」に学習のポイントが示され、着実な習得を図りながら自分の考えを形成したり自分の言葉で表現したりできるよう工夫されている。	「読み方を学ぼう」で様々な文章を目的や意図に応じて読むための方略が示され、自分の考えを構築することができるよう配慮されている。	自分の考えを形成したり振り返ったりできるよう、様々な文章を目的や意図に応じて読むための学習過程が「みちしるべ」で示されている。	各教材の手引き「学習」で学習過程を明確にし、「学習の窓」で年間の系統を示し、自分の考えを形成して自分の言葉で表現できるよう工夫されている。

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	楷書・行書を学ぶ基本単元では、「書写のかぎ」で文字を正しく整えて書く原理・原則を学び、インデックスに関連する既習事項を確認できるよう配慮されている。	「書き方を学ぼう」では、基礎的・基本的な技能の習得のため、具体的な字形例を挙げ、書き方のポイントとなる点分かるよう配慮されている。	基礎的・基本的な点画を示した上で、それぞれの文字について考えさせることを繰り返しながら、定着に向かわせる流れが提示されている。	「学習の進め方」とともに、学習のポイントを「学習の意」で明示し、「書写ブック」を活用し毛筆で学習したことが硬筆で繰り返し学習できるよう工夫されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	「楷書と行書の使い分け」では、生徒に身近な場面の設定をすることで、書写学習と日常生活との関連が意識できるよう配慮されている。	「楷書と行書の使い分け」では、相手や目的・場面に応じて自ら書体を選択し、生徒が実際に書いて体験することで、日常生活に生かせるよう工夫されている。	「学習活動や日常生活に生かして書こう」では、日常生活の場面に応じて書体や筆記用具の使い分けを意識することができるよう配慮されている。	「文字を使い分ける」では、様々な言語活動の場面を設定し、書写で培われた知識・技能を日常生活に生かすことができるよう工夫されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	教科書の紙面には、二次元コードが掲載され、様々なデジタルコンテンツを紹介することで、家庭学習や個に応じた指導に生かせるよう工夫されている。	「学習のはじめに」のページには、二次元コードが掲載され、姿勢と構え方、筆の持ち方、用具の扱い方等を確かめることができるよう示されている。	教科書の紙面には、二次元コードが掲載され、解説とともに運筆のリズムや字形の取り方を動画で確認することができるよう工夫されている。	教科書の紙面には、複数の二次元コードが掲載され、毛筆教材の筆使いなどの様々な動画を視聴することで、生徒が自主的に学習できるよう工夫されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	「文字の成り立ちと移り変わり」に加え、古代から現代につながる文字の役割についても触れながら、文字文化に対する理解が深まるよう配慮されている。	「文字の変遷」では、写真や矢印、イラストを用いることで、現代まで受け継がれてきた文字の歴史や文化について理解できるよう配慮されている。	「コラム」では、文字の変遷や芸術としての書道について、複数の鮮やかな写真を通して紹介し、文字文化への興味・関心が高まるよう工夫されている。	「コラム」では、文字の変遷や文字が伝える文化を全ての生徒に分かりやすいよう視覚的に提示し、文字文化に対する興味・関心が高まるよう工夫されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	「職場訪問をしよう」や「仕事の中の手書き文字」では、様々な職種の人と文字との関わりが提示され、キャリア教育との関連の充実が図られている。	「身の回りの文字」では、文字に関わる仕事をする人の紹介を通して、手書き文字の魅力を伝えるとともに、職業観を養えるよう配慮されている。	「暮らしの文字を支える人々」では、活字デザイナーが文字を使って仕事をする場面が取り上げられ、職業および生活との関連が示されている。	「デザインと文字」では、デザイナーの文字の選び方を取り上げ、字体による受け取り方の違いに気づき、文字の効果を考えることができるよう工夫されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	学年のはじめのページには、3年間の学びの系統性や各学年で学ぶことが明記され、書写の技能の積み上げが視覚的に分かるよう工夫されている。	学習の流れが各ページにタブで明示されており、単元の中における本時の位置付けや付けたい力を生徒自身が意識できるよう工夫されている。	学年のはじめのページには、学年の目標と学習内容の概要が記載されており、それぞれの学年で1年間の学習が見通せるよう示されている。	3年間の学びを、ねらいごとにまとまりのある章立てにし、それぞれの学年で、いつ学習し、どこまで学ぶのが分かるよう配慮されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	キャラクターを用いることで、学習のヒントが視覚的に分かりやすくなっており、親しみをもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。	キャラクターや人物の吹き出しには注意点や課題、学習のヒントが書かれており、興味関心を高めながら、学習の理解につながるよう配慮されている。	実際の中学生の写真とイラストを組み合わせ、会話の中に学習のポイントを褒めることで、生徒が見通しをもって学習できるよう配慮されている。	人物やキャラクターの吹き出しを通して、課題発見や解決のヒントを得ることができ、生徒が問題意識をもって書写に取り組めるよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	「生活に広げよう」では、書写学習と生活との関連を重視し、礼状や本のポップ作りなどを通して、学んだことを生活に活用する機会の充実が図られている。	「やってみよう」「書いて身につけよう」では、多様な「書く」場面を取り上げ、学んだことを日常生活の中で生かせるよう配慮されている。	「学校生活に生かして書く」では、レポートの書き方や書体の活用例を紹介し、学んだことを日常生活に生かせるよう配慮されている。	「日常に役立つ書式」や「国語・学校生活」では、手紙の書き方や壁新聞の作り方等の活用例を紹介し、日常生活の中で生かせるよう工夫されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	「振り返って話そう」では、自分で書いた文字を使い、分かったことや考えたことを説明する活動を通して、学びを振り返ることができるよう配慮されている。	「振り返ろう」では、学んだことが活用できているかを確認し、自分の言葉でまとめることで、学習を振り返ることができるよう配慮されている。	「振り返ろう」では、学習の目標と連動した観点に照らし合わせながら自己評価ができるようになっており、学びが積み上げられるよう配慮されている。	目標と連動した自己評価の観点が表示されるとともに、「考えよう」から「生かそう」までの流れが統一されており、見通しをもって学べるよう工夫されている。

調査研究項目	2 東巻	17 教出	46 帝国	116 日文
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	1 単位時間や単元ごとにある「チェック」や「基礎基本のまとめ」では、問いかけが具体的であり、内容が確実に定着するよう工夫されている。	1 単位時間ごとにある「確認」や、章や単元ごとにある「学習のまとめと表現」のコーナーでは、内容が定着するよう配慮されている。	1 単位時間ごとにある「確認しよう」や単元ごとにある「章の学習を確認しよう」では、問いかけが具体的であり、内容が確実に定着できるよう工夫されている。	章や単元ごとにある「学習のまとめ」では、既習の地名や用語などを答えさせる活動を通して、基礎基本が定着できるよう示されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	随所にある「見方・考え方」のコーナーと章末や単元末にある「みんなでチャレンジ」のコーナーが関連しており学びが深まるよう工夫されている。	「読み解こう」のコーナーが多く、単元に掲載され、多様な資料を読み取る活動において思考力・判断力・表現力が身に付くよう示されている。	地理的な見方・考え方を働かせて説明するコーナーは、節頭の「節の問い」に対応しており、多面的・多角的な考察ができるよう工夫されている。	節末にある「アクティビティ」や「チャレンジ」では、学習内容を踏まえて、自分の言葉で分かりやすく説明できるよう配慮されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	1 単位時間ごとの学習内容に対して、探求課題、探求のステップ、学習課題が設定されており、自主的・自発的に学習に取り組めるよう示されている。	章ごとに学習テーマが明示され、1 単位時間ごとに、テーマと「学習課題」が設けられており、より一層自主的な学習となるよう工夫されている。	章ごとに「節の問い」で学習テーマが明示され、1 単位時間ごとに「学習課題」が設けられていることで、自主的な学習となるよう配慮されている。	1 単位時間ごとの学習内容に対して「学習課題」が適切に設定されており、生徒が興味・関心を持って学習に取り組めるよう示されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	単元ごとにある「もっと地理」では、各地の生活の特色と課題や対策が多様な視点で捉えられ、その地域の文化などを知ることができるよう配慮されている。	日本の諸地域において、「現代日本の課題を考えよう」では、その地域に暮らす人々の様子が具体的に分かるよう資料が示されている。	随所に「地理プラス」のコーナーがあり、地域の人々の生活や産業の様子が具体的に紹介される等、写真や資料の充実が図られている。	随所に「声コーナー」があり、実際に暮らす人々の言葉を紹介することで、その地域の文化などを知ることができるよう配慮されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	巻頭で「持続可能な社会の実現に向けて」を示すとともに、世界の諸地域の学習において、始めと終わりにSDGsが意識できるよう配慮されている。	巻頭でSDGsについて示すとともに、世界の諸地域において章ごとに地球的課題を取り上げ、現代的諸課題が意識できるよう配慮されている。	巻頭で各国のSDGsの取組を写真付きで紹介するとともに、すべての章において、地球的課題を繰り返して示し、現代的諸課題への意識が高まるよう工夫されている。	世界の諸地域の学習では、各地域のはじめに地球的課題に関連するテーマを取り上げ、その要因や人々の生活への影響が理解できるよう示されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	各単元のはじめに小学校での学習を振り返る場面があり、歴史・公民と関連する内容については関連マークを随所に付け、系統的な学習が進むよう工夫されている。	巻頭に小学校の学習の振り返りがあり、さらに「中学校の社会科の学習を知ろう」で歴史・公民との関連を示すことで、系統的な学習となるよう配慮されている。	ページの下部に、小学校での学習や歴史・公民との関連がある学習内容を具体的に示すことで、系統的な学習となるよう配慮されている。	ページの下部に、小学校で学習した学年や具体的内容を示すとともに、歴史・公民との関連を示すことで、系統的な学習となるよう工夫されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	各州や地方の学習のはじめには、学習テーマと最も関連した内容の写真や図を大きく掲載し、学習内容に興味・関心が高まるよう配慮されている。	各州や地方の学習のはじめには、その単元で学ぶ内容に関連する写真を複数枚掲載し、学習内容に興味・関心が高まるよう配慮されている。	各州や地方の学習のはじめには、大きさが適切で、地域の特色が明確に捉えられることができる写真などが掲載されており、資料の充実が図られている。	各州や地方の学習のはじめには、地域の景観の特色が明確に捉えることができるよう、パノラマ写真を掲載するなど資料の充実が図られている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	巻頭にQRコードが活用できる学習内容やページが示されており、クイズ形式の問題が掲載されるなど自主的な学習ができるよう配慮されている。	巻頭にあるQRコードには、関連するページへのリンクや地図、統計資料が閲覧することができ、自主的な学習ができるよう示されている。	随所にQRコードが掲載されており、学習内容を動画で示したり、問題が豊富に掲載されたりしており、自主的な学習が充実するよう工夫されている。	巻頭にあるQRコードには、関連するページへのリンクや地図、写真資料が閲覧することができ、自主的な学習ができるよう示されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	各節の終わりには「まとめの活動」コーナーでは、多様な活動が掲載されており、他者との対話的・協働的な学習ができるよう工夫されている。	各節の終わりには「学習のまとめと表現」コーナーでは、表現活動や意見交流の例が繰り返して示され、話し合い活動が定着するよう配慮されている。	各節の終わりには「地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう」コーナーでは、自分で考え、みんなで考える学習の進め方が身に付くよう配慮されている。	1 単位時間ごとに「深めよう」のコーナーが設定されており、自分の考えをグループで話し合えるようなテーマが随所に示されている。

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東密	17 教出	46 帝国	116 日文
1 地域構成に関する事項		地球儀と地図の違いの学習において、6大陸の色を変えることで、実際の大陸の大きさや形と様々な図法による地図の特色が明確になるよう工夫されている。	地球儀上で方位と距離を確かめる学習において、2本のテープを使った実際の測定場面を写真で掲載し、理解しやすいよう示している。	地球儀と地図の違いの学習において、最も大きな違いがある南アメリカ大陸の色を変えることで、様々な図法による地図の特色が明確になるよう配慮されている。	地球儀と地図の違いの学習において、大きな違いがあるアフリカ大陸の色を変えることで、様々な図法による地図と特色が明確になるよう配慮されている。
2 世界各地の人々の生活と環境に関する事項		世界各地の人々の生活と環境の学習において、各気候帯と東京との比較や特色づかみの後に文章でまとめさせるなど、知識の定着が図られるよう配慮されている。	世界各地の人々の生活と環境の学習において、世界地図で気候帯の分布を把握した後に気候帯ごとに雨温図が示され、関連付けて考えられるよう示されている。	世界各地の人々の生活と環境の学習において、すべての気候帯の雨温図を示した後で各気候帯と東京との雨温図を比較し、特色が明らかになるよう工夫されている。	世界各地の人々の生活と環境の学習において、世界地図で気候帯の分布を把握した後で各気候帯と東京と比較し、各気候帯の特色が明らかになるよう配慮されている。
3 世界の諸地域に関する事項		東南アジア諸国の学習において、帯グラフが掲載されており、国ごとの違いや主な国の輸出品の変化が明確に捉えられるよう工夫されている。	東南アジア諸国の学習において、1980年と現在との帯グラフが掲載され、主な国の輸出品の変化や違いが捉えられるよう配慮されている。	東南アジア諸国の学習において、進出した日本企業数の変化のグラフが掲載され、東南アジアの工業化が進んだことが理解できるよう配慮されている。	東南アジア諸国の学習において、円グラフが掲載され、主な国の輸出品の変化や国ごとの違いが明確に捉えられるよう配慮されている。
4 地域調査の手法に関する事項		「スキルアップ」コーナーでは、地理情報システムの活用や課題図の作成、統計資料を使ったグラフ作成等を例示し、問題解決的な学習ができるよう配慮されている。	現代の諸課題の1つである地域防災を取り上げ、聞き取り調査等の手順を詳細に説明するなど、問題解決的な学習ができるよう配慮されている。	「技能をみがく」では、調査方法が分かりやすく示され、まとめでは、イラストを用いて具体的に示されており、問題解決的な学習が展開できるよう工夫されている。	「スキルアップ」では、プレゼンテーションや新聞形式など様々な表現方法が例示され、問題解決的な学習が展開できるよう配慮されている。
5 日本の地域的特色と地域区分に関する事項		地形から見た日本の特色において、様々な角度からの写真、地形図やイラストを掲載し、扇状地や三角州など様々な地形の違いを考察できるよう工夫されている。	変化に富む日本列島の地形において、火山分布、河川や平野などを示す複数の日本地図を掲載し、文章での解説が丁寧で分かりやすく理解できるよう配慮されている。	日本の地域的特色において、グラフや写真、イラストを豊富に掲載し、扇状地や三角州など様々な地形の違いを考察できるよう工夫されている。	地形から見た日本の地域的特色と地域区分において、山脈、河川や平野などを示す複数の日本地図を掲載し、分かりやすく理解できるよう配慮されている。
6 日本の諸地域に関する事項		中部地方では、降雪量の主題図や北陸の農業生産額のグラフなどから農業の特色を読み取らせ、伝統産業が発達した理由も考えられるよう工夫されている。	中部地方では、この地域の主な県の農業生産額のグラフを取り上げることで、北陸・東海・中央高地の産業の違いについて捉えられるよう工夫されている。	中部地方では、北陸と東海・中央高地との農業生産額の比較ができるグラフが示されるとともに「地理プラス」で金沢の伝統文化の学習ができるよう工夫されている。	中部地方では、全国と北陸の農業生産額のグラフの比較や、石川県の伝統産業の取組の提示で、北陸の産業の特色が捉えられるよう配慮されている。
7 地域の在り方に関する事項		既習事項とSDGsを関連させるとともに、地域の課題を他の地域の事例と比較させることで、問題解決について考えられるよう工夫されている。	既習事項を基に、農村・都市などの課題の解決がどのように図られたかを具体的に例示することで、調査や発信の仕方が身に付けられるよう工夫されている。	持続可能な社会を考え続けるという視点から、日本の諸地域で考えたことを基に、各自が自分の地域の課題を考えることができるよう工夫されている。	既習事項を基に、地域の課題を見出し、その解決に向けて障害者や高齢者など様々な立場で課題解決に向けて考え、発信できるよう工夫されている。
8 北方領土の記載に関する事項		地図や写真、本文で、北方領土の地形的特徴や自然環境等が説明されており、北方領土が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	写真や年表を掲載するとともに、本文で歴史的経緯が詳しく説明されており、北方領土が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	国境の移り変わりの資料や本文等で歴史的経緯が詳しく説明されており、北方領土が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	北方領土付近の国境の変化の資料や本文等で歴史的経緯が詳しく説明されており、北方領土が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。
9 竹島の記載に関する事項		地図や写真、本文で、竹島の位置や地形的特徴、自然環境等が説明されており、竹島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	南東を上にした日本海周辺地図が大きく掲載されるとともに本文で歴史的経緯が説明されており、竹島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	写真や地図、本文、「地理プラス」コーナーで、位置や歴史的経緯、産業が説明されており、竹島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	地図や写真、本文で、位置や歴史的経緯、産業等が説明されており、竹島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。
10 尖閣諸島の記載に関する事項		地図や写真、本文で、尖閣諸島の位置や地形的特徴、自然環境等が説明されており、尖閣諸島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	地図や写真、本文で、尖閣諸島の位置や歴史的経緯が説明されており、尖閣諸島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	地図や写真、本文で、尖閣諸島の位置や歴史的経緯が詳しく説明されており、尖閣諸島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。	地図や写真、本文で、尖閣諸島の位置や歴史的経緯、産業が詳しく説明されており、尖閣諸島が日本固有の領土であることが捉えられるよう工夫されている。

調査研究項目	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	「チェック」では基礎事項を確認し、「トライ」では、要約や説明をさせるなど、2段階に分けて学習課題を解決し、学習内容が定着するよう工夫されている。	「確認」では基礎事項の確認をし、「表現」では、学んだことを説明させるなど、2段階に分けて知識や技能の確認・整理が行えるよう工夫されている。	「確認しよう」では基本的事項を本文から書き出し、「説明しよう」では学んだことを説明し、2段階に分けて基礎的な知識の確認が行えるよう工夫されている。	見開き2ページにおいて、学習課題と本文のあとの「ステップアップ」で振り返りを行うなど、基礎的な知識を身に付けることができるよう示されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	各章末の「まとめの活動」では、「思考ツール」を使い、学習内容を整理しながら、各時代を大観し、時代の特色をより深く思考・判断できるよう工夫されている。	章末の「学習のまとめと表現」で、授業で学んだ内容を整理し、各時代の特色を考えることで思考力・判断力を高めることができるよう配慮されている。	章末の「章の学習を振り返ろう」では、「歴史的な見方・考え方」を働かせて、各時代の特色を説明させ、思考力・判断力・表現力を高められるよう工夫されている。	章末のまとめでは、授業で学んだことを整理し、その後の歴史や現代の自分たちに、どのような影響があったのかを考えることができるよう配慮されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	各章の導入部の「探究課題」では、小学校の学習を振り返ることで、学習への興味・関心を高め、課題に自主的に取り組むよう配慮されている。	導入の「学習を始めよう」の発問や充実した資料により、生徒の興味・関心を高め、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫されている。	各時代を概観する特徴「タイムトラベル」では、資料を読み解く活動において、当時の社会への興味をふくらませ自発的な学習につながるよう工夫されている。	「歴史へのアプローチ」や「地域へのアプローチ」では、テーマを設定し、歴史的に深く掘り下げた解説によって、自発的な学習が促されるよう配慮されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性を養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	巻頭見開きのカラーページや「もっと歴史」では、日本の伝統文化を紹介し、伝統や文化を尊重する態度や、道徳心が育まれるよう配慮されている。	巻頭の「私たちにつながる歴史」や「歴史を深ろう」では、資料を掲載し、日本の伝統や文化を尊重する態度を育て、道徳性を養うことができるよう配慮されている。	巻頭の「伝統行事と祭り」や「歴史を深ろう」のコーナーで琉球とアイヌの人々の暮らしなどを掲載し、伝統や文化の尊重や、道徳性を養うよう工夫されている。	琉球やアイヌの歴史と文化について、史料の細部をクローズアップすることで、様々な角度から課題を追求できるように工夫されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	巻頭の5つのテーマや、巻末の「もっと歴史」、「アクセス」では、防災・環境などの取組を掲載し、現代的な諸課題への関連が理解できるよう工夫されている。	「歴史学習の終わりに」では、歴史の流れを踏まえて現代の諸課題を「持続可能な開発」の視点と関連付けて考えられるよう配慮されている。	巻末の「多面的・多角的に構想する」の「未来に向けて」では、「持続可能な開発」の視点から現代の社会的な課題を考えることができるよう配慮されている。	「地域からのアプローチ」では、広島を通して平和について考え、最後の授業の単元では、現在の日本の課題を掲載するなど、課題が追究できるよう配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	3分野や他教科が関連する内容や資料にはマークが付され、章の導入部で小学校での既習事項を明確にして、学習がスムーズにつながるよう工夫されている。	第1章では、「歴史すごろく」で小学校で学習した歴史の流れを振り返りながら、中学校第1学年への学習がスムーズにつながるよう配慮されている。	左ページ下には、小学校・地理・公民との関連が記載されており、節の冒頭の「タイムトラベル」で小学校で学んだ主な出来事を掲載するなど工夫されている。	「歴史の流れをつかむ」「歴史を考える」「世界史を知る」の3つの視点から構成され、高等学校につながる教科書として構成・叙述の流れ等の充実が図られている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	インターネットを活用した学習が効果的な部分には、Dマークが付しており、関連したコンテンツから情報を活用して学習ができるよう工夫されている。	各章の始めの「学びリンク」に二次元コードが掲載されており、インターネットを活用した学習が効果的に進められるよう工夫されている。	各章の冒頭の二次元コードから、学習内容に関連する動画を配信するサイトにとび、動画を通して理解を高めることができるよう工夫されている。	「くわしく見てみよう・聴いてみよう」では、二次元コードから、博物館・資料館のホームページや動画を見たり、音声を聞いたりすることができるよう配慮されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	章末の「探求のステップ」では、探求課題を解決するために知識や技能を活用し、3つのステップで迫ることができるよう工夫されている。	章末の「学習のまとめと表現」では、年表や図を使って時代をつまやく課題を自分の言葉で説明することができるよう配慮されている。	章末の「章の学習を振り返ろう」では、3つのステップで歴史的な見方・考え方を働かせて時代の特色を考えることができるよう工夫されている。	章末の「まとめ」では、章全体の時期・因果関係等に着目させる発問を設定し、各時代の流れや特徴を振り返ることができるよう工夫されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	章末のまとめの活動「みんなでチャレンジ」では、対話的な学習の場面を作り、他者との協働を通じて時代の特色をまとめることができるよう工夫されている。	章末の「学習のまとめと表現」では、歴史的現象について説明したり話し合ったりする活動が示され、表現活動に取り組めるよう配慮されている。	「多面的・多角的に考えてみよう」では、当時の様々な課題を自分の意見や理由とともに説明したり、他者と話し合ったりすることができるよう工夫されている。	「歴史を考えよう」では、地図や史料を活用して、歴史的現象についての説明や話し合いなどの表現活動に取り組めるよう配慮されている。

発行番号・略称 調査研究項目	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	1単位時間の学習の「確認」において、学習課題に基づく基礎的・基本的な知識を定着させ説明することができるよう配慮されている。	各章の「学習のまとめ」では、学習した内容を年表や地図・資料に表し、学習課題に基づく基礎的・基本的な知識・技能が身に付くよう示されている。	「章をふりかえる」では、学習した重要用語を書き込む学習活動が掲載され、学習課題に基づく基本的な知識が習得できるよう示されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	各単元末の「深めよう」のコーナーでは「見方・考え方」を活用して課題解決をし、思考力・判断力・表現力を高められるよう工夫されている。	章末の学習のまとめでは、歴史的な見方・考え方を働かせ、自分の言葉や図を使って、時代の特色について示すことができるよう配慮されている。	「章をふりかえる」では、歴史的な事象を関連付けたり、意見を交換したりすることで、思考力・判断力・表現力を育むことができるよう配慮されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	導入ページでは、大判の紙面を活かしたビジュアルで多彩な図版を用いており、生徒の興味を引き出し自発的な学習が促されるよう配慮されている。	「鳥の目」の「歴史絵巻」で興味を引き出し、「虫の目」の「〇〇の世界へようこそ！」で詳しい説明があることで、自発的な学習が促されるよう配慮されている。	「章の扉」では、北極中心の世界地図に写真や絵を描くことで生徒の興味・関心を引き出し、「歴史を体験する」で自発的な学習を促すよう工夫されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	巻頭や「歴史を振り返る」「先人に学ぶ」では、神話を掲載したり、伝統文化の担い手を紹介して、伝統や文化を尊重する態度が育まれるよう工夫されている。	巻頭や「歴史ズームイン」「人物クロスアップ」では、神話や歴史を動かした人物を紹介し、伝統や文化を尊重する態度や道徳性を養えるよう工夫されている。	文化遺産や、平安文化・室町文化を生み出した人々の願いと、社会の状況、文化を継承していった人々の営みが具体的に掲載されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	「歴史との対話を未来に活かす」では、現代の諸課題についてその歴史を振り返り先人たちの知恵を学ぶことができるよう配慮されている。	「歴史ズームイン」や「歴史ビュー」では、震災・人口問題・オリンピックなど現代の諸課題との関連が図られるよう配慮されている。	「現代の学習のまとめ」では、国際社会の課題や公害・環境問題、戦争・平和の問題など現代の諸課題についての考えを掲載している。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	導入で小学校の学習の振り返りを行い、左ページ下に小学校で学習した人物との関わりや、地理・公民の分野との関連がわかるよう工夫されている。	序章の「小学校で学んだ人物とその似顔絵」では、小学校の既習事項の確認を行い、中学校での学習がスムーズにつながるよう配慮されている。	巻頭や巻末の「歴史地図」では、歴史的な史跡や出土地、おもな関係地を世界地図で示し、地理的分野の学習との関連付けて示している。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	巻頭のデジタルマークから、各章の学習に関連する動画やワークシート、博物館のホームページにリンクし、学習を深めることができるよう工夫されている。	本文の文字の大きさや書体が適切であり、図表や図解資料は判別しやすい色を使用し、写真や図中の文字も鮮明であるなど見やすくなるよう配慮されている。	A4版見開きページを使い、絵画資料・写真・文書・新聞・統計資料など多様な資料を大きな画像で掲載し、学習を深めることができるよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	章末の「アクティビティ」では、習得した知識や技能を関連させて、3つのステップで時代の特色に迫ることができるよう工夫されている。	「私の博物館」をデザインしてみようでは、歴史博物館の学芸員になったつもりで展示方法を考え、各時代の特色を深くとらえることができるよう工夫されている。	章末の「学習のまとめ」の前半部分では、学習した知識や技能をふまえて、時代の特色をまとめることができるような課題が示されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	「チャレンジ歴史」では、資料をもとに歴史について段階的に自分で考えたり、対話したりして学習を深めることができるよう工夫されている。	「歴史のターニングポイント」では、時代を代表する大きな出来事について、くわしく掘り下げて考え、他者と意見を交換して学習を深められるよう工夫されている。	各章の最後の「章をふりかえる」では、歴史的な事象を関連付けたり、意見を交換したりして、グループ活動を通して思考を深められるよう配慮されている。

調査研究項目	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川
1 私たちと歴史に関する事項	「歴史へのとびら」では時代の区切りや西暦・元号などで具体的にとらえたり、年表に関する「スキルアップ」で技能習得ができるよう工夫されている。	「歴史のとらえ方・調べ方」では小学校での既習事項をゲーム形式で時代の分け方等を確認するとともに、歴史の技で調べ学習の技能が高まるように配慮されている。	「歴史のとらえ方と調べ方」では年代や時代区分の表し方を年表と結びつけて表現したり、小学校での学習と関連付けながら理解できるよう工夫されている。	「歴史との対話」では、西暦と世紀や年号、干支などの年代の表し方や、考古学・政治・社会による時代区分を分かりやすく示している。
2 身近な地域の歴史に関する事項	身近な地域の歴史を調べる際の手順を丁寧に説明するとともに、収集した情報について年表などにまとめる技能を高めることができるよう工夫されている。	身近な地域の歴史の学習では、情報収集や調査方法などを具体的に紹介するとともに、優れたまとめや発表の方法が理解できるよう配慮されている。	身近な地域の歴史の学習では、調べ学習の手順を「技能をみがく」のコーナーで具体的にスキルを紹介し、分かりやすいまとめ・発表ができるよう工夫されている。	身近な地域の歴史の学習では、レポートの書き方や発表の仕方について示すとともに、分かりやすいまとめや発表ができるよう工夫されている。
3 古代までの日本に関する事項	「もっと歴史」では、古事記や日本書紀の神話やそれを取り入れた神楽を取り上げ、当時の人々の信仰や考え方に気付くことができるよう配慮されている。	「歴史を探ろう」では、古事記や日本書紀などに記された神話から当時の人々の信仰やものの見方について捉えられるよう工夫されている。	「歴史プラス」のミニコラムでは、古事記や日本書紀が伝える神話を取り上げ、古代の人々の考え方に気付くことができるよう配慮されている。	「コラム」では、古事記や日本書紀の神話が天皇家の神話と結び付いていること、各地域の人々の思想や文化を知ることができるよう配慮されている。
4 中世の日本に関する事項	「探究のステップ」で武士政権の成立と東アジアにおける交流と農業・商工業の発達を相互に関連付けて中世の社会の変化を捉えることができるよう工夫されている。	章末の「中世の時代の特色を考えよう」で中世の特色を武家政治・東アジアをはじめとした外国との関係・文化の観点でまとめることができるよう配慮されている。	章末の振り返りで、武家政権の成長や東アジアをはじめとした外国との関係を土台に中世の特色を大観して捉えることができるよう配慮されている。	中世の特色を武士・農民・守護・荘園領主などの立場で多面的・多角的に捉えるとともに、外国との結びつきについて考えることができるよう配慮されている。
5 近世の日本に関する事項	「探究のステップ」で交易の広がり、江戸幕府の政策の目的、産業・文化の発達を関連付け、近世の特色を捉えることができるよう工夫されている。	「近世の時代の特色を考えよう」で年表や図などを用いながら江戸幕府の政策などを理解し、時代の特色を大観できるよう配慮されている。	章末の振り返りで、章を貫き問いに対して、江戸幕府の安定した政権を成立させた理由や根拠を考察することができるよう工夫されている。	章末の「まとめ」で近世の社会のしくみや世界とのつながり、商品の生産と流通、江戸幕府の政策についてまとめることができるよう配慮されている。
6 近代の日本と世界に関する事項	「探究のステップ」から近代化による社会の変化やどのようにして二つの大戦に突入していったのかを探究できるように工夫されている。	章末の「学習のまとめと表現」では、二つの大戦を比較するとともに、大戦期はどのような時代だったかを表現できるように配慮されている。	章末の「章の学習を振り返ろう」では、二つの大戦の流れを国民の世論の視点で考えて表現することができるような課題が工夫されている。	章末の「まとめ」で欧米の近代化や開国の背景と経緯、新政府の近代化の目的、二つの対戦等の比較などを通して、近代の特色が表現できるように配慮されている。
7 現代の日本と世界に関する事項	「歴史に学び、未来へ生かそう」では、これまで学習してきたことの中からテーマを選び、将来の世代の幸福を見据えた社会を考察することができるよう工夫されている。	歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、巻末で歴史を振り返って、未来を構想することができるよう配慮されている。	「未来に向けて」では、現在と未来の日本や世界の在り方について巻末2ページで考え、未来の中学生にメッセージを考察することができるよう配慮されている。	歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、章末のまとめで解決すべき問題点に対する解決策を考察できるように配慮されている。
8 北方領土の記載に関する事項	北方領土についての歴史的背景とその領有の経緯を4ページにわたり取り上げ、問題の理解と解決に向けての意識が高められるよう工夫されている。	「隣国と向き合うために」において、北方領土について歴史的背景や経緯について取り上げ、問題解決に向けて意識が高まるよう工夫されている。	日本の領土面定と近隣諸国をテーマに、北方領土をめぐる領土問題発生にいたる経緯と政府の取り組みが国際法に則ったものであることが分かるよう工夫されている。	北方領土をめぐる領土問題の変遷をテーマに、歴史的経緯と課題について、地図や写真等を示し、政府の取り組みについて理解が図られるよう工夫されている。
9 竹島の記載に関する事項	竹島をめぐる問題の歴史的背景とその領有の経緯を4ページにわたり取り上げ、問題の理解と解決に向けての意識が高められるよう工夫されている。	「隣国と向き合うために」において、竹島について歴史的背景や経緯について取り上げ、問題解決に向けて意識が高まるよう工夫されている。	日本の領土面定と近隣諸国をテーマに、竹島をめぐる領土問題発生にいたる経緯と政府の取組が国際法に則ったものであることが分かるよう工夫されている。	竹島をめぐる領土問題の変遷をテーマに、歴史的経緯と課題について、地図や写真等を示し、政府の取組について理解が図られるよう工夫されている。
10 尖閣諸島の記載に関する事項	尖閣諸島をめぐる問題の歴史的背景とその領有の経緯を4ページにわたり取り上げ、問題の理解と解決に向けての意識が高められるよう工夫されている。	「隣国と向き合うために」において、尖閣諸島について歴史的背景や経緯について取り上げ、問題解決に向けて意識が高まるよう工夫されている。	日本の領土面定と近隣諸国をテーマに、尖閣諸島をめぐる領土問題発生にいたる経緯と政府の取組が国際法に則ったものであることが分かるよう工夫されている。	尖閣諸島をめぐる領土問題の変遷をテーマに歴史的経緯と課題について、地図や写真等を示し、政府の取り組みについて理解が図られるよう工夫されている。

調査研究項目	発行者番号・略称	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
1 私たちと歴史に関する事項		「私たちと歴史」では小学校の学習の振り返りを行い、年代・時代区分の表し方を示し、時系列・推移・比較・つながりを歴史考察の手立てとして配慮されている。	「歴史の流れと先人の活躍」で小学校での学習を振り返りながら、年代や時代区分について身に付けることができるよう配慮されている。	「歴史への案内」で小学校での学習を振り返りながら、年代や時代区分が理解できるよう示され、また、地域学習の意味も示されている。
2 身近な地域の歴史に関する事項		各章の中に「出かけよう!地域調べ」のコーナーを設け、現地調査や地図・写真等を活用した調査などの方法を示し、調べ活動が上達するよう配慮されている。	身近な地域の歴史の学習では、大阪城と横浜を例として紹介するとともに、調査方法やまとめ方・発表の仕方が上達するよう配慮されている。	身近な地域の歴史の学習では、「地域の博物館で調べる」や「地域の歴史を歩く」といったテーマを通じた調べ方等が示されている。
3 古代までの日本に関する事項		「歴史を振り返る」では、現代に生きる私たちにとって、その時代の人々の信仰やものの見方を知る手がかりにつながる事が分かるよう工夫されている。	神話に見る我が国誕生の物語では、国の成り立ちについての解釈や生活の様子、ものの考え方を調べるうえで貴重な手がかりとなる事が分かるよう工夫されている。	「歴史と神話の本をまとめる」では、古事記が完成した成り立ちや目的、内容を分かりやすく掲載するとともに、常陸国風土記についても示している。
4 中世の日本に関する事項		章末の振り返りで、古代と中世を比較しながら、武家政権や東アジアをはじめとする外国との関わりを捉え、中世の特色が理解できるよう配慮されている。	章末の振り返りで年表や地図・資料を活用しながら、武家政権や東アジアをはじめとする外国との関わりを捉えることができるよう配慮されている。	章末のまとめで地図や年表・語句などを用いながら、武家政権や東アジアをはじめとする外国との関わりを捉えて、中世の特色が体感できるよう配慮されている。
5 近世の日本に関する事項		章末の振り返りで、近世の特色を江戸幕府の改革を通してつかみ、幕末にむけての社会の変化を経済面から考え、近世を大観することができるよう配慮されている。	章末の振り返りで年表や地図・資料を活用しながら、江戸幕府の政策などを理解し、近世の特色を大観することができるよう配慮されている。	章末のまとめで年表・写真資料などを用いながら、江戸幕府の政策をまとめ、どのような時代だったかを前の時代と比較しながら表現できるよう工夫されている。
6 近代の日本と世界に関する事項		近代を前後半に分けて捉え、章末の振り返りで、それぞれ明治政府の政策・戦争などをテーマに時代の特色を大観することができるよう配慮されている。	章末の振り返りで年表や地図・資料を活用しながら、二つの大戦を比較し、この時代はどのような時代だったかを表現できるよう配慮されている。	章末の「学習のまとめ」では、第一次世界大戦の反省を活かせず、再び大きな戦争が起きた理由を表現することができるよう課題が示されている。
7 現代の日本と世界に関する事項		歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、歴史との対話を未来に活かす課題例をあげ、自らまとめることができるよう配慮されている。	歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、「歴史新聞づくり」や「歴史を体感する」で、表現できるよう配慮されている。	歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、章末のまとめで戦争と平和の問題等について考えることができるよう工夫されている。
8 北方領土の記載に関する事項		冷戦直後の近隣諸国との関係をテーマに北方領土について、地図や写真などを示しながら歴史的背景などを表し、政府の取組が分かるよう工夫されている。	わが国の領土をめぐる問題の歴史をテーマに北方領土の歴史的背景と経緯を地図や資料を示しながら、政府の主張の正当性が分かるよう工夫されている。	近隣諸国と我が国の間で、領土をめぐる問題となっている北方領土については、該当するページの脚注などにおいて、簡潔に示されている。
9 竹島の記載に関する事項		冷戦直後の近隣諸国との関係をテーマに竹島について、地図や写真などを示しながら歴史的背景などを表し、政府の取組が分かるよう工夫されている。	わが国の領土をめぐる問題の歴史をテーマに竹島の歴史的背景と経緯を地図や資料を示しながら、政府の主張の正当性が分かるよう工夫されている。	近隣諸国と我が国の間で、領土をめぐる問題となっている竹島については、該当するページの脚注などにおいて、簡潔に示されている。
10 尖閣諸島の記載に関する事項		冷戦直後の近隣諸国との関係をテーマに尖閣諸島について、地図や写真などを示しながら歴史的背景などを表し、政府の取組が分かるよう工夫されている。	わが国の領土をめぐる問題の歴史をテーマに尖閣諸島の歴史的背景と経緯を地図や資料を示しながら、政府の主張の正当性が分かるよう工夫されている。	近隣諸国と我が国の間で、領土をめぐる問題となっている尖閣諸島については、該当するページの脚注などにおいて、簡潔に示されている。

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。		章を貫くテーマが明確で、豊富な情報やスキルアップの課題を効率よく配置し、単元末等の確認で基礎的・基本的な内容が習得できるよう工夫されている。	基礎的・基本的な内容が系統的に示され、本文や巻末での解説や単元末での基礎的・基本的な内容を確認する欄で学習内容が定着できるよう工夫されている。	章の構成が工夫されており、資料活用や思考ツール活用の場面が設定されるなど、基礎的・基本的な内容が身に付けられるよう工夫されている。	基礎的・基本的な内容が多様な資料とともに述べられており、単元末で思考ツールを用いて確認する欄があり、学習内容が定着できるよう配慮されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。		見方・考え方を養う思考課題が随所にあり、思考ツールを活用しながら探究のステップやまとめの活動によって問題解決能力を高めるよう工夫されている。	単元ごとに公民の見方・考え方を働かせて思考・判断・表現するような問いがあり、知識や技能を活用して課題を解決する記述の充実が図られている。	随所に探究型の課題が提示され、章末では見方・考え方を働かせて章全体を振り返るなど、知識・技能を生かして考えられるよう構成が工夫されている。	章末で、見方・考え方を働かせて思考・表現する活動や、思考ツールを活用して思考を明確にするコーナーがあり、学びを深めるよう配慮されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。		各章の導入イラストで興味・関心を喚起し、章を貫くテーマと探究のステップを示すことで、生徒が意欲を持ち自発的に学習に臨めるよう工夫されている。	興味・関心を高めるよう章や単元の冒頭で写真・資料やセリフを示し、資料をもとに考察する過程が示され、自主的に学習できるよう配慮されている。	章の冒頭で提示されるイラストが詳細で学習とともに深く読み取れる内容であり、生徒が興味・関心を持ち、学びの深化を振り返ることができるよう工夫されている。	学校をテーマとした漫画や写真を用い、興味・関心を高めるとともに、各単元に学習課題と見方・考え方が明示され、意欲を高めるよう配慮されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。		日本の伝統文化を、多様性とともに理解し、継承、発展していこうする態度を養うとともに、多文化共生を目指す資質が育成できるよう配慮されている。	文化の保存、継承や、外国文化の受容、新しい文化の創造の意義について述べることで、文化を尊重する態度が育成できるよう配慮されている。	「先賢たちの選択」コーナーで狂言師の野村萬斎さんを取り上げ、文化の継承や創造の大切さを理解し、尊重する態度が育成できるよう配慮されている。	日本の文化が外国との交流の中で形成されてきたことに触れ、我々も文化を創造する当事者であることに気付かせるよう配慮されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。		「公民にアクセス」では世界の水問題やエンカナル消費等の現代的課題を多数扱い、SDGsの視点から地球環境を考える学習が充実するよう工夫されている。	全体を通じてSDGsがテーマであり、各単元の随所で関連が示され、生徒が学習を生かし社会の一員としてあるべき姿を思考、提言できるよう工夫されている。	巻末に防災・減災等の社会参画について扱うとともに、SDGsの学習後にレポートを作成するなど、現代的な諸課題について学習できるよう工夫されている。	巻頭や本文中にもSDGsに関連する記述があり「チャレンジ公民」では地球温暖化対策を考えるなど、現代的諸課題の学習が充実するよう工夫されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。		地理・歴史との関わりが示され、思考する場面が設定されているとともに、内容は系統的に構成・配列され、効率よく学習できるよう配慮されている。	小学校や地理・歴史の学習内容との関連が示されるとともに、学習したことを意識的に振り返り、系統性のある構成となるよう工夫されている。	小学校や地理・歴史との関連が示されるとともに、系統的・発展的に構成され、各単元で学習内容を確認し、章末で発展的な内容に取り組めるよう工夫されている。	学習内容に関わる地理・歴史や公民の既習の学習内容を想起させる問いが設けられ、学年相互間の関連や公民的分野の学習の系統性が配慮されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適切にされており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。		生徒の発達段階に応じて、適切な大きさの図版や写真が掲載されており、本文と資料が関連付けられ、学習が進めやすいよう工夫されている。	挿絵、写真、図版の大きさや色調は適切であり、文字の書体、大きさともに明瞭で、本文と資料が関連付けられ、理解しやすいよう工夫されている。	生徒の発達段階が考慮され、抽象的な事項を理解しやすい挿絵や図版が掲載され、本文と資料が関連付けられるよう工夫されている。	点字を体験できるページがあるなど、本文と特集記事を組み合わせる学習内容を適切に身に付けられるよう学習活動が充実するよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。		巻頭のQRコードからは、選挙シミュレーションや映像資料の視聴、関連リンクへの接続など、生徒が自ら学習を進展させられるよう工夫されている。	巻頭のQRコードからは、各省の学習に関連するサイトを閲覧することができるようになっており、自主的な学習が充実するよう工夫されている。	巻頭のQRコードからは、関連資料や思考ツールの説明動画を閲覧したり、基礎的・基本的な内容の確認を解答を確認しながら進めたりできるよう工夫されている。	巻頭のQRコードからは、ワークシートや動画、関連リンク集を表示することができ、生徒が自ら調べ、学習を進められるよう工夫されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。		「みんなでチャレンジ」コーナーで探究型の課題や他者と協働して思考を深め、解決へと向かう学習の流れが例示され、構成が工夫されている。	「公民の技」コーナーやジグソー法に取り組むコーナーで、グループでの学習を生かして自分自身の考えを深められるよう構成が工夫されている。	「アクティブ公民」コーナーで、自分で、みんなで考える課題が示され、自分事として捉え、深め、納得できるよう内容や構成が工夫されている。	「アクティビティ」のコーナーで学習を深める問いが示され、単元の内容に関連して思考を深め、技能を身に付けることができるよう配慮されている。

調査研究項目	発行者番号・略称 225 自由社	227 育鵬社		
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	本文と同ページの欄外に語句の説明や解説が示されるとともに、単元ごとに要点が述べられており、基礎的・基本的な内容が定着するよう配慮されている。	KJ法やランキングなどのコーナーが設けられているとともに、資料や語句の解説を参考に、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるよう配慮されている。		
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	各章に「アクティブに深めよう」のページがあり、それぞれの章で身に付けた知識や技能を活用して課題を解決する学習ができるよう配慮されている。	各単元に示されている鉛筆マークの課題に取り組むことにより、知識や技能を活用して思考力・判断力・表現力が育成されるよう配慮されている。		
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	「ここがポイント」で自発的に学習できるよう要点が示され、「もっと知りたい」のコーナーで生徒が今日的課題に触れ関心を持てるよう配慮されている。	金沢市の旧町名復活の推進に関する条例が主計町の茶屋街の写真とともに掲載されており、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。		
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	日本の伝統と文化や芸術・科学・宗教について、本文や「もっと知りたい」のコーナー、巻末の資料等で大きく扱い、学習の充実が図られている。	伝統と文化の学習では、日本の文化の歴史や継承について、本文と巻末の特集で多面的に紹介し、多様な事例をもとに理解を深められるよう工夫されている。		
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	日本人の拉致事件問題や近隣諸国の人権問題を取り上げることで、国際的に普遍的な価値を持つ人権問題について理解できるよう工夫されている。	本文だけでなく巻頭や巻末にSDGsについて教材を掲載し、現代の日本や世界の諸課題の解決に向けた取組について考えられるよう配慮されている。		
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	「もっと知りたい」のコーナーで歴史的な内容を取り上げ、学習した内容との関連付けが図られるなど、系統的な学習ができるよう示されている。	地理・歴史・公民の概念図を大きな図版で示し、歴史・地理と関連している単元には関連マークが明記されるなど、既習と関連付けて考えられるよう配慮されている。		
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適切であり、文字の凸体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	活字が大きく重要語句は太字になっており、写真や図の印刷も明瞭で、それぞれに題名や解説が表されるなど、生徒が読みやすいよう配慮されている。	挿絵や図などが生徒の発達段階に応じて見やすいよう作成・配置されており、本文と資料が関連付けられ、生徒が理解しやすいよう工夫されている。		
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	魅力あるまちづくりを考える探究型の課題が設定され、身近な地域についてグループ活動を行い、社会の一員としての資質を育むよう配慮されている。	自分の住むまちの課題を解決する問いが設定され、取組の重要度をランキング付けする活動など、発展的な課題を解決する力が育成できるよう配慮されている。		
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	「やってみよう」のコーナーや終章のディベート・レポート作成を通して、思考・表現しながら課題を解決することで学習が深まるよう配慮されている。	章末で目語活動やポスターツアーが設定され、課題について他者の意見を取り入れながら自らの思考を深め、表現することができるよう工夫されている。		

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
1 私たちと現代社会に関する事項	現代社会の特色について理解するとともに、身近な例を用いた課題について、対立から合意に導く適切な方法を、他者と協働しながら構築できるよう工夫されている。	地域のルールを考える学習活動を通して、効率と公正について配慮しながら対立を合意に導く方法を考察し、適切に表現することができるよう工夫されている。	現代社会の特色を近年の変化とともに多面的に理解し、社会生活の中で起こる対立を合意に導くためにはどうすればよいか事例を基に考察できるよう工夫されている。	身近な例をもとに対立と合意、効率と公正の視点を示すとともに、統計情報の読み取りや活用を行う特設ページを設け、現代社会を理解できるよう配慮されている。
2 私たちと経済に関する事項	経済のしくみや基本的な考え方を分かりやすく述べ、シミュレーション活動等を通じて生徒が主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。	「公民の技」や「起業にチャレンジ」のコーナーで、生徒が多様な資料や学習で身に付けた知識・技能を生かして思考・判断・表現できるよう配慮されている。	経済活動の疑似体験や企業の企画書を完成させる活動によって、経済の基本的な考え方や、企業の社会的役割と責任を理解できるよう工夫されている。	経済のしくみを分かりやすく述べるとともに、社会保障のあり方を考える特設ページを設けており、財政の役割や租税の意義を理解できるよう工夫されている。
3 私たちと政治に関する事項	政治のしくみや課題について、模擬裁判や市長の選出等の活動を通して考え、将来の主権者として主体的に政治参加する視点を身に付けられるよう工夫されている。	政治のしくみや政治参加について、国民の司法参加やクリティカルシンキングについて学ぶことで、公民的な資質・能力を身に付けられるよう配慮されている。	政治のしくみや課題について分かりやすく述べており、まちづくりや模擬裁判等主権者として主体的に考える場面を設定するなど、理解が深まるよう工夫されている。	模擬裁判の学習など、人権や政治を身近なものとして考えられるよう構成されているとともに、新聞紙面を例示し学習内容が俯瞰できるよう配慮されている。
4 私たちと国際社会の諸課題に関する事項	SDGsの視点で考える「ハチミツの争い」など、持続可能な社会の実現に向けて、一人一人が自分事として国際社会について考えられるよう工夫されている。	持続可能性を妨げる国際社会のいくつかの課題に優先順位を付け、どれから解決すべきかを考えることで、自分の考えをまとめられるよう配慮されている。	現代の国際社会における諸課題を理解するとともに、発展途上国の教育に関するレポート作成を例に、世界的な視野や視点に立って探究できるよう配慮されている。	SDGsの実現に向けて、課題に優先順位をつけて考察することで、持続可能な社会の実現に向けてどのような取組が必要かを考察できるよう配慮されている。
5 北方領土の記載に関する事項	北方領土の歴史的経緯や現状が複数の写真を用いて述べられており、我が国が平和的に問題解決するために努力していることが理解できるよう配慮されている。	北方領土に関する地図や写真を複数掲載して説明されており、問題の解決を目指して交渉が継続中であることが理解できるよう配慮されている。	北方領土に関する歴史的な事項を地図や資料を交えて解説し、我が国がロシアと平和的に解決するために努力していることが理解できるよう配慮されている。	北方領土について、本文と特集記事で歴史や現在の状況が述べられ、我が国がロシアと平和的に解決するために努力していることが理解できるよう工夫されている。
6 竹島の記載に関する事項	竹島について、韓国が不法に占拠していることや我が国が国際司法裁判所の判断に委ね、平和的に解決する提案を行っていることが理解できるよう配慮されている。	竹島について、韓国が不法に占拠し、問題が未解決であることや、我が国が平和的解決に向けて努力していることが理解できるよう配慮されている。	竹島について、歴史的経緯を述べるとともに、韓国が不法に占拠しており、日本が問題の平和的解決を図って努力していることが理解できるよう配慮されている。	竹島について、歴史や現在の状況について本文や特集記事で大きく扱い、日本が平和的解決に向けて努力していることが理解できるよう工夫されている。
7 尖閣諸島の記載に関する事項	尖閣諸島について、日本が実効的に支配し、日本固有の領土であることは広く認められており、領土問題は存在しないことが理解できるよう配慮されている。	尖閣諸島について、地図や資料を掲載し、我が国には解決すべき領有権の問題は存在しないということが理解できるよう配慮されている。	尖閣諸島について、資料を交えて述べられており、中国との間に解決すべき領有権の問題は存在しないことが理解できるよう配慮されている。	尖閣諸島について、本文および特集記事で述べられており、中国との間に解決すべき領土問題は存在しないことが理解できるよう工夫されている。

発行者番号・略称 調査研究項目	225 自由社	227 育鵬社		
1 私たちと現代社会に関する事項	グローバル化による我々の生活の変化について整理するコーナーが設けられており、現代社会の特色を捉えることができるよう配慮されている。	身近な例をもとに、対立と合意、効率と公正という視点に気づき、現代社会を捉える見方や考え方の基礎を身に付けられるよう配慮されている。		
2 私たちと経済に関する事項	経済のしくみについて分かりやすく述べ、「もっと知りたい」のコーナーで、市場経済の基本的な考え方や企業の社会的責任等を理解できるよう配慮されている。	「人生をデザインしよう」「経済のこれから」等、活用力や思考力を高め、望ましい経済活動のあり方を思考できるよう学習活動が工夫されている。		
3 私たちと政治に関する事項	日本の政治について、歴史的背景や他国との比較を踏まえて理解できるよう構成され、将来の主権者として主体的に考える態度が育成できるよう配慮されている。	ディベートや裁判員裁判のシミュレーションを取り上げ、他者と交流しながら、政治について主体的に思考できるよう配慮されている。		
4 私たちと国際社会の諸課題に関する事項	国際平和をどう作り上げるかというテーマで、国際社会における我が国の役割について自分の考えを深め、まとめることができるよう配慮されている。	SDGsについて調べ、自分の考えをまとめるとともに、今日の国際社会の諸課題への日本の関わりや今後の展望も交えて理解しやすいよう配慮されている。		
5 北方領土の記載に関する事項	北方領土について、「もっと知りたい」コーナーで、歴史的経緯を詳細に説明し、我が国が平和的解決に向けて努力していることが理解できるよう工夫されている。	北方領土について資料を効果的に掲載し、日本とロシア双方の主張を明示し、我が国が平和的解決に向けて努力していることが理解できるよう工夫されている。		
6 竹島の記載に関する事項	竹島について、歴史的背景を踏まえ、現在は韓国に占拠されていることや、我が国が平和的解決に向けて努力していることが理解できるよう工夫されている。	竹島について、歴史や現状について地図や資料を示しながら解説するとともに、我が国が平和的解決に向けて努力していることが理解できるよう工夫されている。		
7 尖閣諸島の記載に関する事項	尖閣諸島について、本文と特設ページで大きく扱っており、日本固有の領土であることは明確で、領土問題は存在しないことが理解できるよう工夫されている。	尖閣諸島について、図表や多数の写真の効果的に掲載し、日本固有の領土であることや解決すべき領有権の問題は存在しないことが理解できるよう工夫されている。		

調査研究項目 発行者番号・略称	2 東書	46 帝国		
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	各ページの一般図に「注目したい記号」が示されており、地図から基礎的・基本的な情報を読みとることができるよう配慮されている。	各ページに「地図活用」という問いかけが示されており、一般図だけでなく各種資料から基礎的・基本的な情報を読み取る活動の充実が図られている。		
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	「テーマ資料」のページには、世界及び日本の諸地域の探究課題を解決するために必要な資料を掲載し、教科書と関連付けて考えることができるよう工夫されている。	「地図活用」のコーナーでは、一般図や資料から読み取った情報を比較・関連付けて考察させ、知識の整理や説明させる活動の充実が図られている。		
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	「鳥瞰図」の採用によって、世界の諸地域では地形の様子、日本の諸地域では各地の特産物と地形の様子に関心をもてるよう配慮されている。	世界の諸地域の地図や日本のテーマ別資料図に「鳥瞰図」が採用されており、効果的なイラストによって地域全体の特色に関心をを持たせるよう工夫されている。		
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	「都道府県の産品と名所・お国自慢」や「日本の方言分布とご当地キャラクター」が紹介されており、郷土の伝統と文化に関心をもてるよう配慮されている。	「日本の伝統的な町並み」や「特色ある祭り・行事」が紹介されており、各地域の特色及び、伝統と文化に関心をもてるよう配慮されている。		
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	世界の現代的な課題を解決するための目標である「SDGs」について紹介されており、17の視点から地理的事象を理解できるよう配慮されている。	日本の諸地域のページに、現代社会の課題である「防災」と「環境」をテーマにした資料が随所に紹介されており、各地域の課題が理解できるよう配慮されている。		
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	歴史や公民の学習に役立つ資料には「歴」「公」、地理の関連資料には「ジャンプ」のマークが示され、各分野を系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。	歴史地図や年表、絵図、「防災」「環境」のマークを掲載することで、歴史分野や公民的分野と関連付けて理解できるよう配慮されている。		
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適合しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	一般図や資料において明るい色使いがなされており、地図上の文字の可読性が高く、写真が適切に掲載されており地図や資料の理解を助けるよう配慮されている。	文字の可読性が高くなり、サイズを縦に長くすることで情報量を増やすとともに、各地域の資料の項目を揃えるなど見やすい資料の充実が図られている。		
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	巻頭にQRコードが掲載されており、世界の州別や日本の地方別の白地図をダウンロードでき、日本については国土地理院の地図を閲覧できるよう示されている。	随所にQRコードが掲載され、「地図活用」コーナーの解答を確認できるとともに、単元の学習を深める多面的・多角的な資料やコンテンツの充実が図られている。		
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	一般図の「注目したい記号」や資料図の「キャラクターの吹き出し」で学習課題や作業が示され、個人やグループで学習が進められるよう配慮されている。	「地図活用」のコーナーの問いかけが明確で、他者への発表を意識した表現になっており、グループやペアでの学習が進めやすくなるよう工夫されている。		

調査研究項目	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	側注のヒントが分かりやすく、ヒントに合わせた途中計算が丁寧に示されており、また誤答例を取り上げることで、陥りやすいミスを重点化するよう工夫されている。	つまずきやすいところのヒントが既習事項として脚注に示されていることや、巻末の補充問題の数を多くすることで基礎の定着が図られている。	思考のヒントとなる言葉や式、図を示したり、誤答例を基に考えたりすることで、理解の定着を図るよう工夫されているとともに、確認問題も充実が図られている。	章に入る前の既習確認や側注の「もどって確認」、各章の学習のまとめなど、繰り返し学習することで、基本的な知識・技能の習得ができるよう図られている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	思考力・判断力・表現力の育成を図るため、巻末の「深い学びをふり返ろう」では、問題解決の過程を意図した活動や記述式問題の充実が図られている。	充実したレポートの提示や巻末の「課題学習」や単元末の「力をのばそう」では、活用する力を問う問題があり、思考力・判断力・表現力の育成が図られている。	各章末にある「活用」で発展的な課題について考えさせた後、さらに条件を変えて、思考が深まる問題提示やさらに学んでみたいことを考えるよう工夫されている。	各章末の「数学の広場」で既習内容を活用する課題や自分の考え方を説明したり話し合ったりする課題があり、思考力・判断力・表現力の育成が図られている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	単元や節の導入では、学習のつながりを意識した題材を取り入れ、新たな学習への意欲を高めるとともに、次時からの学習に主体的に取り組めるよう工夫されている。	章の導入では、生徒の興味・関心を喚起し、学習意欲を向上させるような題材が提示され、図や写真も、生徒の思考の流れに沿うよう配慮されている。	導入では、問題解決の過程で生徒が疑問を持つような課題を設定し、それを次時への課題へとつなげ、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。	「Let's Try」や節の導入では、キャラクターを活用して考える視点を提示し、分かりやすく図を示すなど、学習意欲を高めるよう配慮されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	文化と数学を結びつけるよう、日本の伝統模様や将棋の先手の決め方、伝統的な楽器の鼓をイメージした建物、江戸時代の測量技術などが掲載されている。	和算や和歌、さっさ立てや伝統的な行事を題材とした問題を取り上げるなど、日本の伝統文化を尊重する態度を育成できるよう配慮されている。	江戸時代の測量技術など日本の数学の歴史に触れているとともに、世界における数学の歴史的な背景も取り上げており、興味を持たせるよう配慮されている。	日本の伝統模様や江戸時代の「栗師算」「和算」「算類」を取り上げたりするなど、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮している。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	活用問題や「数学の自由研究」において、時差や地震、入射角などについて取り上げ、他教科との関連を随所に意識できるよう配慮されている。	「発見!仕事のなかの数学」では、多くの活躍する方のインタビューを紹介することで、数学が仕事現場で活用されることが実感できるよう充実が図られている。	SDGsと数学の関わりについて取り上げ、生徒が自主的に調べたり、既習内容から自分たちができることがないかを考えたりする態度を養うよう工夫されている。	「数学の広場」では、数学から環境問題を捉えており、数学に関わる仕事をしている人のインタビューから社会との関連を意識できるよう配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	新たな内容を学習する際に、既習内容に関連する内容や小学校とつながりの深い章のはじめに、学年相互の関連を振り返りやすいよう配慮されている。	巻末の「小学校算数のふりかえり」では、小学校での既習事項の確認を設けてあり、算数の学習を思い出しながら学習できるように掲載されている。	各領域ごとに「ふりかえり」のページが挿入され、小学校でどのようなことを学んできたかを振り返り、次の学習ができるよう配慮されている。	各章の前に既習事項の復習のページが用意され、巻末の「学びのマップ」で適宜学年相互の振り返りができるように工夫されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	直接記入しやすい図表やグラフに加え、折り目の作図では、実際に折り込むことができる図がバランスよく配置され、生徒が取り組みやすいよう工夫されている。	図表や写真が大きく鮮明で、文字もフォントや太さを変えることで見やすく、また、作図スペースも広く設けられており作業もしやすいよう配慮されている。	折込ページを使い、グラフをかくための図表、見本となるグラフやその特徴、身近に見られる例の写真など生徒にとって理解しやすくなるよう配慮されている。	図表や資料が多く配置されており、導入の「Let's Try」では、生徒が十分に書き込むことができるスペースが掲載されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	星形多角形について、いろいろな見方で角を求める学習をふまえて、補助線を書き加えることにより、複数の解法を発見できるよう配慮されている。	星形多角形について、多角形の性質を生かしたり、補助線を書き加えたりすることにより、複数の解法を発見できるよう配慮されている。	星形多角形について、五角形の外角を使用したり、点の位置をずらしたりすることから、複数の解法を発見できるよう配慮されている。	星形多角形について、補助線を書き加えたり、角の關係に着目させたりすることにより、複数の解法を発見できるよう配慮されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	各単元の利用では、大切な見方や考え方が明確に示され、更に、巻末の「深い学びを振り返ろう」に取り組むことで、理解を一層深められるよう工夫されている。	発展的課題として身近な問題を扱い、学習の流れを生徒に示すとともに、「学びにプラス」では学び合い活動につなげることができるよう配慮されている。	学習内容の確認や振り返り、次時への課題を明示し、「発展的課題」では、課題解決への道筋を示すなど、生徒の学びを一層深められるよう工夫されている。	「活用の問題」では、身近に起こりうる事象を一般化し、発展的課題として取り上げ、手立てや道筋を示すことで、学び合い活動ができるよう配慮されている。

調査研究項目	61 啓林館	104 数研	116 日文	
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	側注には考え方のポイントが簡潔に示されており、「学びを確かめよう」や巻末の「力をつけよう」を活用することで、基礎基本が身に付くよう図られている。	学習する際にポイントとなる考えやヒントが掲載されており、生徒に分かりやすい言葉で提示され、「ふりかえり」では、既習内容の該当ページが示されている。	つまずきが多いと予想される内容について、適切な手立てとなるヒントを効果的に示し、巻末の補充問題を活用することで基礎基本が定着するよう図られている。	
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	裏表紙から始まる「自分から学ぼう編」では、思考力、判断力、表現力などを育むことができる問題が充実しており、学びが深まるよう工夫されている。	数学のよさを感じられるように、学んだ内容を活用する課題が設けられ、多様な考えを出し合いながら、解決を目指す活動ができるよう配慮されている。	式や図、グラフ、言葉などを関連付けて考え表現する活動が取り入れられているとともに、方法や理由などを数学的に説明する記述式の問題が掲載されている。	
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	導入では、身近に起こりうる事象について考え、自分の考えを持った上で話し合わせる活動に取り組ませることにより、主体的な学習を促すよう図られている。	導入時の図や写真で生徒の興味を引き、その後「TRY」に取り組むことで、生徒が学習の見通しをもち意欲的に取り組めるよう示されている。	導入部分では、単元の学習内容を紹介したり、見やすい図やイラスト、キャラクターを活用したりして、意欲的に取り組めるよう示されている。	
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	日本の伝統模様や大工道具の曲尺の他に、問題設定に福祉に関する内容を取り上げることで、伝統と文化を尊重する態度や道徳性が養われるよう工夫されている。	探究ノートに九章算術や日本の伝統的な文様や和算などが紹介されており、数学の歴史と文化を尊重する態度が養われるよう配慮されている。	「和算の歴史」や「冨嶽三十六景」と数学との関連などが示されており、伝統と文化を尊重する態度を養われるよう配慮されている。	
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	「学びをいかそう」では、環境や少子化などの現代的諸課題に加え、学びが深まるようプログラミングと数学を関連付ける問題等の充実が図られている。	桜の開花日の変化から地球温暖化問題について考えたり、大気汚染物質の大きさについて考えたりすることで、環境問題について考えられるよう示されている。	「データの活用」や「数学を仕事に生かす」では、数学を気温や風力などの暮らしやデータ分析などの仕事と関連付けて学ぶことが意識できるよう配慮されている。	
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	巻末の「算数をふりかえろう」では、「割合」「早さ・道のり・時間」など小学校の苦手な分野を重点的に復習できるよう配慮されている。	各章の前に、「ふりかえり」のページが充実しており、新しく学習する内容に関連した既習事項の問題を取り入れ、学年相互の関連が図れるよう工夫されている。	各章の前に、「〇章を学ぶ前に」で小学校、中学校の復習問題を取り入れ、既習を振り返ることで学年相互の関連が図られるよう工夫されている。	
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	図表やグラフ、写真、学習の要点が見やすく、直接記入しやすい配置に加え、QRコードを効果的に配置するなど生徒の主体的な学びにつながるよう工夫されている。	生徒が書き込みやすいよう、作図スペースを確保したり、グラフの大きさや補助目盛、表の配置、拡大図をコンパクトにまとめるなど配慮されている。	書き込みが必要な図や表は適切な大きさとバランス良く配置され、文字や網掛けの色の使い方で重要なポイントがわかりやすくなるよう掲載されている。	
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	星形多角形について、「学びを生かそう」で学びを深めた内角や外角の性質や三角形の内角の和を用いて解くことができるよう配慮されている。	星形多角形について、星形五角形と星形七角形の角の和を求める問題を巻末に掲載し、いろいろな見方で角の和を求められるよう配慮されている。	星形多角形については、基本的な角度を求める方法を示すとともに、生徒の確かな理解につなげるための解法の手順が掲載されている。	
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	身のまわりの問題を解決する際の疑問を発展的課題として取り上げ、説明や学び合い活動の視点を明示することにより、一層深い学びにつながるよう工夫されている。	別冊「探究ノート」では、発展的課題を取り上げ、キャラクターのつぶやきを考えのヒントとし、見通しを持って課題解決に向かえるよう配慮されている。	巻末の「対話シート」には、自分の考えや話し合いの内容、振り返りを書くスペースが十分に確保されており、学び合い活動ができるよう配慮されている。	

発行番号・略称 調査研究項目	61 啓林館	104 数研	116 日文	
1 数と式に関する事項	計算方法の一般的な手順や誤答の原因を明確に示すとともに、ヒントを基に考えさせ、気付かせることで理解できるよう配慮されている。	計算方法や考え方などには、モールステップで丁寧な説明や注釈が添えられており、数量の関係が確実に理解できるよう工夫されている。	四則計算や方程式の解き方の手順が言葉や図で丁寧に示されており、数と式に関する基礎的・基本的な事項が定着するよう配慮されている。	
2 図形に関する事項	導入では、作図することで図形の性質を証明する必要感を持たせるとともに、証明の手順や図形の性質が効果的に示されるなど見通しをもてるよう工夫されている。	証明の仕組みや手順など、見通しが丁寧に示されているとともに、証明例なども示されており、証明の書き方を習得できるよう配慮されている。	証明の方針や手順が、図や穴うめ問題、正誤の判断例などを活用して丁寧に示されており、証明の書き方を習得できるよう配慮されている。	
3 関数に関する事項	グラフの学習につながる線香の燃えた時間と長さの関係や、身近な題材である紙パックのリサイクルの問題を扱う等、生徒の意欲を高める内容が示されている。	変域を図で示したり、間違えたグラフを示したりすることにより正しいグラフのかき方を強調したりすることで、基本となる学習内容が丁寧に提示されている。	ポスターの文字の大きさや自動車の制動距離などの身近な事例を取り上げ、話し合い活動に取り組みさせることで関数との関わりを考察するよう図られている。	
4 データの活用に関する事項	身近な話題の導入で、既習事項の他にどのようなデータが必要か考えさせるとともに、箱ひげ図とヒストグラムの比較により、考えを深められるよう工夫されている。	身近なことについて、ヒストグラムと箱ひげ図を比較しながら、データを読み取り、データの活用によさが実感できるよう配慮されている。	箱ひげ図をかく手順や読み取りが丁寧に示されているとともに、複数のデータを比較することにより、箱ひげ図の特徴がつかめるよう工夫されている。	

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東啓	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。		知識・技能でつまずきやすい箇所において「例題・考え方・練習・確認」というスモールステップ構成で確実に定着できるよう工夫されている。	基本的な知識の定着に役立つように、「例題・練習・章末問題・単元のまとめ、単元末問題」で段階的に知識が定着するよう配慮されている。	理解を深めるためページを分かりやすく簡潔にまとめるとともに、「学びをいかす」では学力の定着が図れるように基本的な問題が示されている。	節末や章末には、「要点チェック」を配置し、節または章の要点を網的にまとめ、基礎・基本の定着を自ら確認できるよう配慮されている。	つまずきやすい計算場面では「例題」で考え方を丁寧に解説しており、「学習のまとめ」では視覚的に理科用語や学習内容が定着できるよう工夫されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。		「課題に対する自分の考えは？」など探究の過程に直結した言語活動が配置され、主体的に探究的な学習が取り組めるように工夫されている。	問題発見から観察・実験、考察・推論といった、探究の過程が分かりやすく掲載されており、さらに「探究活動」で学びが深くなるように配慮されている。	探究を進める過程で生じる他者との話し合いの仕方、レポートの書き方を示すことで表現力が身に付くよう分かりやすく配慮されている。	探究を進める上での手段として、論理的な考察からそれを表現できるよう「私のレポート」を数多く掲載し、表現力が身に付くよう配慮されている。	「探究実験」では1年「疑問・課題・仮説」、2年「計画・考察」、3年「探究の振り返り」と重点を変えながら探究活動ができるよう工夫されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。		「レッツ スタート!」で学習意欲を向上させ、「学びをいかして考えよう」で学習内容を活用することで、主体的に学習が進められるよう配慮されている。	導入のページでは、興味・関心が高められる写真や図を取り上げ、親しみやすいキャラクターを用いることで自主的に学習を進められるよう示されている。	「問題発見」や「学び続ける理科マスター!」が疑問に対する対話例として掲載されており、生徒の主体性を促し、学習が進められるよう示されている。	各単元の導入では、身近な事物・現象や不思議な現象をダイナミックな写真を基に、「学習前の私」で学習への期待が持てるよう示されている。	単元の導入でダイナミックな写真や動画を基に、「みんなで探Qクラブ」で主体的に探究の課題を解決していくよう工夫されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。		単元末コラム「世界につながる科学」などのコラムで、日本人研究者・技術者の話題を取り上げ、日本の伝統・文化を尊重する態度を育てるよう工夫されている。	「Science Press」や「科学のあしあと」では、科学者の業績などを紹介し、科学の発展に対して敬意を持って接する態度を育てるよう示されている。	章の扉絵や「サイエンスカフェ」で、日本の伝統的な工業や文化を示すことにより、日本の郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。	「ハローサイエンス」では、日本人科学者や日本古来の知恵などを取り上げ、日本の伝統・文化を尊重する態度を養う場面が示されている。	「深めるラボ」で、日本の最先端の科学者を取り上げたり、先人が見つけた知恵などが紹介され、日本の伝統・文化を尊重する態度を育てるよう配慮されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。		「つながる科学 働く人と科学」で様々な職業に就いている人の仕事の内容を学習内容と関連付けて紹介することで、キャリア教育の一助となるよう工夫されている。	扉絵や「Professional」では、理科に関連する職業や仕事などの資料を掲載することで、生徒が将来を考えるヒントとなるよう示されている。	「理科のトリセツ」では生活が科学の知識・考え方や様々な職業に就く人々によって成り立っていることを取り上げ、キャリア教育の一助となるよう工夫されている。	「科学者列伝」などでは日本人科学者を取り上げ、研究者の努力や、粘り強く研究を続けることの必要性を掲載し、キャリア教育の一助となるよう示されている。	「お仕事ラボ」では職業と理科の学習との関連を紹介することで、科学を学ぶ有用性を理解させキャリア教育の一助となるよう配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。		「これまでに学んだこと」では既習事項を確認し、「発展」では上位学年や高等学校につながる内容を扱い、系統的に学習できるよう工夫されている。	「これまでに学習したこと」で既習事項を確認し、「つながる×Science Press」では単元での学習内容が他分野や他教科へとつながるよう工夫されている。	単元扉に「ふり返ろう・つなげよう」で既習事項を確認し、「発展」では高等学校へのつながりを記載することで、系統的に学習できるよう示されている。	これまでに獲得した知識や技能を再確認できるよう扉、本文中に配置された「思い出そう」を通して既習事項を振り返らせ、理解を促すよう配慮されている。	巻末「理科でよく使う算数・数学」や本文中の「算数・数学と関連」のコーナーを設け、基礎的な計算から理解を促すよう工夫されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。		見やすい書体で1年生の文字を拡大して紙面をA4スリム版にし、探究の流れに関わる生徒の活動や資質・能力の育成活動が紙面に収まるよう配慮されている。	「これから学習すること」のページに単元に関するすかし印刷を入れたり、背出しに章ごとに写真を掲載したりして、紙面が分かりやすく示されている。	見やすい書体を用い、カラーユニバーサルデザインを含め、教科書全体の文字や図などの色合いやレイアウトなどを考慮し、見やすくなるよう配慮されている。	見やすい書体で1年生の文字を拡大し、重要語句は明るい橙色の太文字で強調し、資料性の高い写真・図版は裏写りしないよう工夫されている。	見やすい書体で1年生の文字サイズを大きくし、大きな図と写真を配置して広い見開きになるよう、ゆったりとしたレイアウトで読みやすくなるよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。		デジタルコンテンツでは、意欲を高める映像や家庭でも学習できる基礎から発展まで数多くの教材が掲載され、ICT機器の活用ができるよう工夫されている。	QRコードからさらに学びが深められるよう、実験器具の使い方など学習に活用できるウェブコンテンツが用意され、家庭でも学習できるよう配慮されている。	デジタルコンテンツ「Can Do List」では、章の始めの目標設定と章の終わりの振り返りができるように、本文中にQRコードが示されている。	教科書に掲載しきれない文例やレポート例などは、「まなびリンク」としてQRコードから学習に役立つ情報が閲覧できるよう配慮されている。	巻頭や本文中にQRコードが多数あり、デジタル教材にリンクすることで学習を深めたり、家庭で主体的に学習したりできるよう工夫されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。		各学年の巻頭の「考えが異なったら、考えを言葉にして議論しよう」を設定し、本文中にも話し合い場を設定するなど言語活動の充実について工夫されている。	1年の巻末に「探究の進め方」を設定し、「話し合いのしかた」「発表のしかた」が示されている。	各学年の巻頭に「主体的・対話的に、深く学ぶ」を設定し、「どうやったら対話的になるの?」かを示し、言語活動の充実について配慮されている。	課題や仮説の設定、観察・実験の処理、考察の場面で「話し合おう」というキーワードを用いて話し合い活動が充実できるよう示されている。	1・2年の巻末に、「サイエンス資料」を設定し、「理科における話し合いと発表」を示すことで、言語活動が充実するよう工夫されている。

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館
1 身近な物理現象に関する事項		光・音・力について身の回りの現象の写真で関心を高め、自ら探究的な学習ができるよう実験方法を考える場面などで考察するよう工夫されている。	光・音・力に関して、身近な現象と学習内容が関連付けられながら提示されており、その原理や法則を探る探究的な学習の流れが分かるよう配慮されている。	光・音・力に関する身近な現象について写真を効果的に配置して紹介することで、生徒の学習への興味・関心が高められるように示されている。	光・音・力の学習を通して、職業やスポーツなどの身近な例と関連付けることで、幅広い知識を身に付けることができるように教材が示されている。	光・音・力に関する学習内容が、身近な現象と関連付けられながら提示されており、原理や法則へと探究的に導き出せるよう工夫されている。
2 身の回りの物質に関する事項		実験操作を分かりやすく示すとともに、場面ごとに基本操作、レポートの書き方を明確に示されており、技能が着実に身に付くよう工夫されている。	物質の性質を調べる実験で、方法の説明の後に、器具の操作、レポートの書き方などの説明があり、基本的な技能が身に付くように示されている。	物質の性質を調べる実験で、実験方法の説明に続いて、器具の操作、レポートの書き方を表すことで、技能が身に付くように示されている。	物質の性質を調べる実験で、実験方法だけでなくレポートの書き方の説明があり、巻末では器具の操作の基本的な技能が身に付くように掲載されている。	「わたしのレポート」としてレポートの書き方が明確に示されており、「探Qシート」で実験の流れに基づいてレポート作成ができるよう工夫されている。
3 電流とその利用に関する事項		写真を用いることで実験操作が分かりやすく、さらに日常の物を使うことで探究活動や自発的に実験する態度が育成できるよう配慮されている。	図や写真が分かりやすく、実験の流れが明確であるばかりではなく、課題意識を持って、探究的な学習に取り組めるような構成で示されている。	家庭配線の仕組みと電流や電圧の関連を示し、日常生活につなげて、電流についての科学的な見方と考え方が身に付くよう配慮されている。	日常生活における現象と、電流回路の実験を関連付けることで身近なものとして、電流についての見方と考え方が身に付くよう配慮されている。	日常現象と電流の正体である電子を関連させ、電流を粒子的な見方で捉えることで、電子の流れという考え方が身に付くよう工夫されている。
4 化学変化と原子・分子に関する事項		化学反応式とモデル図を関連付け、微視的に考えさせることや、アイコンを多用し安全面での十分な配慮ができるよう工夫されている。	化学反応式の学習において、生徒がつまづきやすい点で細かく解説されており、安全面においても細かく注意喚起をするよう配慮されている。	粒子的な見方が一貫されていることで、化学反応式と粒子モデルから理解を深めさせたり、安全面においても細かく注意喚起をするよう配慮されている。	粒子のモデルを多用して理解を深め、化学反応式でも微視的な考えができるようになり、アイコンを用いて安全の確保ができるよう配慮されている。	化学反応式やモデル図の配置が効果的に微視的なイメージや考え方ができるようになり、アイコンを用いて安全の確保ができるようになり、配慮されている。
5 運動とエネルギーに関する事項		日常生活と関連した実験を行い、結果を詳細なグラフに表現することで理解を深め、運動とエネルギーの考え方が身に付くよう配慮されている。	浮力や水圧の学習では、いくつものパターンを写真や図を使って表すことで、実験内容や実験結果が分かりやすく理解できるよう示されている。	日常生活と関連した実験を行い、結果をグラフで説明し、探究の流れを示すことで運動のエネルギーの考え方が身に付くよう工夫されている。	日常生活と関連した実験結果や生徒役の多様な考えを基に思考が展開されており、運動とエネルギーの考え方が身に付くよう示されている。	日常生活と関連した実験の結果例のグラフやストロボ写真を多く取り扱っており、運動とエネルギーの考え方が身に付くよう工夫されている。
6 化学変化とイオンに関する事項		電池のしくみについて、別法での実験やイオンモデルを用いた図で分かりやすく掲載することで、微視的な考え方が身に付くよう配慮されている。	酸性・アルカリ性の正体を調べる実験を行い、イオン式とイオンモデルとを関連させ、微視的な見方・考え方が身に付くよう工夫されている。	酸性・アルカリ性の正体を調べる実験を行い、イオンモデルを用いた図でわかりやすく掲載し、微視的な考え方に近づくよう示されている。	酸性・アルカリ性の正体を調べる実験を行い、イオンモデルを用いた図と関連付けることで、微視的な考え方が身に付くよう示されている。	金属のイオンへのなりやすさを実験だけでなく、「探Qラボ」でモデルを用いたりして、微視的な考え方が定着するよう工夫されている。
7 科学技術と人間に関する事項		様々な物質とその利用では、身近なものが新しい科学の進歩によって著しく便利になっていることを実習から実感できるよう工夫されている。	挿絵や図、写真が効果的に配置され、エネルギー資源については特に分かりやすく示されており、生徒が興味を持てるよう配慮されている。	新素材の紹介が詳しく掲載されていたり、多くの挿絵・図・写真を効果的に配置したりすることで生徒が興味を持てるよう配慮されている。	金属やプラスチックなど、今までの学習を踏まえ、科学技術と関連付けたり、挿絵・図・写真を充実させたり、科学的に考察できるよう工夫されている。	挿絵・図・写真の数が多く、特に多くの写真が新素材の多様性を示すために有効に働いており、科学技術への興味が深まるよう工夫されている。
8 いろいろな生物とその共通点に関する事項		植物や動物のからだのつくりについて、細部にわたり、分かりやすい挿絵や写真を多用することで、比較しながらその共通点を理解できるよう配慮されている。	植物や動物のからだのつくりについて、細部にわたり、分かりやすい挿絵や写真を掲載することで、比較しながらその共通点を理解できるよう示されている。	植物や動物のからだのつくりについて、いくつかの生物を扱い、分かりやすい挿絵や写真を用いることで比較しながらその共通点を理解できるよう示されている。	植物や動物のからだのつくりについて、分かりやすい表や写真を用い、詳しく文章でまとめることで生物の分類を理解できるよう示されている。	植物や動物のからだのつくりについて、細部にわたり、分かりやすい挿絵や大きな写真を用いることで興味・関心を持てるよう工夫されている。
9 大地の成り立ちと変化に関する事項		地震のゆれの発生と伝わり方を実習やモデル実験を通して分かりやすく説明し、地震の発生メカニズムが理解できるよう配慮されている。	地震のゆれの発生と伝わり方の実習やモデル実験を提示することを通して、地震計の記録から地震のゆれの規則性を見いだすことができるよう配慮されている。	地震のゆれの発生と伝わりかたの2つの実習を通して、揺れの規則性を見いだすとともに、P波とS波の伝わり方を分かりやすい挿絵で示している。	地震のゆれの発生と伝わり方の実習やモデル実験を提示することを通して、地震計の記録から地震のゆれの規則性を見いだすことができるよう工夫されている。	グラフを作成することで初期微動継続時間が震源からの距離に比例することを発見し、緊急地震速報の仕組みについて理解できるよう工夫されている。

調査研究項目 発行者番号・略称	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館
10 生物の体のつくりと働きに関する事項	対照実験の必要性について考え、だ液の働きを調べる実験を計画し、実験結果から考察し、結論付けられることができるよう構成が工夫されている。	だ液の働きを調べる実験では、どのような対照実験が必要かを考えさせ、実験を計画して結果から考察し、結論付けられるよう示されている。	だ液の働きを調べる実験を考えさせ、対照実験について必要性を見だし、計画して結果から考察し、結論付けられることができるよう配慮されている。	対照実験について対話例から必要性を見だし、だ液の働きを調べる実験を計画し、結果から考察し、結論付けられることができるよう配慮されている。	だ液の働きを調べる実験を行う際、既習事項を確認することで仮説を立てやすくし、「探Qシート」で計画の立案ができるよう工夫されている。
11 気象とその変化に関する事項	露点を求める際に、温度と水蒸気量の関係を飽和水蒸気曲線やモデルを用いて分かりやすく説明することで、温度の計算が定着できるよう工夫されている。	露点を求める際に、温度と水蒸気量の関係を実験時の写真や飽和水蒸気量曲線、モデルを用いて説明していることで、学習内容が理解できるよう配慮されている。	露点を求める際に、温度と水蒸気量の関係について理解できるように、実際の写真や飽和水蒸気量曲線を用いて、分かりやすく示されている。	露点を求める際に、温度と水蒸気量の関係を飽和水蒸気曲線やモデルを用いて説明し、日常生活との関わりから理解できるよう配慮されている。	露点を求める際に、温度と水蒸気量の関係を実際の写真や飽和水蒸気量曲線、モデルを用いて分かりやすく説明することで、理解につながるよう工夫されている。
12 生命の連続性に関する事項	形質の遺伝に関わる遺伝子のモデル実習を基に、子から孫に伝わる遺伝の割合について理解を深め、結果から考察に結び付けるよう工夫されている。	形質の遺伝に関わる遺伝子のモデル実習を基にして、子から孫に伝わる遺伝の規則性について、結果を活用して考察できるよう示されている。	形質の遺伝に関わる遺伝子のモデル実習を基にして、子から孫に伝わる遺伝の規則性について、結果を活用して考察できるよう示されている。	形質の遺伝に関わる遺伝子のモデル実習を基に、子から孫に伝わる遺伝の割合について理解を深め、結果から考察に結び付けるよう工夫されている。	形質の遺伝に関わる遺伝子のモデル実習を基に、子から孫に伝わる遺伝の割合について理解を深め、結果から考察に結び付けるよう工夫されている。
13 地球と宇宙に関する事項	月や金星の満ち欠けを理解させるためにモデル実習を設定し、視覚的にイメージさせてから考察を行うことで、より理解が深まるよう工夫されている。	月や金星の満ち欠けを理解させるために写真や図を基に、視覚的にイメージさせてから考察を行うことで、理解できるよう資料が示されている。	月や金星の満ち欠けを理解させるために写真を基に、視覚的にイメージさせてから考察を行うことで、理解できるように資料が示されている。	月や金星の満ち欠けを理解させるために写真を基に、視覚的にイメージさせてから考察を行うことで、理解できるように資料が示されている。	月や金星の満ち欠けを理解させるためにモデル実習を設定し、視覚的にイメージさせてから考察を行うことで、より実感を持って学習できるよう工夫されている。
14 自然と人間に関する事項	自然環境の保全について、身近な自然環境の調査として具体的な調査例や、私のレポートを示すことで、意欲・関心が高まるよう工夫されている。	自然環境の保全について、様々な課題と理科の課題を関連させて取り上げることで、環境教育への関心高め、環境の保全につながるよう示されている。	自然環境の保全について、様々な観測結果や写真を掲載することで興味・関心を持ち、自己の探究につながられるよう示されている。	自然環境の保全について、人が自然に対して影響をもたらす場面や場所などを、ダイナミックなイラストで示すことで興味を深めるための充実が図られている。	自然環境の保全について、数多くの挿絵・図・写真を交え、多くの事例を紹介することで、環境教育に意欲・関心が高まるよう配慮されている。

調査研究項目	17 教出	27 教芸		
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	指導のねらいに即した具体的な学習目標や音楽用語・記号が提示されており、音楽活動を通して、理解しやすいような記述が図られている。	学習目標を1つに絞って提示したり、「音楽を形づくっている要素」を学習内容に即して示したりして、学ぶべきポイントが明確になるよう充実が図られている。		
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	「ACTIVE!」では、気付いたことや考えをまとめるよう図られ、「Let's Sing」や「Let's Try」では技能を活用し、表現が工夫できるよう配慮されている。	「深めよう!音楽」では、課題意識をもち対話しながら学習することを通して、吹き出しをヒントに意見交換し、思考を深めることができるよう工夫されている。		
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	「音のスケッチ」では、身近な素材や自作の短い歌詞を用いて全体の構成を考えながら創作活動が進められるとともに、作品の演奏を交流できるよう配慮されている。	「My Melody」や「Let's Create!」では、活動の手順や既習を確認し、課題に沿って進め、意見交換したことを参考に再思考し創造性が培えるよう工夫されている。		
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	我が国の伝統的な楽器や民謡については、特徴を捉えやすいように他国との関連を図り、実際に体験することで、関心を高め、継承する心を育むよう工夫されている。	我が国の伝統的な音楽文化や郷土の音楽、諸外国の伝統的な音楽について幅広い情報が掲載され、明確な観点のもとに学習できるよう充実が図られている。		
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	「音ってなあに」では、理科の学習内容との関連が図られ、音楽著作権については、身近な話題を用いてQ&Aで具体的に考えることができるよう配慮されている。	音楽著作権について調べたことを交流する学習やSDGsの考え方を通して、生活や社会に音楽がどのように役立っているかについて実感できるよう配慮されている。		
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	「発展」では、音の三要素等について取り上げ、各学年で系統的・発展的に学習できるよう示され、拍子や指揮の例では指揮の図形で分かりやすく提示されている。	学習目標や教材の配列が適切で、「指揮をしてみよう!」では、各学年の段階に応じた系統的・発展的な学習ができるよう充実が図られている。		
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	「日本の歌 みんなの歌」や鑑賞教材では、曲のイメージをふくらませるために、歌詞の内容を表す情景や楽器の写真が見開きで見やすくなるよう工夫されている。	「心の歌」や鑑賞教材では、曲のイメージをつかませるために情景を表す写真が大きく効果的に掲載され、各教材名や歌詞が見やすくなるよう工夫されている。		
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	「能」では、舞台や楽器等の写真や図を用いて分かりやすく掲載され、郷土のさまざまな民謡では、体験を取り入れ、表現と鑑賞の関連の充実が図られている。	「能」や「日本の民謡」では、絵解や演奏者からのアドバイスにより、節回しや声の出し方の特徴を示すことで、表現と鑑賞の関連の充実が図られている。		
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	表現及び鑑賞教材の「話し合おう」では、書き込み欄が設定されており、自分の考えをもち、対話的な活動が展開できるような構成が図られている。	学習の流れを番号で示し、思考・判断を行うための指針となる問いかけを、吹き出しの形で示し、学習のねらいが明確となるよう工夫されている。		

調査研究項目	発行番号・略称 17 教出	27. 教芸		
1 歌唱に関する事項	「Let's Sing」や「Let's Try」では、チェック項目や写真、イラスト、図を使って、表現するために必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。	発達の段階を考慮した教材を取り上げ、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫するための手だてが明確で、対話的で深い学びを引き出すよう充実が図られている。		
2 創作に関する事項	「音のスケッチ」では、手順を示してスムーズに創作活動が進むよう配慮され、言葉のリズムや調子の特徴を生かした表現の工夫ができるよう配慮されている。	学習課題が具体的で明確に提示され、吹き出しを用いたヒントやアドバイスにより、創作活動が段階的にスムーズに進むよう充実が図られている。		
3 鑑賞に関する事項	「比べてみよう」では、多様な音楽について共通性や固有性を考えるための書き込み欄や話し合う場の設定により、特徴を理解し学びが深まるよう配慮されている。	曲想と音楽の構造との関わりを理解して聴くことができるように、視覚的に分かりやすい楽譜を示し、音楽に対する価値観や視野が広がるよう配慮されている。		
4 共通事項	「学びのユニット」や「どんな特徴があるかな？」では、窓口となる音楽を形づくっている要素を示し見方・考え方を働かせた深い学びにつながるよう配慮されている。	巻頭の学習内容のまとめや各教材と関連した音楽を形づくっている要素、用語や記号の提示及び二次元コードの活用を通して、学習できるよう工夫されている。		

発行者番号・略称 調査研究項目	17 教出	27 教芸		
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	各楽器の奏法及び姿勢、演奏動作における丁寧な説明や資料が表示されており、身に付けたい基礎的・基本的な技能を習得しやすいよう工夫されている。	学習内容と教材との関連度が一覧で表示されており、学習の手引きやヒントを基に身に付けたい技能を段階的に習得しやすいよう工夫されている。		
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	学習段階ごとの目標が明確に設定され、見通しをもって学習ができ、楽器を比較して特徴を考慮することで理解が深まるよう配慮されている。	教材ごとに音楽を形づくっている要素の中で何を学習するのか見通しをもたせ、鑑賞や創作との関連を図りながら学習できるよう工夫されている。		
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	幅広い曲種の教材を取り扱い、楽曲ごとに身に付けたい奏法が紹介されており、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。	幅広く親しみやすい楽曲や内容が充実しており、表現の工夫につながるアドバイスが紹介され、興味・関心を生かした自主的な活動が促されるよう工夫されている。		
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	伝統と文化を尊重するための内容が充実しており、箏と篠笛の演奏家からの心に響くメッセージが示され、道徳心を育むよう工夫されている。	伝統と文化を尊重するための内容が充実しており、演奏家や伝統を受け継いでいこうとする中学生の資料を示し、道徳心を育むよう工夫されている。		
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	我が国以外の諸外国の楽器を比較できるよう図られており、楽器の背景にある文化や伝統を知ること、国際理解への対応ができるよう配慮されている。	我が国以外の諸外国の民族楽器を取り上げ、比較できるよう図られており、諸外国の音楽文化に対する理解が進むよう配慮されている。		
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	各楽器ごとに、学習項目を分かりやすく配置し、楽器を理解して一つずつ奏法が身に付くよう、教材や内容の構成・配列が配慮されている。	リコーダーでは、演奏に必要な奏法がスムーズに習得できるよう、学習内容が精選され、発達段階に応じた系統的な教材や構成・配列の充実が図られている。		
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	奏法やポジションが分かりやすく大きく紹介されており、学習意欲が喚起されるよう色づかいやレイアウトを工夫し、学びやすい紙面になるよう配慮されている。	写真はすべてカラーを用い、全体的に落ち着いた色づかいに統一されており、楽器や楽器の奏法の説明が見やすくなるよう配慮されている。		
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	箏、三味線などの楽器の学習内容が教材として取り扱われており、能やお囃子の楽器の一部も生徒が興味を持てるよう写真で提示されている。	箏、三味線などの楽器の学習内容が教材として取り扱われており、能の楽器や他の伝統音楽も、写真を用いて表で分かりやすくなるよう配慮されている。		
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	アンサンブルの教材を多く取り上げており、それぞれの曲での演奏のポイントを紹介し、グループ活動で思考を深めながら音楽表現できるよう配慮されている。	「アンサンブルセミナー」を設け、自分の気付きから考えを深め、グループで協働しながら音楽表現できるよう学習内容の充実が図られている。		

発行者番号・略称 調査研究項目	17 教出	27 教芸		
1 器楽の活動に関する事項	創意工夫を生かした器楽表現が身に付くよう充実が図られており、日本の伝統的な楽器の習得法である唱歌を分かりやすく説明するよう工夫されている。	創意工夫を生かした器楽表現が身に付くよう充実が図られており、日本の伝統的な楽器の習得法である唱歌を用いて学習ができるよう工夫されている。		
2 器楽教材の選択に関する事項	歌唱共通教材や鑑賞教材を器楽教材として取り扱った楽曲が多く使われており、習得した知識や技能を活用して学ぶことができるよう配慮されている。	親しみやすい楽曲や内容がふんだんに盛り込まれており、生徒の興味・関心・意欲を高め、音楽が身近なものであることを実感できるよう工夫されている。		
3 器楽の指導で用いる楽器の扱いに関する事項	管・弦・打楽器を種類別に配列し、「まなびリンク」を活用することで、参考音源を通してそれぞれの楽器に親しむことができるよう配慮されている。	取り扱いやすい楽器順に教材を配列し、二次元コードを活用することで、楽器や演奏家への理解を深め音楽に親しむことができるよう配慮されている。		

調査研究項目	9 開隆堂	38 光村	116 日文	
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	学びの資料として、基礎的な表現技法を視覚的に掲載しており、美術用語の解説なども明示され多様な題材の学習に対応できるよう配慮されている。	学習を支える資料が充実しており、関連する題材のページとリンクして制作の手順が適宜記載され、生徒が技能を習得・活用しやすいよう工夫されている。	題材ごとに学習のねらいを明示し、巻末に学びの資料を掲載することにより、生徒の制作や鑑賞において発展的な学習になるよう配慮されている。	
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	作者の言葉や随所に挿入し、具体的な資料の充実が図られており、学習の進め方をヒントにして課題の制作に取り組めるよう工夫されている。	作者の制作過程における思考の流れを具体例を挙げて紹介するとともに、生徒の発想・構想の助けになるような資料や記述の充実が図られている。	発想や構想の手立てを示したページがあり、アーティストの活動を紹介して生徒の制作活動のヒントにつながるよう配慮されている。	
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	幅広い表現方法や多種多様な材料・用具を掲載したことで、生徒の個性や思いに沿った多様な表現に対応できるよう配慮されている。	各題材の学びの流れを明確にし、生徒が主体的に学習に取り組めるように巻末資料を充実させ、材料と用具に関わる内容を詳しく示すなど充実が図られている。	実際の授業を撮影した情景作品が多く用いられ、生徒が親近感を持ちながら自分自身の活動を振り返り意欲や興味・関心が持続できるよう示されている。	
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	優れた美術作品の比較鑑賞や優れた日本の美術作品の鑑賞を通して、伝統と文化を尊重する態度を育めるような資料の充実が図られている。	巻末に日本各地の伝統工芸を掲載し、日本の美術文化により深い造詣がもてるような作品や資料を紹介するなど、自国の文化を愛する心を育めるよう工夫されている。	日本の風土に適した材料や伝統文化を学び、日本美術の造形的な美しさや日本文化が世界に及ぼした影響などが感じ取れるよう配慮されている。	
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	他教科との関連や内容を各ページの下に分かりやすいマークで示しており、横断的な学習の広がりや深まりへの手立てになるよう工夫されている。	他教科と関連する題材には「〇〇科とのつながり」というコーナーを設けてあり、他教科との横断的な学びを意識できるよう配慮されている。	他教科での学習を生かしたり、関連付けた題材や事例が掲載されたりしており、特に道徳と深く関連するページには「道徳マーク」で示すよう配慮されている。	
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	3年間の美術の学習について全体構成を示すページがあり、また題材ページの入り口には各分野の学習活動の意味や目的を考慮することができるよう工夫されている。	美術科の学習を明るくスタートできるように「美術って何だろう?」「美術で学ぶこと」という導入ページを設け、3年間の学びが見通せるよう配慮されている。	3冊構成となっており、各教科書の巻頭にはその教科書で学ぶテーマが示されていて、系統的・発展的に学ぶことができるよう配慮されている。	
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	教科書のサイズが幅広くっており、その分写真や図が分かりやすく掲載されていて、文字やレイアウトもカラーユニバーサルデザインを意識して掲載されている。	風合いある用紙を使用したり、図版の上から書き込めるトレーシングペーパーを綴じ込むなど、鑑賞の活動がより深まるよう工夫されている。	色にこだわった美しい図版を取り入れており、全ての生徒が等しく学べるように、文字の背景色や配色はカラーユニバーサルデザインを意識するよう工夫されている。	
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	QRコードで教科書以外の作品を見ることができ、美術館や所蔵先とリンクすることで、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。	題材に関連する技法の動画や掲載作品の音声ガイドなどのウェブコンテンツが用意され、QRコードを示すことで生徒の自発的な学習を支援できるよう工夫されている。	全教材を通じて、適宜QRコードを設定し、作品を360度鑑賞できるなど、生徒の興味・関心を高め、自ら学ぼうとする意欲を引き出すよう工夫されている。	
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	各単元のページに学習を深めるための「学習のポイント」が示されており、生徒が「つかみ 考え 深める」活動ができるよう配慮されている。	題材ごとに鑑賞作品が提示され、それとあわせて「鑑賞のマーク」も示されており、学習のねらいが生徒に明確に伝わるよう配慮されている。	各題材ページには「造形的な視点」として中心となる発問が掲載されており、生徒が主体的に学ぶことができるよう発問の充実が図られている。	

発行者番号・略称 調査研究項目	9 開隆堂	38 光村	116 日文	
1 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想に関する事項	各題材の「学習の目標」に「発想や構想に関する目標」を示すとともに、学習を深めるための「学習のポイント」や発想・構想の方法などがマークで示されている。	表現中心の題材では、生徒の写真やアイディアスケッチなどを掲載し、具体的にどのようなように発想を広げ構想を練っていくのかが分かるよう工夫されている。	作者の言葉や情景写真を掲載することで、生徒がその思いに触れながら、より自分の発想や構想を広げることができるように配慮されている。	
2 目的や機能などを考えた発想や構想に関する事項	「作者の言葉」や「アイディアスケッチ」などを取り上げることによって、作品がどのような発想・構想のもとに生まれたのか学ぶことができるよう工夫されている。	「みんなの工夫」と題し、2名の中学生が発想・構想し、試行錯誤する過程を知ることによって自分の表現に生かすことができるよう工夫されている。	美術1の巻末資料では、具体的にアーティストの鈴木康広さんの活動を紹介し、生徒の活動のヒントとなるように発想や構想の手立の充実が図られている。	
3 技能に関する事項	各題材の「学習の目標」に「知識や技能に関する目標」を示すとともに、必要に応じて美術で扱う専門用語が「美術の用語」として提示されている。	材料や用具、技法など、さまざまな技法を巻末にまとめ、取り組みやすい具体例を示しながら必要なときに参考ができるよう配慮されている。	技能の基礎を支え、生徒が自分の思いを基に活動を充実させることができるように、材料や用具の取り扱いについて「学びを支える資料」として掲載されている。	
4 美術作品などに関する鑑賞に関する事項	作品鑑賞の手立てが具体的で、生徒が自主的に作者の意図を感じ取り自分の見方や考え方を深める学習活動につながるよう、鑑賞活動の流れが提示されている。	鑑賞の題材では他者と対話する、作品を比較する、美術文化について知識・理解を深めるなど、多様な切り口の鑑賞活動がバランスよくできるよう配慮されている。	実際に折り、立てて鑑賞できる親音開きの造本にすることで、色や奥行きや見え方の違いを実感し、より作者の思いを考え鑑賞活動が深まるよう工夫されている。	
5 美術の働きや美術文化に関する鑑賞に関する事項	ワイド判となってより見やすく魅力的になった紙面には、生活や社会の中の美術に関わる内容が幅広く取り上げられ、生徒の自立を促すよう配慮されている。	美術文化の多様性を感じるができるよう、さまざまな国や地域、時代の作品を選ぶとともに、題材の中で適宜伝統工芸が掲載されるよう配慮されている。	家庭や地域社会に結び付いた、地域の作品を作る事例などを多数掲載し、地域文化や郷土のことを考えながら活動することができるよう工夫されている。	
6 形や色彩などの性質や感情にもたらす効果の理解に関する事項	基礎基本の幅広い知識と技能を身に付けるために、形や色彩などの造形要素、表現技法や材料・用具の知識などを整理し、「学びの資料」として充実が図られている。	巻末に掲載されている色相環は親音開きを利用して、いつでも引き出して参照できるように、すべてのページに対応できるよう配慮されている。	生徒が自分の感じ方で形や色彩を捉え、造形的な視点を豊かにするために生きて働く知識として実感を持った理解をして身に付けていけるよう示されている。	
7 全体のイメージや作風などで捉えることの理解に関する事項	迫力ある作品の図版を大きく扱い、作品の造形的な良さや美しさ、表現の意図、表し方などについて自分の見方や感じ方を深められるよう配慮されている。	より本物に近い感覚で見ることができるよう、図版の見せ方や紙質に工夫を凝らし、トレーシングペーパーを綴じ込み、かき込むことができるよう工夫されている。	A4判正寸よりも横に2cm広いA4ワイド判で作品や写真を見やすく、インパクトを持たせて掲載し、生徒の興味関心を引き出すよう工夫されている。	

調査研究項目	発行者番号・略称	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。		「見つける」から「広げる」まで段階的に学習の流れが配置され、学習のまとまりごとの発問で課題を明確にし「学習のまとめ」で定着を図るよう工夫されている。	各章末の「学習のまとめ」では、基礎的・基本的知識の定着を図るために、振り返りの学習として重要な言葉が一覧にまとめて掲載されている。	各章末の「章のまとめ」では、確認問題を知識・技能と思考・判断・表現に分けて記載し、基礎的・基本的な知識の定着が図られるよう配慮されている。	基本的な語句の説明が欄外に示され、「章のまとめ」では実生活へつなげる記述欄やキーワードをまとめて示すなど、反復的に学習できるよう配慮されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。		「活用する」「広げる」では、習得した知識・技能を活用して、身近な生活に結び付けて、より深く考える活動が行えるよう工夫されている。	「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」において探究学習が示され、具体的に考えたり調べたりできるよう配慮されている。	「学習のまとめ」では、学習した内容を生かして、話し合ったり、表現したりする活動が設けられ、自らの生活と結び付けて考えることができるよう工夫されている。	「まとめる・深める」では、対話的な言語活動が促進されるとともに、「言語」等の多様なマークを付け、問題解決的な学習を行うことができるよう工夫されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。		「広げる」で調べるテーマを示したり、「Dマーク」でデジタルコンテンツ50種類を一覧表で示したりして、自主的・自発的な学習の充実が図られている。	マークを付けて家や地域でできる活動を示し、デジタルコンテンツにまとめの問題や資料を掲載して、自主的に学習できるよう配慮されている。	学習内容に関連した「コラム」や「事例」を多数掲載したり、欄外にWebマークを付けたりして、自主的にインターネットで調べ学習ができるよう工夫されている。	欄外に「探究マーク」や「リンクマーク」を示し、章末の「探究しようよ」やWebでは、さらに探究心をもって自主的な学習が促されるよう工夫されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。		各章の扉に道徳科の内容項目を示したり、スポーツや医療などの発展に貢献した偉人を紹介したりして、伝統と文化を尊重する態度が身に付くよう配慮されている。	口絵や資料では、オリンピック・パラリンピック大会の歴史や活躍した人物を紹介し、文化としてのスポーツの意義について理解できる内容が掲載されている。	口絵の「共に生きる」で、様々な人々のメッセージが掲載され、コラムではがん体験者の体験談を取り上げるなど、道徳性を養うことができるよう配慮されている。	各章の扉の「ひと」において、偉人だけでなく、学習内容と関連の深い専門家からのメッセージが掲載されるなど、道徳性を養うことができるよう配慮されている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。		「章末資料」でネットトラブルの例を挙げたり、依存に対する調査表を掲載したりするなど、「情報モラル教育」への意識を高めることができるよう工夫されている。	「口絵」にスマートフォン、資料に情報モラルやネットトラブルに関する学習内容を掲載し、情報活用能力を高めることができるよう配慮されている。	「特集資料」や「クローズアップ」でネットトラブルやSNSの危険性、健康被害について取り上げ、情報と健康教育との関連が掲載されている。	情報活用能力について、「探求しようよ」等でネットトラブルや健康被害について取り上げ、依存チェック表を掲載して健康への意識を高めるよう配慮されている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。		リンクマークで他学年の学習内容との関連を示すとともに、「読み物」や「巻末資料」で発展的な学習内容につながるよう工夫されている。	リンクマークで他学年の学習内容との関連をまとめて示し、「学びを活かそう」では習得した知識や技能を活用して、発展的に学習に取り組めるよう配慮されている。	「関連マーク」で他学年の学習内容との関連を示し、学習が進めやすくなるよう発展的な学習内容である「クローズアップ」が項の間に掲載されている。	「関連マーク」で他学年の学習内容との関連を示すとともに、章末の「探究しようよ！」では、より発展的な学習を行うことができるよう工夫されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。		本文に関連した図や挿絵が適切に配置され、「ポイント」で大事な事項について説明されるなど、学習への理解を深めることができるよう工夫されている。	学習内容を理解しやすくするために、左頁に本文、右頁に図やグラフを掲載するとともに、1年時の本文の文末は、区切りのよい箇所を改行するなど配慮されている。	資料や図が適切に配置されており、「読み取る」の欄で読み取ってほしいポイントが示され、学習への理解を深めることができるよう工夫されている。	本文に関連した図や挿絵が適切に配置され、それぞれに理解しやすいよう説明文が付くなど、学習への理解を深めることができるよう工夫されている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。		本市生徒の健康課題に関連する資料である「食事」や「睡眠の大切さ」が掲載されるなど、生活習慣と健康の関連を理解することができるよう配慮されている。	本市生徒の健康課題に関連する資料である「食事」を掲載するなど、食育と健康について理解することができるよう配慮されている。	本市生徒の健康課題に関連する資料である「健康診断の検査項目」や、がん体験者のことばを掲載し、健康に関する意識を高めることができるよう工夫されている。	本市生徒の健康課題に関連する運動、食事、休養についての「生活チェック表」を掲載するなど、健康に関する意識を高めることができるよう工夫されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。		「発問」や「活用する」では、他者に説明したり、グループで話し合ったりする活動が設けられているなど、対話的に学習が進められるよう工夫されている。	「話し合ってみよう」や「学びを活かそう」では、自分の考えを記入し、グループ学習において他者と話し合う中で思考を深めることができるよう工夫されている。	「学習のまとめ」ではグループ学習の場面が設定され、「特集資料」等では自分の考えを記入することができるなど、課題解決型の学習となるよう配慮されている。	「考える・調べる」「まとめる・深める」「探究しようよ！」等を通して、グループ学習の充実と問題解決的な学習を進めることができるよう工夫されている。

発行番号・略称 調査研究項目	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研
1 運動やスポーツの多様性に関する事項	章末に、様々な立場の人からのメッセージを掲載するとともに、スポーツライフの表を作成し、自己に適した多様な楽しみ方を見付けられるよう工夫されている。	章末に、運動やスポーツの変遷と中学生で学ぶ運動領域とを分けて掲載し、スポーツがどのように発展してきたか理解できるよう配慮されている。	「特集資料」では、運動が苦手な人や高齢者、障害者も楽しめるスポーツについて掲載し、スポーツの楽しみ方が多様であることを実感できるよう配慮されている。	「口絵」で様々な分野で活躍する人たちのメッセージを掲載し、「まとめる・深める」で身近な例を取り上げ、学習に取り組むことができるよう配慮されている。
2 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方に関する事項	章末に、運動中の事故やけがを防ぐ方法を振り返るチェックシートや運動の合理的な学び方を図で示すなど、考えながら安全に運動が行えるよう工夫されている。	運動やスポーツの学び方を、中学生で学ぶ運動領域ごとに分けて掲載するなど、効果的に上達するための工夫について理解できるよう配慮されている。	「クローズアップ」では、体力の高め方について取り上げ、自己の体力向上のための計画作りや、体づくり運動と関連付けて学ぶことができるよう配慮されている。	「探究しようよ」では、体力の必要性と災害を結び付けるなど、スポーツに限らず、体力を高めることの重要性について理解できるよう配慮されている。
3 文化としてのスポーツの意義に関する事項	オリンピック・パラリンピック大会で活躍した選手のメッセージを通じ、国際的なスポーツ大会の役割を生徒が実感をもって理解できるよう配慮されている。	オリンピック・パラリンピック大会が、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしてきたことや、その歴史や変遷について掲載されている。	「コラム」等で、オリンピック・パラリンピック大会の歴史や意義を掲載し、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしてきたことが理解できるよう配慮されている。	オリンピック・パラリンピック大会の文化的意義についてQ&A形式で掲載し、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしてきたことが理解できるよう配慮されている。
4 健康な生活と疾病の予防に関する事項	章末資料の内容が充実しており、アレルギーやインターネット依存症、感染症について発展的に学習内容が深められるよう工夫されている。	章末の「学びを活かそう」では、学んだことを身近な生活の中で生かすことができるような課題を設定するなど、学習内容をより深く理解できるよう配慮されている。	章末の「特集資料」では、がんや食物アレルギー、感染症についての資料が掲載され、予防に関する学習内容を理解することができるよう配慮されている。	章末の「探究しようよ!」の内容が充実しており、アレルギーやがん、感染症に関して、より発展的に学習内容が深められるよう工夫されている。
5 心身の機能の発達と心の健康に関する事項	「活用する」では、日常生活で起こるような事例を取り上げるとともに、ストレス対処自己チェック表を掲載し、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	ストレスや欲求への対処について具体的な資料が掲載され、「学びを活かそう」では、身近な課題として向き合うことができるよう配慮されている。	ストレスの対処法について、実習としてリラクゼーションの方法を資料とともに取り上げるなど、技能の向上が図られるよう工夫されている。	「カウンセリングルーム」で中学生が持ちやすい悩みを取り上げたりストレス自己チェック表を掲載したりして、心の健康を身近に感じられるよう配慮されている。
6 傷害の防止に関する事項	心肺蘇生法の実習の振り返りとして、手順とポイントの表を掲載し、応急手当の意義やAEDの重要性について理解できるよう配慮されている。	「心肺蘇生法」や「AEDの使い方」について、見開きにすることで全体の手順を確認しながら実習を進めることができるよう工夫されている。	応急手当の学習によって救命できた事例やASUKAモデルの「コラム」を取り上げて、応急手当の意義やAEDの重要性について理解できるよう工夫されている。	「心配蘇生法」では、実習を行いやすいようにチェックシートが示され、動画でも確認できるようにしており、学習内容が理解できるよう配慮されている。
7 健康と環境に関する事項	発展的な学習内容として、「熱中症の予防と手当」と「放射線と健康」が掲載され、より正しい知識が身に付けられるよう工夫されている。	「学びを活かそう」で使い捨てプラスチック問題を示し、身近な環境問題として捉え、その対策を生活と結び付けて考えられるよう配慮されている。	環境に関わる資料を写真で理解しやすいように示しており、「コラム」では、今と昔を比較して環境問題への意識が高まるよう配慮されている。	「探究しようよ!」では、「熱中症とその予防」「放射線と健康」を取り上げ、学習内容についてより深く学び、安全な生活を送ることができるよう工夫されている。

調査研究項目	2 東啓	6 教図	9 開隆堂	
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	各内容のはじめには技術の見方・考え方や原理・法則について習得できる視点が示されており、身に付ける知識や技能が明確になるよう工夫されている。	「見つける」「学ぶ」「振り返る」という学習の流れで原理・法則について習得できるよう示されており、身に付ける知識や技能が明確になるよう配慮されている。	各内容のはじめには原理・法則について習得できるような具体的な視点が示されており、身に付ける知識や技能が明確になるよう工夫されている。	
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	随所にレポート形式で思考力・判断力・表現力等を育む具体的な学習活動例が示され、まとめでは知識・技能を活用して思考を深める内容になるよう工夫されている。	「やってみよう」という形式で、思考力・判断力・表現力等を育む学習活動例が示され、まとめで知識・技能を活用して思考する内容になるよう配慮されている。	思考力・判断力・表現力等を育む手掛かりが示され、まとめでは読んで自分の考えを整理し学びを深められるようコラムが提示されている。	
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	興味・関心を高める科学的根拠に基づく資料がまとめられており、実践的・体験的な学習活動が状況に応じて選ぶことができる内容になるよう配慮されている。	自主的、自発的な学習が促されるように作業手順が丁寧に記載されており、経験を生かした設計・計画ができるよう内容の充実が図られている。	各内容の最初に、興味・関心が高まるような先端技術の写真が見開きで掲載されており、生徒が主体的に取り組めるよう配慮されている。	
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	社会で活躍する技術に携わる人を「技術の匠」で紹介し、伝統的なものづくりの技法に工夫を加え現代に生かすなど、道徳性や職業観が養われるよう工夫されている。	「スゴ技」や「技ビト」では伝統技術や生活との関連、様々な分野で活躍する職人からのメッセージが掲載され、勤労観や職業観が養われるよう工夫されている。	伝統的な技術を改良し発展させた例や伝統的な技・材料・工芸MAPが掲載され、日本の伝統と文化の素晴らしさが理解できるよう配慮されている。	
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	Society5.0やSDGsだけでなく技術イノベーションについても取り上げられ、新たな価値のつながりについての理解が深まるよう工夫されている。	Society5.0やSDGsについて取り上げられ、学習した技術がこの先どのように社会で生かすことができるか考えられるよう配慮されている。	随所に環境を保全する技術が掲載されており、加えて医療や福祉に関する技術も取り上げられ、これからの社会の在り方について考えられるよう示されている。	
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	ビジュアル型のプログラミング言語を使用したプログラムによる問題解決に取り組める例が掲載されており、小学校での学習が生かせるよう配慮されている。	ビジュアル型のプログラミング言語や日本語入力型のプログラミング言語を使用した題材例が掲載され、系統的・発展的な学習ができるよう工夫されている。	小学校で学んだプログラミング的思考を活用して問題解決ができるよう、KJ法やアクティビティ図などの思考ツールが随所に掲載されている。	
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	図や写真、イラストの数が多く、思考に合わせて図の向きや種類が変えられており、加えてQRコードによる音声での解説や資料提示の充実が図られている。	挿絵と写真が視覚に訴えられ、図表に統一性があり、見やすく掲載されていることに加え、文字が大きく重要語句に色がついており、読みやすいよう配慮されている。	生徒の作業目線に立ったイラストや写真が系統立てて示されており、矢印や囲いが多く、作業のポイントや意図が伝わりやすくなるよう工夫されている。	
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	義足や音のなる信号機の設計などのインクルーシブ教育やコンピュータを活用した防災に関する取組について理解が深まるよう工夫されている。	義手や歩行を支援するロボットスーツの設計などのインクルーシブ教育や品種改良時における知的財産権の保護について理解が深まるよう工夫されている。	使いやすくする工夫や見やすくするための工夫といった障害がある人たちなどとの共生について、ユニバーサルデザインの視点で配慮されている。	
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	問題の発見・課題の設定から、製作を経て、評価、改善までの流れが会話形式で記述されており、対話的に設計要素を検討できるよう工夫されている。	冒頭の項目「見つける」や「やってみよう」では、ペアによる会話形式で課題が提示されており、言語活動が充実するよう配慮されている。	知識の羅列にとどまらず、様々な学習内容を考慮して構成されているので、グループ活動で学びを広げ、今後の生活に生かせるよう工夫されている。	

調査研究項目	2 東書	6 教図	9 開隆堂	
1 材料と加工の技術に関する事項	熊本城の耐震性や利便性の向上、飲み物を入れる容器の変化などが説明されており、技術による社会の変化について理解できるよう示されている。	生分解性プラスチックや海洋ごみ問題、森林のサイクルが写真やイラストで説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう工夫されている。	アルミニウム缶の開発や植物でできた自動車について紹介されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう配慮されている。	
2 生物育成の技術に関する事項	材木を育てる技術や農業、林業、水産業の多面的機能がイラストで説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう工夫されている。	ドローンによる害虫駆除や持続可能な社会のための畜産の技術がイラストで説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう工夫されている。	アラル海の変化やAIとビッグデータの活用による作業を効率化する技術が説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう示されている。	
3 エネルギー変換の技術に関する事項	持続可能な発電技術だけでなく、持続可能な都市の実現に向けた技術が図で説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう工夫されている。	CO ₂ の排出量やエネルギー変換の技術のプラス面とマイナス面がグラフや表で説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう示されている。	既存の技術を改善した垂直型風力発電や小水力発電、バイオマス資源が図で説明されており、技術による社会の変化や環境について理解できるよう配慮されている。	
4 情報の技術に関する事項	自動運転技術や人工知能を活用した作業効率向上の技術の例が紹介され、技術による社会の変化や環境について理解できるよう配慮されている。	情報の技術の利用例が多岐にわたり紹介され、自動かん水装置やAIの活用なども説明されており、技術による社会の変化について理解できるよう工夫されている。	情報の技術の利用例が多岐にわたり紹介され、植物工場やドローンの活用なども説明されており、技術による社会の変化について理解できるよう工夫されている。	

調査研究項目	2 東書	6 教図	9 開隆堂	
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	小題材ごとに「目標」「キーワード」「学習のまとめ」が構成されていることや、基礎的な技能が写真や図で分かりやすく示されているなど充実が図られている。	小題材ごとに「めあて」「キーワード」「学習のふり返り」が構成されていることや、基礎的な技能が写真で示されるなど充実が図られている。	小題材ごとに「学習の目標」「ふり返り」が構成されていることや、「学習のまとめ」で基礎的な学習内容を確認できるよう配慮されている。	
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	ガイダンスで「問題を解決する道筋と見方・考え方」を示し、見通しをもたせることや、「生活の課題と実践」で実践例が多く示されるなど充実が図られている。	既習事項を生かした課題について取り組むページがあり、「生活の課題と実践」で発展的に扱うことで、家庭や地域での実践が深まるよう工夫されている。	「生活にいかそう」などでは、様々な対話や意見交換ができる学習活動が取り入れられており、自分の考えを広げたり深めたりできるよう配慮されている。	
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	キャラクターとともに学習を進めることや、資料としてかぶら寿司や加賀野菜、石川の住まいを掲載し、興味を持って学べるよう工夫されている。	学びを人生や社会に生かす「センパイに聞こう」のコラムや、加賀太きゅうりや治部煮、輪島塗、九谷焼を掲載し、興味を持って学べるよう工夫されている。	各分野で活躍している方のコラム「先輩からのエール」や豆知識の掲載、治部煮や加賀野菜が取り上げられており、興味を持って学べるよう配慮されている。	
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	地域の食材や和食、伝統的な住まい方などの記載や、「プロに聞く」のコラムにおいて衣食住に関する伝統文化に触れ、理解が深まるよう充実が図られている。	巻頭資料での「年中行事と私たちの暮らし」や、だしを使った調理や浴衣の着付けなどを写真やイラストで示し、理解できるよう配慮されている。	和食のよさや行事食、伝統的な住まい方などの記載や、巻末における衣食住に関する伝統文化の資料が一覧になっており、理解が深まるよう充実が図られている。	
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	環境、消費者、防災に加え、情報モラルについてマークで分かりやすく示していることや、巻末に防災・減災手帳を付けるなど生活に活用できるよう工夫されている。	環境、消費者、防災についてマークで分かりやすく示していることや、消費生活の導入としてSDGsについて考えることができるよう配慮されている。	環境、防災についてマークで分かりやすく示していることや、巻末に防災に関する資料を掲載することで「いのちと生活」について理解が深まるよう配慮されている。	
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	小学校家庭科や他領域、他教科との関連をリンクで表記することを通して、小中高の系統性や発達段階を踏まえた構成になるよう配慮されている。	内容ごとの導入において、小学校家庭科とのつながりを確認し、「自立度チェック」を通して見通しをもって学習ができるよう配慮されている。	生活の見方・考え方、主体的・対話的で深い学びについての確認など、ガイダンスのページが充実しており、学習の見通しをもつことができるよう工夫されている。	
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適切であり、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	「資料」では実物大の写真を多く用い、調理の手順や布を用いた製作などの実習が分かりやすく表示され、視覚的に理解が深まるよう工夫されている。	幼児の発達や遊び、調理や布を用いた製作などについて、写真やイラスト、図を用いて効果的に示し、理解が深まるよう充実が図られている。	1日の食品摂取量の目安、幼児の手形などの実物大写真や布を用いた製作物の活用写真など、実生活での活用がイメージできるよう図られている。	
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	基礎基本の定着や発展的な学習において、写真などを用いた学習だけでなく、動画やWEBページへのリンクなどデジタルコンテンツの充実が図られている。	教科書の写真や資料だけでなく、実習のページにQRコードを掲載し、デジタルコンテンツを用いて動画や資料で学習内容が理解できるよう配慮されている。	教科書の写真や資料だけでなく、多くのページにQRコードを掲載し、デジタルコンテンツを用いて基礎基本を中心に学習内容が理解できるよう配慮されている。	
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	「活動」では、体験やロールプレイングなどを通して、考えたり話し合ったりすることで、主体的・対話的に取り組むことができるよう配慮されている。	「考えてみよう」などを随所に掲載し、興味・関心や意欲を高める内容をはじめ、多様な活動を紹介し、主体的・対話的に取り組むことができるよう工夫されている。	「考えてみよう」「話し合ってみよう」「発表しよう」では、ロールプレイングなどの活動を通して、主体的・対話的に取り組むことができるよう配慮されている。	

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	6 教図	9 開隆堂	
1 自分の成長と家族・家庭の生活に関する事項	家族に関する絵本の紹介や、「活動」を通して自分の幼い頃を振り返りながら、家族との関わり方を考えることができるよう配慮されている。	様々な家族の形態として、アニメの家族を紹介したり、家庭生活を支える施設などを図で示したりして、学習内容をイメージしやすいよう配慮されている。	家族の気持ちを考えるロールプレイングや具体的なデータなどの資料により、家族関係や家族のあり方についての理解が深まるよう工夫されている。	
2 幼児の生活と家族に関する事項	幼児が使用する物の実物大写真や幼児との触れ合いの実習例、子どもの視界体験眼鏡など、幼児の発達への理解が深まるよう充実が図られている。	幼児の体や心の発達、生活や遊びなどについて写真やイラストを交えた具体例が多く掲載され、幼児の特徴への理解が深まるよう工夫されている。	幼児と中学生との比較写真で発達の違いを分かりやすく示したり、幼児との関わり例やレポート例を掲載したりして学習内容をイメージしやすいよう配慮されている。	
3 家族・家庭や地域との関わりに関する事項	高齢者との関わり方についてイラストで詳しく示されていることや、介護福祉士の言葉などを掲載し、関わり方を考えることができるよう工夫されている。	高齢者の疑似体験や関わる時のマナー、介助の注意点など、具体的な例を挙げ、高齢者との関わり方を理解することができるよう配慮されている。	高齢者や障害者、LGBTなど、多様な人々が暮らしている様子が分かる資料や写真が掲載されており、学習内容をイメージしやすいよう配慮されている。	
4 食事の役割と中学生の栄養の特徴に関する事項	健康によい食習慣などについて、資料や写真を比較したり、管理栄養士のコメントを参考にしたりして、自分の食生活を振り返りながら学べるよう配慮されている。	欠食等によくない食習慣や朝食をおいしく食べる工夫など、今日的な課題について記載されており、自分の食生活を振り返りながら楽しく学べるよう工夫されている。	健康によい食習慣や朝食の大切さについてデータで示したり、人体のイラストで栄養素のゆくえを示したりして、学習内容が理解できるよう配慮されている。	
5 中学生に必要な栄養を満たす食事に関する事項	食品の概量が分かる実物大写真や、手ばかり・目ばかりの写真が掲載され、中学生が一日に必要な食品の概量を視覚的に把握できるよう配慮されている。	五大栄養素に関する小学校との関連を図で取り上げたり、6群全ての食品の原寸大の写真が掲載されたりして、理解が深まるよう工夫されている。	中学生が一日に必要な6群すべての食品の原寸大写真の掲載や、五大栄養素の種類と働きが分かりやすく図で示され、理解が深まるよう工夫されている。	
6 日常食の調理と地域の食文化に関する事項	基礎技能や調理手順を写真を用いて分かりやすく示したり、オリジナル調理などを掲載したりして、授業や家庭で実践することができるよう充実が図られている。	食材の切り方や調理手順に写真を多く掲載し、実習例について思考課題やアレンジ例、失敗例が示されていることで技能が定着するよう配慮されている。	実習例について調理手順を写真を用いて分かりやすく示したり、組み合わせ例やQ&Aを掲載したりして、実践につなげられるよう配慮されている。	
7 衣服の選択と手入れに関する事項	和服の特徴をイラストを用いて理解できるようにするとともに、小学校家庭科で学んだ基礎技能等を写真で記載し、技能が定着するよう充実が図られている。	和服の特徴や着用手順をイラストを用いて理解しやすいようにするとともに、基礎技能を写真を用いることで補修等の技能が定着するよう配慮されている。	和服への関心が高まるように写真やイラストを掲載し、手縫いの基礎技能やアイロンがけの写真を用いて、技能が定着するよう配慮されている。	
8 生活を豊かにするための布を用いた製作に関する事項	簡単に実用的な製作例が多く、工夫を広げるリメイクなどのアレンジ例や、資源や環境に配慮した製作を掲載するなど充実が図られている。	実習例について、作りたい大きさの考え方やアレンジ例を掲載するなど、自分や家族の生活に役立つものの製作につなげられるよう配慮されている。	項目ごとに製作の基礎基本についての写真や図を用いてまとめたり、製作例の実際の活用について写真を示したりして、イメージしやすいよう配慮されている。	
9 住居の機能と安全な住まい方に関する事項	家庭内の事故を年齢別で比較したり、ユニバーサルデザインや災害対策等の写真や資料を多く取り入れられたりして、理解が深まるよう充実が図られている。	具体的なイラストや過去の自然災害の写真により、住まいの中で起こる事故や自然災害への備えについて、理解ができるよう配慮されている。	幼児や高齢者などの家族の行動や身体の特徴に応じた安全対策や配慮、災害時の想定として避難所の準備などを考える資料が提示されている。	

調査研究項目	発行番号・略称 2 東書	6 教図	9 開隆堂	
10 衣食住の生活についての課題と実践に関する事項	イメージマップやダイヤモンドランキングなどの思考ツールや、複数の領域を関連させた課題と実践を紹介し、学習が円滑に進むよう工夫されている。	「学びをいかそう」で課題設定のヒントや課題例を示し、各題材や複数の領域を関連させた課題と実践例について取り組みやすいものを掲載するなど配慮されている。	他の学習内容との関連を図った課題と実践例が複数提示され、主体的に家庭や地域で実践的・体験的な活動を行うことができるよう配慮されている。	
11 金銭の管理と購入に関する事項	商品購入のシミュレーションにおけるよりよい商品の選択と購入、多くの消費者トラブルの事例を通して、実践的に学習できるよう配慮されている。	買い物の意思決定のプロセスや、多様化するキャッシュレス決済、クレジットカードの仕組みについて豊富な情報を掲載し、実践的に学習できるよう工夫されている。	暮らしの中のマーク一覧の掲載や、キャッシュレス化、中学生の消費者被害とその対応の仕方を取り上げ、実践的に学習ができるよう工夫されている。	
12 消費者の権利と責任に関する事項	消費者の権利と責任について、漫画を用いて考える活動を取り入れたり、日常の行動と関連付けて理解したりすることができるよう図られている。	消費行動が社会に与える影響について、お客様サービスセンターへのインタビューや身近なエシカル消費の実践例を挙げて、理解できるよう配慮されている。	消費者の権利と責任について、事例を通して自分たちの買い物がどのように社会に影響するのかを、分かりやすいイラストで理解しやすいよう工夫されている。	
13 消費生活・環境についての課題と実践に関する事項	持続可能な消費生活としてエシカル消費に関する資料を多く取り入れ、今日的な課題として自分たちの消費生活を考えることができるよう配慮されている。	SDGsやエシカル消費、環境問題の具体例を多く掲載し、課題設定のヒントなどを示しながら、今日的な課題として捉えることができるよう工夫されている。	SDGsやフェアトレード、18歳成人に向けての専門家のコラムなどの今日的な課題について、自分自身のこととして考えることができるよう配慮されている。	

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	9 開隆堂	15 三省堂	17 教出
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	各単元において、基本本文が自然なコミュニケーションの中で紹介されており、場面設定に応じた表現を学ぶことができるよう工夫されている。	各単元において、基本本文が漫画形式で自然な流れの中で紹介されており、どのような場面や状況で使用されるのか理解しやすいよう配慮されている。	各単元の基本本文については、キャラクターの発問を通して、既習の英文と対比しながら、文法事項や文構造を整理、理解することができるよう工夫されている。	各単元において基本本文の簡潔な説明の後、使い慣れているために「Tool Kit」が設けられ、語句を入れ替えて基本本文を繰り返し練習できるよう示されている。
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	「Stage Activity」が各学年で3つ設定され、英語を使用する目的・場面・状況を意識して領域を統合した言語活動に取り組むことができるよう工夫されている。	「Our Project」では、思考判断しながら表現できるよう、自分の考えを整理し、ペア・グループで学び合い、考えを再構成する学習過程が示されている。	「Project」では、目的や場面、状況に合わせた様々な題材を、聞いたり読んだりしながら思考判断し、自分の考えや気持ちを伝えられるよう工夫されている。	「Project」では、積み上げた知識や技能を総合的・統合的に活用し、生徒の思考・判断を加えながら、課題が達成できるよう示されている。
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	「学び方コーナー」では学習のポイントが系統的に取り上げられ、「Word Room」では語彙が豊富に準備されており、主体的な学習が進められるよう工夫されている。	学習の見通しをもつことができるように、巻末資料の「英語で『できる』ようになったこと」リスト」では、4技能5領域別に到達目標が示されている。	「For Self Study」では、辞書の活用や、授業以外の英語の勉強の仕方など、英語学習の参考になる情報を提供し、自発的な学習の支援が図られている。	「Tips」では英語に関わるルールなどを、「How to Study」では、自律的な学習を支援するために、自学自習のコツなどが示されている。
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	日本の食文化や俳句を取り上げて日本のよさに気付かせたり、平和や国際理解について考えさせる読み物教材を掲載して道徳性を養ったりするよう配慮されている。	日本のポップカルチャーや花見などを取り上げて文化を発信したり、国際理解や環境問題、福祉について考えさせたりするよう配慮されている。	日本の落語や漫画、アニメを取り上げて日本文化について考えたり、海外の報道写真や文学作品を掲載し、道徳性を養ったりする題材の充実が図られている。	夏祭りや落語などを取り上げて日本文化のよさに気付かせたり、ユニセフや広島についての読み物教材を掲載して道徳性を養ったりする題材の充実が図られている。
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	防災や安全、国際協力、AI、エネルギー問題等について考えたり、国語科、家庭科、理科、社会科の内容を英語でも学んだりすることができるよう配慮されている。	環境問題やAI、手話等をテーマとする単元や理科、技術科、生活習慣とも結び付けて指導することができる題材が取り上げられ、内容の充実が図られている。	共生や環境問題、バラスポーツ等のテーマが3学年を通して複数取り上げられ、理科や社会、国語、技術、音楽等、多くの他教科と関連するよう工夫されている。	環境問題をテーマとする単元は3学年を通して系統的に扱われ、介助犬やオリンピック、子供の貧困など多岐に渡って取り上げられ、内容の充実が図られている。
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	1年生のUnit1～5には、「Enjoy Communication」が設定され、小学校で慣れ親しんだ表現を使って話す活動を行うことで円滑な接続となるよう工夫されている。	1年生の「Get Ready」では、インタビューや発表など、小学校で慣れ親しんだ表現活動を設定することで、小学校からの円滑な接続となるよう配慮されている。	1年生の「Hello Everyone」や「Starter」では、小学校で慣れ親しんだ場面や身近な話題の会話を聞き、学びを振り返ることができるよう配慮されている。	1年生の「Spring Board」の「Sugoroku」では、小学校での学びを振り返ることができるよう、小学校での既習表現を使って質問に答える活動が示されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	1年生の教科書では、ほとんどの単元の本文で手書きに近い書体が使用されており、書くことに対して自然に文字に触れられるよう工夫されている。	文字、写真と絵がバランスよく取り入れられ、色調も柔らかい紙面で、手書きに近い書体も使用されるなど、全体的に見やすい構成となるよう配慮されている。	オリジナルの手書きフォント、ユニバーサルデザインフォントやオリジナルゴシックフォントが使われ、生徒の発達段階に応じて学びやすく示されている。	表紙裏の写真や、各単元の写真が非常に美しく、また各単元の内容で絵のタッチが異なり、生徒の興味関心を引くよう紙面の充実が図られている。
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	2、3年生の「Read and Think」では、概要から詳細への3段階読みの過程を通して、得られた情報や知識を活用し、自分の考えを表現できるよう工夫されている。	「Think」では、題材に興味を持って主体的に読み進めることができるようなコラムが掲載されているとともに、深い思考につながるような発問の充実が図られている。	「USE Read」では、目的や場面、状況を明確にした読む活動が設定され、まとまりのある英文の要点や概要を読み取る力を付けられるよう配慮されている。	各単元の「Think & Try」では案内役のキャラクターの発問を通して、課題を解決するためのヒントや思考を促すようなアドバイスが掲載されている。
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	「Stage Activity」では、個人、ペア、グループで関わり合いながら、様々な活動を系統的に積み上げていくことで、確実に表現する力が付くよう配慮されている。	「Steps」では、自分で考え、ペアで確認をした後、グループで意見を交換する場面が設定され、みんなで考えて発信できるよう配慮されている。	「USE Write」では、自分の考えを整理して書いた後、「Work in Class」でグループ活動を通して学び、最後は自分で課題解決に取り組めるよう工夫されている。	「Project」では、ペア・グループで協働しながら、生徒自身が伝える内容を整理し、課題を解決することができる技能統合型の活動が示されている。

発行者番号・略称 調査研究項目	38 光村	61 啓林館		
1 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。	各単元では、基本本文を聞く、話す、書く活動で繰り返し使うことにより、使用場面や意味・文構造を理解しながら、習得できるよう配慮されている。	各単元において基本本文の簡潔な説明の後、使い慣れていくために「Practice」が設けられ、語句を入れ替えて基本本文を繰り返し練習できるよう示されている。		
2 思考力・判断力・表現力などを育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。	各単元末の「Goal」と年3回の「You Can Do It!」では、目的や場面、状況に応じて、伝える内容を考え、表現する力を身に付けられるよう配慮されている。	「Project」では、各単元での学びを生かし、4技能5領域を統合的に活用することで、思考力・判断力・表現力が身に付くよう示されている。		
3 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。	「Your Coach」では、まとまりのある英文を音くポイントなど、英語学習に役立つ領域別のコツを示し、自律的学習を育成できるように配慮されている。	「More Information」では、題材への興味関心を高め、自発的な学習を促すことができるよう、学習するテーマや内容に関する情報が示されている。		
4 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。	日本の正月や絵文字などを取り上げて文化に気付かせたり、世界の学校や環境問題などについて考えさせたりする題材を扱い、道徳性を養うよう配慮されている。	日本の漫画や祭りを取り上げて日本の良さに気付かせたり、自然や動物との共存や生命の尊さについて考えさせたりする題材の充実が図られている。		
5 現代的な諸課題への対応や各教科などとの関連に配慮が見られること。	防災訓練やプラスチックごみを題材とした教材を扱い、防災へ備える意識や環境問題について考えることができるよう配慮されている。	動物との共存についての活動などを通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全について考えることができる題材が示されている。		
6 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	1年生の「Let's Be Friends!」の「英語の音とつづりをたしかめよう」では、繰り返し発音とつづりのルールを学ぶことができるよう示されている。	1年生の「Let's Start」では、小学校で学習した「アルファベットの書き方」を丁寧に復習できるように、アルファベットを音くコーナーが掲載されている。		
7 本文の内容、挿絵、写真及び図などの扱いが、生徒の発達段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版などの印刷が適切であること。	学校生活を中心とした話が展開されており、キャラクターの成長を楽しみながら英語を聞いたり、音読したりできるよう工夫されている。	1年生で扱う文字は、全てユニバーサルデザインフォントで統一し、活字体は2学年から提示され、文字指導で混乱が生じないように配慮されている。		
8 金沢市や生徒の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラムなどを踏まえた指導との関連が図られていること。	「You Can Do It!」では技能統合型の活動が年に3回設定され、生徒が主体的に伝える内容を考え、表現することができるよう配慮されている。	「Use」「Express Yourself」では、自ら伝えたい内容を考え、何が適切かを判断しそれを英語でわかりやすく表現する力を養う活動が掲載されている。		
9 「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。	「You Can Do It!」では、グループ内で協力しながらやり取りをしたり、発表したりする活動が紹介され、主体的に学習内容が確かめられるよう配慮されている。	「Use」「Project」では、ペアやグループの活動を設定し、意見や考えを伝え合い、理解し合うことで学習内容を確かめられる活動が掲載されている。		

発行者番号・略称 調査研究項目	38 光村	61 啓林館		
1 英語の特徴や決まりに関する事項	巻末付録の「英語のしくみ」には、文法事項のポイントが整理され、「Active Words」と併せて生徒が自ら表現する際の一助となるよう示されている。	「Targetのまとめ」では、各単元で学んだ文法を振り返ることができるよう新出の文法をまとめ、学習した文法を使ってやり取りができるよう活動が示されている。		
2 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項	「Story Retelling」では、各単元の会話文の内容を写真やキーワードを基に想起し、自分の言葉で再構築して表現する力を育むことができるよう工夫されている。	「Read & Think」では、まず概要をつかみ、次に詳細を読み取り、最後に読み取った内容に関する自分の考えを述べるができるよう発信活動が掲載されている。		
3 言語活動に関する事項	「Let's Talk」では、自分自身や身近な話題に関するテーマで、3年間継続的に話すことにより、発信に必要な知識や技能が定着するよう配慮されている。	「Read & Think」では、本文の内容理解を行った後、内容に関連して自分の意見や考えを述べる活動が毎回設定され、技能の統合に配慮されている。		
4 言語の働きに関する事項	「Daily Life」では、持ち主を探したり、お店でのやり取りの場面を提示したりし、日常生活の場面で英語を使用する力を伸ばすことができるよう配慮されている。	「Let's Talk」では、レストランでの注文や待ち合わせ、体調を伝えるなど、特有の表現がよく使われる場面を扱う題材が数多く示され、充実が図られている。		

教科用図書調査委員会 調査研究報告書 令和3年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）A-1 NO. 1 教科（特別の教科 道徳） 種目（道徳）

調査研究項目	2 東叡	17 教出	38 光村	116 日文
1 考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に討論したり奪いたりするなどの冒語活動の充実が図られるよう配慮されていること。	「話し合いの手引き」で話し合いの手順を示し、「ACTION!」では議論を促すなど、自分の考えを基に討論できるよう冒語活動の充実が図られている。	各教材の「学びの道しるべ」では、学びを深める過程が示され、議論を促す発問が設定されるなど、冒語活動が行われるよう工夫されている。	教材の「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」では、新たな視点を加えながら考えを深める過程があり、冒語活動が充実するよう工夫されている。	「道徳科での学び方」では、教材において話し合いを取り入れた学び方が示され、「道徳ノート」には自他の意見が書くことができるよう工夫されている。
2 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の充実が図られるよう配慮されていること。	すべての教材の冒頭にテーマが示され、課題意識をもって学習を進めることができ、「ACTION!」では役割演技などの体験的な学習の充実が図られている。	教材の冒頭には、導入の文章を設けて学習のねらいを明確にし、「やってみよう」では、役割演技を行うなど、問題解決的・体験的な学習の充実が図られている。	「考えよう」や「深めたいむ」では、役割演技や想像する活動を通して、教材で学んだ道徳的価値が確かめられるよう配慮されている。	教材の冒頭に主題が提示され、課題意識を高めることができ、「学習の進め方」では問題解決的な学習や役割演技などの体験的な学習の充実が図られている。
3 主体的に学習に取り組み、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう配慮されていること。	巻末の自己評価用紙やホワイトボード、心情円を活用し、主体的に学習に取り組み、自身の姿容を知ることや、振り返りができるよう配慮されている。	巻末の「道徳の学びを記録しよう」では、各教材での自己評価ができ、「道徳の学びを振り返ろう」では学期ごとの振り返りができるよう配慮されている。	発達段階に応じたテーマで3シーズンに分けた学習を通じ、自己の考えの変容や成長を感じることができる振り返りとなるよう配慮されている。	「道徳ノート」では、「自分に+1」や「自分への振り返り」を通して自分を客観的に見ることで、自分の成長を実感することができるよう工夫されている。
4 金沢市や生徒の実情に即し、生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材の充実が図られていること。	いじめ問題や日本の伝統文化と食育文化、防災教育、オリンピックに触れるなど、現代的な課題を取り扱った多様な教材となるよう配慮されている。	いじめ問題や巻末の「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」の掲載など、教材について視野を広めることができるよう配慮されている。	巻末では、工芸、世界遺産、先駆者など郷土教材の掲載や、現代的な課題と教材との関連を明記し、多様な題材となるよう配慮されている。	「『いじめ』と向き合う」などで、いじめ問題を重点的に扱い、情報モラルとも関連させながら多面的・多角的に考えることができるよう充実が図られている。
5 各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連に配慮が見られること。	他教科等との関連を明らかにするためのマークが示され、年間指導計画の構築等、カリキュラム・マネジメントへの取組が容易になるよう工夫されている。	巻頭に教科書で学んでいくテーマが提示され、巻末の「補充教材」によって、郷土の伝統や文化、総合的な学習の時間との関連を意識できるよう配慮されている。	「つなげよう」では、内容に関わる書籍が紹介され、図書館活用の推進が図られ、また巻末では各教科等との関連が明記されるなど、充実が図られている。	「プラットフォーム」では、総合的な学習の時間や特別活動との関連を明確にし、多面的・多角的に学習することができるよう工夫されている。
6 教材や内容は、学年相互の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	内容項目の4つの視点で分類した目次が提示されており、いじめに関する教材を複数扱い、系統的に学習することができるよう充実が図られている。	1年は生活リズム、2年は真の友情、3年は社会参画など、生徒の発達段階や取り巻く周囲の状況に応じた教材を扱うなど、系統性に配慮されている。	「道徳の授業を始めよう!」では、学年が上がるに伴い内容が追加され、発達段階に応じて学習を進めることができるよう工夫されている。	1年は自己理解、2年は社会参画、3年は公共の精神など、学年ごとにテーマを設定し、生徒の発達段階に応じた教材を扱うなど、系統性に配慮されている。
7 本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いや、書体、文字の大きさ及び図版等の印刷が生徒の発達の段階に適合していること。	教科書掲載のQRコードやアドレスから、教材と関連する映像や、関連する他教科の教科書紙面などを見ることができるよう充実が図られている。	「まなびリンク」でWeb教材や関連する外部サイトの情報活用ことができ、知識を深めたり、視野を広げたりすることができるよう工夫されている。	教材の冒頭にQRコードが掲載されることでアクセスが容易であり、朗読や動画などのWeb教材が用意され、生徒の考えを広げることができるよう配慮されている。	パソコンマークのある教材では、授業の導入や展開で提示できる参考動画や関連画像などのWeb教材が用意され、必要に応じて生徒が活用できるよう配慮されている。

教科用図書調査委員会 調査研究報告書 令和3年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）A-1 NO. 2 教科（特別の教科 道徳） 種目（道徳）

発行番号・略称 調査研究項目	224 学研	232 廣あかつき	233 日科	
1 考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動の充実が図られるよう配慮されていること。	「深めよう」では、多様な視点を基に議論を行いながら自らの考えを深める過程が示され、多様な表現方法を用いた具体的な言語活動を促すよう工夫されている。	教材の「考える・話し合う」では、考えを深めながら言語活動を行い、「中学生の道徳ノート」では、自分の考えを書く活動が確保されるよう配慮されている。	「考え、話し合ってみよう そして深めよう」では、自分の考えを書いたり話したりする具体的な言語活動ができるよう配慮されている。	
2 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の充実が図られるよう配慮されていること。	「深めよう」では、自ら課題を発見し、教材を基に自分の考えを深め、役割演技などを行うことで、問題解決的、体験的な学習が進められるよう工夫されている。	教材にある「学習のてがかり」で、学習のねらいを明確にすることができ、道徳的な問題を把握し、問題解決的な学習が進められるよう配慮されている。	生徒の日常生活における身近な話題の教材を設定することで、道徳的な問題を自分事として捉え、考えを深めることができるよう配慮されている。	
3 主体的に学習に取り組み、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう配慮されていること。	「考えよう②」では自分事として考える発問があり、「学びの記録」では、学期ごとに自己の変容を振り返ることができるよう工夫されている。	「中学生の道徳ノート」によって、年度途中や年度末での振り返りが容易になり、自己の変容を捉え、成長が感じ取れるよう配慮されている。	巻末には、学年に応じて様々な視点で1年間の成長を振り返り、自己の変容や成長を感じることができるような記録用紙が示されている。	
4 金沢市や生徒の実情に即し、生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材の充実が図られていること。	情報モラルといじめに関わる教材や食育と生命の尊厳を考える教材など、現代的な課題をテーマに扱うなど多様な題材となるよう配慮されている。	各教材では、その道徳的価値に関わる先人の格言・名言を掲載し、いじめ問題では、4つの視点で扱い、生徒の実情に即した指導ができるよう配慮されている。	生命の尊厳に関わる教材や石川県出身の先人の伝記や作品を教材として扱うなど、金沢市や生徒の実情に即した指導ができるよう工夫されている。	
5 各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連に配慮が見られること。	巻頭に「よりよく生きるための22の鍵」やテーマ別の教材紹介が示され、総合的な学習の時間、特別活動などと関連付けて学習が進められるよう配慮されている。	巻末に他教科等との関連を明らかにした一覧表が示され、年間指導計画の構築等、カリキュラム・マネジメントへの取組が容易になるよう配慮されている。	巻頭の「教科書の使い方」では、他教科との関連や地域との連携を通して、道徳的な価値を学び、心の成長を目指していくことができるよう配慮されている。	
6 教材や内容は、学年相互の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。	1年は友情、2年は社会参画、3年は国際理解など、学年ごとにテーマを設定し、生徒の発達段階に応じた教材を扱うなど、系統性に配慮されている。	同一登場人物による教材では、3年間の成長に伴い、発達段階や学年行事等に応じたストーリーが展開され、系統的に学習できるよう充実が図られている。	同一登場人物による3年間の成長に伴ったシリーズがあり、キャリア教育の視点では、3年間を通して発達段階の連続性と系統性の充実が図られている。	
7 本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いや、書体、文字の大きさ及び図版等の印刷が生徒の発達段階に適合していること。	教材に関連する写真や音声などの補助教材があり、容易にアクセスできるようQRコードが掲載され、必要に応じて生徒が活用できるよう配慮されている。	「インターネット」マークでWeb教材や関連外部サイトの情報が活用でき、調べ学習などの発展的な学習を促し、情報活用能力の育成が図られるよう工夫されている。	4つの視点ごとの色分けと、教材と内容項目の関連がわかりやすく示され、生徒の理解を助ける教材に適した挿絵・写真が掲載されている。	

教科用図書調査委員会 調査研究報告書 令和3年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）A-2 NO. 1 教科（特別の教科 道徳） 種目（道徳）

発行番号・略称 調査研究項目	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文
1 石川県、金沢市に関する事項	全国の郷土の偉人の紹介や日本海での汚染についての話題を扱い、身近な海で起こった事故から自然愛護について考えることができるよう提示されている。	巻末の「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」では、金沢市にゆかりのある詩人が紹介され、生徒が身近に感じることができる資料が掲載されている。	「日本の先駆者たち」では、金沢市にゆかりのある科学者とその発見が紹介され、生徒が身近に感じることができる資料が掲載されている。	金沢市の中学生にゆかりのある伝統文化である能楽を題材とした教材を取り扱い、生徒が身近に感じることができる内容が示されている。
2 主として自分自身に関する事項	身近な話題を取り上げ、自己を肯定的に見つめる題材や、目標の達成を目指し着実にやり遂げる心構えについて考えることができる題材などの充実が図られている。	SNSとのよいつきあい方を話し合う活動や役割演技を通して、自己を見つめ、自主的に考え、判断し自律の精神について学びを広めることができるよう配慮されている。	友だちと互いのよさを見つけ合う活動が取り上げられており、自分の良さを見つめ、自己肯定感を高め、さらに伸ばすことができるよう工夫されている。	自分のよさを見つめ、自己を肯定し、個性の伸長を図りながらよりよく生きることができる教材が各学年で段階的に設けられており、充実が図られている。
3 主として人との関わりに関する事項	言葉の大切さについて考える教材や、なぜいじめをなくすことは難しいのかを話し合う活動を取り上げ、人間愛の精神を深めることができるよう工夫されている。	いじめの問題について、複数の教材やコラムをまとめてユニット化し、多様な教材を通して多面的に捉え、考えを深めることができるよう工夫されている。	立場の違う人と関わる時に大切なことは何かを考え、相互に理解し、自らを高められるよう、年間を3つに分け、同じテーマを継続的に扱うよう配慮されている。	互いに違いを認め合うために大切にすべきことは何かについて考えを深めることができる教材を通して寛容の精神を育むことができるよう工夫されている。
4 主として集団や社会との関わりに関する事項	よりよい社会について考える題材での役割演技や、世界平和について話し合う活動など多様な活動を通して学びを深めることができるよう工夫されている。	郷土の伝統を守っていくことはなぜ大切なのか考える活動や自我関与を促す発問で、多様な視点から社会との関わりについて考えることができるよう配慮されている。	いじめをなくすために大切なことは何かを話し合う活動など、共に学び合う中で、身近に起こりうる題材を自分事として捉えながら学べるよう配慮されている。	いじめについて複数の教材を取り上げ、人はなぜ異なる考えを排除するのか、いじめのない集団にするには何が大切かを多面的に考えられるよう工夫されている。
5 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事項	生命の尊厳について複数の教材をユニットでまとめて扱い、自らの生命の大切さを深く自覚させるとともに、他の生命を尊重する態度を養うよう工夫されている。	生命尊重の教材をユニット化し、人間のみならず身近な生物の生命の大切さに気付かせ、互いに支え合い生きていることに感謝の念がもてるよう配慮されている。	複数の教材を取り上げ、命の尊さについてその連続性や有限性などを含めて理解を深め、かけがえのない生命を尊重することができるよう配慮されている。	命の連続性や有限性等を含めて生命の尊さについて深く考えることができる教材や自然愛護、自然への畏敬の念など多様な教材の充実が図られている。

教科用図書調査委員会 調査研究報告書 令和3年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）A-2 NO. 2 教科（特別の教科 道徳） 種目（道徳）

調査研究項目	発行番号・略称 224 学研	232 廣あかつき	233 日科	
1 石川県、金沢市に関する事項	石川県ゆかりのスポーツ選手が取り上げられ、その生き方から自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に行動する大切さを学ぶことができるよう配慮されている。	石川県ゆかりのスポーツ選手が取り上げられ、その生き方から向上心を持って日々生活し、自らを高めることの大切さを考えることができるよう配慮されている。	石川県出身の偉人やスポーツ選手、作詞者や祭りなど石川県や金沢市にゆかりのある人物や写真等により、生徒が身近に感じることができるよう工夫されている。	
2 主として自分自身に関する事項	「クローズアップ」で教材の内容に関連した新たな視点で、多様な学びへと発展させ、自己を見つめ伸ばすことや自己肯定感を高めるよう工夫されている。	「考える・話し合う」では、自己を見つめ、伸ばすために、目標を設定し、着実にやり遂げるために、問いで考えたり深めたりすることができるよう配慮されている。	合唱コンクール等の学校行事や生徒の日常に近い話題や教材を取り上げ、生徒が問題意識をもって主体的に学習できるように配慮されている。	
3 主として人との関わりに関する事項	「深めよう」では、立場を変えて考える発問や役割演技、話し合い活動、自分事として考える問いがあり、人と支え合い関わっているよう工夫されている。	情報社会を生きていく上で、必要な情報モラルや心がけについて思考を広げ、深める問いで人との関わりについて考えることができるよう配慮されている。	友情、信頼に関する教材が多く掲載され、いじめや情報モラルに関する問題を取り上げ、互いに励まし合い、高めあうことができるよう提示されている。	
4 主として集団や社会との関わりに関する事項	いじめに関する教材を多く取り上げ、他者と共によりよく生きていけるよう深く考えることができる問いで学びが充実するよう工夫されている。	各学年で「いじめを許さない私たちの心」のページが巻末にあり、自己を振り返り、公平で公正な社会の実現に向け、自己と向き合うよう配慮されている。	教材の後の「もっと知りたい」では、学びを深めるための資料が掲載され、集団や社会との関わりについて多様な学びになるよう教材が提示されている。	
5 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事項	命について多面的に考えることができるよう命の偶然性や有限性、連続性について、動物の命を含めた複数の教材で、生命尊重の理解が深まるよう工夫されている。	自分自身を見つめ、自らの弱さを克服し、よりよく生きる喜びについて考えたり、考えを深めたりすることができるよう発問が吟味され、工夫されている。	臓器移植や命のつながりなど「生命の尊さ」や「よりよく生きる喜び」についての教材が複数取り上げられ、多様な話題となるよう配慮されている。	

資料B

各中学校における

教科用図書研究委員会 調査研究報告書

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村	
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	語彙指導の充実 9 付けたい力の明示のよさ 5 教材・資料のよさ 4 学習の見通しのもちやすさ 3 文字・漢字学習の充実 3 系統的学習のよさ 2	教材・資料のよさ 6 系統的学習のよさ 4 付けたい力の明示のよさ 4 学習の見通しのもちやすさ 3 ノートの書き方学習のよさ 2 振り返り学習の充実 1	教材・資料のよさ 7 付けたい力の明示のよさ 3 語彙指導の充実 3 学習の見通しのもちやすさ 2 系統的学習のよさ 1	学習の見通しのもちやすさ 6 教材・資料のよさ 4 付けたい力の明示のよさ 3 文字・漢字学習の充実 2 振り返り学習の充実 2 ノートの書き方学習のよさ 2 系統的学習のよさ 2	
	26	19	16	21	□
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	教材・資料のよさ 5 学習の見通しのもちやすさ 2 語彙指導の充実 2 官語活動例の充実 1 振り返り学習の充実 1 単元構成のよさ 1 図書活用の充実 1	教材・資料のよさ 4 振り返り学習の充実 4 単元構成のよさ 4 ノートの書き方学習のよさ 3 学習の見通しのもちやすさ 3 付けたい力の明示のよさ 1 図書活用の充実 1	官語活動例の充実 6 学習の見通しのもちやすさ 2 付けたい力の明示のよさ 2 教材・資料のよさ 1 振り返り学習の充実 1 図書活用の充実 1	付けたい力の明示のよさ 8 教材・資料のよさ 6 官語活動例の充実 5 学習の見通しのもちやすさ 4 単元構成のよさ 3 振り返り学習の充実 2 図書活用の充実 1	
	13	20	13	29	□
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	教材・資料のよさ 3 付けたい力の明示のよさ 3 系統的学習のよさ 2 図書活用の充実 1 既習を活用できるよさ 1 文字や写真、挿絵のよさ 1	教材・資料のよさ 5 学習の見通しのもちやすさ 2 系統的学習のよさ 2 付けたい力の明示のよさ 1	教材・資料のよさ 6 系統的学習のよさ 3 図書活用の充実 2 学習の見通しのもちやすさ 1 既習を活用できるよさ 1 他教科との関連のよさ 1	教材・資料のよさ 3 付けたい力の明示のよさ 2 学習の見通しのもちやすさ 2 既習を活用できるよさ 2 図書活用の充実 2 系統的学習のよさ 1 他教科との関連のよさ 1 文字や写真、挿絵のよさ 1	
	11	10	14	14	□
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	問題解決的な学習過程のよさ 1 付けたい力の明示のよさ 1 官語活動例の充実 1 教材・資料のよさ 1 ノートの書き方学習のよさ 1 語彙指導の充実 1	官語活動例の充実 4 学習の見通しのもちやすさ 2 教材・資料のよさ 2 問題解決的な学習過程のよさ 2 振り返り学習の充実 1	官語活動例の充実 1 振り返り学習の充実 1 教材・資料のよさ 1 図書活用の充実 1	問題解決的な学習過程のよさ 4 学習の見通しのもちやすさ 2 官語活動例の充実 2 教材・資料のよさ 2 振り返り学習の充実 1 図書活用の充実 1 ノートの書き方学習のよさ 1	
	6	11	4	13	□
5 その他の特記事項 (各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	文字や写真、挿絵のよさ 7 見やすさ 5 教材・資料のよさ 4 ノートの書き方学習のよさ 3 付録部分の充実 2 他教科との関連のよさ 1 図書活用の充実 1 QRコード明示のよさ 1 付けたい力の明示のよさ 1	文字や写真、挿絵のよさ 4 見やすさ 3 付録部分の充実 1 図書活用の充実 1 教材・資料のよさ 1 QRコード明示のよさ 1	文字や写真、挿絵のよさ 5 他教科との関連のよさ 4 図書活用の充実 3 見やすさ 2 付録部分の充実 1 文章量の多さ 1	見やすさ 6 文字や写真、挿絵のよさ 5 他教科との関連のよさ 3 教材・資料のよさ 3 付録部分の充実 3 QRコード明示のよさ 1 付けたい力の明示のよさ 1	
	25	11	16	22	□
意見数	81	71	63	99	

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	基礎技能の分かりやすさ 7 筆使いの分かりやすさ 2 QRコードの活用 2 内容の系統性を意識 2 行書体に親しむ工夫 1 楷書と行書の比較 4 硬筆ページの充実 1 書き込みやすい紙質と余白 1 他教科・生活で活用できる工夫 1 17	ポイントの分かりやすさ 3 日常での活用場面の提示 3 基礎技能の分かりやすさ 2 硬筆ページの充実 1 教材の流れの分かりやすさ 1 「学習の手引き」のよさ 1 ページの見やすさ 1 書き順の記載が丁寧 1 書き込みできる工夫 1 13	資料のよさ 4 ポイントの分かりやすさ 3 筆使いの分かりやすさ 2 日常での活用場面の提示 1 学習評価のしやすさ 1 書き込みできる工夫 1 12	ポイントの分かりやすさ 4 基礎技能の分かりやすさ 3 資料のよさ 3 日常での活用場面の提示 3 付録のよさ 3 書き込みできる工夫 3 筆使いの分かりやすさ 2 QRコードの活用 2 教科書との関連のよさ 1 24
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	書き込みできる工夫 2 書き方の提示が丁寧 1 教材の流れの分かりやすさ 1 考えさせる工夫 1 日常生活への活用 1 言語活動の充実 1 7	日常生活への活用 3 考えさせる工夫 2 手本の分かりやすさ 1 自己評価できる工夫 1 学習したことが確認できる工夫 1 なぞり書きの工夫 1 資料の充実 1 10	ポイントの分かりやすさ 2 手本の分かりやすさ 2 日常生活への活用 2 振り返り活動の工夫 1 7	ポイントの分かりやすさ 3 行書と楷書の比較 2 書き初め教材のよさ 1 6
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	日常生活への活用 6 文字への興味関心を高める工夫 1 資料のよさ 1 8	日常生活への活用 1 文字への興味関心を高める工夫 1 資料の充実 1 3	絵や写真の充実 4 日常生活への活用 2 文字への興味関心を高める工夫 2 学習評価のしやすさ 1 考えさせる工夫 1 10	日常生活への活用 6 文字への興味関心を高める工夫 2 学習評価のしやすさ 2 学習目標の明示 1 イラストのよさ 1 学習の流れの明確さ 1 多様な学力層への配慮 1 硬筆指導の充実 1 15
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	考えさせる工夫 1 ポイントの分かりやすさ 1 古典教材のよさ 1 3	自己評価できる工夫 1 問題解決的な学習の工夫 1 書き込みができる工夫 1 他の学習の場にかける題材 1 4	実情に応じて活用しやすい資料 3 資料の充実 1 問題解決的な学習の充実 1 書き込みができる工夫 1 教材の流れのよさ 1 7	実情に応じて活用しやすい資料 4 手本の分かりやすさ 1 文字への興味関心を高める工夫 1 例示の丁寧さ 1 書き込みができる工夫 1 8
5 その他の特記事項 (各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	資料が充実 3 手本の分かりやすさ 2 実用的な教材が豊富 2 教科書との関連のよさ 1 書き込みできる工夫 1 イラストのよさ 1 9	資料の充実 3 手本の分かりやすさ 1 日常生活への活用 1 イラストのよさ 1 文字の見やすさ 1 他教科との関連のよさ 1 教科書の紙幅のよさ 1 9	資料の充実 2 日常生活への活用 1 筆使いの分かりやすさ 1 図や絵のよさ 1 写真のよさ 1 国語科との関連のよさ 1 読み物資料の充実 1 コラムの充実 1 9	資料の充実 2 文字の見やすさ 2 日常生活への活用 1 硬筆ノートの機能の充実 1 行書の手本の充実 1 レイアウトの見やすさ 1 教科書の紙幅のよさ 1 書き込みできる工夫 1 今日の問題への対応 1 11
意見数	44	39	45	64

発行番号・略称 調査研究項目	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	資料を関連させる構成のよさ 5 まとめのよさ 4 用語や知識を確認できるよさ 3 身に付ける技能の例示のよさ 2 学習課題の明示のよさ 2 スキル・アップコーナーのよさ 1 資料のよさ 1 18	用語や知識の確認のよさ 5 本文のわかりやすさ 2 記入欄のよさ 2 学習課題の明示のよさ 1 資料の読み方の例示のよさ 1 表現活動の例示のよさ 1 資料を関連させる構成のよさ 1 13	資料のよさ 6 用語解説のよさ 4 まとめや振り返りのよさ 3 付きたい力の明示のよさ 2 レイアウトのよさ 2 単元構成のよさ 2 発展的なコーナーのよさ 1 情報が選択できる表示のよさ 1 21	写真資料のよさ 2 資料の読み方の例示のよさ 1 学習活動のよさ 1 実践的な問いのよさ 1 見方・考え方の明示のよさ 1 用語解説のよさ 1 まとめ方のよさ 1 8
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	まとめ活動のよさ 5 問題解決的な構成のよさ 3 思考ツールのよさ 3 探究課題の例示のよさ 2 見方・考え方の明示のよさ 2 豊富な資料のよさ 2 発問のしやすさ 1 資料活用方法の例示のよさ 1 説明場面の設定のよさ 1 20	発問のよさ 2 発展的な学習場面のよさ 2 問題解決的な構成のよさ 1 見出しのよさ 1 表現活動の例示のよさ 1 見出しのよさ 1 鳥瞰図のよさ 1 資料の意味等の明示のよさ 1 10	豊富な資料のよさ 6 表現活動の例示のよさ 4 見方・考え方の明示のよさ 3 関連させる構成のよさ 2 まとめ方のよさ 2 付きたい力の示し方のよさ 1 本文の記述の適切さ 1 本文の量の適切さ 1 多様な地図のよさ 1 21	見方・考え方の明示のよさ 7 深めの発問の例示のよさ 3 問題解決的な構成のよさ 1 単元を貫く追究テーマのよさ 1 学習活動の例示のよさ 1 対比させる構成のよさ 1 14
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	SDGsの視点のよさ 5 思考ツールの例示のよさ 2 問題解決的な構成のよさ 2 関連マークのよさ 1 スキルアップコーナーのよさ 1 協働的な学習の例示のよさ 1 まとめのページのよさ 1 12	豊富な資料のよさ 3 学習コラムのよさ 2 問題解決的な構成のよさ 1 レイアウトのよさ 1 見通しのもたせ方のよさ 1 歴史と関連させるよさ 1 人々の営みの例示のよさ 1 まとめ方のよさ 1 11	問題解決的な構成のよさ 4 資料の質のよさ 3 資料の豊富さ 2 思考の流れの明示のよさ 1 説明のわかりやすさ 1 コラムのよさ 1 実生活と関連させるよさ 1 まとめ方のよさ 1 14	写真資料のよさ 2 豊富な事例のよさ 1 読み物資料のよさ 1 発展的な学習活動のよさ 1 5
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	写真や図版資料のよさ 5 SDGsのコーナーのよさ 3 グループ活動のよさ 2 地域教材のよさ 1 問題解決的な構成のよさ 1 思考ツールの例示のよさ 1 探究課題の例示のよさ 1 QRコードのよさ 1 15	地図資料のよさ 2 地域教材のよさ 1 情報活用場面のよさ 1 見通しのもたせ方のよさ 1 SDGsのコーナーのよさ 1 QRコードのよさ 1 7	地図資料のよさ 3 表現活動の例示のよさ 2 導入の工夫のよさ 1 生活と関連付けるよさ 1 SDGsのコーナーのよさ 1 特設ページのよさ 1 9	写真資料のよさ 2 深める活動のよさ 2 地域教材のよさ 1 生活と関連付けるよさ 1 グループ活動のよさ 1 QRコードのよさ 1 8
5 その他の特記事項 (各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	資料の見やすさ 5 資料の豊富さ 3 資料の数や内容の適切さ 2 フォントや分量の適切さ 2 表記・表現のわかりやすさ 1 SDGsの視点のよさ 1 公民的分野との関連のよさ 1 学習コンテンツのよさ 1 16	写真資料のよさ 4 レイアウトのよさ 2 配色のよさ 1 公民的分野よとの関連のよさ 1 8	資料のよさ 6 写真や図版の見やすさ 5 既習や関連事項の明記のよさ 2 関連マークのよさ 1 14	写真や図版の見やすさ 8 写真資料の豊富さ 2 グラフ資料のよさ 1 ページ構成のよさ 1 12
意見数	81	49	79	47

発行番号・種目 調査研究項目	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	流れのつかみやすさ 5 資料や教材のよさ 4 構成のよさ 3 まとめ方のよさ 3 用語の扱いのよさ 3 内容の分かりやすさ 3 説明の適切さ 2 学習展開のよさ 2 学習課題のよさ 2 目標やテーマのよさ 2 26	流れのつかみやすさ 8 資料や教材のよさ 3 まとめ方のよさ 2 用語の扱いのよさ 2 内容の分かりやすさ 2 課題の明示のよさ 1 まとめ方のよさ 1 見通しのよさ 1 用語の扱いのよさ 1 目標やテーマのよさ 1 21	流れのつかみやすさ 7 説明や表記のよさ 4 資料や教材のよさ 4 構成のよさ 2 学習課題のよさ 2 まとめ方のよさ 2 見通しのよさ 1 用語の扱いのよさ 1 目標やテーマのよさ 1 24	内容の詳しさ 8 用語の扱いのよさ 4 構成のよさ 2 課題の明示のよさ 2 まとめ方のよさ 1 発問のよさ 1 目標やテーマのよさ 1 流れのつかみやすさ 1 19	学習展開のよさ 5 流れのつかみやすさ 5 資料や教材のよさ 3 用語の扱いのよさ 3 課題のよさ 1 内容の詳しさ 1 18	内容の詳しさ 10 構成のよさ 4 資料や教材のよさ 2 まとめ方のよさ 2 説明の適切さ 2 課題のよさ 1 21	内容の詳しさ 7 目標やテーマのよさ 4 資料や教材のよさ 4 課題のよさ 3 2 18
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	思考を促す構成によさ 10 学習展開のよさ 3 見方・考え方の明記 3 まとめ方のよさ 3 資料や教材のよさ 2 見通しのよさ 1 学び方の例示のよさ 1 課題のよさ 1 24	学習展開のよさ 6 資料や教材のよさ 3 流れのつかみやすさ 2 学び方の例示のよさ 2 構成のよさ 1 13	思考を促す構成のよさ 12 まとめ方のよさ 5 資料や教材のよさ 3 まとめ方のよさ 1 21	思考を促す構成のよさ 5 資料や教材のよさ 4 まとめ方のよさ 3 学習展開のよさ 1 13	見方・考え方の明記 6 資料や教材のよさ 3 学習展開のよさ 2 見通しのよさ 2 課題のよさ 1 構成のよさ 1 15	思考を促す構成のよさ 8 資料や教材のよさ 6 14	資料や教材のよさ 4 まとめ方のよさ 3 構成のよさ 1 学習展開のよさ 1 9
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	実生活との関連 4 資料や教材のよさ 3 見通しのよさ 2 情報量の適切さ 2 学習展開のよさ 2 13	タイトルのよさ 4 学習展開のよさ 3 資料や教材のよさ 3 実生活との関連のよさ 2 12	資料や教材のよさ 4 学習展開のよさ 3 関連を意識させるよさ 1 構成のよさ 1 実生活との関連 1 学び方の例示のよさ 1 情報量の適切さ 1 12	資料や教材のよさ 4 学習構成のよさ 2 まとめ方のよさ 2 見通しのよさ 1 学習展開のよさ 1 10	学習展開のよさ 4 実生活との関連 4 8	資料や教材のよさ 4 構成のよさ 3 実生活との関連 3 10	タイトルのよさ 6 文章構成のよさ 1 学習課題のよさ 1 資料や教材のよさ 1 9
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	問題解決的な展開 4 学び方の例示のよさ 2 まとめ方のよさ 2 発問のよさ 1 学習構成のよさ 1 10	まとめ方のよさ 3 学習展開のよさ 3 学習課題のよさ 1 発問のよさ 1 8	問題解決的な展開 5 まとめ方のよさ 2 学び方の例示のよさ 1 1 8	地域教材のよさ 4 問題解決的な展開 1 まとめ方のよさ 1 構成のよさ 1 7	問題解決的な展開 3 まとめ方のよさ 2 資料や教材のよさ 2 構成のよさ 1 8	地域教材のよさ 4 学習展開のよさ 2 まとめ方のよさ 1 7	学習展開のよさ 3 地域教材のよさ 1 学習課題のよさ 1 5
5 その他の特記事項 (各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	資料や教材のよさ 9 文字の適切さ 2 レイアウトのよさ 1 学年相互の関連のよさ 1 13	資料や教材のよさ 4 文字の適切さ 2 学年相互の関連のよさ 1 7	資料や教材のよさ 8 学年相互の関連のよさ 4 レイアウトのよさ 1 13	資料や教材のよさ 6 6	資料や教材のよさ 7 レイアウトのよさ 2 学年相互の関連のよさ 2 11	資料や教材のよさ 9 学年相互の関連のよさ 1 10	資料や教材のよさ 7 文字の適切さ 2 関連を意識させるよさ 1 10
意見数	86	61	78	55	60	62	51

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	説明や表記のよさ 5 学習構成のよさ 4 用語の扱いのよさ 4 学習展開のよさ 3 資料や教材のよさ 3 まとめ方のよさ 2 学習課題のよさ 1 目標やテーマのよさ 1 22	学習構成のよさ 5 説明の適切さ 5 学習課題のよさ 4 まとめ方のよさ 1 資料や教材のよさ 1 用語の扱いのよさ 1 17	学習構成のよさ 4 学習展開のよさ 3 学習課題のよさ 2 用語の扱いのよさ 1 まとめ方のよさ 1 説明や表記の適切さ 1 資料や教材のよさ 1 目標やテーマのよさ 1 16	資料や教材のよさ 4 学習課題のよさ 3 説明や表記の適切さ 2 構成のよさ 2 学習展開のよさ 2 用語の扱いのよさ 1 情報量の適切さ 1 まとめ方のよさ 1 15	用語の扱いのよさ 4 資料や教材のよさ 3 内容の詳しさ 3 説明の適切さ 1 学習課題のよさ 1 14	内容の詳しさ 6 用語の扱いのよさ 4 学習課題のよさ 3 資料や教材のよさ 2 学習構成のよさ 1 説明の適切さ 1 まとめ方のよさ 1 15
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	まとめ方のよさ 5 学習展開のよさ 3 学習構成のよさ 3 見方・考え方の明記 3 資料や教材のよさ 2 思考を促す構成のよさ 2 学習課題のよさ 1 19	思考を促す構成のよさ 5 まとめ方のよさ 5 学習構成のよさ 2 資料や教材のよさ 2 学習展開のよさ 1 説明の適切さ 1 16	思考を促す構成のよさ 6 資料や教材のよさ 4 学習構成のよさ 3 見方・考え方の明記 2 学び方の例示のよさ 2 説明の適切さ 2 学習展開のよさ 2 学習課題のよさ 2 23	見方・考え方の明記 8 思考を促す構成のよさ 4 見通しのよさ 3 資料や教材のよさ 2 まとめ方のよさ 2 17	思考を促す構成のよさ 5 学習展開のよさ 3 まとめ方のよさ 3 学び方の例示のよさ 2 資料や教材のよさ 1 14	思考を促す構成のよさ 5 資料や教材のよさ 4 実生活との関連のよさ 2 学習展開のよさ 2 まとめ方のよさ 1 14
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	資料や教材のよさ 3 実生活との関連のよさ 2 見通しのよさ 2 学習展開のよさ 1 学び方の例示のよさ 1 資料や教材のよさ 1 10	実生活との関連のよさ 2 学習展開のよさ 2 資料や教材のよさ 2 学習課題のよさ 1 構成のよさ 1 学び方の例示のよさ 1 目標やテーマのよさ 1 10	学習展開のよさ 3 実生活との関連のよさ 2 まとめ方のよさ 2 学習構成のよさ 1 学び方の例示のよさ 1 資料や教材のよさ 1 目標やテーマのよさ 1 見通しのよさ 1 10	実生活との関連のよさ 3 資料や教材のよさ 1 学習課題のよさ 1 19	資料や教材のよさ 4 構成のよさ 3 表現や構成の適切さ 2 学習展開のよさ 1 19	資料や教材のよさ 3 学習展開のよさ 3 学習構成のよさ 1 実生活との関連のよさ 1 目標やテーマのよさ 1 8
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	学習展開のよさ 2 資料や教材のよさ 2 問題解決的な展開 2 学習課題のよさ 1 7	問題解決的な展開 3 資料や教材のよさ 1 まとめ方のよさ 1 学習展開のよさ 1 見通しのよさ 1 7	問題解決的な展開 4 学習展開のよさ 3 まとめ方のよさ 1 学び方の例示のよさ 1 9	問題解決的な展開 4 発問のよさ 1 学習展開のよさ 1 19	問題解決的な展開 4 地域教材のよさ 1 発問のよさ 1 目標やテーマのよさ 1 6	地域教材のよさ 2 資料や教材のよさ 2 問題解決的な展開 1 学習展開のよさ 1 7
5 その他の特記事項 (各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	資料や教材のよさ 5 学年相互の関連のよさ 2 文字の適切さ 1 環境に優しい素材の使用 1 9	学年相互の関連のよさ 3 資料や教材のよさ 2 レイアウトのよさ 1 文字の適切さ 1 環境に優しい素材の使用 1 8	資料や教材のよさ 4 レイアウトのよさ 1 学年相互の関連のよさ 1 文字の適切さ 1 環境に優しい素材の使用 1 8	資料や教材のよさ 4 文字の適切さ 2 学年相互の関連のよさ 1 環境に優しい素材の使用 1 8	資料や教材のよさ 4 文字の適切さ 2 レイアウトのよさ 1 19	資料や教材のよさ 3 レイアウトのよさ 3 環境に優しい素材の使用 1 7
意見数	67	58	66	55	50	51

発行番号・略称	2 東書		46 帝国				
調査研究項目							
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	豊富な資料や情報の多さ 8 教科書との関連のよさ 2 調査活動に活用できるよさ 1 統計資料のよさ 1 関連付けやすい資料のよさ 1 レイアウトのよさ 1 配色の見やすさ 1	15	比較しやすいレイアウトのよさ 3 資料の説明方の例示のよさ 2 豊富な資料のよさ 1 精選された資料のよさ 1 統計資料のよさ 1 関連テーマの明記のよさ 1 イラストのよさ 1	10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	豊富な資料や情報の多さ 2 関連付けやすい資料のよさ 2 他分野との関連のよさ 1 スキルアップコーナーのよさ 1	6	豊富な資料のよさ 4 地図活用コーナーのよさ 4 課題の明示のよさ 1 目的に応じて使用できるよさ 1 整理された内容のよさ 1 他分野との関連のよさ 1 QRコードのよさ 1	13	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	活用方法の明記のよさ 2 多様な資料のよさ 1 特集ページのよさ 1 歴史分野との関連のよさ 1 表紙のよさ 1	6	多様な資料のよさ 3 イラストのよさ 3 鳥瞰図のよさ 2 QRコードのよさ 2 歴史分野との関連のよさ 1 小学校との関連のよさ 1	12	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	豊富な資料のよさ 1 関連付けやすい資料のよさ 1 学習課題の明示のよさ 1	3	豊富な資料のよさ 3 多様な視点の地図のよさ 1	4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 その他の特記事項 (各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	教科書サイズのよさ 8 配色のよさ 6 資料や図版の充実 3 教科書との関連性のよさ 2 テーマ別の情報のよさ 1 関連付けやすい資料のよさ 1 文字や地図の見やすさ 1	22	大判の見やすさ 13 配色のよさ 6 豊富な情報量のよさ 4 地図や文字の見やすさ 4 イメージのしやすさ 3 最新情報のよさ 2 他分野や他教科との関連のよさ 1 精選されたテーマのよさ 1 軽い用紙のよさ 1	35	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
意見数	52		74				

発行番号・略称	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
調査研究項目							
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	配列・構成のよさ 7 見やすさ 5 課題・問題のよさ 2 見通しのよさ 2 まとめ方のよさ 1 振り返りのよさ 1 基本問題の充実 1 19	基本問題の充実 3 配列・構成のよさ 2 課題・問題のよさ 2 ヒント・解説の充実 2 振り返りのよさ 2 見やすさ 1 12	配列・構成のよさ 6 問題量が充実 3 基本問題の充実 2 ヒント・解説の充実 2 振り返りのよさ 2 重要事項のまとめ方 1 見通しのよさ 1 18	振り返りのよさ 4 配列・構成のよさ 4 問題量が適切 3 まとめ方のよさ 2 ヒント・解説の充実 2 学習課題のよさ 1 見通しのよさ 1 見やすさ 1 20	配列・構成のよさ 8 問題量が適切 5 振り返りのよさ 3 見通しのよさ 2 まとめ方のよさ 1 ヒント・解説の充実 1 20	配列・構成のよさ 6 見通しのよさ 3 問題量が適切 2 まとめ方のよさ 2 ヒント・解説の充実 2 課題・問題のよさ 1 16	配列・構成のよさ 6 振り返りのよさ 6 基本問題の充実 2 発展問題の充実 2 まとめ方のよさ 1 ヒント・解説の充実 1 課題・問題のよさ 1 見通しのよさ 1 20
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	思考力を高める工夫 7 活用問題の充実 4 学び合い活動の充実 3 深い学びとなる工夫 1 ヒント・解説が充実 1 解説の分かりやすさ 1 17	活用問題の充実 5 思考力を高める工夫 4 まとめの工夫 2 教材・教具のよさ 2 主体的な学習への手立て 1 学び合い活動の充実 1 ねらいが明確 1 16	思考力を高める工夫 6 学び合い活動の充実 4 活用問題の充実 4 レポートの充実 1 図・式・表等の関連 1 振り返りのよさ 1 17	活用問題の充実 5 思考力を高める工夫 2 余白の活用 2 振り返りのよさ 2 図答例の活用 1 ポイントの強調 1 社会との関連 1 まとめのよさ 1 15	活用問題の充実 4 思考力を高める工夫 3 スモールステップ 3 日常生活との関連 2 振り返りのよさ 2 ねらいが明確 1 図答例の活用 1 教材のよさ 1 配列・構成のよさ 1 18	別冊ノートの活用 5 思考力を高める工夫 3 活用問題の充実 2 解説の分かりやすさ 1 段階的な学習のよさ 1 12	思考力を高める工夫 4 学び合い活動の充実 4 深い学びとなる工夫 2 問題量が充実 2 教材・教具のよさ 2 活用問題の充実 1 15
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	日常生活との関連 6 導入のよさ 5 振り返りのよさ 2 見通しのよさ 2 QRコードのよさ 2 イラスト等のよさ 1 解説の分かりやすさ 1 段階的な学習のよさ 1 20	社会・職業との関連 6 日常生活との関連 5 ねらいが明確 2 見通しのよさ 2 学習課題のよさ 1 16	日常生活との関連 7 発展的 content の充実 4 まとめ・振り返りのよさ 4 導入のよさ 2 イラスト等のよさ 1 18	日常生活との関連 4 QRコードのよさ 2 イラスト等のよさ 2 導入のよさ 1 発展問題の充実 1 既習事項の充実 1 11	導入のよさ 4 日常生活との関連 4 QRコードのよさ 4 配列・構成のよさ 3 課題・問題のよさ 1 イラスト等のよさ 1 学び合い活動の充実 1 18	ノートの活用 4 日常生活との関連 3 発展問題の充実 2 イラスト等のよさ 1 解説の分かりやすさ 1 深い学びとなる工夫 1 12	日常生活との関連 4 振り返りのよさ 3 導入のよさ 1 イラスト等のよさ 1 発展問題の充実 1 QRコードのよさ 1 11
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	問題解決型の構成 5 発展問題の充実 4 学習過程の工夫 3 郷土との関連 1 深い学びとなる工夫 1 異校種との関連 1 15	問題解決型の構成 3 他教科との関連 1 配列・構成のよさ 1 学習過程の工夫 1 6	発展問題の充実 5 問題解決型の構成 3 主体的な学習の工夫 2 基本問題の充実 1 学び合い活動の充実 1 12	発展問題の充実 3 日常生活との関連 2 問題解決型の構成 1 既習事項の充実 1 7	主体的な学習の工夫 2 発展問題の充実 2 学び合い活動の充実 1 問題解決型の構成 1 日常生活との関連 1 見通しのよさ 1 8	ノートの活用 3 学び合い活動の充実 2 郷土との関連 1 見通しのよさ 1 活用問題の充実 1 8	学び合い活動の充実 2 発展問題の充実 2 問題解決型の構成 2 見通しのよさ 2 異校種との関連 1 9
5 その他の特記事項（各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等）	レイアウトのよさ 5 配色のよさ 3 写真等の見やすさ 2 導入のよさ 1 他学年との関連 1 日常生活との関連 1 13	他教科との関連 4 レイアウトのよさ 3 写真等の見やすさ 3 配色のよさ 2 配列・構成のよさ 1 13	配色のよさ 3 教材のよさ 2 日常生活との関連 1 他教科との関連 1 QRコードのよさ 1 深い学びとなる工夫 1 異校種との関連 1 SDGs関連のよさ 1 11	配色のよさ 6 写真等の見やすさ 3 振り返りのよさ 1 QRコードのよさ 1 9	写真等の見やすさ 3 QRコードのよさ 3 レイアウトのよさ 2 配色のよさ 1 9	QRコードのよさ 2 ノートの活用 2 配色のよさ 2 異校種との関連 1 既習事項の充実 1 教材のよさ 1 レイアウトのよさ 1 10	配色のよさ 2 文字の見やすさ 1 写真等の見やすさ 1 既習事項の充実 1 日常生活との関連 1 レイアウトのよさ 1 7
意見数	84	63	76	62	73	58	62

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	知識・技能の定着への工夫 7 確認問題の充実 6 学習課題やまとめの明確さ 3 分かりやすい観察・実験の掲載 3 安全面に配慮した記載 2 身近な現象との関連付け 2 活用例の掲載 1 デジタルコンテンツの活用 1 25	確認問題の充実 5 既習事項の確認のしやすさ 5 分かりやすい観察・実験の掲載 3 身近な現象との関連づけ 3 知識・技能の定着への工夫 2 活用例の掲載 1 デジタルコンテンツの活用 1 20	学習課題やまとめの明確さ 4 分かりやすい観察・実験の掲載 4 デジタルコンテンツの活用 3 写真・挿絵などの充実 3 確認問題の充実 2 見方・考え方のわかりやすさ 2 安全面に配慮した記載 1 身近な現象との関連付け 1 既習事項の確認のしやすさ 1 21	重要語句の見やすさ 5 知識・技能の定着への工夫 4 確認問題の充実 4 写真・挿絵などの充実 3 学習課題やまとめの明確さ 2 教科書への書き込みの工夫 1 19	写真・挿絵などの充実 7 知識・技能の定着への工夫 6 確認問題の充実 5 デジタルコンテンツの活用 3 教科書への書き込みの工夫 2 重要語句の見やすさ 2 学習課題やまとめの明確さ 1 身近な現象との関連付け 1 既習事項の確認のしやすさ 1 28
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	学びを確認できる構成 6 思考を深める問いかけの工夫 5 思考・判断・表現力を高める工夫 3 思考を促す図や説明の掲載 2 イメージ図による思考力の育成 1 日常生活と関連させる工夫 1 思考を止めない紙面の構成 1 まとめ・結論の例示 1 20	思考・判断・表現力を高める工夫 2 思考を深める問いかけの工夫 2 思考を促す図や説明の掲載 2 思考を止めない紙面の構成 2 既習を生かした思考力育成 1 結果から考察するための工夫 1 学びを確認できる構成 1 課題が見やすい 1 12	学びを確認できる構成 4 思考・判断・表現力を高める工夫 2 思考を深める問いかけの工夫 2 思考を促す図や説明の掲載 2 結果から考察するための工夫 1 日常生活と関連させる工夫 1 思考を止めない紙面の構成 1 13	思考を促す図や説明の掲載 3 学びを確認できる構成 3 分かりやすい探究の過程 2 思考・判断・表現力を高める工夫 1 日常生活と関連させる工夫 1 実験方法を考えさせる構成 1 課題が見やすい 1 討論で表現力を高める工夫 1 13	分かりやすい探究の過程 6 思考・判断・表現力を高める工夫 5 学びを確認できる構成 4 思考を促す図や説明の掲載 3 日常生活と関連させる工夫 3 既習を生かした思考力育成 1 課題が見やすい 1 討論で表現力を高める工夫 1 発展内容の資料の充実 1 25
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	学習を生かす場面の設定 4 日常生活と関連ある資料の工夫 3 学びを再構成する資料の工夫 3 振り返りの場の設定 2 導入の工夫 1 興味・関心を高める挿絵の工夫 1 主体的な学習に向けた記述 1 デジタルコンテンツの充実 1 16	興味・関心を高める挿絵の工夫 2 日常生活と関連ある資料の工夫 2 科学史や科学者の取扱のよさ 1 導入の工夫 1 主体的な学習に向けた記述 1 発展的内容の掲載 1 8	日常生活と関連ある資料の工夫 4 興味・関心を高める挿絵の工夫 1 デジタルコンテンツの充実 1 6	日常生活と関連ある資料の工夫 4 振り返りの場の設定 2 科学史や科学者の取扱のよさ 1 興味・関心を高める挿絵の工夫 1 発展的内容の掲載 1 9	発展的内容 3 日常生活と関連ある資料の工夫 3 興味・関心を高める挿絵の工夫 2 デジタルコンテンツの充実 2 発展的内容の掲載のよさ 1 振り返りの場の設定 1 12
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	問題解決的な学習過程の重視 4 問いの工夫と充実 4 話し合いの仕方の掲載 2 学習の見通しの捉えやすさ 2 金沢(石川)を扱った内容の掲載 2 観察・実験等の活動の充実 1 参考図書の紹介 1 16	石川県を扱った資料の掲載 3 問いの工夫と充実 1 話し合いの仕方の掲載 1 自主的な学習につなげる工夫 1 活用力を高める問題の工夫 1 キャリア教育との関連の記載 1 8	問いの工夫と充実 4 付録教材の活用 3 問題解決的な学習過程の重視 2 学習の見通しの捉えやすさ 1 石川県を扱った資料の掲載 1 問題意識を高める単元導入 1 12	問いの工夫と充実 2 段階的に理解できるような例示 1 石川県を扱った資料の掲載 1 問題解決的な学習過程の重視 1 5	自主的な学習につなげる工夫 6 活用力を高める問題の工夫 3 石川県を扱った資料の掲載 2 問題解決的な学習過程の重視 2 問題意識を高める単元導入 1 問いの工夫と充実 1 観察・実験等の活動の充実 1 地域・伝統工芸との関連 1 17
5 その他の特記事項(各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	全体のレイアウトの見やすさ 6 他教科との関連の記載 3 空間認識するための補助資料 2 読みやすい書体・大きさ 2 Dマークの活用 1 挿絵・写真・図表のよさ 1 学年相互の関連の記載 1 16	学年相互の関連の記載 5 挿絵・写真・図表のよさ 4 持ちやすい大きさ・重さ 3 Web資料の充実 1 読みやすい書体・大きさ 1 計算問題の工夫 1 15	挿絵・写真・図表のよさ 9 付録資料の充実 3 Web資料の充実 2 レイアウトの見やすさ 2 学年相互の関連の記載 1 読みやすい書体・大きさ 1 18	読みやすい書体・大きさ 7 ページ数が多く、情報が豊富 2 学年相互の関連の記載 1 Web資料の充実 1 挿絵・写真・図表のよさ 1 付録資料の充実 1 レイアウトの見やすさ 1 防災教育の充実 1 明確な課題とまとめ 1 16	挿絵・写真・図表のよさ 6 デジタルコンテンツの充実 4 読みやすいレイアウト 4 学年相互の関連の記載 2 読みやすい書体・大きさ 1 計算問題の工夫 1 他教科との関連の記載 1 コラムなどのコーナーの充実 1 20
意見数	93	63	70	62	102

発行番号・略称 調査研究項目	17 教出	27 教芸			
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	学習の観点やめあての明確さ 4 用語の場所のわかりやすさ 3 選曲のよさ 2 学習の手順のわかりやすさ 2 創作内容のよさ 1 鑑賞教材のよさ 1 民謡の楽譜の多さ 1 図を使ったわかりやすさ 1 15	学習するテーマのわかりやすさ 8 楽曲の説明や手引きの詳しさ 3 共通事項のわかりやすさ 2 写真や資料の見やすさ 2 歌唱教材のよさ 2 歌舞伎の取り扱いのよさ 1 音符に親しむ活動のよさ 1 学習の手順のわかりやすさ 1 歌唱指導のわかりやすさ 1 21	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	思考が深化しやすい工夫 4 音楽史の充実 3 音楽と詩のかかわりの充実 2 楽譜の掲載の多さ 2 創作分野のページのよさ 2 教材の配置のよさ 2 鑑賞教材の多さ 1 自分の考えをまとめられるよさ 1 17	思考の流れの立てやすさ 6 選曲などの教材のよさ 3 鑑賞領域の工夫 2 自分の考えを記入する欄のよさ 2 表現するための手がかりの多さ 2 吹き出しの活用よさ 1 問題解決的な学習のしやすさ 1 曲の情景のわかりやすさ 1 18	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	見やすくまとめられているよさ 1 能を教材に取り入れているよさ 1 曲の親しみやすさ 1 音楽家への焦点の当て方のよさ 1 他の題材との連動の工夫 1 5	音楽家の言葉のよさ 4 学習の手順のわかりやすさ 3 学習の指針が示されているよさ 1 創作活動を進める工夫 1 音楽のジャンルのわかりやすさ 1 QRコードの活用のしやすさ 1 能を教材に取り入れているよさ 1 12	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	問題解決的な学習のしやすさ 3 各題材のめあての明確さ 1 自分の考えを交流できる工夫 1 能を教材に取り入れているよさ 1 ワークシートの充実 1 郷土の民謡を扱うよさ 1 8	ねらいの明確さ 2 能の学習のページの充実 2 合唱曲の多さ 1 SDGsとの関連のよさ 1 楽譜の見やすさ 1 自分の考えを書く欄の多さ 1 郷土の民謡を扱うよさ 1 9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 その他の特記事項 (各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	挿絵や写真の豊富さ 5 曲へのイメージの持ちやすさ 4 QRコードの活用のしやすさ 1 家庭学習での取り組みやすさ 1 文字の大きさの見やすさ 1 楽譜の多さ 1 歌唱教材のよさ 1 音楽の要素のわかりやすさ 1 15	挿絵や写真の豊富さ 10 曲へのイメージの持ちやすさ 5 教材のわかりやすさ 3 QRコードの活用のしやすさ 1 身近な音楽家を使うよさ 1 家庭学習での取り組みやすさ 1 伝統音楽の取り扱いのよさ 1 他教科との関連のよさ 1 歌唱教材のよさ 1 24	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
意見数	60	84			

発行番号・略称 調査研究項目	17 教出	27 教芸			
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	奏法の分かりやすさ 6 写真資料のよさ 2 目標の提示の明確さ 2 選曲のよさ 1 楽器の説明の分かりやすさ 1 12	奏法の習得のしやすさ 7 写真資料のよさ 3 説明の分かりやすさ 2 リコーダー教材の説明のよさ 2 付けたい力の明確化 1 ギターコードの分かりやすさ 1 曲の豊富さ 1 17	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	説明の分かりやすさ 2 奏法の分かりやすさ 2 箏の奏法の分かりやすさ 1 図や写真のよさ 1 難易度の違う曲の提示のよさ 1 段階的な学びの工夫のよさ 1 8	選曲のよさ 2 段階的な学びの工夫 2 リコーダー教材の分かりやすさ 1 箏の創作活動のよさ 1 演奏のポイントの明確さ 1 楽器の特徴の分かりやすさ 1 楽譜の豊富さ 1 学習内容の提示の分かりやすさ 1 Q&Aの分かりやすさ 1 11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	楽器史の分かりやすさ 1 他国の音楽文化の提示のよさ 1 2	資料の豊富さ 1 曲の豊富さ 1 選曲のよさ 1 3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	めあての明確さ 1 篠笛の内容の充実 1 グループ活動の内容の充実 1 創作活動の工夫のよさ 1 4	リズム学習の内容のよさ 1 扱うギターの種類の豊富さ 1 グループ活動の内容の充実 1 3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 その他の特記事項 (各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	写真資料のよさ 3 図や絵のデザインのよさ 2 ギターコードの表示のよさ 2 資料のわかりやすさ 1 教材の配置のよさ 1 楽器の種類の豊富さ 1 まなびリンクの映像のよさ 1 色使いのよさ 1 他領域との関連のよさ 1 13	写真・図のよさ 4 資料の分かりやすさ 3 楽譜の見やすさ 2 9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
意見数	39	43			

発行者番号・略称 調査研究項目	9 開隆堂	38 光村	116 日文		
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	巻末に掲載された基礎技法 6 観点別目標の掲載 4 表現技法の説明の丁寧さ 3 複数の思考や技法の提示 2 美術用語の提示 2 「学びの地図」で見通しの工夫 2 QRコードによる資料の充実 1 「作者の言葉」の掲載 1 21	巻末掲載の基礎技法のよさ 5 制作過程の説明の分かりやすさ 3 題材ごとの目標、問いかけ明示 2 制作過程が豊富 2 基礎的知識を身に付ける工夫 1 見通しを立てる工夫 1 QRコードで技能習得活用可能 1 15	題材ごとの観点別目標の明示 5 巻末掲載の基礎技法の詳細さ 2 表現技法の説明の分かりやすさ 2 基礎的知識を身に付ける工夫 1 3冊の分冊による内容の充実 1 「造形的な視点」の掲載 1 複数の思考や技法の提示 1 13		
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	発想や構想を助ける資料 3 作者の制作意図の掲載 2 資料や掲載作品の豊富さ 2 興味・関心を引く作例・資料 2 技法説明、歴史的解説のよさ 1 10	参考例の分かりやすさ 6 発想を広げるヒントの多さ 4 制作過程の説明の分かりやすさ 3 興味・関心を引く作例・資料 2 作者の制作意図の掲載 1 鑑賞作品を見る視点の説明 1 資料・題材の精選 1 18	興味・関心を引く作例・資料 4 発想や構想のポイントの明示 4 「作者の言葉」の掲載 4 サブ・メインタイトルの掲載 1 巻頭説明のインパクト 1 「造形的な視点」で思考を深化 1 15		
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	身近な造形美術の掲載 4 図版の大きさによる興味喚起 2 興味を引く題材の工夫 2 作家の意図や工夫の掲載 1 鑑賞分野の充実 1 参考作品のよさ 1 道具の使い方の提示 1 観点別目標の掲載 1 13	図版の大きさによる興味喚起 2 興味を引く題材の工夫 2 身近な物のデザインの掲載 1 伝統工芸の掲載 1 原寸大の作品の掲載 1 目標とする資質・能力の提示 1 8	日常生活関連の美術作品の掲載 4 図版の大きさによる興味喚起 3 「学びの目標」で見通しの提示 3 興味を持って学べる題材の工夫 1 自然造形や文化遺産への理解 1 「造形的な視点」による発問 1 学年の系統性がある学習内容 1 14		
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	言語活動の充実に関する内容 1 学習のポイント等マークで明示 1 QRコードで生徒作品鑑賞可能 1 3	生徒の制作過程を掲載 3 題材ごとの「問いかけ」の掲載 2 言語活動の充実に関する内容 1 QRコードで生徒作品鑑賞可能 1 トレーシングペーパーで書込可 1 山中塗りの汁椀の掲載 1 9	「作者の言葉」の掲載 1 興味・関心を引く作例・資料 1 言語活動の充実に関する内容 1 QRコードで生徒作品鑑賞可能 1 21世紀美術館の紹介 1 5		
5 その他の特記事項 (各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	他教科との関連を明記 4 合冊による扱いやすさ 2 参考作品の多さ 2 生活や社会の中の美術を掲載 2 ワイド版の見やすさ 2 QRコードによる解説 2 巻末資料の充実 2 美術館との関連 2 著作権について配慮 1 19	鑑賞を助ける紙質の工夫 13 トレーシングペーパーの工夫 4 写真等資料の扱い、鮮明さ 3 合冊による扱いやすさ 2 他教科・美術館との関連 2 比較して鑑賞できる工夫 1 QRコードで参考作品の掲載 1 情報モラルやルールの掲載 1 巻末資料の充実 1 28	参考作品、大判資料の見やすさ 5 興味・関心を引く作例・資料 5 QRコードによる解説の充実 2 屏風のように折ることができる 2 写真等資料の扱い、鮮明さ 2 レイアウトの工夫 1 美術館との関連 1 3冊分冊で詳しい 1 著作権への配慮 1 20		
意見数	66	78	67		

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研	
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	教材・資料のよさ 7 文字や資料の見やすさ 6 学習の見通しのもちやすさ 5 QRコードの内容が豊富 3 振り返り学習の充実 2 付けたい力の明示のよさ 1	文字や資料の見やすさ 6 教材・資料のよさ 6 付けたい力の明示のよさ 2 語彙指導の充実 1 系統的学習のよさ 1	文字や資料の見やすさ 7 学習の見通しのもちやすさ 5 振り返り学習の充実 5 系統的学習のよさ 2 資料が豊富 2	教材・資料のよさ 6 文字や資料の見やすさ 6 学習の見通しのもちやすさ 3 振り返り学習の充実 2 語彙指導の充実 1	<input type="checkbox"/>
	24	16	21	18	
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	言語活動例の充実 4 学習の見通しのもちやすさ 4 教材・資料のよさ 3 振り返り学習の充実 2 文字や資料の見やすさ 1	言語活動例の充実 4 振り返り学習の充実 3 教材・資料のよさ 2 課題解決的な学習過程のよさ 2 ノートの書き方学習のよさ 1 系統的学習のよさ 1 文字や資料の見やすさ 1	教材・資料のよさ 5 言語活動例の充実 4 文字や資料の見やすさ 2 学習の見通しのもちやすさ 1	言語活動例の充実 6 学習の見通しのもちやすさ 5 課題解決的な学習過程のよさ 2 文字や資料の見やすさ 1 挿絵のよさ 1	<input type="checkbox"/>
	14	14	12	15	
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	学習の見通しのもちやすさ 6 教材・資料のよさ 2 言語活動例の充実 2 振り返り学習の充実 2 課題解決的な学習過程のよさ 1	教材・資料のよさ 5 既習を活用できるよさ 2 学習の見通しのもちやすさ 1	教材・資料のよさ 7 学習の見通しのもちやすさ 2 既習を活用できるよさ 1 写真・挿絵が豊富 1 振り返り学習の充実 1	教材・資料のよさ 4 学習の見通しのもちやすさ 3 課題解決的な学習過程のよさ 3 振り返り学習の充実 2 言語活動例の充実 1	<input type="checkbox"/>
	13	8	12	13	
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	課題解決的な学習過程のよさ 5 振り返り学習の充実 4 学習の見通しのもちやすさ 2 挿絵のよさ 1	課題解決的な学習過程のよさ 3 写真や資料が豊富 2 教材・資料のよさ 2 振り返り学習の充実 1 学習の見通しのもちやすさ 1 文字や資料の見やすさ 1 既習を活用できるよさ 1	課題解決的な学習過程のよさ 4 写真・挿絵が豊富 2 教材・資料のよさ 1 言語活動例の充実 1 学習の見通しのもちやすさ 1 振り返り学習の充実 1	学習の見通しのもちやすさ 3 挿絵のよさ 2 課題解決的な学習過程のよさ 2 文字や資料の見やすさ 1 振り返り学習の充実 1 言語活動例の充実 1	<input type="checkbox"/>
	12	11	10	10	
5 その他の特記事項 (各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	文字や資料の見やすさ 9 挿絵のよさ 3 教材・資料のよさ 2 QRコードの内容が豊富 2 資料が豊富 1	文字や資料の見やすさ 14 写真のよさ 4 資料や挿絵が豊富 4 他教科との関連のよさ 1	資料や写真・挿絵のよさ 7 文字や資料の見やすさ 5 他教科との関連のよさ 2 系統的学習のよさ 1 課題解決的な学習過程のよさ 1	文字や資料の見やすさ 8 写真や挿絵のよさ 4 資料が豊富 3 学習の見通しのもちやすさ 2 語彙指導の充実 1 振り返り学習の充実 1 ノートの書き方学習のよさ 1	<input type="checkbox"/>
	17	23	16	20	
意見数	80	72	71	76	

発行者番号・略称 調査研究項目	2 東書	6 教図	9 開隆堂					
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	理解しやすいページ構成 4 作業工程の分かりやすさ 2 知識の習得のしやすさ 2 ヒントの充実 2 情報量の充実 2 学習テーマの明確さ 1 解説の充実 1	技術ハンドブックのよさ 4 教材の例示の多様さ 2 目標の分かりやすさ 1 必要事項の整理 1 ヒントの充実 1 文章のシンプルさ 1	学習テーマの明確さ 2 プログラミングの充実 2 身につける技能の明確さ 2 作業工程の分かりやすさ 1 材料と加工の分かりやすさ 1 情報量の適切さ 1 整理された情報 1 端的に示された説明 1 QR動画の分かりやすさ 1	14	10	12		
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	思考の流れのよさ 3 見通しのもてる単元構成 2 単元毎のふり返りの充実 1 「技術の匠・とびら」の充実 1 発問例の適切さ 1 習得のしやすさ 1 見方・考え方の分かりやすさ 1 ワークシートの充実 1 思考ツールの良さ 1	単元構成のよさ 3 思考判断しやすい章立て 2 問題解決的な学習活動の工夫 2 習得のしやすさ 1 発問例の適切さ 1 深く学ぶための工夫 1	単元構成の良さ 2 単元毎のふり返りの充実 1 マークの分かりやすさ 1 グループワークの方法の記載 1 習得のしやすさ 1 体系的にまとめやすい説明 1 見方・考え方の充実 1 記述をするための工夫 1 先輩からのアドバイスのよさ 1	12	10	10		
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	資料の豊富さ 3 現代の諸課題の記載の充実 3 各教科との関連 2 「技術の工夫」のよさ 1 「技術の匠」のよさ 1 ワンポイントのよさ 1 技術の評価と活用場面の設定 1	最新の研究の紹介 2 興味・関心を持てる単元の工夫 1 特集ページのよさ 1 各教科との関連 1 身近な教材のよさ 1 丁寧な説明 1 実習例の豊富さ 1	最新の研究の紹介 2 ワンポイントのよさ 2 深めるためのマークのよさ 1 各教科との関連 1 学習の流れのよさ 1 話し合う活動の充実 1	12	8	8		
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	問題解決の充実 6 言語活動の充実を図る工夫 1 タイピングページの掲載 1 課題の示し方の工夫 1 話し合い活動の充実 1	共通点・相違点を考える工夫 4 学習プリントの充実 3 問題解決の充実 1 興味・関心を持たせる工夫 1	構成のよさ 4 実践例の充実 1 思考を深められる発問の工夫 1 タイピングページの掲載 1 課題の示し方の工夫 1 効果的な図解 1 グループ活動のしやすさ 1	10	9	10		
5 その他の特記事項(各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	写真の豊富さ 5 小学校との関連 3 ページ数の豊富さ 3 イラストのよさ 2 見やすさ 1 エネルギー分野の充実 1	適切な文字の大きさ 8 写真・イラストのよさ 3 ページのめくりやすさ 2 適切な配色 1 適切な図の大きさ 1 ハンドブックのよさ 1 今日的課題への対応 1 別冊資料の良さ 1 体系的なプログラミングの充実 1	イラスト・写真の配置のよさ 2 適切な文字の大きさ 2 内容構成・配列の分かりやすさ 1 小学校との関連 1 写真の豊富さ 1 参考資料の充実 1 今日的課題への対応 1 教科書のサイズがコンパクト 1 ユニバーサルデザインのよさ 1	15	19	11		
意見数	63	56	51					

発行番号・略称	2 東書	6 教図	9 開隆堂		
調査研究項目					
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	キーワードや重要語句の説明 6 単元の目標の提示 4 作業工程の丁寧な説明や写真 3 見やすいページ構成 2 他教科との関連 1 学習前のガイダンスの充実 1 具体的な写真の充実 1 18	単元のめあてやキーワード 3 振り返り活動ができる工夫 2 他教科との関連 1 比較しやすい記述が充実 1 欄外の豆知識 1 興味をひく付属 1 9	振り返り活動ができる工夫 2 作業工程の丁寧な説明や写真 2 単元の目標の提示 1 他教科との関連 1 メリット・デメリットの記述 1 これからの時代に必要な知識 1 視覚的に興味をひく工夫 1 9		
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	学習指導要領に即した構成 2 思考を深める工夫 2 興味関心をひくイラストや写真 2 まとめのページの充実 1 まとめに繋がる表現の記載 1 欄外のメモや自己評価説明が充実 1 10	テーマごとの振り返り記入欄 3 問題解決型の問いかけの工夫 3 思・判・表を問う問題の掲載 2 興味をひく題材 1 実生活につながる工夫 1 10	問題解決型の学習項目 4 まとめのページの充実 2 思・判・表を問う問題の掲載 2 日常生活での実践例 2 見通しをもった学習活動 1 他教科との関連が明確 1 実生活を見直す工夫 1 SDGsの視点が充実 1 14		
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	石川や金沢に関連した教材 5 活動例や実習例が豊富 3 体験型の付属 1 実物大での提示 1 10	興味をひくイラストや吹き出し 3 切り貼りできる付属 1 QRコード 1 主体的に学ぶ場面の充実 1 金沢に関連した教材 1 実生活につながる工夫 1 見やすい作業工程 1 9	まとめのページの充実 3 金沢に関連した教材 2 生徒の視点に立ったガイダンス 2 今日の課題の掲載 2 実物大での提示 1 興味関心をひく写真やイラスト 1 11		
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	具体的な問題解決の仕方 3 実践的な付属 2 取り組みやすい構成順 2 学習内容の活用例 1 石川に関連した教材 1 9	話し合い活動の項目 3 取り組みやすい構成順 2 主体的に学ぶことができる工夫 2 実習例のよさ 1 小学校での既習事項の記述 1 思・判・表を高める工夫 1 10	取り組みやすい構成順 3 話し合い活動の項目 1 主体的に学ぶことができる工夫 1 5		
5 その他の特記事項（各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等）	実物大等、写真の豊富さ 6 他教科等との関連やリンク 2 紙質のよさや安定感 2 導入ページの充実 1 見やすい目次構成 1 色合いの柔らかさ 1 実践的な付属 1 今日の課題の掲載 1 見通しをもった学習活動 1 16	分かりやすく身近な写真や図 4 豊富な写真や資料 4 イメージしやすい写真 2 今日の課題の充実 1 親しみやすいキャラクター 1 手書き風のイラストのよさ 1 開いたときの安定感 1 14	豊富な写真や資料 4 分かりやすい図や表 2 学習指導要領に即した目次構成 2 取り組みやすい構成や配列 1 学びを深める工夫 1 10		
意見数	63	52	49		

発行番号等 調査研究項目	2 東書	9 開隆堂	15 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。	文法の提示とまとめのよさ 8 学習のつながりのよさ 5 付けたい力の明示 4 使用場面の設定の具体性 2 本文の分かりやすさ 2 話題に関連した活動のよさ 1 単元のまとめのよさ 1 Small Talkのよさ 1 豊富な文と語彙 1 25	巻末資料の充実 4 漫画で示される基本本文のよさ 3 各単元の明確な目標の提示 3 表現力を育む工夫 3 Retellのよさ 2 知識技能が習得しやすい構成 2 本文の読みやすさ 1 家庭学習に有効なQRコード 1 Projectの充実 1 20	基本本文の提示のよさ 6 多様な言語活動の提示 6 題材内容のよさ 3 QRコードのよさ 2 学習の流れのよさ 1 語源についての旨及 1 まとめの分かりやすさ 1 Word Bankのよさ 1 家庭学習に役立つページのよさ 1 23	巻末資料、付録の充実 6 Activity Plusのよさ 4 文法事項の分かりやすい説明 3 ドリル学習の工夫 2 内容理解のための質問の提示 1 4技能のコツの提示 1 会話を継続する力を付ける工夫 1 文法の系統的に学べる構成 1 書く力を伸ばす工夫 1 19	単元ゴールの明確さ 5 学習の流れのよさ 4 本文の内容のよさ 3 即興で話す力を育む工夫 2 場面設定や素材のよさ 2 付けたい技能の明示 1 語彙の資料の見やすさ 1 4技能を習得する工夫 1 基本本文の提示の仕方 1 21	基本本文の分かりやすさ 5 単元目標の分かりやすさ 4 現在使用中の教科書と類似 2 Word Boxのよさ 2 文法事項の活用場面の多さ 1 簡潔な本文のよさ 1 文法事項の提示順のよさ 1 シンプルで見やすい構成 1 QRコードのよさ 1 18
2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。	表現活動の充実 8 技能統合型の活動の充実 3 単元目標が分かりやすい 2 単元目標の充実 2 Small Talkのよさ 1 幅広い分野の題材 1 目的場面状況の設定 1 Word Roomのよさ 1 話したことを書く流れのよさ 1 20	表現活動の充実 7 段階的な構成のよさ 6 技能統合型の活動の充実 2 関心を高めるコラムのよさ 1 即興で話す活動のよさ 1 活用ページの充実 1 場面設定のよさ 1 深い思考を促す発問の工夫 1 20	自己表現につながる流れのよさ 5 スピーチの仕方の掲載 4 読み物教材のよさ 2 4技能のバランスのよさ 2 絵で単語の意味を示す工夫 1 Writingに対する方策 1 グラフ等を組み取る題材のよさ 1 単元のまとめ方のよさ 1 単元の構成のよさ 1 18	表現力を高める活動の充実 4 Activity Plusのよさ 3 即興生を養う活動の充実 3 巻末資料の充実 2 スピーキング活動の工夫 2 QRコードの工夫 1 統合的な活動の充実 1 Can-Doリストの掲載 1 資料の充実 1 18	単元構成のよさ 4 本文の内容のよさ 3 本文の題材のよさ 3 即興生を養う活動の充実 2 巻末資料の充実 2 スピーキング活動の工夫 2 QRコードの工夫 1 統合的な活動の充実 1 Retellingのよさ 1 思考を促す問のよさ 1 18	自己表現活動のよさ 6 本文の題材のよさ 3 単元の表現活動の提示 1 yes/notに一言付け加える工夫 1 日本語による詳しい解説 1 グループ活動の充実 1 ディスカッション活動のよさ 1 単元目標の明示 1 書くコーナーの手立てのよさ 1 15
3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。	国際的な話題の充実 4 道徳に関する豊富な題材 3 具体的な場面設定の多さ 2 学習の仕方の特長のよさ 2 Mini Activityのよさ 1 単元末活動への段階的構成 1 単元目標の明確さ 1 他教科と関連する豊富な題材 1 時事的な話題のよさ 1 16	生徒に考えさせる題材のよさ 7 単元目標の明確さ 2 生活に即したテーマのよさ 1 スキット作りができる工夫 1 目標設定しやすい構成 1 馴染みのある読み物教材 1 文法事項のまとめの掲載 1 14	題材のよさ 6 文法のまとめのよさ 2 単元目標の明確さ 2 Talk & Writeのよさ 1 考えを整理する箇所の掲載 1 歌やスピーチの効果的な活用 1 吹き出しやイラストの工夫 1 充実した付録のよさ 1 14	題材のよさ 2 単元末の復習のしやすさ 2 自分の考えを書く場面の設定 1 音読回数チェック欄の提示 1 協働学習の設定の充実 1 勉強の仕方の例示のよさ 1 本文の量の多さ 1 9	題材のよさ 4 本文の内容のよさ 2 発想力を養う活動 1 すてきな人を紹介する活動 1 時期に応じた話題設定のよさ 1 文法事項のまとめの掲載 1 学習の仕方の掲載 1 明確な目的場面状況の設定 1 読む意欲をかき立てる教材 1 12	多様な国や文化の紹介 2 紹介している国の多さ 2 題材のよさ 1 即興で話す力を伸ばす工夫 1 教科横断的内容の充実 1 オーソドックスな構成のよさ 1 導入での考えさせる発問 1 文法事項のまとめの掲載 1 読む意欲をかき立てる教材 1 11
4 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。	小学校での既習語が明示 2 幅広い題材の選定 2 文章量の多さ 2 SDGsの掲載 2 問題解決型の活動の多さ 2 書く力を付けるプロジェクトの多さ 1 生徒の姿容の分かりやすさ 1 金沢型学習スタイルに合う構成 1 議論しやすい話題の多さ 1 14	Our Projectの充実 2 協働学習の工夫 1 単元ゴールの明確さ 1 課題解決型の学習形態 1 活動しやすい明確な場面設定 1 6	日本文化を扱った題材 4 4技能統合型活動のよさ 3 対話文の多さ 3 単元ゴールの明確さ 1 読みやすい文字の大きさ 1 課題解決型の学習形態 1 13	単元ゴールの明確さ 2 社会問題を扱う題材の多さ 1 問題解決の過程の丁寧な記述 3 課題解決型の学習形態 1 ディベートに適する題材の選定 1 6	各単元のGoal設定 2 日常を発信できるよさ 1 日本文化を扱う場面の多さ 1 目標設定がしやすい構成 1 身近な場面設定のよさ 1 自己表現に有効な表現の紹介 1 ペア学習の指示 1 世界的な話題の提示 1 課題解決型の学習形態 1 10	親都市金沢を扱った題材 4 臨んだ後のThinkのよさ 1 ディスカッションできる工夫 1 世界的な話題の提示 1 各単元の表現活動の設定 1 8
5 その他の特記事項 (各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	写真等の資料の充実 3 QRコードの動画のよさ 2 時事的な話題の取扱い 2 小学校との接続のよさ 1 色や文字の見やすさ 1 SDGsの題材のよさ 1 A4サイズで豊富な内容 1 Can-Doリストの掲載 1 活動目標の明確に提示 1 13	アクションカードの工夫 4 文字の読みやすさ 2 絵や写真の充実 2 文章量が豊富 1 小見出しのデザイン 1 絵のよさ 1 学んだ表現を活用する場面設定 1 段階的に力を付ける工夫 1 13	表紙のデザインのよさ 5 人権意識を育む内容の多さ 3 読みやすいフォント 2 段階的話し合い活動の充実 1 多様な国籍の登場人物 1 12	文字のフォント、大きさのよさ 3 付録の充実 3 シンプルで見やすい 2 Topic Cardのよさ 1 興味をひく写真の美しさ 1 適度な余白のよさ 1 Can-Doリストの掲載 1 11	辞書学習教材のよさ 3 イラストのよさ 3 写真の美しさ 1 教科書に適切な絵 2 選曲のよさ 1 一貫したストーリーのよさ 1 親しみやすいキャラクター 1 13	写真、イラストのよさ 9 付録やQRコンテンツのよさ 2 金沢を扱った題材 1 日本のよさを再認識させる内容 1 文字の見やすさ 1 小学校との接続のよさ 1 前置詞の図解のよさ 1 使用中の教科書に近いよさ 1 扱う図の多さ 1 18
意見数	88	73	80	63	74	70

発行番号・略称 調査研究項目	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
1 考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動の充実が図られるよう配慮されていること。	話し合い等の充実 5 話し合いの手引きのよさ 4 心情円のよさ 3 書き込み欄のよさ 1 具体的な発問のよさ 1 ワークシート のよさ 1 デジタル教材のよさ 1	発問のよさ 7 教材のよさ 4 話し合い等の充実 2 ねらいの分かりやすさ 1 書き込み欄のよさ 1	話し合い等の充実 4 教材ごとの「てびき」のよさ 2 教材のよさ 2 多様な見方のよさ 1 考える視点のよさ 1 考えるを探めるページのよさ 1	道徳ノートのよさ 9 学習の進め方のよさ 4 話し合い等の充実 1 中心発問がよさ 1	話し合い等の充実 5 メモ欄のよさ 3 教材のよさ 2 発問のよさ 1 話し合いの手順のよさ 1	道徳ノートのよさ 5 学習の手がかりのよさ 3 話し合い等の充実 2 発問のよさ 1	話し合い等の充実 4 発問のよさ 2 課題明示のよさ 1 適切な情報量のよさ 1
	16	15	11	15	12	10	8
2 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の充実が図られるよう配慮されていること。	体験的な学習の充実 4 身近な課題を扱うよさ 3 教材のよさ 2 発問のよさ 2 書き込み欄のよさ 2 テーマのよさ 1	体験的な学習の充実 2 考えを焦点化するよさ 2 日常的な思考のよさ 2 書き込み欄のよさ 1 比較できる教材のよさ 1	考えを焦点化するよさ 3 体験的な学習の充実 2 段階的な思考のよさ 2 題材のバランスのよさ 1 題材のよさ 1	体験的な学習の充実 6 話し合いの手順のよさ 3 考えを焦点化するよさ 2 道徳ノートのよさ 1 発問のよさ 1	発問のよさ 3 体験的な学習の充実 2 学習の手順のよさ 1 補助資料のよさ 1	発問のよさ 1 道徳ノートのよさ 1 手順の分かりやすさ 1 主題の捉えやすさ 1 学習の手がかりのよさ 1 発問的な学習のよさ 1	体験的な学習の充実 1 自主的に学習できるよさ 1 発問のよさ 1 身近な課題を扱うよさ 1
	14	8	9	13	7	6	4
3 主体的に学習に取り組み、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう配慮されていること。	振り返りコーナーの充実 4 題材のよさ 4 振り返りシート のよさ 2 心情円のよさ 1 表面のよさ 1 自分事にするよさ 1 書き込み欄のよさ 1	発問のよさ 4 振り返り欄のよさ 4 振り返りシート のよさ 4 振り返り手順の分かりやすさ 3 振り返りのよさ 2 教材の分量のよさ 1 題材のよさ 1	振り返り欄のよさ 7 今後の学びに生かせるよさ 3 考えを焦点化するよさ 2 題材のよさ 2	道徳ノートのよさ 7 自分事にするよさ 5 振り返り欄のよさ 1 他教科との関連のよさ 1	振り返り欄のよさ 6 補助資料のよさ 2 発問のよさ 2 題材のよさ 2	道徳ノートのよさ 6 学習に手がかりのよさ 2 学習ポイントの明示のよさ 2 自分事にするよさ 1	自分事にするよさ 4 振り返り欄のよさ 3 考えを焦点化するよさ 2 読み応えある教材のよさ 1 教材の配列のよさ 1 ガイダンスのよさ 1 書き込み欄のよさ 1
	14	15	14	14	12	11	13
4 金沢市や生徒の実情に即し、生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材の充実が図られていること。	身近な題材のよさ 4 様々なテーマのよさ 2 いじめと命の教材のよさ 2 情報モラルの教材のよさ 1 SDGs を取り扱うよさ 1 偉人の教材のよさ 1 郷土の伝統文化を扱うよさ 1	題材のよさ 4 各都道府県出身の名目のよさ 3 多様な題材のよさ 3 今日的な話題を扱うよさ 2 郷土の偉人を扱うよさ 1 キャリア教育の充実 1	郷土の伝統文化を扱うよさ 2 多様な題材のよさ 2 シーズンごとのテーマのよさ 1 インパクトある題材のよさ 1	いじめの教材のよさ 3 多様な教材のよさ 2 身近な題材のよさ 1 有名人を扱う教材のよさ 1 命の教材のよさ 1 SDGs を取り扱うよさ 1 読書を扱うよさ 1	多様な題材のよさ 5 今日的な課題のよさ 3 身近な話題のよさ 3 情報モラルの教材のよさ 1 生き方の教材のよさ 1 いじめの教材のよさ 1 郷土の偉人を扱うよさ 1	郷土資料や人物を扱うよさ 1 題材の人物のよさ 1 読み物教材のよさ 1 生命に関する教材のよさ 1 情報モラルの教材のよさ 1	郷土に関する資料のよさ 9 身近な教材のよさ 2 多様な教材のよさ 1 現代的な教材のよさ 1 読み応えある教材のよさ 1 偉人に関する教材のよさ 1 他教科との関連のよさ 1
	12	14	6	10	15	5	16
5 その他の特記事項 (各教科等との関連、学年相互の関連、挿絵や写真、図等の扱い、書体や文字の大きさ等)	表紙や挿絵、写真等のよさ 11 心情円があるよさ 5 フォントが大きいよさ 2 QRコードのよさ 1 本の開きやすさ 1 書き込み欄のよさ 1	フォントが大きいよさ 5 表紙や挿絵、写真等のよさ 4 レイアウトのよさ 2 目次の分かりやすさ 1 内容項目の分かりやすさ 1 行の分かりやすさ 1 他教科との関連のよさ 1 書き込み欄のよさ 1	表紙や挿絵、写真等のよさ 11 QRコードのよさ 4 他教科との関連のよさ 2 シーズンごとにテーマのよさ 1 色合いのよさ 1 学びの記録のよさ 1 表面のよさ 1 文字の配列のよさ 1	表紙や挿絵、写真等のよさ 7 道徳ノートのよさ 7 4つの視点の分かりやすさ 3 QRコードのよさ 1 表面のよさ 1 レイアウトのよさ 1	表紙や挿絵、写真等のよさ 7 教材のバランスのよさ 2 QRコードのよさ 2 学びの記録のよさ 1 メモ欄のよさ 1 本の開きやすさ 1 魅力ある言葉のよさ 1 語句説明のよさ 1	文字の大きさのよさ 7 表紙や挿絵、写真等のよさ 5 4つの視点の分かりやすさ 4 名目を掲載するよさ 1 学年相互の関連のよさ 1 資料の豊富さ 1 大判サイズのよさ 1	表紙や挿絵、写真等のよさ 5 教材配置のよさ 2 道徳ノートのよさ 2 キャリア教育の充実 1 発達段階に対応するよさ 1
	21	16	22	20	18	20	11
意見数	77	68	62	72	64	52	52

資料B 別紙

令和2年度教科書展示会 中学校用教科書 — 研究委員会 その他の意見 —

1 国語

東書

- ・本文が2段になっているのが多く、読みにくい。

三省堂

- ・学習の「みちしるべ」はやや大ざっぱで学習の進め方がわかりにくい。
- ・文字が小さい。
- ・文字が少し薄い。
- ・文字が小さく、すっきりしているが、書き込みにくい。

教出

- ・資料や解説の字は小さい。
- ・文字が小さい。

光村

- ・長年同じ教材が用いられ、変化が乏しい。

2 書写

東書

- ・情報量が多い。
- ・教科書のサイズが大きいため、毛筆練習の際に習字セットを置くと、机上のスペースが限られているため、手本としては使いにくい。

三省堂

- ・現代の歌謡曲の歌詞が硬筆や毛筆のお手本になっていたが、教科書に出てくる時の方が、学習に関連性が出て使いやすい。

教出

- ・情報量が多い。

3 社会（地理的分野）

東書

- ・九州地方の「自然と共に生きる人々の暮らし」という単元で南西諸島についてあまり触れられていない。
- ・日本の産業についての扱いが2ページのみ。

- ・「コーランではほかの宗教を信仰する人たちを認めており」というイスラム教に関する記述は不正確である。
- ・まとめのページに掲載されている問題の答えや解説が載っていない。（解説書にしか載っていないのは生徒の自主学習を促せないのではないか。）
- ・単元のまとめが思考、記述の工夫はあるが、生徒には難しい。

教出

- ・日本の産業の取扱が2ページで少ない。
- ・まとめのページに掲載されている問題の答えや解説が載っていない。（解説書にしか載っていないのは生徒の自主学習を促せないのではないか。）

日文

- ・日本の様々な地域区分のまとめは例がなく、白地図のみの記載であるので生徒が作業しにくい。
- ・まとめのページの文字が小さい。
- ・まとめのページに掲載されている問題の答えや解説が載っていない。（解説書にしか載っていないのは生徒の自主学習を促せないのではないか。）
- ・まとめがしにくそう。

4 社会（歴史的分野）

教出

- ・3ページで1つの小単元になっているところがあり、少しボリュームが多いように感じる。

帝国

- ・世界地図があるともっと良かったと思う。
- ・時代の流れが一部、前後している小単元がある。

山川

- ・記述内容が詳細で、中学生にとっては情報量がやや多すぎると思われる。
- ・フォントがやや小さい。
- ・学習課題に問題解決的なものがやや少ない。

日文

- ・文化を扱う小単元の文章量がやや少ない。
- ・文章量がやや少ない。

育鵬社

- ・日本史と世界史が混在し、分かりにくくなっている単元が一部にある。
- ・本文と特集ページの用語の扱いに一部差が見られる。
- ・1つの小単元で複数の内容に触れているため、分かりにくくなっている

ところがある。

- ・一部に、難解な言い回しになっている箇所がある。
- ・単元全体を振り返るまとめになっていない単元がある。
- ・近現代史に日本史の内容が多く、世界との関わりで考えることが難しいところがある。
- ・独特な文章表記や文言が見られ、一部、使いづらい単元がある。

学び舎

- ・難解な語句が、一部に見られる。
- ・中学生にとっては、難解な内容が一部に見られる。
- ・奇抜な表現が一部に見られる。
- ・資料やグラフがもっとあると良い。

5 社会（公民的分野）

東書

- ・メディアリテラシーを新聞のみを例にして扱っている。
- ・経済分野の用語の説明に一部、分かりづらいものがある。

教出

- ・一部の単元で文章量が少なく感じる場所がある。
- ・まとめ方が穴埋め中心になっているので、様々な難易度のまとめがあっても良いように感じる。
- ・使いづらい資料がある。

帝国

- ・平和主義のページの情報量が少なく感じる。
- ・内容がはっきりと整理されていない小単元がある。
- ・経済分野の用語の説明に一部、分かりづらいものがある。

日文

- ・まとめのページに物足りなさを感じる。
- ・文章量がやや少なく感じる。

自由社

- ・全体的に余白が多いように感じる。
- ・まとめのページがやや物足りない。
- ・文章量がやや少なく感じる。

育鵬社

- ・一部の政党に関する資料がやや多い。
- ・同じ時人物や資料が繰り返し登場している。

6 地図 ※意見なし

7 数学

大日本

- ・文字が小さくて多いので少し見にくい。

学図

- ・カラフルだが写真が少ない。

教出

- ・文字が多すぎる。

啓林館

- ・表紙の絵柄がもの足りない。
- ・色使いが微妙。地味でありあまり印象に残らない。
- ・ページの右側の振り返りがやや説明不足でわかりにくい。

教研

- ・ウサギを擬人化してイラストにしてセリフを付けているが、中3には少々幼すぎる。
- ・章末A、Bはもう少し問題量を増やしてほしい。

日文

- ・教科書に直接書き込んで、学ぶページがない。
- ・写真が少ない。イラストも少ない。

8 理科

東書

- ・定性的な部分が多く、深くまで学びたくなる教科書ではない。
- ・考える力が育てる教科書としては不適。
- ・縦長サイズであり、開いたときに全体が視野に入りきらない。

大日本

- ・単元配列順序が独特で、後半がやや難解な点がある。

教出

- ・文章量が多く、読み下すのが大変である。

9 音楽（一般）

教出

- ・「夏の思い出」の写真には尾瀬とニッコウキスゲが載っているが、ニッコウ

キスグは歌詞には出てこない。

- ・演奏形態などの挿絵がもう少しあったらよい。
- ・全体的にうるさい。目がちかちかして集中できない生徒が出てくる。
- ・見開きで納めて欲しいページがまたがっているため、思考の流れが止まる。
- ・能と歌舞伎の扱う学年が逆になったのは、能力的に難しい。

教芸

- ・説明が詳しすぎる。音楽の総時数を考えると消化しきれない。
- ・ワークシートがほとんどない。グループ活動に向いていない。
- ・全体的な構成が現在使用しているものとほとんど変わっていない。
- ・学習の指針を「色の濃さ」で判断するのは難しい。
- ・表紙のデザインが音楽だと判断しにくい。

10 音楽（器楽合奏）

教出

- ・ごちゃごちゃしていて、どこが大事かわからない。
- ・アルトリコーダーとソプラノリコーダーの楽譜が入り混じっていて分かりにくい。

教芸

- ・ギターコードのポジション図のイラストが分かりにくい。
- ・現在に使用しているものと、内容、構成ともに変わっていない。
- ・箏の楽譜が編曲されたもので難しい。日本古謡本来の「さくらさくら」の楽譜が欲しかった。

11 美術

光村

- ・配色など色の性質の説明が簡単すぎて分かりにくい。

目文

- ・配色など色の性質の説明文が長く、分かりにくい。

12 保健体育

大日本

- ・資料の量が多すぎる。

大修館

- ・色使いが少しわかりにくい。
- ・文字が多く、文字での情報量が多い。
- ・学習のまとめだけになっており、深まりへの問いかけが少ない。

学研

- ・「つかむ→考える→深める、調べる→まとめる」の構成がない。
- ・色味が少なく、見づらい。

13 技術・家庭（技術分野）

東京書籍

- ・教科横断的に触れる資料がほしい。
- ・日本人のノーベル賞にも触れてほしい。

開隆堂

- ・字が小さい。
- ・全体的に写真が古い。
- ・あまり興味をひかない。

14 技術・家庭（家庭分野）

東京書籍

- ・全体的に小さな文字が多い。

開隆堂

- ・写真の色が暗い。

15 英語

東書

- ・教科書が大きすぎる。
- ・レイアウトが細かすぎてごちゃごちゃしている。
- ・Starting Outのペアワーク、リスニングが扱いにくい。

開隆堂

- ・Scenesの絵が少しかたくるしい。
- ・単元の中で題材が細切れ状態になっている気がする。よって一連のテーマ性を持った「課題」設定がしづらい。
- ・単元の中に表現活動があるが、単元内容との関係が薄いため充実した取組がしにくい。
- ・本文とそれ以外の区別がしにくい。

三省堂

- ・季節感のない題材である。
- ・ドリルを多く扱っているせいか、表現活動の充実がもの足りない。
- ・絵をたくさん入れたせいか、字が踏まっている。
- ・各セクションのゴールがわかりにくい。

- ・文字が小さく大切なことを探すのに時間がかかる印象を受ける。
- ・文法面では内容が多くなりすぎている。
- ・全体的に見づらい印象を受けた。文字の大きさから重要文や基本文を判断することが難しい。
- ・1ページの情報量が多く、目が疲れてしまう。

教出

- ・文法の扱いが少ない。
- ・Tool Kitの絵がかたい。
- ・文量が他社に比べてすごく少ない。
- ・新出語句が2ページの両方に載っているのを1ページにしてほしい。
- ・写真と比べると絵が古い。
- ・重要な文が小さく見づらい。もう少し大きくても良い。文法のまとめも字が小さくてわかりづらい。

光村

- ・重要な基本文が目立たない。
- ・文字が小さい。
- ・何が重要か、ぱっと見わかりづらい。

16 道徳

東豊

- ・内容項目に対して、資料のレベルが低く、読み応えがない。
- ・内容のレベルが高くない、生徒にとって興味をひかない部分がある。
- ・わかりにくい。

教出

- ・タイムマネジメントが難しそうである。(2)
- ・発問後のフォローがない。

光村

- ・読み物資料として、物足りない。
- ・内容のレベルが高くない、生徒にとって興味をひかない部分がある
- ・読みにくい。

日文

- ・内容項目に対して資料のレベルが低く、また資料も粗いため、思考しにくい。
- ・内容のレベルが高くない、生徒にとって興味をひかない部分がある。
- ・ワークシートが使いにくい。
- ・発問後のフォローがない。

廣あかつき

- ・ノートの使い方が難しい。

日科

- ・内容項目に対して、資料のレベルが低く、読み応えがない。
- ・内容のレベルが高くない、生徒にとって興味をひかない部分がある。
- ・読みにくい。

資料 C

教科書展示会に寄せられた 市民の意見のまとめ

- 常設展示場（金沢市教育プラザ富樫） —
- 移動展示場（金沢市立中学校24校） —
- 常設展示場（石川県教員総合研修センター及び石川県立図書館） —

令和2年度教科書展示会 中学校用教科書

―常設展示場に寄せられたご意見― 意見用紙243通

1 国語 ※意見なし

2 書写 ※意見なし

3 社会（地理的分野）

<全般> ※意見なし

<帝国書院>

- ・「自然災害に対する備え」に関する説明が丁寧でかつ、多くの用語や資料が準備されている。「技能をみがく」コーナーがあって、写真・図なども多く分かりやすい。

<教育出版>

- ・全体的にコンパクトに説明しているが、もう少し丁寧な説明がほしい箇所もある。用紙の色が白っぽく明るいので、やや目に強くあたる感がある。

4 社会（歴史的分野）

<全般>

- ・歴史の教科書（中学生用）の戦争と平和について、戦争を二度としない国際的な史実を正確に学びながら過去をふり返り、平和を維持し先の戦争をふり返り、国際関係において平和な社会を築く為に、戦争で犠牲になった市民、国民の表現をていねいに書いてある教科書を授業に使ってほしい。
- ・明治から昭和にかけてのところをもっと書くべきではないか。
- ・近代史の裏側の事実を書いた場所がない。
- ・歴史の教科書の中に、天皇の成り立ちから現在の天皇までの系統が書かれている教科書がないのは、子どもに現在の天皇陛下の先祖を伝えることができないのではないか。
- ・P201 八田與一の台湾にダムをつくった話と銅像の写真。説明については東洋一の巨大ダムと一水路によって一台湾最大の穀倉地帯に生まれ変わりました。とよいことしか書いていない。教育出版はP189 同じ八田與一の写真だが横には、対話の植民地化についてきちんと説明している。
- ・東京書籍は歴史のできごとが詳しく事実にもとづいて書かれているが、育鵬社一部事実が抜けている。
- ・前回の採択で金沢市が「育鵬社」の歴史教科書を選んだことは大変残念に思いました。先の戦争や侵略について事実をそのまま伝えるよりも自国を賞賛する表現ばかりで教科書としてふさわしくないと考えます。「学び舎」は私立の難関校で採用されているそうですが自ら考えることを促すこれからの時

代にふさわしい教科書だと思いました。「教育出版」はテーマごとに客観的事実を伝えて子どもたちに考えさせる工夫がされて良い教科書だと思いました。公民も同様に人権を大切にすること、国際化社会にふさわしいものを選んでほしいと思います。

- ・沖縄戦について、育鵬社は軍が「県民とともに」戦ったことを強調し、国民が戦争に協力したことを美談にしようとしている。よくない。集団自決が日本軍によって追い込まれたものだと書いてある。教育出版、東京書籍、日本文教、学び舎はよい。嫌な歴史でも向かい合っていけないと過ちを繰り返す人間に育つ。
- ・ポツダム宣言について、天皇制の維持が目的と書いてある。帝国書院と日本文教と学び舎はすごい。育鵬社は天皇を美化して扱っている。どうして戦争が起こってしまったのかくり返さないためにはと学び考えるためには育鵬社は不十分です。
- ・育鵬社は学ぶべき歴史の事実記載が不十分なのじゃないか（本当に検定を通ったのか）と思いました。山川出版はなんだかこむずかしく書いてあるなという感じがします。学び舎は歴史の物語が見えるような記載でわかりやすかったです。
- ・学び舎は分かり易く、沖縄3. 11のことなど「これでいいのだろうか」と問いかけているので子どもに考えさせる機会を与えている。題名も「ともに学ぶ、人間の歴史」となっていて育鵬社の「新しい日本の歴史」の冷たさとはちがう。
- ・学び舎 「大名も武士もいなくなったー明治維新ー」と時代やテーマが分かり易いタイトル見出しがいい。教育出版にも万機公論に決すべしー新政府の方針とポイントをおさえた表題がいい。帝国書院 関連する事項が→でPが示される。歴史的な見方を広げる。教育出版も同様。
- ・歴史 育鵬社ではP200～「国際的地位の向上と韓国併合」という見出しで日本の日露戦争勝利アジア・アフリカの民族に独立への希望を与えたとかインドのネルーや中国の孫文が日本の勝利がアジア諸国に感動をあたえたとしているが帝国書院はP196アジア諸国の期待とは異なり日本は・・・植民地化を進め・・・帝国主義国としての動きを活発にしていきました。インドのネルーがその直後の成果は、少数の侵略的帝国主義諸国のグループにもう一圏つけくわえたというにすぎなかった・・・そのにがい結果をまず最初になめたのは朝鮮・・・育鵬社はいいとこだけ切り取って大切なことをかくしている。
- ・帝国書院は、時代区分の表し方、教育出版は「〇〇の日本と世界」という見出しで、世界と比べる意識があり、生徒にはとても良い。巻頭1ページは、長崎の平和記念像が大きく取りあげられ、現在の世界の国々や民族間のさまざまな対立について、歴史的背景を理解することが必要とのべている。「学び舎」は、沖縄平和記念公園の碑。とてもよい。
- ・「帝国書院」では、沖縄戦や原爆投下の事そこに住む人々の様子、日記などとても詳しく書かれていてすばらしい。「学び舎」でも、「荒れ狂う鉄の爆風」「にんげんをかえせ」の見出しで、体験談など生活していた人の言葉

で書かれている。すばらしい。「育鷗社」では、P249 沖縄戦で「集団自決に追い込まれた人々もいました」と記述。誰によって、集団自決に追い込まれたのか、主語がない。責任をあいまいにしようとしている。これは、歴史をきちんと見る目が育たない。また、P249「特攻隊員の思い」で、「・・・しかし負けたとしても・・・その後の日本人の運命にもつながりますよ。そう民族の誇りに・・・」美化している。

- ・歴史「山川出版」は、学問的にとても優れている。詳しい事実が大変豊富。直立二足歩行という言葉をしっかり使っているのは、「山川」「学び舎」「日本文教」。「山川」は、学問的にしっかりした説明がなされており、「学び舎」は、そこで生活している人、猿人の様子が生き生きと記述されている。「山川」は、資料やコラムでも、大変興味深く他面的な見方ができ、読んでいておもしろい。
- ・学び舎は、歴史に興味を持たせるエピソードからの導入になっている。写真等の資料もふんだんに使われている。育鷗社は、自国礼賛。アジア諸国べつ視の傾向が強い。「大東亜戦争」という表記そのものが時代錯誤である。このような教科書で学んだ子ども達が果たしてアジアの国々と未来志向の関係を築けるだろうか？日本の侵略の事実をしっかりと見つめる必要がある。
- ・「学び舎」見出しが、「木から下りたサル」「岩に刻んだ勝利」「町衆と信長」「始まりは女一揆」など、生活している人に焦点を当てていることがわかる。見出しの工夫は、「教育出版」もよい。「山川」は、「倭の中のクニ」として、日本列島のクニがP32にはじめて出てくる。それまで、世界の様子、人類の様子として、豊富な記述がある。他社も、日本文教はP30で「クニのおこり」教育出版もP30で「日本列島のあけぼの」、学び舎も、「稲作が始まるP28」からなど。育鷗社は、人類の誕生半ページの後すぐ、「日本人の祖先」そして、日本の事が続く。目線が日本だけ。これでは、国際的視野が育たない。
- ・今日、6月23日は、沖縄慰霊の日である。沖縄をどのように書いてあるのかの視点で歴史の教科書を見て、やはり育鷗社はひどい。沖縄県知事 島田敬や太田実少尉を美化して書いてある。それに対し、学び舎の人間の歴史には、正確に記者の頼を記述していて、荒れ狂う鉄の暴団を教えている。どんなことがあっても、育鷗社の日本の歴史は採用しないで下さい。学び舎を採用してください。
- ・教育出版は、満州事変において、新聞の果たした役割が述べられており、よい。(P232) 東京書籍は、新聞の果たした役割について述べられているところがよい。(P229)
- ・東京書籍「新しい社会歴史」の各ページ下の年表が今日まで、全体を通してみるのにわかりやすい。育鷗社「新しい日本の歴史」は、「日本の」はいらなと思う。女性史を学ぶページをなでしこ日本史としているが、日本女性を「大和なでしこ」という概念でとらえ、押しつけていく。良くないと思う。育鷗社は、P8～9イラスト人物・・・中学校でありながら「日本」に特化しすぎ。沖縄戦について、ページを大きく使っているが、ひめゆりの女子たちの

ことも扱っているが、全般に、戦争に対して献身的に行動したことが、強調されている。戦士者の文章からも、民族誇りなどを取りあげ、美化しようとしているように思える。軍のあやまちは明確にして、責任という言葉を全く使っていない。亡くなった兵士、軍人、民間人の命の尊さを学ぶのにしてほしい。東京書籍は、戦争の終結のページで、軍の「責任」という事実のあたりが記されていない印象がある。帝国書院・・・日本の神話の扱いが適度である。

- ・神話について、「育鷗社」では、「神話に見るわが国誕生物語」として、2ページにわたり、神話を記述している。神話と歴史的事実が混合しそうで、正しい歴史認識に至らない。「山川出版」では、日本書紀が中国の歴史書にならって、漢文で書かれたものであることを記している。また、コラムで日本の神話は中国、朝鮮半島や南太平洋地域、アジア大陸、北方など・・・世界の多様な文化の影響を受けて形づくられたと考えられる。と、記述している。「学び舎」では、天武天皇が国の統一をすすめる目的で編さんを命じたもの。他社にも、よく似た記述はあるが、育鷗社にはない。歴史と神話の混合は正しい歴史の学びとにならない。

<東京書籍>

- ・東京書籍、官民の歴史がバランスよくのっている。歴史を今の時代から未来へどうつないでいくか考えるコーナーもあってよい。
- ・「アジア太平洋戦争」の表記がある教科書はよい。東京書籍は、生徒目線から歴史の流れがつかみやすいと思われます。

<教育出版>

- ・沖縄戦について軍の降伏後、9月7日まで戦闘が続いたという事実をきちんととりあげているのがよい。
- ・歴史をさぐろうで工夫している。被抑圧者、マイノリティーをとりあげる工夫をしている。

<帝国書院>

- ・戦後の新しい憲法のところで、教育の民主化ととりあげているのがよい。中学校の歴史として大きくとりあげられることはないが大きな、大切な視点だと思う。
- ・人権の視点を一本の軸にして社会の中の人々の様子が伝わってくる親しみを持って学べるのが良い。
- ・沖縄、アイヌの状況について中世、近世、近現代と詳しくとりあげているのがよい。東京中心、政府の流れ、人物を取り上げるだけでなく全国各地でのような形で人々がいきていたのかを理解することにつながる。
- ・アジアの国々との関係、満州移民を取り上げている。沖縄戦の記述も多め、朝鮮で活動した浅川巧の紹介など被害、加害、有効、考えさせる記述多いのがよい。

- ・取り上げられている写真、人が多様でよい。
- ・かなりよい。歴史的な出来事を日本に都合のいいようにかくさず、記述している。様々なとらえ方も載せている。事実を知って考え、未来を作り出す子どもを育てていける。
- ・採択されても可。理由は、歴史学は考古学に沿って忠実な記述でアイヌ・琉球・中国・朝鮮など双方向の記述になっている。民衆から見た歴史が盛り込まれている。歴史を探ろう、タイムトラベルなど中学生の関心をひく。一方的通説だけでなく、議論、討論を引きおこす設定あり。

<山川出版>

- ・明治時代の労働者と社会問題と取りあげているのがよい。
- ・与謝野晶子の扱いが P208「新しい文学」「女性の文学者も活躍」。P196に「反戦詩・・・」と少しだけ。不十分な理解につながります。他の出版社は日露戦争の分野と関連して写真入りで記載されています。

<日本文教出版>

- ・限られたスペースの中で社会と人々との関わりが具体的になってよい。農村、都市の生活苦、戦時下の言論統制、女工の生活、足尾銅毒事件、沖縄戦でスパイ疑いで軍による住民虐殺など
- ・江戸時代、明治、大正と家制度と女性の問題をいくつかの場面で扱っているのがよい。そして戦後のところは平和で民主的な国家をめざしての見出しで憲法、教育、女性の地位向上へとつながっている。
- ・核廃絶原水爆禁止運動が2ページにわたって扱われている。今日につながる大きな課題を取りあげているのはよい。
- ・導入「歴史を学ぶにあたって」がわかりやすいです。(ということは全体がどういう視点で作られているのでよい。)
「歴史を学ぶのは、知識を豊かにするためだけではなく、“歴史に学ぶ”必要があるからです。・・・『歴史を学び歴史に学ぶ』の学習を、私たちの今と将来のためにどのように生かすことができるのか。いっしょに考えていきましょう。」の文が中学生には、すっと理解しやすいと思います。
- ・核兵器や沖縄の基地問題等、日本と世界の平和について正面から捉えているのは、素晴らしい。

<育鷗社>

- ・自身が中学生の頃、教科書あるいは授業でしっかり示されていなかった点を中心に見ました。現行の育鷗社は、良くまとめられていると感じました。教科書(教師)の役割は非常に大きく、その人の思想すら変えてしまうものがあります。公平に自ギャクにならない教科書を望みます。
- ・先の大戦について、国民は勝利を願って励まし合って苦しい生活に耐え軍民、力を合わせて一つになりがらばった。物量でアメリカに負けた。勝った方が負けた者を犯罪者にしたのはどうなのだって！流れを集約するとそのような

文脈になる。それでいいのか問題である。身分制度というものがあったという紹介ではなく支配者の都合で利用され差別、規制が強められていったという現実が書かれていてよい。

- ・教育勅語や地元八田技師のことも詳しく紹介され公民教科書でも育鷗社のは天皇陛下や地域の祭礼の記述も盛り込まれわかりやすく大変良かった。
- ・自虐的ではなく、正しい国家意識を養うに相応しい。日本人としての自覚を促す内容だ。育鷗社がよい。
- ・「あたらしい歴史のはなし」
歴史絵巻(P20)に神武天皇のイラストが実在の人物とともに記載されていますが、同列にありますと実在していたと誤解するのではないのでしょうか。日本の領土問題は慎重さが必要だと思います。北方領土として4島を1くりにしていますが、歯舞、色丹は北海の一部であり、択捉、国後は千島に入るのではないのでしょうか。(P266)
- ・「神話に見る我が国の物語」
神話が日本の歴史の土台になっているという、とらえ方に違和感を持つ。歴史は史実がもとであるべき。
- ・「私の歴史博物館」
1章~6章 テーマごとにコンパクトにまとめる学習のようだが、何を目的にしているのか分からない。資料選定も限定されており、誘導的な感じがする。
- ・採択不適の理由は、あまりにも(ロコソに)自国礼賛がオンパレード。偉人が導く歴史か? なでしこ日本史の意図は何か不明です。なぜ、男女別に分けて功績をのせる必要があるのか。近隣諸国(日、中、韓)との関係では双方向からのとらえ方がいるのにあまりにも自国本位すぎる。
- ・「日本への期待」
P200の「独立への希望をあたえました。インドの独立の父ネルーや中国革命の指導者孫文は、日本の勝利がアジアに与えた感動を語っています。」と記しているが、その後、日本がアジアに対して行った行動に対して、批判に転じたことは記していない。正しい情報とは言えない。
- ・P290~291の「歴史新聞をつくろう」の見本として「明治申本新聞」をのせているが、月日しかなく、何年のものかわからない。政府公報が一部にのせてあるが、日本のよいことしか書いてない。文中に「男たちは裸になって冷えきった体を暖めた」とあるが、裸になってあたためた中には、村の女性たちもいたはず。下の広告に、「だれでも読める大日本帝国憲法」の宣伝もある。これは、本物の新聞だろうか? 育鷗社が作ったものか。生徒に与える見本として、不適切である。
- ・P225「(三、一独立運動)・・・朝鮮総督府は、軍隊を出動させて鎮圧しましたが、これ以降、武力中心からよりおだやかな統治へと変わっていきました。」となっている。これはウソ! 軍が実権をにぎってずっと弾圧していました。P242太平洋戦争と(大東亜戦争と記述し、各アジアの義勇軍のことなど詳しく書かれ、大東亜共同宣言も詳しく書いている。「・・・現地の人々

が過酷な労働をさせられることもしばしばありました。・・・」としている。しばしばどころでない！義勇軍も自分たちで作ったように読みとれる。生徒に誤解をまねく。よくない！

- ・「戦時下の暮らしP244」
苦しむ国民生活の写真資料もっと載せるべき。戦争の勇ましさを伝わらない。
- ・「太平洋戦争」
併列に「大東亜戦争」と記述してあり戦争目的が全く違うことに歴史的に結着がつけられている名称を持ち出すことは間違った戦争観である。アジア太平洋戦争という名称が正しいのではないか。
- ・なでしこ日本史にとりあげられている女性は、ほとんど男性につくす女性ばかり。P102「日野冨子」は、高利貸しや米の買い占め・・・通行税収入で得た利益で義政を支えたことになっている。こんな女性をとっているのはおかしい。
- ・今回は1教科書1社の教科書だけをみさせていただきましたが、それでも3時間余りかかりました。どの教科書がいいか、良くないかの意見も大切ですが「よくない」との評判の高い教科書を採択しないようとの市民の要望に対して、当の悪評教科書を採択した教育委員会のトップの方は「検定に合格しているのだから問題はない」と言われたそうですが、たしかにそのとおりです。採択の決定権がそれを使う現場の教員や生徒にないことが問題だと思います。教科書に目もおしてない（と推測できる）、上記のとおりすべての教科書に目を通して判断することは現実的に不可能なので教育委員の方々は自らの責任（負えない怖さ）に恐れおののくべきだと思います。育鵬社 歴史教科書が採択されないように願うものです。
- ・日本国憲法の制定について、育鵬社はGHQの押しつけとし戦争放棄と異例だとしているのは憲法に対して自虐的である。生徒にはよくない。他社はすべて日本の民間の意見を取り入れて草案ができたことを記述している。
- ・この教科書で学ぶことが恥ずかしい。絶対、採択はしないでください。他社のもののように「歴史の学習からどう学びどう未来を切り拓いていくのか視点を持つ」というものでなく、「おもしろい日本の歴史の旅をしよう」という考えさせないものになっている。民衆、庶民についての記述がほとんどない。女性史として取り上げられている「なでしこ日本史」男性を支える姿が書かれているものが多い。アイヌ民族や沖縄を軽視して書いている。アジア侵略を賛美「大東亜戦争」と記述等、アジアの国々の痛みを理解することなく生きていく子どもたちをつくってしまう。
- ・写真はほとんど男性。なでしこ日本史として別枠でちょこっと女性が出てくるのはお飾りの問題。
- ・武士道を大きく取り上げていて人々の政治への不満への対処、厳しくおさえつける（治安維持）が武士の役割。人々を監視、抑圧の制度（五人組や村八分など）が自治として記述されている。これは自治ではない。問題。
- ・大日本帝国憲法の条文、国家の仕組み、教育勅語と2ページを使っているの

に、現在につながる日本国憲法の扱いが薄すぎる。

- ・古い教科書のタイプ。読んでいても面白くない。政治を行う側の人、国家のシステムを順に紹介するところは学びがいない。
- ・全国の採択で6%台の育鵬社を金沢市が採用していることを憂えてきた。決して再採択してはならない。生徒たちの将来のために。歴史は好都合、願望の物語であってはならない。時代を無視し「わが国」が主語となって記述され、その優位性を強調していることは歴史を学ぶ姿勢と歴史的な思考を子どもたちから奪っていく。「なでしこ日本史」には、この教科書の遅れたジェンダー意識が表れている。歴史の記述は為政者の立場からである。歴史の実態である民衆の姿は従属的にしか描かれていない。歴史は関係史である。「文禄・慶長の役」は中国・韓国・朝鮮との歴史との歴史問題と機転とされることが多いが、侵略戦争であることを十分に伝えない。片面的な記述に終わっている。朝鮮半島、台湾、中国大陸の領土化の起点が幕末から明治であることがぼやかされている。近代化合法論が根に感じられる。「ひとりよがり史感」で近代史が描かれている。独善的なアジア史観につながる。これではアジアで子どもたちが孤立する。大日本帝国憲法の立憲性を過大に評価し、絶対主義天皇制が民を抑圧していったことがぼやかされている。日清戦争は韓国併合の本格的な植民地化の起点となったが「独立国」と認められたと、日清戦争を評価している。独善的な歴史観である。
- ・1904日露戦争1905ポーツマス条約については、「有色人種」「黄色人種」「白人」と人種差別意識をうえつけていくような表現がされていてよくない。又、韓国を植民地化したという史実が書かれていない。（他社は「韓国における日本の優越権が承認」との記載あり。）
- ・よくないと思います。導入、「歴史」をなぜ学ぶのかの説明には「日本“をみる視点しか入っていない。日本が継続していること（「日本」という名前は古代からのものではないのに）尊敬できる歴史上の人物のこと。視点が狭いです。他教科書のように、他国との関わりの歴史を学ぶことが世界の国々とのよい関係を築き、また、世界の中の日本を理解することにつながり、又、平和な地球の未来をつくることになるという視点は入っていないです。
- ・「中学校歴史」近代日本の軍事行動は日本を守るために必要だったという意識を生徒たちの心に植え付けるような構成、記述になっていると思いました。記述された事柄が自然発生的に起きてきたような書き方で原因や結果を考えさせる力が弱い編集でよくない。全体を通じて国民（人民・庶民・生徒たちの祖先）の姿が全く見えず生徒の興味・関心を引き起こすのがむずかしい。教科書として不適當。
- ・P193で“教育勅語”について書かれているがその中で「もし国や社会に危急のことがおきたならば正義と勇気をもって公のために働き、永久に続く祖国を助けなさい」という要約が入っている。「また、国民の務めとして、それぞれの立場で国や社会のためにつくすべきことなどを示し、その後の国民道徳の基盤となりました。と結ばれている。これは一人一人の人権や平和を大事にする日本国憲法に反するもので、国民一人一人の命よりも国や社

会の方が大事という考え方であり、この「教育勅語」をわざわざ取り上げて「国民道徳の基盤」と表現することは、あまりにも非常識でこんな道徳感を子どもたちに教えることはあってはならないと思うので、この教科書は絶対使ってはいけない！と思います。

- ・P263の日本国憲法についての記述では「日本側は大日本帝国憲法は近代立憲主義に基づいたものであり、部分的な修正で十分と考えました。」「議員はGHQの意向に反対の声をあげることができず・・・」などの表現を使い、日本は本意ながら受け入れた・・・ようにもとらえられてしまいますが実際は多くの国民がこれを受け入れ民主主義が確立し平和な国になったのだと思います。こういう大事な点をきちんととらえて書く必要があると思うのでこの教科書はよくないと思います。
- ・日本列島の「文化の宝庫」「経験の宝庫」宇宙と人類の誕生モノサシ、日本の歴史モノサシとしているが、世界や宇宙は前書き程度「日本」のすばらしさ誇張している。モノサシはどう見ても日本のモノサシが中心。これでは、国際社会を生きる生徒は育たない。
- ・不採用にすべき。日本の国家主義の記述が目立ちナショナリズムをあおる面が目立つ。天皇や日本の賛美が目立つ。民衆の書き方が弱い。沖縄は軽視され、差別的歴史を是認し、全般に社会的弱者への対応が少ない。この教科書は、生徒に考えさせるという目的より、ある一定の考え方に誘導する不良な教科書である。
- ・P243の「アジアの国々を欧米による植民地支配から解放し、・・・」という記述や「太平洋戦争」のことを「大東亜戦争」と名付けることは、事実や他の教科書との反対のとらえ方で、こういう歴史のとらえ方をした教科書を使い、子どもたちに教えることは、「過去の過ち」を繰り返さないためにも、絶対によくないことだと思います。育鷗社の教科書は、使わないでください！
- ・P42の「日本人の宗教観」として、古くから神々をまつることを、「神道」として、・・・と記述しているが、自然信仰はどの国にもある。日本だけが特別ではない。「神道」は別である。特に、明治以降、天皇制のもとに作られた神社は、神社神道、天皇崇拝が戦争に利用されたことに全く触れていない。あやまった神道を理解させることになる。良くない。

<学び舎>

- ・「・・・すめらみことは戦ひに おほみずからは出でませぬ・・・」と後半の部分まできちんと入ってすばらしい。
- ・エピソードがたくさん紹介しており、歴史を楽しく複眼的にみる内容となっている。子どもたちだけでなく、大人も読める教科書だと思う。
- ・一つの歴史的事象の中にあつた具体的エピソードをつないで歴史の教科書になった。読んでいてドキドキする教科書。許可書からその時代社会を生きる人々が見える。大判なのでちょっと扱いにくいけどなかなかいい教科書だと思います。写真に市民の姿が比較的多くのっており、中世における働く女性や子どもたち、琉球処分、アイヌのどうか政策、水平社、女工の実態、植民

地の状況、移住など社会の目立たない部分もとりあげているのはよい。

- ・「人間の歴史」の視点がとても分かりやすくよかった。
- ・とてもいいと思います。分かりやすい写真と文章表現で大人が読んでも興味深く、ひきこまれる内容になっています。また、P122の百姓一揆について「この一揆は、よく年の夏までつづき、幕府に領地がえの中止を認めさせて終わりました。百姓たちに犠牲者は出ませんでした。」一般的に一揆では全員死刑というイメージがあつたがこういうケースもあつたということを取りあげて記述されていることがとてもいいと思いました。P178の「学問のすすめ」の記述でが現代語訳をのせて、実はこういうことも言っていたという事実をのせ、さらに、それを知ってもクラスの議論ではいろいろな角度から子ども一人一人の思いをとりあげている。全体を通して、平和や人権を丁寧に伝えながら子どもたちにいろんな角度から深く、より広く考えさせる視点もはっきりしていてとてもいい教科書だと思います。
- ・良書であり、歴史を為政者の視点ではなく、民衆や社会の事実やエピソードをたくさん捉えているのは良い。子どもたちに、未来の自分たちの生き方を考えさせたいという歴史教科書の本래の目的に沿っていると思う。
- ・とてもすばらしい教科書だと思う。「為政者が作っている歴史」ではなく、民衆の生活にも光をあてている。苦しんだ人がいることも、記述し具体的なエピソードも多い。自分と社会を問い、未来を切り拓いていく力を育てたいと思う。
- ・最適である。理由は、切り口が中学生の感性、興味、意欲にあっている。質問の設定も良。民衆の歴史をベースとしている。事実の表記が双方向からのとらえ方で良。世界の中の日本を意図している。

5 社会（公民的分野）

<全般>

- ・「自衛隊の国際貢献」の見出しで、民のやっているさまざまな活動、平和のとりくみは出ていない。核のもんたいへの人々のとりくみもなくこわがらせるだけはおかしい。
- ・憲法については、権利の制限についての記述が多い。東書、敬出、日文教ともに、「個人を尊重する日本国憲法の基本原理」ということで、日本国憲法が、家父長制からの脱却したとの背景が弱い。
- ・「東京書籍」「帝国書院」は目にやさしい。「日文」と「育鷗社」は、紙が白すぎてグラビアみたい。「東京書籍」は、巻頭3で、「あたらしい憲法のはなし」の戦争放棄の挿絵があるのが、教科書会社の想いが伝わる。巻頭1でも、福島県双葉郡の中学生の写真を出し、帰還困難区域や居住制限区域などに指定されたことを書いている。原発事故についてはP195にもくわしく記されている。しかし、「育鷗社」は、原発事故については、放射性物質による深刻な被害をもたらせただけ。原子力の利点を述べ、核融合発電の写真ものせ、他の電力と同レベルに見える。おかしい。
- ・「東京書籍」「日本文教」「帝国書院」「教育出版」には、政府交付金の事

が書かれているが、「育鵬社」にはない。「東京書籍」「日本文教」「帝国書院」には、「一票の格差」も出ている。

- ・帝国書院、東京書籍公民「あたらしい憲法の話」はとても良い。人権についてもくわしく説明されている。資料が正確で、しっかり良いところで掲載されている。安倍総理の写真がたくさん出ているのが、気になる。帝国は、平和主義についても、ていねいに書いてある。
- ・教育出版 P76 の日本の平和主義の現状 ラスト、これに対しては・・・批判の声も上がりましたとの表記は如何なものか（適切でないと思うが）これとは一体何に対しての・・・）日本教出版 P71 公民の設問項目に意図を感じる Q 今の憲法のもとで自衛隊の存在は 76% 合憲・違憲 Q 自衛隊の明記 56% 賛成（読売新聞）
自衛隊は合憲で条文で自衛隊の存在を明記するように教（示）唆しているように感じる。安倍さんの写真に「センノウ」される。（写真を使いすぎる、サブリミナル効果）
- ・東京書籍、帝国、日本文教では国民権でふだんから政治に関心を持ちさまざまな意見を検討し投票だけでなく行政に意見を送るなど具体的な意見表明を促す記述があるのがよい。公民は政治に参加する人を育てる教科書です。ちなみに育鵬社は公民とは国防に参加する人のことと古代ギリシャからの話を出している。時代が違う。そこから、どのように発展したかが大事。歴史を学んでいない会社に教科書を作る資格なし。
- ・帝国書院はほぼよい。現在の社会を理解した上で未来に向けて課題も示した上でどのように関わっていけるのか、みんなのことはみんなで考える・・・という学習の目的としてあげられその視点での記述が多い。中学生が住民投票に参加している例も載せている。日本国憲法の下、実現されていくべき未来が詳しく述べられている。自分のこととしてかなえられていくべきなのだと思える。教育出版はとても良い。SDGS をベースに地球上の誰も取り残さずに未来を築くことを大事にしている。日本国のよさ、憲法の素附らしさも課題となっていることも分かり易く記載されている。議会傍聴なども取り上げ 18 才から授業に参加しようという意欲が高まるものとなっている。
- ・日本国憲法の制定について育鵬社では「ほとんど無修正のまま採択」と記されています。又、民間の案を参考にした記載はありません。不十分です。他の出版社では、GHQ が日本の民間団体の案を参考にしたことや、又、GHQ 案を日本が修正したことについて触れてあります。山川はちょっと不十分かなと思います。
- ・心を痛めた感想を一点。育鵬社公民の教科書。写真に載せられている（P62）“円光寺子ども食堂”。子どもたちの姿が映し出されている。この表示が当該の子どもたちの差別や偏見につながっていくのではないかと危惧する。大きな人権問題だと思う。この教科書が採択されることがないように願う。歴史教科書帝国書院では、各時代の特徴が大きな絵で示され資格に訴えて分かりやすく感じる。

- ・「公民」を学ぶ目的などについての表記 帝国書院は、「自分のことは自分でいながらも、みんなのことはみんなで考える。それが公民的学習分野の核心部分」となっていてナルホドと思いました。育鵬社・・・「公民は自分を国や社会などの公の一員として考え、公のために行動できる人のことをいいます。」となっており、教科の名称に特定の価値観を押しつけた形に表現しています。自由社は、「・・・私たちは日本という国家の国民です。日本を支える公民として・・・」は戦前の考え方そのものです。
- ・中学公民の比較をさせていただきました。時間の都合で 3 社を比較しました。教育出版のものが、現在の問題を明確にしていると思いました。（Best）自由社は、旧態でした。育鵬社は、思想の偏りが見られました。
- ・育鵬社 P62。子ども食堂の写真、モザイクもなく、人権上問題あり。他の子どもの写真は、後ろから撮ったものがほとんどなのに。（他の教科書も同様）
- ・教育出版は、全体的に学習しやすい進め方になっている。各章末には、「学習のまとめと表現」があり、生徒にとっては、ポイントが示されていて分かりやすいと思われる。また、表やグラフも多く、理解しやすい。育鵬社は、少し偏った視点からの説明が多いようだ。安倍首相の入った写真が他の教科書に比べ、多数掲載されていて、違和感が残った。日本文教出版は、全体的に丁寧な説明がされている教科書だと思う。本文で扱っていないことも、コラム欄や資料、グラフ等で補足されていることがあり、信頼性が高まるのでは？
- ・教育出版は良書。憲法、人権、男女共同等の現代の基本問題詳述し、問題提起している事は良いと思う。細部の足りない点は、話し合いや討議の中で補っていくことは言うまでもない。育鵬社悪書。安倍首相の写真がたくさん掲載され、異常である。皇室も多い。国体維持、体制護持の偏見教科書である。安倍首相の様子生身の不誠実で虚色に満ちた卑怯な人柄を賛美するなんて編集者の人格も同様であろう。子どもたちを大人の都合のよいように育てる意図は最低である。
- ・「育鵬社」新しいみんなの公民は、マスメディアの扱いのところで、「自衛隊の明記」を取りあげているが、憲法改正が良いかどうかの話し合いに通じる。担当教師の進め方次第で、生徒の学びを方向づけることになる。取りあげるのが、適切でない。隣の新聞も、朝日新聞だけを批判している出版社の意図を感じる。安倍首相の写真が多すぎる。皇室の写真も多い。政府は、そのときのものであり、国というものと混同するから、一時的なものを取りあげない方がよい。「教育出版」最後の学習資料が良い。「東京書籍」領土問題で、日本側の主張のみ示しているのが、良くないが、人権について詳しく、書かれているかなと思う。「日本教育出版社」異なった意見や考え方を取りあげているところが良い。

<東京書籍>

- ・学びの流れが自然。自分たちの生きる社会と人権と基本とする憲法の理念から入って深めていき世界に視野を広げるのは適当。

- ・東京書籍の採択については、可・不可は半々位です。内容はまあまあ可であるが、とても読みづらい。配置に工夫・余裕がほしい。

<教育出版>

・P33 「ルールを見直すこと」

今年、「対立と合意」「効率と公正」がどの教科書でも、とりあげられているが、この観点で「ルールを見直すこと」がとても良く書かれているのが教育出版である。

・P207 公民の窓「核兵器禁止条約と日本」

不参加の立場と表明した日本に対して国内外から疑問の声もあがったこと、原子力発電のプルトニウムの問題。他社はここまで書かれているものはない。国連会議に欠席した日本の席に置かれた折鶴の写真はとても良い。

- ・採択に適している。中学生にあった興味関心の仕方を念頭において、工夫がみられる。憲法についての取り扱いが丁寧。経済について、消費者を守る視点がていねいである。すべての項目について、市民の立場にたって呈示されている。

・「人権のない世界に P70」

「国際連合を中心とした人権に関する主な条約や取り決め」の資料が日本の批准年、加入年も入っておりとてもよい。「子どもの権利条約が定める主な内容 P71」子どもに分かりやすい表現でとてもよい。

- ・なぜ「公民」を学ぶのか？分かり易い。(導入)公民学習のゴールとして10年後だけでなく20年後、30年後さらに50年後の自分や地球の持続可能な未来を想像、創造しようようにと目標を明記している。

- ・核兵器の問題で日本は「平和的に脱得する」役割を担うべきと書かれているのは憲法にのっとった教科書の執筆者提案として好ましい。教科書だから中立に・・・何も主張しないというのはどうかと思うので・・・

- ・全般 教育出版がよいと思います。教育出版、東京書籍、育鵬社、自由社を読みました。教育出版の導入部分と学習のまとめは4つの中でもよかったです。第一章の現代社会のとらえ方、第二章の憲法はとても大事な学びになるところです。教育出版は家族のあり方にしても多様性があると記述し、LGBTや人権、平等についても丁寧に書かれてありました。教科書の下の方に小学生の学びとの関連やSDGSとの関連も示されていて学びがつながるようになっていてよかったです。対立と合意も教育出版がわかりやすく、ルールが変わった事例も(制服のことも中学生の身近なこと)のせていてよいと思う。

- ・～ともに生きる～という副題がよい。その副題のもとに小さいけど大切なことがのっているのがよい。(ヘイトスピーチ、ハンセン病、LGBT、核兵器禁止条約など)

- ・適切でわかりやすい写真がたくさん取り上げられていて、内容も充実していて、とてもいいのでこの教科書がいいと思います。

- ・「憲法はこうして生まれた」

立憲主義のことがきちんと書かれて98条の中身も記されていてよい。ベアテさんの願いも刻まれている点が良い。「差別をしない、させない」の頁の記述も良い。「自由ってなんだろう」2015夏の国会前の印象的な写真も。

- ・ズームイン「国民とともに歩む天皇」(P282)では、敬語での記述になっていますが、現行憲法の主権在民の精神からみると、ふさわしい記述とはいえないのではないのでしょうか。

- ・真実を学び民主的人格をもった人間を育てるうえで好ましくありません。不採択を望みます。

- ・社会福祉の自助、共助、公助を段階つけて考える記述はそれでよいのかギモンだ。国はそう決めてそう言っているが憲法で保障されている人権としてとらえないと自分が苦しいのは自分に力がないからというふうにとらえてしまうことになる可能性が大きい。子どもの頃からそのようくり返し学ぶことはよいと思えない。

<帝国書院>

- ・憲法「基本的人権」のイラストや図解が大変わかりやすい。教育出版も同様。確認！表現！でさらに学びが深まりそうだ。

- ・日本の平和主義について「平和のためにどのような努力をなすべきかは国民全体で考え続ける課題」と子どもたちもその一員であるように扱っているのがよい。

- ・社会をよりよくしていくために個々の努力にのみ負担を迫らせるだけでなく社会全体で考えるという視点で例が挙げられたり写真が使われているのがよい。

- ・公民 帝国書院 みひらき、共生、未来の展望となる写真がのっていて学びへの期待となる。よいと思う。

- ・帝国書院 公民 差別と平等について 身近な問題を取りあげているのがよい。他人事(教科書の中のこと)と思わず考えるきっかけとなりよい。

- ・採択に限りなく不可に近い。理由は、国民主権と象徴天皇制は矛盾なのに、ぼやかしている。それ以外は憲法については良。アクティブ公民で双方向の討論を認定しているのは良。経済を消費⇄生産と分離してとらえている危うさ。

<日本文教出版>

- ・興味づけに工夫あり。採択については、可・不可は半々位。価値観がわかるものについて、やや一方的。領土問題など。

- ・P267 教育基本法制定のところで、「教育の目的は人格の完成と平和社会の形成者を育てること・・・」と記載されていて(他出版社と比べ)一番よいと思います。

- ・男女共同参画社会について、両性の本質的平等、個人の尊重、等しく生きる権利 このように出てくることばを子どもたちがシャワーのように浴びて育つことを期待したい。

- ・“社会におけるきまりの意義”について細かくていねいにはじめに語っている。ちょっとかわった導入で、ちょっと面倒だけど等しく生きる権利と個人の尊重が基本とあることで納得して“公民”の学習に進めるだろう。

<自由社>

- ・採択に不適。理由は、自国中心がロコツ。家族について、ステレオタイプしか取りあげていない。遺産相続って何でここに取りあげる？立憲民主政治に反するのが、大日本帝国憲法のはずである。他 数々の間違いあり。アクティブに深めようは、あまりにも誘導的。大変危ない。
- ・天皇制、国旗、国家、愛国心の記述が他教科書に比べてあまりにも多く一方、公民全体の学びが偏っている。
- ・現憲法はGHQがひそかにつくった。受け入れる以外の選択肢はなかった。という記述は一方向的すぎて問題ではないか。
- ・見開きのすごいぞ日本（の技術は）、全体としてグローバル化の時代、もう少し他国へのリスペクトがあつていい。
- ・国際平和協力＝自衛隊ではない。自衛隊のみ大きくとりあげるの、もんだい。核の脅威など他国を危険な存在としている。国としてこうしているだけでなく人々が世界の人たちとつながって平和な世界をめざしているということなど子どもたちにめざす明るい方向性をとりあげるべきでないか。
- ・家庭は社会を支えるもの、家族のきずなが社会の基盤。家族間の協力、配慮、努力、親権が強調され憲法の中心、人権についてほとんど肯定的に扱われていないのは不適。人権は世界の中のもんだいとして出ているが自分事として考えられる教材でないといふ心に落ちない。
- ・日本はすごい。家族はよりよい社会、国、文化伝承の努力につながるもの、天皇のお仕事、安全保障の課題、国旗、国家、領土もんだい、核兵器もんだいなど他教科書に比べて分量が多く主張も一定方向にあるようで不安になる。
- ・つかわないで下さい。P26 民法と家庭では必要と思われる範囲内で叱ったり罰を与えることができます（懲戒権）や子どもは親権者の許可がなくては職業につくことができません。（職業許可権）など最近の「児童虐待」や子どもの権利条約などもかけはなれた記述が有り教科書として不適格です！他にも愛国心や家族愛を必要以上に大きくかたよってとりあげているのでつかわないでください！

<育鷗社>

- ・P62 右上に写真がのっていますが、個人・住所が特定されてしまいます。非常に困っています。住むのが大変になってしまうので、市内・県内での採用はやめて下さい。
- ・本人の承諾なく写真が掲載されている。（P62 右上写真）写真のテロップよりほぼ地域・年齢等推定できる情報が記されており、インターネットの時代

には簡単に本人が特定され、今後のイジメが危惧される。本人はこの話を受けてすでに、塞ぎこんでおり、親として心配であり同じ学齢期の子が見ることに不安を覚えている。このような肖像権侵害の教科書の採択に断固反対である。

・「国の政治のしくみ」

政府、安倍総理、安倍内閣の写真が多く、政治が政府（内閣）によって行われているとの印象がある。

・「憲法改正のしくみ」

あたかも憲法改正が必要であるような記述であり、日本国憲法の理念をもっといねいに説明していくことが大切だと思う。

- ・大日本帝国憲法と日本国憲法のとらえ方が、違うように思う。（40P）天皇中心の明治憲法から国民主権になった日本国憲法は多くの国民に受け入れられている。その記述はよい。

・P48 の国民に国防の義務がない徹底した平和主義は世界的には異例です。とても、否定的な表現です。他の国にも憲法で国防の義務を課している国があると他国の憲法と比べている。本書は巻頭P12の「公民」についてでも、「公民」の意味として、古代ギリシャの都市（ポリス）では・・・政治に参加して外敵から都市を守る防衛義務を負う「公的存在」として「公民」をとらえています。現代は国際協調の時代。昔のことを現代にそのままあてはめるのは、歴史を学んでいない。教科書としては、不適切です。

- ・P157「子どもの貧困」と「子ども食堂」学習を深めようと、子どもに、なぜこうなったかの理由をあげずに、ゼロから考えさせ、相当数の該当者（貧困育ち人）には、酷な問題ではないか。拉致問題で国のあり方を問うなら、沖縄に対する米国の事も取りあげるべきではないか。

・採択不適の理由は、余りにも公が第1でその下に従として個という態度があらわれすぎ。（政治・経済・社会すべてにわたって）社会をかえていくのは市民という観点が必要。

・P80の政党の選挙公約集の表紙。これは、選挙の公平さに欠けるのでは。特に、党首の顔が大きく載っているのでは。不適切です。3年後に選挙権を持つ、若い子どもたちにインパクトを与えることになりませんか。

・「日本の新しい歴史」を子どもたちに使わせないでください。神話が出てきたり、天皇に関する記述が多いようにも思われます。

・日本国憲法の記述「押しつけられた憲法」でなく誇りある平和憲法として子どもたちに教えてほしい。「韓国併合」もロシアから守るため・・・当事者の立場に立った視点必要

・大変よくない。採択しないでください。「公の民と書く公民は、自分の国や社会など公の一員として考え、公のために行動できる人」と見開きに。P11には曾野綾子の「国は一つの国家にきっちりと帰属しないと「人間」にもならないし、他国を理解することもできないとある。「よき日本人であれ！」という主張で教科書が作られている。日本賛美が過剰。大日本帝国憲法を高く評価し日本国憲法をおしつけられたものと印象づけている。「基本的人権

の尊重」についても表面的な記載に終わっていて自分たちの生活に引き当てて考えていくということにつながらない。

- ・ふさわしくない。一読して政治権力の側からの価値観に貫かれている。「公」を個人、私と対立概念のように位置づけ国家社会により個が制約されることを原理のように擦り込んでくる。これが冒頭である。そして長年の悲願である人権、非武装平和の考え方を憲法学習によってしっくりとこれから習得しようとする生徒に早口に憲法改正を議論させる。これは改憲の刷り込みである。社会的に見解の分かれる問題について政府見解を大きなページ数を割って展開しているのも特徴的である。政府の考え方の擦り込みである。国際連帯により地球規模の課題を解決していく時代に国家間の対立を殊更とりあげ国家主義の世界観を擦り込んでいる。採択してほしい公民教科書は、個人の尊厳と市民連帯の価値を認識し地球市民として生きようとする指針を提供するもの。「立憲主義」を主権者として政治権力を監視、コントロールする正当な権利として深く学ぶことができるようなもの。基本的人権、平和は、不断の努力によって保持されるものであり、生徒たちにその主体となることを深く意識させるもの。
- ・日本国憲法の制定について、なぜ、育鵬社は「国民主権」「平和主義」「基本的人権の尊重」のことは太文字にしていらないのでしょうか。ダメだと思えます。これこそが歴史の学習を通し、学ぶ大切なことばではないでしょうか。ちなみに平和主義以外は本文には記載されていません！
- ・天皇が出てくる場面が多すぎる。(皇室、日の丸も入れるともっと多い)なぜここに？というところもあり。
- ・他社に比べて、現政権の解釈を主張・補強し、客観的・科学的な記述が弱い。基本的人権の尊重よりも法律や「公共の福祉」で制限される。平和主義も自衛隊や安保条約を重視し、日本の防衛上、平和主義が制約されるというような記述で、これでは世界に誇る日本国憲法の平和主義の素晴らしさが生徒たちに根づかない。
- ・日本国憲法はGHQの案、西洋の思想という主張が写真や文章に表れている一方的主張はおかしい。
- ・公民の子ども食堂は金沢市内のものが写真付きで解説されています。「貧困問題対策として」と説明されていますが子どもの顔がはっきりわかる写真ですね。保護者や子ども本人、運営側の承諾は得ているのでしょうか？
- ・P177 エネルギー問題解決への様々な取り組みとして核融合発電の写真があるのはなぜでしょう。また P176 の記述の中で原発は「ウランをくり返し利用することで大きなエネルギーを安定的に得られる利点」と記しています。プルサーマルは破綻しています。原子力は安定したものでないことは福島原発事故でわかったはずですが。この記述はおかしいです。
- ・P42～43③「国民主権と天皇」のところでもコラム「日本の歴史 文化と天皇」で「日本の歴史には、天皇と精神的な支柱として国民が一致団結して国家的な危機をのりこえた時期が何度もありました。明治維新や第二次世界大戦で焦土と化した状態からの復興はその代表例です。」と書かれていますが天皇

を神のようにまつりあげたために日本国民が自分の命よりも天皇を大事にしてそのために多くの尊い命がうばわれてしまったという事実があるはずですが。そのことをきちんととらえて記述しないで戦後復興したのは天皇のおかげのような書き方は違っていると思います。このほかにも疑問に思うところがたくさんあるのでこの教科書は使わないで下さい。

- ・「各国の憲法改正回数という一覧表が上で「各国で必要に応じて比較的頻繁に憲法改正を行っています(P52)と記述し改正したことのない日本が異例であるかのように見せています。これは生徒への誘導です。その国ごとに憲法のあつかいがちがいます。法律のようにこまかいところまで載せている国もあります。また韓国の改正回数が「9回」となっていますが、いずれも現行の憲法制定以前のもので現行憲法では一度も改正されていません。育鵬社教科書は時代のちがうものを比べたり基準の違うものと比べたりと学術的に大変問題があります。教科書として欠格です。
- ・子どもの絵の吹き出しに、「五箇条の御誓文の理念は、日本国憲法にも生きているのかしら。」との趣旨が不明な記載がなされています。これは、子どもの意識を誘導しているようです。育鵬社には、このように子どもの意識を誘導しているようなところが他にも多々あります。憲法改正や憲法の成立、北朝鮮や中国との軍事的緊張を高めているなど、国際社会を生きる子どもたちにとって、とても悪い教科書といえます。
- ・沖縄や領土やエネルギーなど、多々ある社会的課題に対して、各々教科書会社の記載内容に一長一短はあるものの、最も注目すべきは、現行の日本国憲法に対して、どのような説明がなされているのかということである。それについて、私は、気になって仕方がない。将来の主権者である若い生徒たちに手渡すべき教科書は、公平・公正であるべきは当然だが、日本国憲法の基本原理がしっかりしていることが必要であり、立憲主義の説明があいまいな教科書は、問題があると思います。旧憲法の評価が高すぎるのも、時代錯誤です。その意味で、育鵬社のものは、疑問がありすぎると感じます。
- ・「新しいみんなの公民」P11 グローバル化の時代に必要な資質とは、曾野綾子著 夫婦口論からの抜粋「人は一つの国家にきっちりと思省しないと「人間」にならないし、他国も理解することもできないしです。・・・」何だ！こんな文章をのせる教科書を採用してはいけない。
- ・P62 の金沢市円光寺子ども食堂についての写真が掲載されているが、肖像権について本人の了解を得たのか？「子ども食堂は貧困問題対策として・・・」の記述は、一面的で誤解を生みやすい。P27 家庭の価値—「個人より家族」の色彩が強い。
- ・P50～51 の日米安全保障条約で、「アメリカ軍の抑止力」「日本だけでなく東アジア地域の平和と安全の維持にも大きな役割を果たしています。」断定しているのはあやまりです。また、P51「日本の防衛の課題」として、「日本周辺では、ミサイル発射や核兵器開発を続ける北朝鮮の間で、緊張状態が続いています。・・・地域の平和と安全をおびやかす動きとなっています。」生徒に敵愾心を持たせてしまう。緊張をあおっているだけでないか。また、

平和安全法制関連二法って何ですか。正式名がない。これについて、弁護士さんやたくさんの人々の反対意見があったことは、全く触れていない。問題である。

6 地図 ※意見なし

7 数学

<全般>

・啓林館は、導入の問題がおもしろい。興味をひく。教育出版は3年関数の斜面落下運動からの導入が良。付属資料として算額など身近にあるものをとらえている。数研出版は、3年関数は教出に同じ。因数分解をタイル並べかえ、等積変形がユニーク。三平方の定理も同様で手をつかって学ばせようという導入が良。探求ノートでとりあげている題材が良い。九章算術、白銀長方形と黄金長方形、しきつめなど

8 理科

<全般>

・中学校理科の教科書は、説明主体のもの（知識重視）実験—検証型のもの。そして、その両方のよいところを取り入れた中間のものと多彩である。やはり、学校の目の前の子どもに合わせて、きめ細やかに教科書が学校の教師集団独自で具体的に決められる環境。子ども主体の教科書採択制度を望む。

9 音楽（一般） ※意見なし

10 音楽（器楽合奏） ※意見なし

11 美術 ※意見なし

12 保健体育

<全般> ※意見なし

<東京書籍>

・見出し「異性の尊重と性情報への対処」とある。異性にこだわるのはどうか。章末資料で多様性についての資料を取り上げているだけにちょっと残念。
・受精のきせきとか胎児を育てる母体の神秘とか、あまりなぞめいたことばにせず、きちんと事実を伝える方がよい。

<大日本図書>

・ユニバーサルデザインフォントが見やすくよい。
・異性が何度か出てきて、それ以外の記述もなく、今の多様性の時代、どうかと思う。

<大修館>

・感染予防がわかりやすく書かれている。マスクはなぜつける？のコラムも今の状況から考える材料。
・成長発達の個人差についていねいにのべられている。43ページ少数者の声を社会を変える力にマイノリティの人への配慮があってよい。

<学研教育みらい>

・性感染症の予防、エイズの問題でコンドームをきちんとあげているのはよい。
・心身の発達と心の健康のはじめに虹色ダイバシティの人のコメントで多様性がのっているが、その次の課題で“異性”に対する態度についての思春期の心について設定されているのはアンバランス。
・感染症のもんだいが、時には人権上のもんだいとなることがあるという指摘はよい。

13 技術・家庭（技術分野） ※意見なし

14 技術・家庭（家庭分野）

<全般> ※意見なし

<東京書籍>

・家庭の機能と一つとして「子どもを育てる」とあった。「生み育てる」ではなく「育てる」にしたところが今日の様々な家庭・家族を考慮したのかと思いいいなあと感じた。はじめのところに「いろいろ いろんなかぞくのほん」をとりあげていることとつながっているのだと思った。
・イラストの男は、ピンク、オレンジ、きいろ。ブルー、女は、ブルー、グリーン、きいろ、オレンジ といろいろな色を男女にこだわらず使っているのが自然に入ってきてよい。
・子どもを守る条約や法律をとりあげているのがよい。
・全体に字が読みにくい。写真やイラスト、資料がちよっと古いような。
・びっくりするほど細かく多くのページを使っている“幼児”に対して“高齢者”は2ページ。内容も関わってみようという程度。同居するしないがあっても家庭、社会の中で高齢者の問題をもう少しきちんととりあげるべき。

<教育図書>

・家庭の役割として「子どもを生み育てる」とあって生まない、生めない、あるいはいろいろな事情、選択で多様になっている社会では「生む」と「育てる」はわけて家庭は育てる場ではないのか。
・イラスト、写真、資料見やすい。

<開隆堂>

・副題の ～生活の土台、自立と共生～ が、実に適切。家庭生活を送る上で

の衣食住、基本的技術とともにかぞく、家庭、地域についてのとらえ方を考える両面がよく出ている。

15 英語

<全般>

- ・外国人の方に英語で授業していただくのもいいと思います。
- ・中学校英語教科書(1年生)を見ました。授業で教わりながらであれば文化や環境問題も取り上げている ONE WORLD がよいと思いましたが、ひとりで自習するには参考書の要素も多い SUNSHINE がよいと思いましたが、NEW HORIZON。
- ・英語 Here We Go! 原爆を扱った平和教材に中学生の作文が使われているのは非常に新鮮な視点である。興味深く英文が読めるとともに平和についても考える機会ともなる。Blue Sky 3年生 Unit5で偉人だけでなく子どもたちの今の生活に直結している人物を取り上げているのがおもしろい。スティーブジョブスは興味をひくだろう。One World CONTENTS に各 Lesson の内容のポイントが日本語で示されているが「平和」についての教材があまりないのが残念。
- ・英語 Sunshine 興味深い内容が多い。環境、平和、人権などがありよい。藤井聡太の話題もありタイムリーである。NEW HORIZON オバマ大統領の広島での演説にも触れてあり、いいのだがその演説の最初の部分は問題があり、ONE WORLD にはあり、子どもたちに逆に考えさせたい部分でもあるのでカットされているのは残念である。他の教科書より大きいのが、これ一冊で広げると机の上はいっぱいになるのではないか(ノートやプリント類が置けない?)

<東京書籍>

- ・他の出版社と比べ、版が大きく編集、構成が他社と群を抜いて見やすく理解しやすく辞書的要素も加わって楽しく学べる教科書でした。

<三省堂>

- ・人権問題(黒人)が取り上げられており、現在のアメリカの問題を考えるにはいい教材である。

【道徳】

<全般>

- ・教員をめざす大学生です。今の立場だからこそ言えることを言っておきたいと思います。道徳科の存在意義は認めつつ、点数をつける教科化には反対です。内容は、私が小学校の頃とほぼ変わらず、「考えてみよう」と促すものが多く明確に「これは良い、悪い、こうしろ。」とは書いてありません。あたりまえですよ。大人にも分からない答えです。だから、教科書の内容も大きな変化は見えません。本当に点数をつけるのでしょうか。優劣をつける

のでしょうか。私は今から、自分ができるか不安でしかたがないです。

- ・中学の道徳の教科書を見比べました。「道徳」という教科で生徒たち理解度を点数化することには反対ですが、物事を考えるための資料として「教科書」が存在することは理解できます。子どもといえども考え方は人それぞれ自由ですので、教育の名の下に考え方を押しつけることがあってはなりません。是非、他人の意見を尊重する心を育む教育であってほしいと願うばかりです。ほとんどの出版社が、杉原千畝を題材にしています。とてもいい話で日本人として誇らしエピソードですが、各社とも物語調で事実を客観的にとらえて考えさせるような記述には思えませんでした。「道徳」という教科ならではの素材の提示の仕方はないのでしょうか。英語や国語の教科書と同じに思えてなりません。
- ・どの教科書(道徳)にも日本について深く学ぶところがなく残念です。また、近頃問題になっている情報リテラシーについても学びがうすい。インターネットは車と同じでとても便利だが使い方をあやまると人を傷つけてしまうことを知ってほしい。どれか一つを選ぶとしたら、武士道精神がのっている Gakken でしょうか。
- ・東京書籍は、資料が年齢にあったものでわかりやすい。日本教科書は、資料の一部が不適切。光村図書は、資料の選定がよい。
- ・光村図書の道徳本が全体的によく感じた。光村図書は資料、(写真等の配置)等見やすく感じた。廣済堂あかつきは、サイズ的に扱いにくく思う。ちょっと持った感じが重い。日本文教出版の2金メダルから得たもの 道徳本前半から、より高い目標を目指すことを引き合いに出すのは抵抗を感じた。教育出版3歩きスマホから、4平和への願い、5変わりゆく地球に移行して②歩きスマホから、3、4、5へのつなげるのは若干コンセプトが難しく感じる。
- ・光村図書は、どの学年の教科書にも“生きること”の重みを考えさせる教材がある。“死”についてあまり直接的に体験していない生徒にも考えさせる機会となる。廣済堂は「中学生の道徳ノート」があることで、そのときどきの自分の感じたこと、気づいたこと、考えたことを書くことができる。書くことでより深い自己理解へとなっていくのでは?日本文教は「平和の時-生きる」「さまざまな性」などこれからの子どもたちにぜひ考えてほしい内容がもり込まれているのがよい。日本教科書は、偉人伝のような内容の文章が多い。偉人はえらい!と思わせる文章が多く不快。子どもへの「自己評価」でレベル1~4まで評価させるのは問題では?心を数値化させるのは問題あり。
- ・中学校道徳 日本教科書、教育出版は、偉人礼賛の傾向が強い。日本文教教材としてマンガ家、音楽家など子どもにとって親しみのもてる人を選び交換がもてる。
- ・日本文教出版は、1年取りあげた題材が良い。「私は清掃のプロになる」「盗い乗り越えて」など押しつけない文章でよかった。日本教科書は、自己評価のところが良い。理想とする人間を書くこと-学びのある押しつけになるのではないか。人権差別に対して偏っている。偉人を賛美するものが多

い。廣済堂あかつきは、価値の押しつけがあるように思われた。日本教科書は、表紙見開きのところ3年主として「集団や社会との・・・」がとても項目が多く驚いた。「自分自身に関すること」にも内面についての項目が少なく厳しい。

- ・あかつき、日本教科書は、子どものことを子供と表現している。「供」は、おそなえのこと。人権意識の低さを感じる。日本教科書1年、「大地 八田 興一の夢」素晴らしい美談にしているが、八田のしたことは、大日本帝国軍として、台湾の植民地化から食料を軍に送らせる為のこと。歴史的背景もしっかり教えるべき。

<東京書籍>

- ・採択されても可。チャレンジ歴史で興味を持たせる工夫あり。民衆の側からみた歴史を十分とは言えないが、取り入れている。
- ・できれば採用に適さない。いい教材、題材もあり。導入も入りやすい（マララ、星野富弘、田中正造など）じっくり取り組んでいるのもいい。しかし、すべてきれいな事の結論にもっていきいていないか。社会の底辺の人や失敗してもよしという視点の題材がもっとほしい。3年「差別や偏見をなくすために」は、伝えたいことをはずしている教材だと思う。大石さんを動かしたものは、盲目の中学生にふれてすべての人に核の恐怖を伝えることであったはず。「命みつめて」は、きれいにまとまりすぎていて、中学生が「いろんなことがあっても仲良くしよう」となっていないか？
- ・2年生の「私のせいじゃない」は文絵とも元版が生きていてよい。1年生のみつはしちかこ、星野富弘の文も本人の絵だと全然ちがうはず。残念。
- ・書き込みの指示が多すぎておもしろくない。
- ・はじめに学び方のページがあって、例題のようなマンガ教材が入っている。学び順ごとに書き込み、ふり返り、評価まである。このスタートは勉強ですよという感じが強くて心地よくない。

<教育出版>

- ・中学校の道徳の教科書について、教育出版からでている「中学道徳」①の中でP34の「どうせ無理」をなくしたいの話はなかなかよかった。やる前から「どうせ無理」と考えるのはだめ。宇宙への希望を描き子どもたちへ呼びかける。「人生希望をもって生きることは大切と言い切ることは大切だと思います。
- ・道徳 教育出版 中学生が考える教材として身近なこと、少し視野を広げたことがバランスよく入っていてよい。
- ・不適當である。巻末にのせてある、郷土の偉人に危うさを感じる。その人が歴史上はたした役割を考慮すべき。勝海舟、渋沢栄一、安田善次郎、橋本左内、坂本龍馬、吉田松陰、福沢諭吉、西郷隆盛、大隈重信、横井小楠、西田幾太郎、島田穀 などせっかくだいい教材があっても、取りあげ方が浅い。誘導的な問いかけが多すぎる。

- ・道徳の「教育出版」はとにかく偉人伝の教材がとても多い。読み物としてはおもしろいが、人物の美談ばかりで中学生にとっては一面的にとらえ、また、説教じみてくる。また、一年の「不自然な独り言」や二年の「謝る気持ちはあるのに」は親切の押し売りで中学生は反発すると思われる。三年の「裁判員制度を考える」は知ることは大事だが「裁判員になったらどうするか」は中学生に難しい。評価のための記録もあり、この出版社は採用しないでほしい。
- ・道徳 教育出版 よくない 偉人伝的なものが多く物事を多面的に深く考えることができない。

<光村図書>

- ・採用に最も適している。導入がとても良い。押しつけがましくなく中学生が取り組みやすい。ヨシタケシンスケの絵がいい。教材も腸のあたらない人やコソコソやっていることの大切さなど共感ももてる。
- ・1年「『ソーセージ』の悲しい最後」人と自然の関わりについて、深く考えさせられるよい教材である。「捨てられた悲しみ」「生物多様性」を知ろう、とても分かりやすく資料も適切である。全体の教材のつながりもよい。
- ・2年「いじめ」はいけないことというだけでなく「明日、みんなで着よう」のように行動していくことを取り上げている。また、「国境なき医師団」のことや聴覚障害者の「異なる記念日」や「むこう岸には」での相互理解の大切さなど、中学生が新しい視野へ向かえるような教材が多い。これは大人が読んでも考えさせられる。これなら中学生に与えてもためになる。
- ・自分の子孫にも手渡したいと思える内容だ。自分との対話、他者との対話をしていく中で自分のことばで話す必要性や人と違うことはあたり前、いじめは狭い空間で起きること、広い空の下、広く社会をみること、そして、異文化の人々と共に生きる大切さ・・・など。感動的な内容で中学生に考えさせていく教科書だ。
- ・「民主主義と多数決の近くて遠い関係」少数意見を尊重することについて具体的な例をあげて説明していてとてもわかりやすい。P98「鬼の子守歌」はじめにふつうの桃太郎の鬼退治の話をし、そのあとにこの子守歌。とても考えさせられる。いろいろな角度から物の見方ができる。心を揺さぶる詩です。
- ・「アイヌの歌の歌いたい」アイヌにことについてアイヌ人に寄り添って考えられるよい教材である。教材の最後に考えようと見方を変えてとつなげようで他で学んだこととつなげて考えてみようとしているところが良い。「異なり記念日」齋藤陽道さん著がとてもよい。みんなそれぞれ生きている！って実感できる。このように光村は心を動かされる教材が多い。心揺れるこの年頃にふさわしいと思う。
- ・教材が心にひびくものが多く「こうあるべき」と直接示すわけではなく自然に入って考えさせられる。よい。
- ・とてもよい。不自然な教材がほとんどなく、子どもたちが興味を持って考えてみたくなるものを取りあげている。多様な人々を尊び受けとめていくこと

で自分が出会うであろう困難や問題に対して考え判断していくことができる。希望を感じる教科書だ。

- ・教材が読み物的でありながら一つの考えや生き方に追い込まず“広げよう”というコーナーを作っているのがよい。
- ・見開きの詩1年生、2年生、3年生と思春期の子どもたちの不安、期待、ゆれ、夢、自己の確立、選択があるあると子どもたちの心にひびくものになっていてよい。学びへの導入がやさしくていい。
- ・いいと思います。1年の「自ら考えて」という詩から始まり、いろんなテーマを取り上げて子どもたちの考えや思いを深めたり広げたりする内容になっていてとてもいいと思います。2年3年の教科書もわかりやすく興味深い写真や絵内容でいいと思います。その他の道徳の教科書について自ら考えるよりも一方的にこれが正しい、のぞましいと押しつけるような内容のものもあるので光村図書が一番いいと思います。
- ・1年「なおしもん」「私が働く理由」は、仕事についての想いが、とてもよく分かる。これからの生徒たちにぜひ、読んでほしい教材である。「エルマ―おばさんからの最後のおくりもの」多発性骨髄腫のおばさんのことなど、人権の視点で心をうつ教材が多い。

<日本文教出版>

- ・ドナーなど、価値が二分している問題に対してもいねいに扱っている。平和に対する教材（アウシュビッツ、杉原千畝など）も取り扱いがていねい。中学生に違和感なく受け入れられる。
- ・ノートに各自ふりかえりを書くことになっていてそれに対する保護者記入欄もある。課題について自問自答、他の人の意見にも触れ簡単にこたえの出ないことが多いのが道徳ではないか。親や先生に見せ評価が書かれることを前提にふりかえりを書くようにというのでは形どおり書くことが目に見える。
- ・人権課題をきちんと表題にしているのがよい。相手の思いやりにゆだねるのではなく、発達障害、男女共同参観、子どもの権利条約といった取り組みとしてのっているのもよい。
- ・別冊の道徳ノートがきっちり作られているが、これを使って授業をするとなると書くことが苦手、文章にまとめるのが苦手な子どもはつらいのではないか。

<学研教育みらい>

- ・できれば不採択。理由は、スタート教材から一定方向への価値へ誘導しようとしていて、中学生にはさめた印象しかないのではないか。取り扱い方を注意する必要あり。

<廣済堂あかつき>

- ・不適當である。せつかくいい教材、題材を使っているのに（マンガラ、さだまさし、鎌田実、マータイなど）それ以外は、いわばヤラセのような教材が

多すぎ。子どもにとっては、面白くないのではないか。サブノートにその傾向が強い。

- ・1年「島耕作」のマンガからとっている。このマンガは、多くのサラリーマンや夜のお仕事の方が読んでいそうですが、中学生にふさわしいマンガとは言えない。あかつきの教科書には、文科省や編集委員などという作者個人の名前がないものが多い。きちんと、個人名が出ないのはおかしい。「あのハチドリのように一」の文章では、「政府や誰かのせいにはいけない一」として本人の努力をたたえているが、政府に対してものを言うことは大切なことです。それを押さえ込もうとする文のように思う。よくない。2冊になって、学習の記録を残すのは、教師にも生徒にも負担ではないか。
- ・「国」王貞治さんの文章だが選挙権も被選挙権もないプロ野球選手。帰化しようとは思っていないということは中国籍で良いと思っていることなのか。この文章を読んで在日中国、朝鮮人のことに思いをはせてくれればいいのだが。歴史に踏み込んで学習が一次元の中で疑問である。
- ・別冊は、まるで修身のよう。中学生のゆらぐ心に本当にひびくと思っているのか。考えさせるだけでなくおしつけ教材。「学習の記録」や「学習を振り返って」は生徒にも教師にも負担でなはいか。心をしぼるものがある。
- ・教科書と道徳ノートの2本立て、道徳ノートの方にも文章があり、あわせると分量が多すぎる。ふりかえりも多く、子どもによって負担が大きい。また、ありきたりに期待に沿うように書く子もいるだろう。このようなふりかえりは評価のため？本当に必要か疑問。
- ・よくない。特に1年の教科書で価値を一方的におしつけ学ぶ側の子どもたちの心をつぶしているように感じる教材が多かった。学び後の手がかりからも型にはめこもうとしていることを強く感じた。

<日本教科書>

- ・それぞれの学年で、とりあげて良の教材もあるが、否という教材が数少なくても中味が悪い。平等、共生、差別（人種、男女、障害など）の観点からとりあげてほしくないものです。以下、学年別に× ◎ ○で示しました。それぞれの章末に（巻末にも）自己評価を3段階でつけさせることは疑問であり不要。
×1年「永久欠番42」は、やり返さない勇気と人種差別は相反、不適當教材。
×1年「形見」は、題材と不登校はつながらない。一方的。不適當な教材。
×1年「銅像が教えてくれたこと」は、偉人礼賛、本人が歴史上どう変わったかを問わず取りあげること是不適當。
×1年「大地～八田与一の夢～」は、同上。不適當。
◎1年「誰がために」「環境先進国江戸」「ニッポニアニッポン」良い教材。
上は命のつながりを考えさせ下は江戸の見方を変え、現代につながる。
×2年「雨の日のレストラン」は、自己を犠牲にして労働することを礼賛不適當。
×2年「14才の責任」は、刑法で悪をとりにしめる（？）と言うことは善では

- なく、人権侵害につながる。出典はどこか。不適當。橋本左内は英傑(?)
- 2年「絶望からの生還」は、障害を克服ではなく、共に生きる視点が良。
- 2年「ガラスの地球を救え」は、手塚治虫のメッセージが良い。
- 2年「コンスタンチン君 命のリレー」は、国境をこえての命のリレー。人権の大切さ。
- 2年「ウズベキスタンの桜」は、過去を知り、友好をつなぐことの大切さ。
- 2年「だからうたいづける」は、性同一障害に気づかせる貴重な教材。
- ×3年「ライフ・ロール」は、労働と介護・家事は女の問題とスリ込むひどい教材。
- ×3年「臓器移植をめぐる命と心」は、賛否両論ある問題を取りあげるむずかしさ。
- 3年「不揃いでなくちゃあかんのや」は、小川さんの哲学が生き方に通じる。
- 3年「なせば成る」は、領民とともに統治した上杉鷹山を取りあげている。
- 3年「苦悩の決断」は、自分の心に従って行動することの大切さ。
- 3年「ジャマイカめ」は、失敗することの大切さを伝える。
- 3年「MOTTAINAI」は、現代につながるテーマ。
- ・雨の日レストラン 仕事をがんばる人たちの話。勤務時間を超えて空いている時間や場所を見つけて働くことがよいのか労働基準法違反ではないか。労働者としての視点が無い。ガンバリズムはよくない。人間は労働者も誰もが豊かな生活がおくれるようにならなければ。そのための道徳ではないか。
- ・1年2年3年と読む。「苦悩の決断」や「支え合いは当たり前」「プラットホームのできごと」のようにいいなと思う教材もあるが「14才の責任」や「自分を律する五つの決め事」「雨の日のレストラン」のように説教やおどしをかけられている気分になるものが多い。「つらくてもがまんしなさい」と思われる教材もある。これでは中学生は自分の気持ちに素直になれない。またダメ押しのように4段階で自己評価させているのも良くない。「日本教科書」の採用はやめてください。
- ・「十四歳の責任」14歳これからあふれる未来の生徒たちに、まず刑事責任の話、少年法、賠償責任・・・まずは未来の社会をよりよくする話が先じゃありませんか、あまりにひどい。
- ・不適である。全学年にわたって人権無視、差別や偏見を容認しているように感じるものが多い。
- ・“道徳科って何を学ぶの”スタートで完璧な人間像を示しているがそんな人間はいないので、まず“自分はダメだ”をつきつけられ矯正されるべく学ぶのだといわれているようで気持ちよく学びに入れない。
- ・1年 P92「永久欠番 42」黒人差別について結局は、本人の努力で頑張るガンバリズムでしかない。差別に対して、やり返さない勇気というのはおかしい。おかしいことをおかしいと言えることが大事。P26 志〜幼少の記憶より〜吉田松陰、伊藤博文が明治維新から果たした負の事実には触れないで、1 一部分だけ取り出して偉人とするのはおかしい。同じく P153 八田與一のダム建設

の話。日本軍が台湾で何をしたか。ダムで作られた米は台湾の人の話ではなく、日本軍のために日本に送られた事は載せていない。あやまった歴史認識を教え込むことになる。

- ・2年 「二人の剣士」障害をバネとしてひたすら努力することの話。まわりの人との関わりがとて薄い。障害は本人だけの問題でないことがわかっていない。ただ、「がんばった」ことをたたえるお話は、中学生という年齢には良くない。障害に対して、あやまった社会認識をうえつけることになる。
- ・2年 「台湾に遺したもの」 日本統治下に行われた教育が何であったのか全くふれていない。「日本が統治にあたって、真っ先に取り組んだのが教育だと言われています。・・・」(P146) 同化政策で日本の君が代を教え日本語を教え、・・・そのために。義勇軍として日本軍とともに、戦わされる状況を作った教育についてきちんと書くべき。台湾はきちんと歴史を学んだ上で、国際協力ができる。日本は正しい歴史を知らされなければ、若者の時代に国際社会から孤立してしまう。
- ・3年 P148「伊勢神宮」日本の伝統を利用。勝手に解釈を変えて、明治以降天皇制の為に、結び付けた存在である。あやまった認識を生徒たちにもたせてはいけない。
- ・1年の心の成長をふりかえるところ。22の心として、1つ1つの項目に1〜4のレベルで自己評価する。心はそんなに簡単に数値評価できない。理想の人に何%近づいているか聞くのも愚問。
- ・3年のP40「サムライ西洋技術に挑む」明治の産業革命は多くの労働者の苛酷な労働の上に発展にしたことは、全くふれていない。その上、集成館は軍事のための施設。これを取りあげるのはおかしい。西洋科学に負けずと頑張った単なる日本賛美ではないか。このような教科書は採択すべきでない。
- ・日本教科書 道徳 植民地での日本のいいところだけを(個人の業績)を取りあげたり、真珠湾での「白菊」の花火をめぐる寛容と和解、その後の日米の絆を扱ったり政治に都合のよいストーリー利用でないか。

17 小学校の教科書について

- ・5年の国語がガラリと変わったように思った。
- ・2年の国語のしかけカード→おもちゃの作り方になり、児童への教え方を工夫していく必要性を感じた。
- ・国語下の教科書で研究授業をするので、先に見ることができて、とても勉強になりました。
- ・(上)も一緒に展示してくださっていたので、(上)からの流れ(系統)が確認しやすかったです。金沢ベーシックカリキュラムもあれば、金沢市として、どんなことを大切にしていこうかより意識して見られたなと思いました。
- ・新しい保健5. 6
東京書籍 P78 健康や安全を守る活動

看護師 男性、消防隊員 女性 医師 男性 ・・性別によって職業を固定化指定な配慮が感じられた。現実を見ているという気がしました。ストレスカレンダー、インターネットによる犯罪被害などにも触れてあり学んでほしいと思った。P56 エイズ、このような事をしてもしも感染しません。とあるが、感染はどうしたら起こるのかが児童にはわかりにくいようだ。

・新しい保健3. 4年 東京書籍

P35 異性のことが気になる、異性と話したいけれど恥ずかしい
異性に限らず自分と自分のまわりの今年か興味関心がなかったが、他者への興味関心に目がいく思春期という表記にかわっていくとありがたいと思います。

18 その他

- ・高齢者のとりあげは少ないが家庭、社会の中でどう考えるかという視点がありよい。かかえこまないというひとこともよい。若年介護の現状が厳しいだけに少しでも考えるきっかけになるとよい。(職がない若者が仕事についている親にかわって祖父母をみる大変さ、そしてその後さらに求職が難しくなる・・・)
- ・フェアリード、外国人、障害者、LGBT、居場所づくり、今の社会とかぞく、家庭を考える視点がよい。いろいろなひとがいるということにつながる。ヨシタシンスケからのエール
- ・福井県では図書館に(常時?)あったのでそれは便利でした。OA化、スタディサプリ、すららを取り入れている県もあるようです。無学年化、アクティブラーニング、教科書を予習させるなどして討論したり発表したり、共有で読めたりしてほしいです。個人別の進度の検討を早くお願いいたします。
- ・県の先生が忙しい、授業が楽しくないなら、塾や予備校の先生に代わってもらっていいと思います。
- ・「高齢者」を見出しにしたところが無い!同居している いないに関わらず、高齢者は、もっと身近で家族、社会でともに考えていく課題。
- ・閲覧時間が長いことが良かった。(勤務後にも寄れる。)
- ・コピーができないのは、少し残念でした。

令和2年度教科書展示会 中学校用教科書

— 移動展示場に寄せられたご意見 — 意見用紙35通

1 国語 ※意見なし

2 書写

<全般>

- ・書き方、なぜ習うのか（日常での使用法）などがバランス良く示され、興味をひくと思った。

3 社会（地理的分野） ※意見なし

4 社会（歴史的分野）

<全般>

- ・日本国憲法制定に関して育鵬社では、日本政府が無修正のままGHQに何も言えなかったように記述があるが、他の出版社はGHQの草案を基に改正案を作成したとしている。アメリカの言いなりで作ったようなとらえ方はまちがいの。東京書籍の記述が良いと思う。
- ・まず教科書の分厚さにおどろきました。こんな重い教科書を何冊も毎日背負って学校に通うことは子どもの成長にとってどうなのでしょう。歴史の教科書、山川出版の教科書は歴史教科書と聞えるのでしょうか。出だしが日本の世界遺産の紹介、戦後の日本文化紹介、それもごく一部で子供達に何を伝えたいのか。古代・中世・近世までが長く、現代が短い。歴史は人間がつくるもの。そのふり返りが検証がないです。育鵬社や帝国書院の歴史認識で気になったのは中国、ソ連、共産主義に対する伝え方が偏っている様に見えました。又、沖縄戦や第二次世界大戦など何故戦争がおこったのか、その時、国民はどんな生活を強いられていたのか又、原水爆の非人道性の被害について、殆ど語られていない。もちろん、核実験の事や現在の核保有国の現状、国連の存在などもふれられていなかった。平和な社会をつくる歴史の見方を子供達に教えてほしいです。その反面「学び舎」の教科書は人の生活目線でわかりやすく歴史から何を学びとるのか、わかりやすく楽しく学ぶことができると思いました。
- ・太平洋戦争のころの写真が、東京書籍、教育出版は兵隊になって出ていった人の様子、人々の様子がまだ分かる。よい。日本文教は、きれいなところだけおさめている感じ。不十分。育鵬社もきれいなところだけ。原爆のキノコ雲の写真すらない。歴史を学ぶのに不十分すぎてだめだと思ふ。学び舎の写真が一番。戦争の歴史は、そこに暮らす人々の歴史なんだと感じられるようにたくさんの写真があり、よいと思う。

<東京書籍>

- ・南京事件について 東京書籍では、“この事件は『南京大虐殺』とも呼ばれます。”と記されています。他の教科書は記載ないです。現代につながる問題、現代社会の中で話題になる問題がこう記載されていないと理解できないのでは。

<帝国書院>

- ・日本軍「慰安婦」についても記述してあってよい。

<育鵬社>

- ・「わが国」が何度も出てくる。「日本では」が他の出版社では普通。戦争時代の言い方はおかしい！愛国心とちがうと思う。育鵬社やめて下さい。
- ・歴史の憲法のところですが、育鵬社はGHQのおしつけで決まったかのような記述、東京書籍、学び舎は日本政府が大日本帝国憲法と変わらない内容だったのでGHQが民主的なものにし、専門家（日本の）も入って作られたとある。
- ・自衛隊の海外派兵、集団的自衛権容認の安保法制、すべて肯定的に記している。市民の平和運動などの動きには触れない。非常に偏りがある記載でよくない。
- ・宗教の扱いが不適切、社会科学として、日本の国家形成に宗教があたえた影響を考えるように望む。

<学び舎>

- ・学び舎の歴史教科書が一番良いです。なぜ、この出来事が起こったのか、国々の関連などと結びつけ説明がわかりやすい、又、その時代に生きる人々に視点が向いていて、今、生きている1人の生活者としての自分に歴史がどうつながってきたのか考えながら学んでいくことができると思います。
- ・現代史のところ“基地の中の沖縄”を学ぶところもあり、学んだ歴史が、今につながる問題なのだと分かってよい。

5 社会（公民的分野）

<全般>

- ・自由社公民の執筆者は少なすぎでは？少人数であわてて作った？育鵬社は故～と、なくなった方が複数入っていますが、古い文章なのですか？
- ・育鵬社と自由社は日本を国家を支える「公民」に育てと、国を人々の上においた考えとなっているのが嫌な感じがするのでよくない。帝国書院は政治や経済を自分とつなげて考えることができるようになるために学ぼうと課題解決のための取り組みを紹介し、というのが、よい。教育出版はSDGsの17の目標・・・がまずとりあげられていて世界（社会）の歩み、流れと自らのつながりを考え、どう成長していくかを意識しながら学んでいこうという導入になっていてよい。

<教育出版>

- ・経済をわかりやすく記述してあってよい。平和と公正をわかりやすくイラストにしてある。

6 地図 ※意見なし

7 数学

<全般>

- ・基本的な内容に重点をおいてあり、分かりやすかった。多少余白が少なく窮屈に感じた。

8 理科

<全般> ※意見なし

<東京書籍>

- ・理科の教科書を見ました。どれもよくできていますが東書のものが、より問題解決的な流れが意識されていていいかなと思います。

9 音楽（一般）

<全般>

- ・音楽の教科書を教出にしてほしい。教芸は生徒の声域に合っていない、合唱曲が多く、本当の音楽の学力（読譜力）がつけられない。民謡も少なく日本の音楽の指導でも使いづらい。
- ・「荒城の月」が3年生になったことは、歌詞を読み取るうえで良いことだと思いました。

10 音楽（器楽合奏） ※意見なし

11 美術

<全般> ※意見なし

<日本文教出版>

- ・中学生の興味をひくような参考作品が多く、親しみやすい。

<光村図書>

- ・作品の制作手順が明確に示されているものが多い。

12 保健体育

<全般>

- ・学研と大修館が資料も多く、カラー版で見やすく良かった。
- ・2年生でタバコ・薬物乱用について学ぶようですが、1年生でもふれられてよ

いと思った。（薬物乱用の低年齢化がおきている）指導要領の問題だとは思いますが東京書籍のものは薬物を体験した人の体験談がかかれています。大日本図書は、イラスト、例、写真をつかって薬物、タバコの怖さを伝えているのでよかったです。

13 技術・家庭（技術分野） ※意見なし

14 技術・家庭（家庭分野） ※意見なし

15 英語

<全般> ※意見なし

<啓林館>

- ・BLUE SKYがよさそう。

16 道徳

<全般>

- ・自分を大切にすること。又、他者への思いやりについて思うことが育つように示されていたと思います。
- ・東京書籍については読みやすい資料だが、日本教科書については資料がいまいちよくない。

<日本文教出版>

- ・「あすを生きる」はサブノートが別冊についており、ワークシートで考えることができよかったです。

<日本教科書>

- ・大きく取り上げているのが、男性中心なのが違和感をおぼえました。

17 その他の意見

- ・啓林館の学習のまとめの部分がテスト前に用語の確認がしやすいではと感じた。また、図がみやすく、開くと内容が飛びこんでくるような感覚におそわれる。
- ・時間と労力をかけて教科書の吟味をしています。多くの教員が「よい」と判断した教科書以外のものが採択されるなら、その過程、誰のどんな意見でくつがえったかを必ず公表していただきたい。
- ・各教科書等、生徒が見やすくわかりやすいレイアウトや色づかいを工夫していて、とても良いと思います。
- ・荷物が重いので、薄くて内容の濃い物がいいと思います。なぜ、上下巻ではなくなったのでしょうか？
- ・教科書を県で統一して下さい。

- ・様々な教科書を見れて良かったです。
- ・色刷りにあり見やすい。教科書・・・大きすぎじゃないですか？1日も早くタブレット化？PDFデータで、そんな日が来るのを望みます。
- ・現場の教師が教えたい教科書を探択してほしいです。もっと声を反映して下さい。子どもの成長を促す、そして心をゆさぶる成長を促す、そして心を揺さぶる教科書、人としてあたたかな人権を尊重する意識を育てる題材をお願いします。
- ・思考力を高める工夫をしている教科書が多くなってきた。色使いもかなり工夫している。
- ・歴史教科書がニュースなどで話題になっていたので読み比べてみたいと思ってきました。確かに金沢市で採用している会社の本は、他の会社のものに比べて、恣意が感じられます。今後は、なぜその出版社の教科書を採用したのか、そのプロセスを明らかにしてほしいです。

番	展示場名	来会者	教科	発行者 (略称)	意見内容
17	県立図書館	一般	公民	育隣社	×貧困対策として子ども食堂の活動はよいが、その写真に子どもの顔が写っているのはよくない。特定されるので、いじめにつながるおそれがある。
18	県立図書館	一般	公民	育隣社	育隣社のp50-1、日本の平和は自衛隊・・・と書いてありますが、おかしい！憲法9条の戦争をしないという法律があり、それが、平和な日本を保っている。真実を教えて欲しい。正しい目を養って欲しい。
19	県立図書館	一般	公民	育隣社	育隣社の公民では、憲法制定は連合軍が一方的に作成したこととしており、国民の多くが自発的に憲法作成にとり組みをしていたことを記述していないので、公正な教科書とはいえ、これからの子どもに教えるには不十分です。
20	県立図書館	一般	公民	育隣社	育隣社p.62 円光寺子ども食堂の写真について自分の住む地域にとても近いので、写真に載った人たちのことが許可を待っているのか 等 とても気になりました。
21	県立図書館	一般	公民	育隣社	在日外国人の権利は「日本国籍をとりなさい」という書き方。
22	県立図書館	一般	公民	育隣社	社会「公民」の育隣社に金沢の円光寺子ども食堂の写真が載っていたことにおどろきました。(私自身、ボランティアをしているので...)子どもの貧困=子ども食堂ではありません。様々な社会問題を含んでいます。この写真、顔ははっきりと写っていますが、きちんと許可をとられたものなのでしょうか？疑問です。
23	県立図書館	一般	公民	育隣社	p.49 自衛隊は日本の防衛には不可欠であり、～大きく期待されるとともに信頼されています。とありますが、多くの国民は防衛費が国の予算の中にますます大きくなり、大変「キツ」を感じていると思い、間違った表現。
24	県立図書館	一般	公民	育隣社	育隣社の「公民」は、日本国憲法の三大理念がきちんと書かれていない、国民主権や基本的人権についても権利よりも権利の制限の方が多く書かれています。学習指導要領の「内容」にも書かれない「愛国心」や「国を愛する」といった文言が多くあり、自国主義になりかねません。また、原発問題について、福島原発事故の甚大な被害について、きちんと書かれていない、「クリーンエネルギー」として「核融合発電」の開発があげられているが、これは高い中性子エネルギーを発生し、まだ技術的課題があることが書かれていない。脱原発について、他社では多く書かれているのところがいすぎる。育隣社は、絶対に採用してはならないものだ。
25	県立図書館	一般	公民	育隣社	中学公民の育隣社の教科書は問題が多く、採択すべきではないと思います。理由：一つの考え方を押しつけ、他の考え方を頭から排除している傾向が顕著である。例・基本的人権：説明が不十分である一方で、公共の福祉や国民の義務に関する記述が多い。(日文では、公共の福祉、国民の義務に関して、基本的人権と絡めて学問的に記述されている。)・日本国憲法の制定：GHQの押しつけが強調され、日本政府以外の日本国内の動きを無視している。(日文では、研究者や民間など日本政府以外の日本側の動きも記述している)
26	県立図書館	一般	公民	教出	×子ども食堂の写真で子どもの顔がわかるのはよくない。
27	県立図書館	一般	公民	教出	「公民」はこれからの若者に、どのように生きていってほしいかの学びをする大事な教科書である。「教育出版」などではSDGsを基本として人権や男女共同参画社会基本法などが詳しく書かれ、個人を尊重する日本国憲法の基本もあり、中学生に希望をもたせると思う。自分を変えていくことが、社会を変えることにつながるのと視点で社会のしくみを学んでいける。
28	県立図書館	一般	公民	自由社	自由社の公民は、憲法がGHQから押しつけられ、日本は選択の余地がないと記述されており、これもアメリカ押しつけと教える正しくないといえ方です。
29	県立図書館	一般	公民	日文	「日本文教出版」も、いろいろな問題に反対する油にや視点の違う考え方や立場のことも書かれている。コラムで具体的な資料があり、しっかり考えていける。

番	展示場名	来会者	教科	発行者 (略称)	意見内容
30	県立図書館	一般	公民		自衛隊や米軍や集団的自衛権について、教科書によっているんな意見があることを書いてあるものとなないものがあった。両論書いてあるものがよいと思う。
31	県立図書館	一般	理科		理科は昔のようになぜゴツチャになっただまなのか不思議である。理科は、なぜ物理・科学・生物・地学の分野に分けないのか？社会科と理科とは、なぜやり方がちがうのだろうか？
32	県立図書館	一般	音楽	教京	曲の選定がよい。
33	県立図書館	一般	道徳	日文	◎資料がわかりやすく、年令にあっている。
34	県立図書館	一般	道徳	日科	△資料の選定がよくない。
35	県立図書館	一般	道徳	日科	道徳では「心」が主たる評価対しようになるようですが、評価する側の公正・公平が影響することはいけません。どだい道徳を評価しようの教科にすることは見直した方が良いでしょう。日本教科書1年生用に八田興一がとり上げられ、「話し合ってみよう」では何故、彼が台湾に行ったのか背景を話し合うことになっていないことも教科書としての在り方として問題です。
36	県立図書館	一般	道徳	日科	中学道徳の日本教科書の教科書は問題が多く、採択すべきではないと思いました。理由①一つの考えを自明なものとして押しつける偏激な姿勢が目立つ。理由②出典の明示がない、はっきりしない教材(文章)が目につく。
37	県立図書館	一般	道徳	光村	道徳は、光村図書が優れていると思った。
38	県立図書館	一般	道徳	光村	中学道徳では光村の教科書がもっとも秀れていると思いました。理由：子ども達がとまどいそうなことも含めて、多様な意見を示しながら問題提起をしている。(例えば、中1⑨席を譲ったけれど、中1⑩風文化の人々と共に生きる)一つの考えを押しつけるのではなく、子どもに考えさせるという姿勢が評価できる。
39	県立図書館	一般	道徳		記憶がはっきりしないが、私が中学生の時は道徳の教科は無かったと思う。道徳は小学校の時だけだった記憶がある。小学校の時の道徳の時間は担任の教師が行っていたが、現在の中学校の道徳の時間は、いったい誰が行っているのだろうか？まさか今は道徳専任の教師がいるとも言うのだろうか？謎である。(誰でもいいのだろうか？)
40	県立図書館	一般			こんなにも日本に教科書会社が存在する事実に改めて驚いた。自分が中学生の時は自分の使っている教科書だけが、この世のすべてのような錯覚に落ち入っていたが、やはり世の中は広がったのである。そういうカン違いをしないためにも、教科書は一冊だけでなく、2冊、3冊と複数使った方がよいのではないかと思うのである。そうすれば学力も上がる可能性が大きくなる。教科書代をケチるから、子どもの学力が上がらづらいのである。教科書を複数冊使った方が子どもの視野も広がるだろう。
41	県立図書館	一般			中学3年生の時点(義務教育の間に!)において、老後の資金を稼ぐためには、投資(特にデイトレードを使った積立投資)が必要であることを、授業で教えるべきです。そのための冊子を作成する必要があります。
42	県立図書館	一般			教科書がページ数が多く、重い。中学生が通うだけでも大変さを感じます。もうすこし、わかりやすいものにできないでしょうか。

資料 D

教科書採択に係る要望書等

2020年5月11日
こども☆未来☆教科書@かなざわ
共同代表 小林 信介
高田 伸一
沼野 千加
平田 幸美



2021年度使用中学校教科書採択にあたっての要望書

貴教育委員会の教育への日ごろのご尽力に敬意を表します。

さて、今年度は中学校教科書の採択の年です。すでに文部科学省から3月27日付けで「採択事務処理について」の通知が出されていますが、今年は新型コロナウイルス問題によって、これまでのような採択事務が滞りなく実施されるのが懸念されます。

私たちは今年度の中学校教科書採択において、人権を大切にされた教科書が公平・公正で開かれた手続きを経て採択されるように、以下の項目を要望いたします。

1. 「人権の尊重」は、全ての教科書において最も重視すべき観点です。近年は、金沢にも様々な国の方々が生活されるようになりました。金沢が国際的に開かれた都市となるために、子どもたちの人権意識が非常に大事なものとります。また、障がい者、女性、子ども、高齢者、働く人、HIV感染者・ハンセン病患者・LGBTの方など、人権の問題はさまざまです。特に今年は、新型コロナウイルスの感染者に対する人権的配慮が大変課題となっています。今年度の中学校教科書採択においてもこの「人権」の観点をぜひとも重視することを要望します。
2. 教科書採択に当たっては、現場の教職員の意見を十分に聞き、教科書採択に反映すべきです。1997年3月28日「規制緩和推進計画の改訂について（閣議決定）」の中でも、教科書の採択制度について、「将来的には学校単位の採択の実現に向けて検討していく必要があるとの観点に立ち、当面の措置として教科書採択の調査研究により多くの教員の意向が反映されるよう、現行の採択方法の工夫改善について取り組みを促す」ことが明記されています。是非とも、多くの教職員の意向が反映されるように要望致します。
3. 文科省の通知によれば、教科書展示会は「一般公開を通じて地域住民などの多くの方々に教科書に触れていただくための取り組み」として、「教科書展示会の開催にかかる経費は地方交付税で措置されており、「広く地域住民の方々が展示会に参加できるよう工夫すること」がもてられています。

しかしながら今年度は新型コロナウイルス問題のために、図書館などの公立施設が閉鎖され、教科書展示会の開催が危ぶまれる状況です。文科省も求めているような「広く地域住民などが展示会に参加できるような工夫」が「法定展示」「法定外展示」のいずれにおいてもなされるように、展示会場では、「3密」の状態にならぬよう、広い会場を使うなどの工夫が必要かと思えます。

また、教員も市民も展示会場でゆっくり教科書を読むことは難しいです。必要な部分を写真に撮り、持ち帰り教材研究や比較検討ができるようにして頂きたいと思えます。

現在、文部科学省本庁内では無料で100枚のコピーが可能です。他県においても多くの市町で撮影が可能です。教科書のコピーは、新型コロナウイルス対策にも有効であると思えます。

ご配慮を要望致します。

大変お忙しいとは存じますが、以上の要望に対する貴委員会のご見解を、5月末日までにはご返答頂けますように、宜しくお願い致します。

期日を指定して下さい、こちらから出向きます。

このような時でありますので、ご返答を送って頂いても構いません。

あて先は、別紙をご覧ください。

2020年6月2日

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘 殿

子どもと教科書石川ネット21

共同代表 尾西 洋子

石川憲法会議

代表委員 東 孝二

いしかわ県民教育文化センター

所長 安原 昭

新日本婦人の会石川県本部

会長 飯森 博子

教育・くらし・憲法を守る石川教職員の会

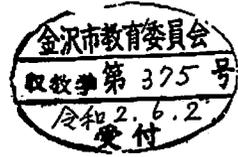
代表 西田 洋子

障害児教育を充実発展させる石川の会

代表 西田 洋子

いしかわ臨時教職員問題を通して教育を考える会

代表 直江 俊



2021年度使用中学校教科書採択についての要請書

貴教育委員会の教育への日ごろのご尽力に敬意を表します。

今年度は、新学習指導要領による新しい中学校教科書の採択が行われます。この間、道徳教科書や、昨年は小学校教科書の採択があり、教職員だけでなく、多くの保護者・市民からも関心が寄せられています。

教科書の採択は、現行制度では「教育委員会が採択」することになっていますが、子どもたちにより良い教科書を手渡すためには、子どもたちと一緒に授業をすすめている教員の意見を十分に汲み取った上で採択が行われることが不可欠です。

このことは、1966年に採択されたILO・ユネスコ共同の「教員の地位に関する勧告」の中でも「教員は、教材の選択および使用、教科書の選択ならびに教育方法の適用にあたって、不可欠の役割を与えられるものとする」（61項）と明記されています。

また、教科書採択にあたっては広く透明性をもって公正であることが求められています。今年3月27日、文科省通達にて「教科書採択は、採択権者の判断

と責任により、綿密な調査研究を踏まえた上で、公正性・透明性に疑念が生じることのないよう適切に行われることが必要であることはもとより、採択権者である教育委員や学校長は採択結果やその理由について、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要となります。」（「教科書採択における公正性の徹底等について」文科省）の内容から教科書採択の教育委員会において傍聴可能な公開の場が強く求められます。

何よりも子どもたちが手にする教科書は、多様な意見や多角的視点から学び、子どもたち自らが判断する力を育むための機会を保障することを目的に採択されなくてはならないと考えます。それゆえ、真実を歪めたり特定の価値観や見解を一方向的に子どもに与えかねない内容には厳に慎み、教育現場で日々、子どもたちとかかわる教員の意見が尊重される教育行政がますます求められています。

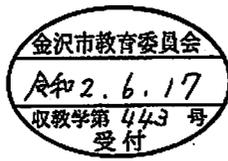
さらに今年度は新型コロナウイルスによる自粛で公共施設が閉鎖され、教科書展示会の開催も不透明になりがちですが、今年2月28日「教科書の発行に関する臨時措置法施行規則」の規定に基づき教科書展示の開始の時期、期間が告知されました。その中で一般公開を通じて地域住民などの多くの方々に教科書に触れていただくための取り組みとして、広く地域住民の方々が展示会に参加できるよう工夫することが求められています。公平、公正、公開の立場から開催の場所、日程、時間については、多くの教員、保護者、市民が参加し閲覧しやすい環境をこれまで以上に配慮していただきたいと思っております。

以上の観点から、今年度の教科書採択にあたり、下記のことを要請します。

(要請事項)

1. 教科書選定・採択に当たっては、日本国憲法および子ども権利条約の理念にもとづいて、教科書を直接使用する教員の意見及び教科用図書採択委員会の答申を尊重し、公正・公平・公開を貫いてください。
2. 教科用図書採択委員会のメンバー委嘱と審議経過には、公正・公平・公開を貫いてください。
3. 教科書採択の教育委員会は、市民の傍聴可能な公開の場で行ってください。

以上



金沢市教育委員会 教育長様
委員様

2020年6月17日
こども☆未来☆教科書@かなざわ

2021年度使用中学校教科書採択にあたっての要望書

育隣社歴史教科書の再採択、育隣社公民教科書・日本教科書道徳教科書の新規採択を見送り、「人権・平和・共生・確かな歴史認識」を大切にしている教科書を採択してください

1 はじめに

貴教育委員会の教育への日ごろのご尽力に敬意を表させていただきます。

また本会から貴会への各種申し入れに対し、ご検討いただいていたことにも改めて感謝いたします。

さて今回の新型コロナウイルスによるパンデミックは、人類がすでに地球という小さな惑星での運命共同体になっている現実と、国際社会全体における医療や社会保障、情報発信の自由といった人権の重要性を私たちに認識させました。また同時に、人間には現実と願望を混同せず「つらい真実」をも直視できる強靱な理性、敘切り型ではなく現実に対応できる柔軟な企画・実行力、他者と苦楽を共にできる温かい同胞精神が要求されることも再認識させたと思います。

そのような人間性を涵養する教育の意義を改めて痛感せざるをえません。今回のパンデミックに対する防疫成功圏の一つと国際的にみなされている（残念ながら日本はその一つとみなされていません）中米コスタリカの有識者が、同国防疫成功のカギとして医療、社会保障の他に教育を挙げているのはその象徴だったと思います（北陸中日新聞5・11）。

そこでひるがえって日本の教育を考えると、その方向が上記のような人類が普遍的に目指す方向に向かっているのではなく、むしろそれと逆に向かう潮流が強くなっているのではないかと憂慮せざるをえないものがあります。

その端的な事例として、歴史を自己陶醉の物語と取り違えている歴史教科書、平和主義や基本的人権を蔑めることが主眼としか思われぬ公民教科書、上からのきまりを問答無用で刷り込もうとする道徳教科書などが、子どもに押し付けられている現実があります。

おりしも今年は2021年度から使用される中学校教科書の採択年に当ります。残念ながら上記のような問題をやらなくいくつかの教科書が検定をとり採択の対象となっています。そこで本会は子どもたちのため、また日本の未来のため、そのような教科書を採択しないようこの要望書を、教科書採択に最終的な権限また責任を持つ貴委員会に提出したいと思っております。

2 育隣社教科書の政治的背景

さて本会は2015年に金沢市が育隣社中学校歴史教科書を採択したことに危機感を抱いた市民によって2016年に結成されました。

よく知られているように今日の教科書問題の発端は、従軍慰安婦に対する日本軍の関与を認め謝罪した1993年の河野談話、それを受けて日本の植民地支配と侵略を反省した1995年の村山談話に危機感を持ち、そういった日本の加害責任を認めた歴史認識を教科書から排除することを目的として「新しい歴史教科書をつくる会」が1997年に結成されたことにあります。

その後、同会は分裂し、その主流となった日本会議派が安倍晋三首相の肝いりで、教科書を発行することだけを目的として発足させたのが育隣社でした（『教育と愛国』岩波書店2019）。

育隣社教科書の採択には多くの不明朗な政治的動きがあったことが知られています。例えば2011年沖縄県八重山地区における中学校公民教科書の採択において、政治家からの理不尽な圧力があったことを前文科省事務次官の前川喜平氏が詳しく証言しています（『面従腹背』毎日新聞出版2018）。

また2015年大阪市における歴史・公民教科書の採択における市民対象のアンケート調査において、日本会議系経営者の民間企業「フジ住宅」（岸和田市）が従業員に育隣社教科書を讚美するよう動員をかけていたことが、「フジ住宅」の在日韓国人女性従業員が本意なアンケートを脅かされるなど精神的苦痛を受けたと訴訟を起こしたことにより明らかになりました（『掃除で心は磨けるのか』筑摩書房2019）。馳浩文科相（当時）は2016年3月8日の記者会見でこの動きに対し

採択への疑問を生じさせかねさせない軽率な行為であったと言わざるをえない。育隣社に対しては猛省を促したい。

としています（自民党も一枚岩ではない）。

政治的背景がどうであろうとも内容が良ければ教科書として問題はないという考えもあるでしょう。しかしその内容も（採択に不明朗な動きが必要なほど）劣悪だったことは以下指摘するとおりです。

3 育隣社歴史教科書の劣悪性

ご存知と思いますが本会は昨年3月29日付で、「2020年度中学校教科書採択にあたっての要望書 歴史を学べない育隣社歴史教科書の使用を中止してください」を貴委員会また各教育委員様に提出しました。

新学習指導要領に順じた中学校教科書の採択が1年ずれて本年になることに従い、すでに使用されている教科書の使用が半ば自動的に1年延長されるという事態に対応したもの

です。

上記要望書では、育麟社歴史教科書における数多くの杜撰な間違いの例や、より詳細に杜撰さを指摘したHPのURLを提示させていただきました。また同教科書には、歴史修正主義者が問題視する日本近現代史以外にも、例えば入試によく出るテーマなどにも杜撰な記述が多く、とても授業に使えないという現場の声も紹介させていただきました。

執筆者の学識が歴史教科書を書けるような水準にないことは明らかで、国がこのようなテキストを検定で通したことも遺憾ですが、その杜撰さを独自にチェックできないとすれば地方の教育委員会の存在意義が問われることになるという懸念も表明させていただきました。

ここではすべてを繰り返しません、上記要望書に例として挙げた、

- ① 京都広隆寺の弥勒菩薩像と韓国国立中央博物館の弥勒菩薩像が瓜二つで、他の中学校歴史教科書では双方並べた写真が載せられており、この2像の類似は大学入試センター試験で出題されたことがあるほど有名なのに、日本文化が独自のものであることを強調したいのみの育麟社教科書には、広隆寺弥勒菩薩像のみ写真が掲げられ韓国に類似した像があるという注意もない。
- ② インドの独立運動家ネルーや中国革命の指導者孫文は、日露戦争の勝利がアジア・アフリカの民族に感動を与えたと言ったが、彼等はその後、韓国併合や満州侵略といった日本の動きに失望し日本に対する見方を変えたという事実は有名で、他の中学校歴史教科書には彼らの意見の変遷まで含めて記されているのに、育麟社教科書では日露戦争での日本の勝利がアジア・アフリカの民族に感動を与えたと言ったことしか記さず、彼らが日本への見方を変えたことには言及しない。

ことなどは本年の展示本でも変わっていないことを指摘させていただきます。(なおより詳細に育麟社歴史教科書の問題を知りたいと思われる方のために本会で造った小文「育麟社版 歴史教科書批判」を本要望書の添付資料として同封します。)

昨年3月の要望は遺憾ながら受け入れていただけなかったわけですが、同教科書の再採択だけは金沢市の名誉のため、また何よりも子どもたちのため、何としても止めていただくようお願いいたします。

4 育麟社公民教科書の劣悪性

現在、金沢市では採択されていないものの、その劣悪性が取りざたされている他の教科書についてもいくつか指摘させていただきます。

まず育麟社の公民教科書ですが、石川県では小松市と加賀市が歴史教科書と共に採択したものの金沢市では採択をまぬがれました。

その内容は、大日本帝国憲法を評価し日本国憲法を貶める記述や、拉致問題や領土問題な

どで偏狭な国家主義を扇動する記述に充ち、歴史教科書以上に問題があるものです。
特に2015年度にも今年度の本にも冒頭に曾野綾子氏の

人は一つの国家にきっちりと帰属しないと、「人間」にもならないし、他国を理解することもできないんです。「地球市民」なんていうものは現実的にあり得ない。

という「よき国際人であるためには、よき日本人であれ」と題するエッセイが置かれており、これが育麟社公民教科書のもっとも言いたいことと思われる。

奇しくも2015年2月に曾野氏は産経新聞コラムにアパルトヘイトを容認する文章を書き、南アフリカ駐日大使から抗議を受けるなど国際的な批判にさらされました。一方、今回の新型コロナウイルスによるパンデミックで、医療従事者や在宅者を励ますコンサートを開いたレディー・ガガさんは、その2日前(4月17日)のテレビ電話による記者会見で

私はレディー・ガガです。完全なアメリカの愛国者で、そして世界市民です。

と述べられました。これはその直前に行われたトランプ大統領のWHO資金拠出停止(アメリカはその後脱退)を暗に批判したものと受け取られています。

曾野さんとガガさんの言葉のどちらに人間の尊厳があるのでしょうか。世界市民である前に日本人でなければならぬ日本人とは不幸で悲しい存在ではないのでしょうか。日本人であると同時に世界市民であることは可能であり、またこれからの日本人はそうあるべきではないでしょうか。

今回の金沢市の採択には、育麟社歴史教科書の再採択と同時に、公民教科書の新規採択を目指す動きもあると思われます。貴委員会がそのような動きにまどわされないことを願ってやみません。

5. 日本教科書道徳教科書の劣悪性

これもご存知と思いますが本会は一昨年7月6付で、「2019年度使用中学校道徳教科書の採択にあたっての要望書『人権・平和・共生・確かな歴史認識』を大切にしている教科書を採択してください」を貴委員会また各教育委員様に提出しました。

極端に反人権的な内容の中学校道徳教科書を発行した日本教科書株式会社(日本会議の流れを汲みヘイトスピーチ本出版で知られる晋遊舎と実務上一体と見なされる)が金沢市を含む石川県内で違法な事前運動を行っていたことを知って危機感を抱き、日本教科書中学校道徳教科書の劣悪性と、あわせて小学校道徳教科書における換移とお辞儀の順序の強制などで悪名高かった教育出版中学校道徳教科書の問題点を指摘したものです。

ここでもそのすべてを繰り返しません、もっともひどいと思われた、

- ① 初の黒人メジャーリーガーが球団オーナーから人種差別のヤジに「やり返さない勇氣」を求められ、それに従ったことが契機として取り上げられた中1の「永久欠番42」。
- ② 「いじめ」を止めさせる目的の節だが、「いじめ」をしたら刑事責任、社会的制裁、賠償責任がどうなるかといった罰則や損害の話のみが延々と続き、最後のまとめ4行にだけ突発的に「人間の道義的責任」が出てくる中2の「十四歳の責任」。

の2点ぐらいは再掲させていただきます。日本教科書道徳教科書はそのあまりのひどさのせいと思われますが、採択地区は全国でわずかに3つでした（3つのうち2つを加賀市と小松市が占めたのは石川県の不名巻でした）。教育出版は世評を気にしてか今回その内容かなり修正していますが、日本教科書は今回の展示本でも上記の内容などを変えていません。このような教科書の採択は止めていただくことを強くお願いします。

6 おわりに

全国の採択状況からも察せられるように、金沢市や石川県は偏狭な国家主義教科書を推進しようとする人たちの主要なターゲット地域の一つとなっているようです。今回の展示本では（あまりの滑稽さが自覚されたのか）見送られたようですが、驚くべきことに2019年度使用の日本教科書3年道徳教科書末尾には、「エゴイスト」と題して吉崎の「嫁ぎし肉付き面」の話が載っていました。「郷土の話が載っている」と賛同者の推薦がしやすくなるのが目的と思われる。

他には育鵬社歴史教科書にも日本教科書道徳教科書にも八田與一（金沢出身）の嘉南平野灌漑事業の話が、あたかも日本の台湾植民地支配が台湾人民のためになされたかのような印象を与えるように載っています。しかし、八田與一のダム工事は植民地・台湾のためではなく宗主国・日本のためなされたことは、灌漑による米の増産分がほとんど日本本土へ行ったことを示す台湾総督府の数字からも明らかです。嘉南平野の灌漑システムが台湾入民の有に帰したのは日本の敗戦による僥倖に過ぎません。八田與一は能力・人格とも評価されるべき人物ですが、現実の歴史には当然ながら光と影の部分があります。影を覆い隠す歴史修正主義に利用されていることは八田與一自身遺憾とすることでしょう。

ともあれ教科書の採択には「郷土のことが載っている」あるいは「郷土に誇りを持たせる」といった第二義的なことを主眼とせず、「人権・平和・共生・確かな歴史認識」を大切にしているかという第一義的なことを基準にしてください。

上記の希望を受け入れていただければ言うまでもないことですが、「人権・平和・共生・確かな歴史認識」をないがしろにしている育鵬社歴史教科書の再採択、育鵬社公民教科書・日本教科書道徳教科書の新規採択は、是非見送ってください。

2020年6月

金沢市教育委員会 様

教科書採択に関する教育委員会会議の公開を求めます

私たちは、金沢の子どもたちが、世界の人々と力をあわせ仲良く平和な未来を築いてほしいと願っています。そのために、子どもの権利条約の「平和・尊厳・寛容・自由・平等・連帯」の精神と日本国憲法の「主権在民」、「基本的人権」、「平和主義」の原則にもとづく教科書を、子どもたちに手渡すことを望んでいます。

そのためには、教科書採択にあたって、日々子どもたちに向き合い、子どもたちの多様な実態を熟知し、毎日の授業で教科書を使用している教員の意見を最大限に尊重しなければなりません。また、調査委員・研究委員・市民の声をしっかり受けとめる公正な会議運営が大切と考えます。

平成28年3月31日の各都道府県教育委員会あての文科省通知「教科書採択における公正確保の徹底について（抄）」に、採択権者である教育委員会は、教科書採択の公正性・透明性の確保に万全を期すことが伝達されており、平成31年3月29日にも、「教科書採択における公正確保の徹底等について」再度の通知がなされています。しかるに、金沢市では、未だ教科書採択に関わる教育委員会会議は、非公開とされています。全国では多くの採択地区で公開されてきています。金沢市では、教科書採択に関わる会議での非公開理由として静かな環境の確保を挙げています。しかし私たちは毎回の教育委員会会議の傍聴を行ってききましたが、静かな環境は確保されていたと思います。非公開にする理由にはあたりません。また、現在委員会会議の議事録に発言者の名前が無いのは、公的な役職における責任を回避していると思われません。

以上のような考えにもとづいて、貴委員会に下記の事を要望いたします。

記

1. 教科書採択に関わる教育委員会会議は、公開とする。
2. 教科書採択に関わる教育委員会会議の議事録は、発言者の名前を明記する。

名 前	住 所
[Redacted Content]	

この用紙に記入された個人情報、他の目的には使用しません。

〈取り扱い団体〉 とも☆未来☆教科書@かなざわ 金沢市増泉2-8-8 荒木ハウス1B 連絡先 旭 泰子
子どもと教科書石川ネット21 金沢市城南2-42-9 いしかわ県民教育文化センター一気付 連絡先 安原昭二

中学校公民教科書採択についての要請書

貴教育委員会におかれては、2021年4月から中学校で使用される教科書の採択手続を進められていることと思います。

中学校教科書採択をめぐるのは、歴史・公民教科書について、「新しい歴史教科書をつくる会」（「つくる会」・自由社版）及び「つくる会」から分裂した「改正教育基本法に基づく教科書改善を進める有識者の会」（「教科書改善の会」・育鵬社版。「つくる会」と「教科書改善の会」の両者を指して「『つくる会』系」と言います）の教科書を採択する教育委員会があるのか否か、全国の保護者・国民の注目が集まっています。

自由法曹団には、憲法と人権、平和と民主主義の問題にたずさわる弁護士が約2100名登録し、全国すべての都道府県で活動しています。法律家として、憲法・人権を扱う公民教科書に、強い関心を持たざるを得ません。本年6月、自由法曹団は、育鵬社版の公民教科書についての意見書を発表しました。

「弁護士からみた育鵬社の公民教科書の問題点 2020～育鵬社の教科書もいかな、と考えている方へ」は、多くの人権をめぐる問題や社会問題に直接かかわっている法律家の立場から、公民教科書のすべての内容に検討・批判を加えた意見書です。詳細は意見書に譲りますが、育鵬社の公民教科書は根本的な誤謬や歪曲をはらんだもので、教科書としての適格性を有していません。

とりわけ、法律家として見過ごせないのは、育鵬社の公民教科書では、憲法の三原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を正しく学習できないことです。これでは、主権者として必要な知識を習得したり、社会の仕組みをきちんと理解することができません。さらに、育鵬社の公民教科書では憲法についての正しい知識を得られないために、解答に支障がある高校入試問題が多数あることが判明しました。

是非、意見書をご検討いただき、育鵬社版教科書の本質をご理解いただければ幸いです。

また、自由社版の公民教科書は、育鵬社版よりもさらに誤りや一方的な立場に立った記述が多く問題が大きいと批判されています。

「つくる会」や「教科書改善の会」は、「10%以上の採択区での採択」を目標にし、他の教科書を「自虐教科書」と誹謗中傷してきました。しかしながら、「つくる会」系教科書に危機感を持った保護者・国民の広範な批判と教育委員の良識によって、育鵬社版公民教科書の採択は、約5.7%にとどまっています。

自由法曹団と2100名の弁護士は、貴教育委員会とすべての教科書採択関係者が良識と勇気を発揮され、「つくる会」系の歴史・公民教科書を採択されないよう強く要請する次第です。

2020年 6月

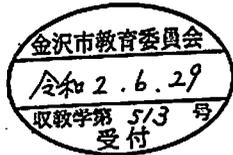
〒112-0014

東京都文京区関口1-8-6 メゾン文京関口 II202号

TEL03-5227-8255/FAX 03-5227-8257

自由法曹団

団長 吉田 健一



中学校公民教科書採択についての参考資料の送付及び要請

貴教育委員会におかれては、2021年4月から中学校で使用される教科書の採択手続を進められていることと思います。

自由法曹団には、憲法と人権、平和と民主主義の問題にたずさわる弁護士が約2100名登録し、全国すべての都道府県で活動しています。法律家として、憲法・人権を扱う公民教科書に、強い関心を持たざるを得ません。

本年6月、自由法曹団は、育鵬社版の公民教科書についての意見書を発表しました。

「弁護士からみた育鵬社の公民教科書の問題点 2020～育鵬社の教科書もいかな、と考えている方へ」は、多くの人権をめぐる問題や社会問題に直接かかわっている法律家の立場から、公民教科書のすべての内容に検討・批判を加えた意見書です。法律家として見過ごせないのは、育鵬社の公民教科書では、憲法の三原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を正しく学習できないことです。これでは、主権者として必要な知識を習得したり、社会の仕組みをきちんと理解することができません。

詳細は意見書をご覧くださいと幸いです。

(自由法曹団ホームページに掲載：https://www.ilaf.jp/04iken/2020/0617_585.html)

さらに、育鵬社の公民教科書では憲法についての正しい知識を得られないために、解答に支障がある高校入試問題が多数あることが判明しました。

今般、上記意見書の高校入試問題についての記述を追加した増補版を発表しましたので、皆様の検討にあたり参考にさせていただきたく送付いたします。

もちろん、教科書は高校入試のためにあるわけではないことは当然の前提です。しかし、高校入試には重要事項が問われる可能性が高く、入試問題を解くうえで支障がないかどうかは、重要事項が理解できる教科書か否かを判断する一つの判断材料となりえると考えます。

是非、送付した資料や上記自由法曹団の意見書をご検討いただき、育鵬社版教科書の問題点をご理解いただければ幸いです。

また、育鵬社版と同じく「新しい歴史教科書をつくる会」系と評される自由社版の公民教科書は、育鵬社版よりもさらに限りや一時的な立場に立った記述が多く問題が大きいと批判されています。

自由法曹団と2100名の弁護士は、貴教育委員会とすべての教科書採択関係者が良識と勇気を発揮され、育鵬社版と自由社版の公民教科書を採択されないよう強く要請する次第です。

2020年 7月

〒112-0014

東京都文京区関口1-8-6 メゾン文京関口II202号

TEL03-5227-8255/FAX 03-5227-8257

自由法曹団

団長 吉田 健一

